

2009 年度 修 士 論 文

歩行者にとってのランドマークとその目立ちやすさの要因  
に関する研究

Quantitative research on local landmark saliency

中村 羽衣子

Nakamura,Uiko

東京大学大学院新領域創成科学研究科

社会文化環境学専攻

## 目次

第1章 序論 .....	1
1-1. まえがき .....	1
1-2. 研究の背景と目的 .....	1
1-3 既往研究の紹介 .....	2
1-3-1. ランドマークという概念の発端 .....	2
1-3-2. 道案内におけるランドマークの定義の発展 .....	3
1-3-3. 道案内に役立つランドマークの目立つ要因に関する議論の発展 .....	4
1-4. 本論文の位置づけ .....	5
1-5. 第1章 総括／本論文の構成・流れ .....	7
第2章 ランドマークが目立つ要因 .....	9
2-1. 認知地図の形成過程におけるランドマークの役割 .....	9
2-2. 既往研究におけるランドマークの目立つ要因の分類 .....	10
2-3. ランドマークの目立つ要因とされる道路形状 .....	14
2-4. 本論文における目印の目立つ要因の検証方法 .....	15
2-4-1. 実験前調査① .....	15
2-4-2. 実験前調査② .....	16
2-5. 第2章 総括 .....	19
第3章 本実験計画 .....	20
3-1. 本実験手法の確立 .....	20
3-2. 本実験対象敷地の選定 .....	20
3-3. 本実験対象ルートを選定 .....	21
3-4. 実験後アンケートの作成 .....	30
3-5. 本実験の概要 .....	31
3-6. 第3章 総括 .....	33
第4章 実験結果概要 .....	34
4-1. 実験結果1／目印（ランドマーク） .....	34
4-1-1. 実験で得られた被験者の音声データ .....	34

4-1-2. 被験者が挙げた目印の数（種類）と回数（頻度） .....	34
4-1-3. 地図上で示す目印と被験者数の対応 .....	36
4-1-4. 被験者が目印を挙げた回数（目印頻度） .....	37
4-2. 実験結果2 / 目印選出理由 .....	39
4-3. 実験結果3 / 被験者属性 .....	46
4-4. 第4章 総括 .....	47
第5章 街路空間で選ばれるランドマークの特徴 .....	49
5-1. 分類別でみるランドマークの特徴 .....	49
5-1-1. ランドマークの分類 .....	49
5-1-2. 分類別でみる目印数 / 目印頻度 .....	51
5-1-3. 分類別でみる目印数 / 目印頻度 総括 .....	53
5-1-4. 分類別にみる各ルートでの傾向 .....	54
5-1-5. 分類別でみる各ルートでの傾向 総括 .....	57
5-2. 分類と被験者の目印（ランドマーク）選出理由 .....	58
5-2-1. 分類別でみる目印選出理由 .....	58
5-2-2. 分類別でみる目印（ランドマーク）選出理由 総括 .....	64
5-3. 道構造 / 位置でみるランドマークの特徴 .....	65
5-3-1. 道構造 / 位置でみる目印数 / 頻度の傾向 .....	65
5-3-2. 道構造 / 位置と目印分類 .....	66
5-4. 頻度でみるランドマークの特徴 .....	67
5-4-1. 目印頻度と目印分類 .....	68
5-4-2. 目印頻度と道路形状 / 位置 .....	70
5-5. 目印頻度と対象の時間継続時間 .....	71
5-6. 第5章 総括 .....	72
第6章 ランドマークとして選出される建物の特徴 .....	75
6-1. 目立つ要因となりうる物理量の抽出 .....	75
6-1-1. 項目とデータ取得方法 .....	75
6-1-2. ヒストグラムで示すデータ概要 .....	77
6-2. 分析・考察結果 / 実験全ルート .....	81
6-2-1. 各項目と目印頻度 相関結果 .....	81
6-2-2. 回帰分析結果 .....	86
6-2-3. 分析結果・考察 / 実験全ルート 総括 .....	87

6-3.分析結果・考察／各ルート .....	89
6-3-1. 分析結果・考察／ルート1 .....	89
6-3-2. 分析結果・考察／ルート2 .....	93
6-3-3. 分析結果・考察／ルート3 .....	96
6-3-4. 分析結果・考察／ルート4 .....	98
6-3-5. 分析結果・考察／各ルート 総括 .....	101
6-4. 第6章 総括 .....	102
第7章 結論 .....	103
7-1.本論文 総括 .....	103
7-2: 今後の発展性 .....	106
参考文献 .....	107
付録A : 本実験資料.....	110
付録A - 1 : 本実験での原稿 (実際には口頭で説明) .....	110
付録A - 2 : 実験後アンケート .....	111
付録B : 本実験結果.....	113
付録B - 1 : 被験者音声データ 20名 (No.1—No.20) .....	113
付録B - 2 : 地図上にプロットしたランドマーク .....	194
付録B - 3: 目印頻度降順に並べたランドマークの特徴 .....	206
付録C : 建物項目 詳細.....	216



## 第1章 序論

### 1-1. まえがき

私たちは、毎日新しい体験をしている。毎日歩いている道の空も昨日とは、異なるし、垣根に実っていた柿がふと気付くと、色づいているかもしれない。

その瞬間にみた景色は、その人特有のものであり、感じ方も、見え方も他の人とは、異なるかもしれない。本論文では、道案内に役立つ目印を糸口として、十人いれば十人異なる日常の空間への認知・知覚の中で、共通した傾向を探ることを目的としている。

本論文は、道案内における空間認知に関する研究を発展させる研究であると同時に、人々が日常的に街のどういった場所に着目し、街に何を感じているのかに関するヒントを与えることで、空間情報と都市計画分野の両方に寄与できればよいと願う。

### 1-2. 研究の背景と目的

「友達の家、住所通りにはここのはずなのだけれど、正確な位置がわからない。」このような状況のとき、友達に自分の位置を説明するために、あなたは、どうするだろうか。番地の書いてある看板を電信柱にみつけて、「○○丁目○○番地にいるのだけれど。」というかもしれないし、かわいい青い屋根の家を見つけて「青い屋根の家が見えるのだけれど」と伝えるかもしれない。

日常的に目にするこうした情景からも想像できるように、空間を認知し、処理し、言葉として伝える動作は、私たちの生活にとって、とても身近な動作である。かつ、前述の情景からもわかるとおり、道を案内するという場面においては、目印となるものを人が認知し、処理し、言葉として伝えることはとても重要であることが伺え、多くの研究でもその重要性は、証明されている。

道を案内する上で役立つ目印とは、ランドマークという言葉で置き換えることができる。こうしたランドマークを人はどのようにして決定していくのかを探るため、具体的な既往研究をみた。

後述の1960年 K.Lynch 著「都市のイメージ」[1]以降、最近に至るまで都市を形成する重要な要素の一つとしてランドマークが議論されてきた。また、同研究以後、人間がランドマークを認知する決定的な要因は、「周囲や背景との対比」と定義されてきた。

近年、空間情報の発展に伴い、空間にある情報の中から有用で効果的な情報をどのようにして選出し、人間へ提供するかということが、大きなテーマとなってきた。そのため、人がどのように空間において行動するかという点だけでなく、人間の情報認知のプロセスに着目する動きがある。地図の内容や表現の違いが、空間認知に大きく影響することから、道案内において、或いは地図上においてランドマークの表示に関する研究が進められてきた。その中で、ランドマークとして選ばれる要因に着目し、「背景との対比」をより細かに数量化する研究が求められている動きが見られる。以上を受け、「背景や周囲との対比」よりも詳細なランドマーク定義の発展を本論文の目的とする。そのために、歩行者にとってのランドマークと、そのランドマークが目立つ要因を探ることとする。

それにより、円滑な歩行者ナビゲーションへの寄与、また、都市計画設計の鍵となること事実が生まれることを目指す。

### 1-3 既往研究の紹介

既往研究における歩行者にとってのランドマークの定義、かつランドマークが目立つ要因の議論の発展を紹介する。

#### 1-3-1. ランドマークという概念の発端

1960年、K.Lynch は、「The image of the city」(「都市のイメージ」)[1]を著し、後の研究者たちに多くの影響を与えた。ここで、都市は人びとにイメージされるものであるとした上で、レジビリティ (risibility=わかりやすさ) 及びイメージアビリティ (image ability = イメージされやすさ) という概念を提唱した。レジビリティこそが、都市にとって最も重要であり、わかりやすい都市のために、そのイメージアビリティ高めることが必要であるとしている。イメージの構成要素を、ストラクチャー・アイデンティティ・ミーニングの3つの成分に分けた。都市を構成するパス・エッジ・ディストリクト・ノード・ランドマークという5種類のエレメントを抽出している。ランドマークは次のように定義されている。「点を示すもで、観察者はその中に入らず、外部からみる。普通は、建物・看板・山

などどちらかといえば、単純に定義される物理的なものを差す。」すなわち、人はある空間の中で定位を保つために用いる記号であることがいえる。

ここから、ランドマークは、都市計画の分野、かつ道案内等のナビゲーションの分野両方において、都市を構成する重要な要素の一つとして議論されてきている。そして、近年、情報科学の発展と共にナビゲーションの情報化が進む中で、同時にランドマークの道案内における重要性に着目した研究が進められてきた。

### 1-3-2. 道案内におけるランドマークの定義の発展

Lynch(1960)[1]の研究以後、私たちの街環境を構成する要素として、ランドマークのコンセプトは、多くの既往研究へと発展してきた。以下は、Raubalら(2004,[2])における、ランドマークの概念的定義である。

- ・風景から際立ったもの全てをランドマークとする。(Monntello,1988[7])
- ・ある状況、たとえば、歩くルートによっては、交差点さえも、ランドマークとなりうる。
- ・ランドマークは、経路探索においてとても重要なものである。
- ・ランドマークは、早い段階で身につけられる・学ばれるものである。(Siegel& White,1975[8])
- ・ランドマークは、たとえばアンカーポイントのように、周りの環境知識を構成する。(Conclelis,1987[9])
- ・ランドマークは、ルート上の知識を口述的に視覚的に、やり取りする上で使われる。(Denis,1997[10])
- ・道案内においてランドマークは、様々な度合いで結びつけられるものである。特に、スタート地点とゴール地点と、方向を決定する箇所では特に強く、結び付けられる。(Denis,2001 [12]/Tversky,1999[11])
- ・方向を変えるとき、交差点におけるランドマークがより重要である。(Klippel,2003[13])
- ・ランドマークは、一般的にストリート名より道を探す際に、効果的である。(Tom,2003[14])

同様に、村越(2003,[15])や新垣(2001,[16])らは、ルートをたどるときに道に迷った回数の多かった人も少なかった人も、覚えていたランドマークの数は同じであったが、迷いの少ない人が、曲がり角にあるランドマークを覚えていたのに対して、よく迷う人はそ



れ以外のランドマークをよく覚えていたことを指摘している。また、方向感覚の良い人は、人や車など動いてしまうものや、見落としてしまうものは記憶に残さないことも指摘している。平田（2007[17]）は、歩行者案内用地図において、役立つ目印の特徴とは何かを、イメージマップを利用し分析を行った。そこから、①未知の空間の案内図には曲がり角にあるものや公共物が目印として採用されやすいこと、②未知の空間を歩く際には、公共物を始めとする認知度の高いものや視認性の高いものが目につきやすいことを示した。

Deakin(1996,[18])は、地図上においても、方向決定の箇所にランドマークを配置することで、より分かりやすく、ランドマークがない地図よりも、道に迷わないことを示した。また、Sibylleら（2000,[19]）は、ランドマークの役割を、グローバルとローカルの二種類に分け、その性質を明らかにした。グローバルは山やタワーなど遠方からの自分の位置を参照するためのもので、ローカルなランドマークは、近距離で認知されるもので、ルート上で歩く上で参照するものとしている。

Lovelace（1999,[20]）は、方向決定が必要な箇所でのランドマークと、方向を変えられるが、現在のルートをとるために方向を変えるべきではない箇所でのランドマークと、正しい道かを確認するためのルート上にあるランドマークと、ルート上にない遠くのランドマークを区別した。

### 1-3-3. 道案内に役立つランドマークの目立つ要因に関する議論の発展

前述のLynch（1960[1]）は、「何かをランドマークとして用いるということは、必然的に限りなく多くの可能性の中から、ある一つのエレメントを取り出すということの意味するのであるから、この場合にいちばん重要な物理的特色は、特異性、つまり周囲にあるものの中でもひととき目立ちおぼえられやすい何らかの特徴である。」と説いた。

以上の一文より重要であるのは、人間にとって、対象の「背景との対照」が、対象をランドマークとして認知する決定的な要因であることである。

中澤ら（2008[21]）は、「ランドマークの視認性に基づいた動的な案内地図作成」において、歩行者のスムーズな移動を支援するため、地図上におけるランドマークの視認性を定量化し、案内地図作成を行っている。彼らは、地図上におけるランドマークの視認性を決定する要因として、種類別、視対象、環境要因の3つに着目し、視認性の評価モデル式

の作成を行った。Raubalらは、道案内においてランドマークが目立つ要因の分類に関する研究を2000年から幾つか発表している。([2][3][4][5][6])彼らはランドマークの視覚的な要素だけではなく、ランドマークが持つ歴史的文化的意義、形や構造も、人を引き付ける重要な要因であると考えた。そして、建物のファサード面積、形、色、見えやすさ、看板の有無といった具体的な「目立ちやすさ」の定量化、比較を行っている。また、Appleyard (1969,[22])は、都市の構成要素の中でも、規模・色彩・形態が際立ち、機能的にユニークで利用頻度の高いものほどランドマークになりやすいとしている。これに関連して、東京の武蔵小山・自由が丘・渋谷・吉祥寺、及び横浜元町駅・横浜駅西口で志水 (1979,[23])が行った、来街者が想起する建物の特性に関する分析結果では、面積や業種が想起確立に影響を及ぼすことが明らかになっている。

#### 1-4. 本論文の位置づけ

歩行者にとってのランドマークと、そのランドマークが目立つ要因を探るため、具体的な既往研究の調査結果を示した。

まず、歩行者にとってのランドマークの定義であるが、既往研究では、1960年にLynchが提唱してきてから、都市や住民の都市への認識を構成する重要な要素としてランドマークは捉えられてきた。さらに、最近の空間情報科学の分野において、道案内における目印の特徴が発展してきた。本論文では、Raubalらの研究におけるランドマークと定義を同じくする。すなわち、辿るルート上に存在し、ルートの知識を体系づけるために用いる対象であり、「背景や周囲」から際立つもの全てを目印として扱う。前述に加えて、街路空間において人が着目する対象としても定義づけられる。

次に、そのランドマークが目立つ要因の定義である。前述したとおり、全ての目印は「背景との対照」として示されている。

既往の研究で、目印が目立つ要因の分類が進められている。ほとんどは街路空間における建物に限定して研究したものである。また、建物の特徴を示すそれら要因が周囲から異なった場合、本当に目印として役立つものであるか、定量的に示した研究はない。

本論文では、「周囲との比較」より進んだ、より一般的で、より広義に使えるランドマークの定義の発展を目的としている。よって、本論文の位置づけは、以下を示すものとする。

- ① 歩行者にとって街路空間でランドマークとして機能するもの全てに焦点を当て、その共通した傾向と要因を探る。

- ② ランドマークとして機能する建物に焦点を当てる。「色」や「ファサード面積」などの建物の特徴が、ランドマークの目立つ要因と関係することを初めて定量的に示す。

## 1-5. 第1章 総括／本論文の構成・流れ

以上から、本章では、歩行者にとってのランドマークの定義の発展を目的とすることと、既往研究と本論文の位置づけを示した。

手法として、心理実験により歩行者が認知する環境をつくり、ランドマークとその目立つ要因の抽出を行う。

本論文の構成を以下に示す。

第1章では、歩行者にとってランドマークの重要性と、それに伴い、ランドマークの定義の発展という本論文の目的を示した。また、既往研究と本論文の位置づけを示した。ここで、歩行者にとっての目印の定義と、その目立つ要因に関して本論文で示すべき点を明らかにした。

第2章では、ランドマークの目立つ要因をより明確に考察することを目的としている。まず、既往研究における、認知地図形成過程でのランドマークの認知を調査し、ランドマークが目立つ要因の既存分類や可能性を示した。次に、それら既往研究で示された目立つ要因の検証と、本論文目的のために行う実験手法の確立のため行った、調査概要を示した。

第3章では、第2章を踏まえ、本論文の目的である歩行者にとってのランドマーク定義の発展に向けた、実験の概要を示した。ランドマークの挙がる傾向と要因を探るため、実験環境下において、主に①ランドマーク ②ランドマークを挙げた理由 ③被験者属性の3点を抽出することを目的とした。また、特性の異なるルートを選出し、それぞれの特徴を示した。

第4章では、実験より得られた実験結果の概要を示した。

第5章では、歩行者にとって街路空間でランドマークとして機能するもの全てに焦点を当て、その共通した傾向と要因を探ることを目的として、得られた実験結果を、分析し考察を行う。

第6章では、ランドマークとして機能する建物に焦点を当てる。「色」や「ファサード面積」などの建物の特徴が、ランドマークの目立つ要因と関係することを初めて定量的に示す。を目的として、得られた実験結果を、分析し考察を行う。

第7章では、本論文の総括と、今後の発展性について論じる。

本論文における手法のフローチャートを以下図1-1に示す。

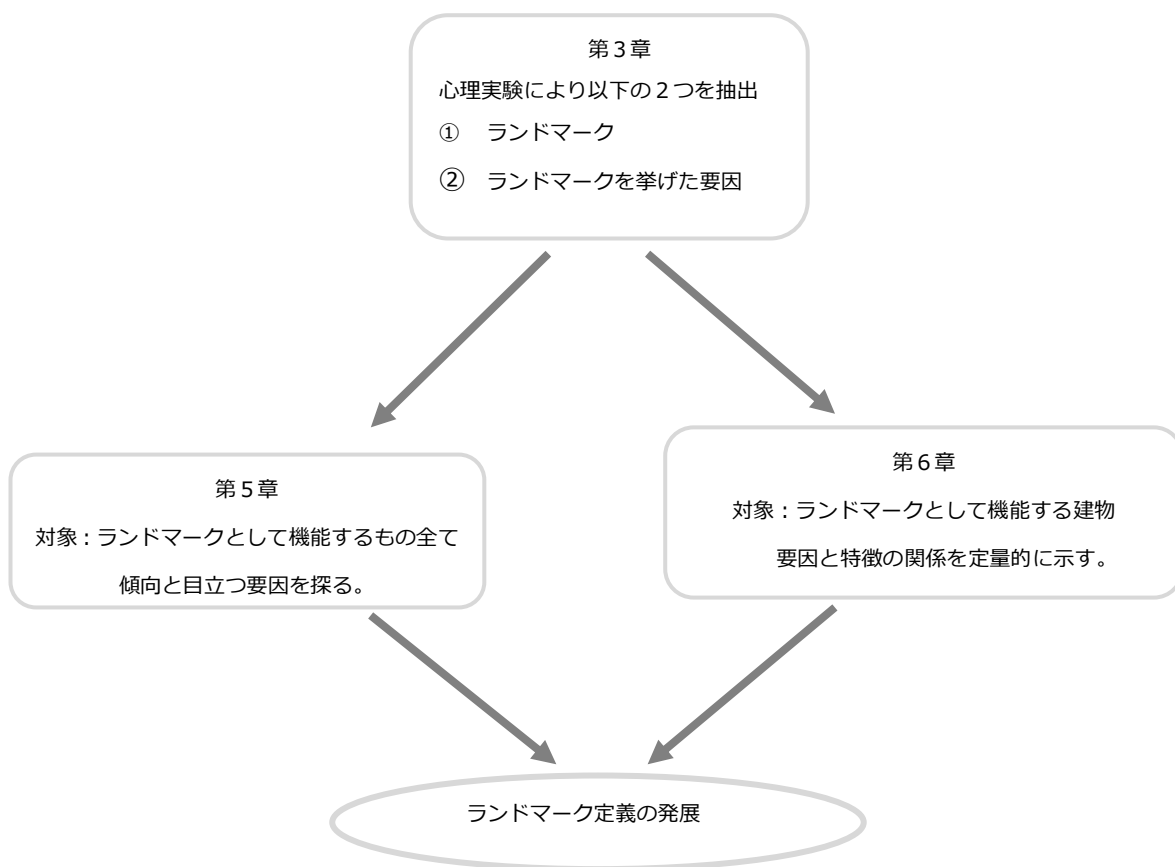


図1-1：本論文手法フローチャート

## 第2章 ランドマークが目立つ要因

本論文における目的が明らかになったことから、本章ではランドマークが目立つ要因を探る。既往研究より、認知科学からの道案内における目印の認知、また、その目印の目立つ要因の分類を紹介する。また、本論文で行った目立つ要因を探るための手法を、実験前調査の結果とともに示す。

### 2-1. 認知地図の形成過程におけるランドマークの役割

“頭の中の地図”である認知地図形成の初期には、ランドマークが重要となることが指摘した研究は多い。認知地図形成時には、ランドマーク知識が先行かルートの知識が先行か二つの説があったが、今日ではランドマークが一般的とされている。例えば、Siegel ら(1977) [24]や、Acredolo[25]は、年少の児童ほどランドマークが基準点となって認知地図形成を促進することを示している。同 Sigel ら(1975)[26]は、ランドマークが視覚的特徴であるのに対し、ルートは感覚運動的な性質を持ち、ランドマークを結合し、系列化して空間的知識を形あるものにする説を説いた。(引用：若林、1999[27]) 或いは、空間認知の発達系列を示した研究においては、ランドマークの知識は、固定参照系（自分の位置だけでなく、なじみのある場所を基準として空間的配置を理解できるようになる。）を利用する段階で獲得されるとしている。

ここで、認知地図獲得のプロセス全体に焦点を当てる。新垣らの文献[16]を参考とした Throndyke(1980)[28]の研究によると、ナビゲーションに関する人間の情報処理プロセスは「注意プロセス」「記銘プロセス」「利用プロセス」に種類別される。街中には色々な情報があり、私たちは、そうした様々なものに注意して情報を入手していく。その情報の入力プロセスは、「注意プロセス」と呼ばれるものである。その中には、一般的な注意と、何か具体的なものに対する注意と、さらにそうした注意の対象を必要に応じて、切り替える、コントロールプロセスも含まれる。さらに入力された情報を記憶にとどめるプロセスが「記銘プロセス」であり、言語リハーサルや記憶法、イメージ化やラベルづけなどの手法を使った空間の情報の学習などが関係してくる。空間の情報記憶されたものを街の中の適切な時点、適切な場面で取り出す必要があり、これが「利用プロセス」である。ここでの「記銘プロセス」をより細かくみると、若林（1999[27]）の研究では符号化という言葉

に置き換えられる。獲得された情報が短期記憶に入ると、長期記憶にある既存の情報のうち、関連する記憶が呼び出され、短期記憶の情報との間で照合・変換が施された後、符号化されるとしている。Golledge (1991,[29]) らの研究では、符号化される空間的情報は、環境に存在する場所に関する宣言的知識、場所間の移動方法に関する手続き的知識、場所の位置関係に関する配置的知識の3つに分けられる。ここにおいて、ランドマークの知識は、なんらかの意味を付与された対象物や場所に関する宣言的知識である。

## 2-2. 既往研究におけるランドマークが目立つ要因の分類

先に紹介した、Raubal らの研究では、街中におけるランドマークを建物に限定し、ランドマークが目立つ評価モデル式を作成した。「Enriching Way finding Instructions with Local Landmarks (2002) [3]」では、彼らが示した目立つ要因を、「視覚」「意味合いを持つ」「構造」の3つに大別した。(表 2-2-1)

表 2-2-1. Raubal らによるランドマーク  
が目立つ要因の分類

視覚要因	意味合いを持つ	構造要因
建物のファサード面積	文化・歴史的的重要性	ノード(例:交差点)
形	Explicit Marks(例:ビルの前の看板)	境界性(その建物の反対側へ行くのに必要なエネルギーと関連する)
色		
見えやすさ		
素材や状態などその他の要因	写真への写りこみや、外観上ではわからない、その他の要因	街区などその他の構造的要因

「視覚」要因として、彼らは建物の、「ファサード面積」「形」「色」「見えやすさ」「素材や状態などその他」の四つの評価指標を挙げた。続く「Focalizing Measures of Saliency for Wayfinding (2004) [5]」においては、「建物のファサード面積」「形」「色」「見えやすさ」に、「看板の有無」を加えた5つの要素に着目した。(図 2-2-1) 実際に被験者へのアンケート調査によって、5つの要素それぞれの重要性をラ

ンク付けした。結果、「見えやすさ」が建物のファサードにおいては、一番重要であるという調査結果を得ている。「看板の有無」がそれほど重要ではなく、他は横ばいであるようだ。しかし、これはあくまで、被験者自身が行ったランク付けである。

「意味合いを持つ」とは、建物が文化・歴史的に重要性を持っているかどうかである。その他にも、典型的であるか、暗喩する意味合いを持つかどうかを評価指標の候補としている。

以上に挙げた「視覚」「意味合いを持つ」を、彼らは、近くにある対象との比較によって目立ちやすさが決定するものであり、対象単一で決定されるものではないとしている。

「構造」では、建物が交差点などのノードに位置するかなどを評価指標としている。

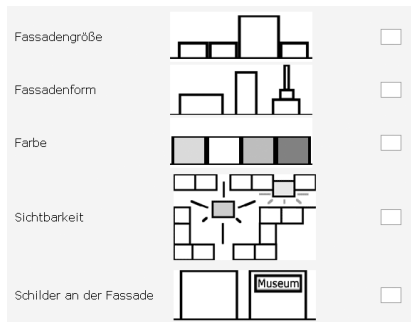


図 2-2-1. Raubal らによる  
建物の目立つ要因の順位付け

建物が街中でどのように目立つかという研究は都市計画の分野でも、過去からさかに行われてきた研究である。Appleyard (1969,[22]) は、「Why building are known」の中で、街においてどういった理由で建物が認知されるのか、被験者に住んでいる街の目立つ建物を思い出してもらうことで評価した。被験者に行ってもらうのは、最も強く覚えて

TABLE 2A  
FORM INTENSITY SCALE (graphic rules)

	Low	Medium	High
MOVEMENT			
CONTOUR			
SIZE			
SHAPE			
SURFACE			
QUALITY			
SIGNS			

図 2-2-2: Appleyard (1969) による  
「様態」の7つのスケール

ている場所を挙げてもらう「言語再生」と、地図上にそれらを描いてもらう「地図再生」と、決まったルートを描いてもらう「トリップ再生」の3つのテストである。その中で、彼は、「様態」「見えやすさ」「意味性」の3つを挙げている。

「様態」とは、建物それ自体の視覚的な要素のことを示しており、「活動量」「境界の



可視」「大きさ」「形」「表面の色」「質」「看板の多さ」の7つのスケールに分類される。(図2-2-2)「見えやすさ」では、建物の「通りからの可視性」(メインの通りからみることのできるものを、強いとする。)'「ノードからの可視性」(交差点やバス亭などから見えるものを強いとする。)'「アクセス性」(軸線の近くやメイン通り沿いを強いとした。)'の3つを評価基準とした。「意味性」では、建物の「使用頻度」「多目的性」「象徴性」の3つを評価基準とした。(表2-2-2 参照)

以上の3つ、13項目に関して、被験者の思い出された建物との相関を示した。結果、「様態」では、3つのテストそれぞれで、「活動量」「境界の可視」「大きさ」「形」「表面の色」と挙げた被験者数との間に、高い相関が示された。一方、「質」「看板の多さ」では、比較的低い相関が出た。「見えやすさ」では、「地図再生」と「トリップ再生」の両テストにおいて、「建物のノードからの可視性」と「アクセス性」の間に最も高い相関が得られた。「意味性」では、建物の「使用頻度」「多目的性」に比較的高い相関が出た。「象徴性」における低い相関は、「使用頻度」「多目的性」と関係づけると高くなるであろうと推測している。彼の研究は、街において建物の重要性の理由を検証したものである。ここで、本論文において道案内における重要性に着目する場合、「トリップ再生」のテストにおける結果に最も着目することができる。

表2-2-2:

Appleyard (1969)による建物が目立つ要因の分類

様態	見えやすさ	意味性
活動量	通りからの可視性	使用頻度
境界の可視	ノードからの可視性	多目的性
大きさ	アクセス性	象徴性
形		
表面の色		
看板の多さ		

空間情報科学の分野でも、移動に有効な案内地図作成のために、ランドマークとして認知しやすい建物の視認性に着目した研究がある。

前章でも挙げた中澤ら(2008[21])は、ランドマークとして認知しやすい建物を決定する「種類別要因」「視対象要因」「環境要因」を挙げた。

「種類別要因」とは、ランドマークの種類(コンビニ、飲食店、銀行など)である。「視対象要因」とは、ランドマークの大きさ、形状といった空間的要素である。「環境要因」と

はランドマークが接する道路幅と、時刻による明暗の変化を差している。

この研究においては、ランドマークを現実の空間上で人間が対象を目印として見分ける要因ではなく、地図上で認知しやすいランドマークが着目されている。

### 2-3.ランドマークが目立つ要因とされる道路形状

前述の研究でも、ノードからの可視性などが挙がっていたが、ランドマークが目立ちやすさを捉える上では、ランドマークそれ自体だけではなく、道案内における目印としての重要性も大事である。

新垣ら (2001,[16]) や平田 (2007,[17]) 等数多くの研究において、ルートをたどる際に、曲がる交差点におけるランドマークの重要性が証明されている。

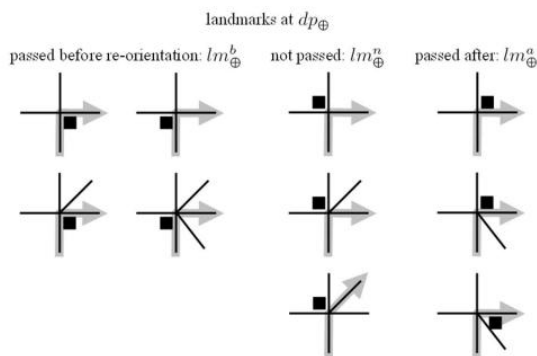


図 2-3-1 : 方向決定にあるランドマークの分類

Winer らは、「Structural Saliency of Landmarks for Route Directions (2005、[2])」において、より交差点形状に特化し、建物の目立ちやすさについて評価を行っている。ランドマークは、1 : ルートから離れている 2 : ルート上のどこかに点在する 3 : 特別なルートのノードに位置する、すなわち、ルート上での方向を決定するポイントである、の3つに分けることができるとした。

さらに、ルートの方向を決定するポイントであるかどうかそれぞれに対し、「方向決定前に通り過ぎる目印」「方向決定の際に通り過ぎない目印」「方向決定後に通り過ぎる目印」の3つに分類できるとした。(図 2-3-1 参照のこと)

分類に基づき、建物の四つ角におけるファサードそれぞれに重みづけをおこなっている。たとえば、図 2-3-4 では、方向決定を行う先での目印としての重要性であるが、d、a、c、bの順序で重みの値が小さくなるとしている。

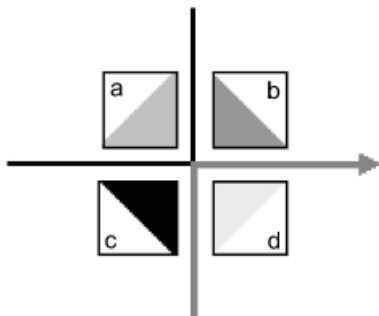


図 2-3-1 : 十字路における建物の目立ちやすさ

## 2-4. 本論文における目印が目立つ要因の検証方法

前述した既往研究を受け、それら既往研究で分類が示された目立つ要因の検証と、本論文目的のために行う実験手法の確立のため調査を行った。

Raubal らの研究（2003 から 2007）など、既往研究における実験対象地の欧米は、日本と街の構造が全く異なることで、実際に実験を行った場合、目印もその挙がる要因も全く異なるのではないかと考えられた。目印として役立つ対象を建物に限定していることも、そうした街路構造によることも考えられた。目印が挙がる傾向と要因に対して、実際に被験者を使った調査が必要であることが考えられた。

手法として、被験者に目印を挙げてもらい、またその目印の特徴に関して口頭での質問をする。

本実験を前提とした、前段階の調査であることから、実験前調査と呼ぶことにする。

### 2-4-1. 実験前調査①

調査①：写真を使用した実験前調査

目的：歩行者にとってのランドマークの傾向と目立つ要因を探る。

実施期間：2008年6月

対象地：高円寺・月島・汐留・原宿

被験者：20代4名（男性3名・女性1名）

実施方法：対象地を歩行者の目線で撮影した写真（例：写真2-1）を渡し、口頭での質問。

ヒアリング内容：

「あなたが、今、写真の場所に立ち、この風景をみていると仮定し、あなたの場所を説明してください。」

「その後、なぜその説明を行ったのか理由を挙げて下さい。」

回答は、全て手記にて記録する。



図2-4-1：写真例（月島）

表 2-4-1. 調査①結果

挙げられた目印	
公共の施設	(交番・駅・図書館・郵便局・公園)
ブランド力の強いお店 (Dior/セブンイレブン)	
商店の看板	
建物	
道	
川・線路	
自転車・バイク・ちょうちん・植木	

調査①結果概要：

結果概要を表 2-4-1 に示す。目印として挙げられるのは、建物に限定されないことがわかった。

次にその目印を挙げた理由として、「見やすさ」に加えて、他にないものなので目立つといった「特異性」や、みんなが知っているからといった「認知度」、以前から知っているからといった「記憶照合」の4つの理由が主に挙げられた。

既往研究とは、「見えやすさ」という点で、一致しているが、「見えやすさ」も一様ではないことから、より詳細に目立った要因を引き出す設計が必要であることがわかった。

調査①では、写真を使用したのが、写真の角度や撮り方に、知覚が依存してしまい、実際の空間における知覚・認知と異なると考えられる。また、風景を示しただけは、道案内におけるルートの知識を体系する上で使用するランドマークとは異なることが考えられた。以上を受けて、調査②を行った。

2-4-2. 実験前調査②

調査②：ルート上を歩行する実験前調査

目的：歩行者にとってのランドマークの傾向とその目立つ要因を探る。

実施期間：2008年8月

対象地：高円寺の商店街（2名）阿佐ヶ谷の住宅地（1名）銀座の商業ビル街（1名）丸の内の高層ビル街（1名）

被験者：20代5名（男性3名・女性2名）

実施方法：

対象地において400mほどのルートを設定する。(ルート例：図2-4)

被験者に歩いてもらい、20mの距離ごとに立ち止まり、口頭による質問を行う。

ヒアリング内容：

「あなたのいる場所を説明してください。」

「前回立ち止まったポイントからここまでの道を説明してください。」

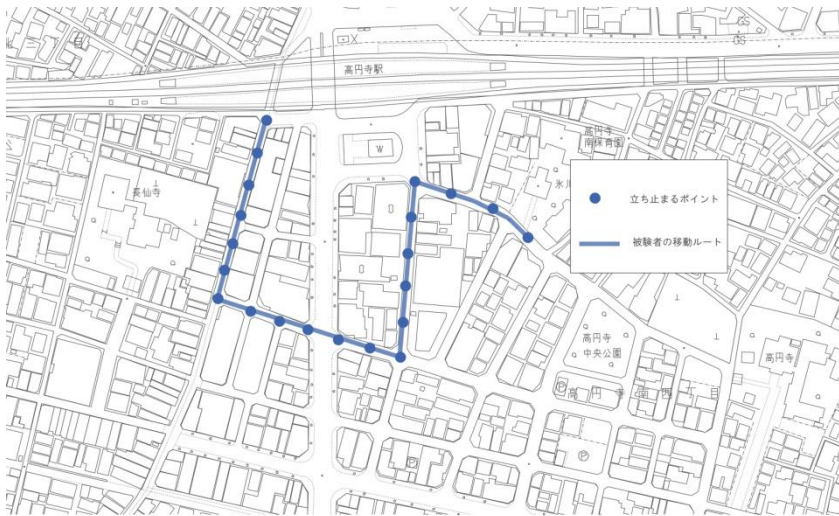


図2-4-2.ルート例

その後、拳がった目印に対する理由を一つずつ聞いてゆく。回答は、全て手記にて記録する。

調査②結果概要／考察：

調査①と比較し、実際に歩行で目印を挙げてもらった場合、視覚だけによらない、音や匂いも目立つ理由として入ることもわかった。

拳がった目印に関して、商店街や高層ビル街など商業用途の建物が多い対象地では、目立つようにデザインされている看板や店舗が目印のほとんどを占めた。

道案内の際に使われた目印と、見えている風景を説明する目印では、相違がみられた。場所を説明する際に使用する目印では、より個人の属性や嗜好による傾向が強いと考えられる。

道案内におけるランドマークが目立つ要因として共通に挙げられるものは、以下の3つである。

- ① 「認知度」
- ② 「見えやすさ」 - (形・色・大きさ(高さ)が、(周りと比較して)目立つ
- ③ 「特異性」 - (周囲と比較して)特異なもの

ここで、ランドマークが目立つ要因は、周りとの比較によることが示された。そして、実験前調査①では明確には示されなかった「見えやすさ」が形・色・大きさを示すことが分かった。

次に、個人の趣味趣向や属性によるランドマーク目立つ要因として挙げられるのは、以下の3つである。

「使用頻度」 - よく利用するので、記憶に強く残る。

「関心度」 - 自分の関心・興味がある。好きである。

「特異性」 - (経験と比較して)特異なもの

「使用頻度」に関しては既往研究では触れられていたが、他2つに関しては触れられていない。「特異性」において、どのような要素が特異であると捉えられたのかより調査が必要である。

本実験に向けた修正点：

調査②では、実際に街路空間に立ち止まったが、一定距離間隔のポイントで立ち止まると、立ち止まったポイントで、被験者が知覚できる範囲は限定される。その範囲のみで被験者は際立っているものの比較を行ってしまう傾向があったため、本実験で修正を行う。関連して、比較の対象となる「周囲」や「周り」は、必ずしも同一でないことが明らかになった。道案内を行う際に挙がる目印と、目印として目につくことは同一でない可能性があることがわかった。よって、本実験では、それらを明確に区別することが重要であると分かった。また、手記による記録では、正確な目印を挙げた頻度が出ないため、本実験では音声を録音することが必要であることがわかった。

## 2-5. 第2章 総括

本章では、ランドマークが目立つ要因をより明確に考察することを目的とした。まず、既往研究における、認知地図形成過程でのランドマークの認知を調査し、ランドマークが目立つ要因の既存分類や可能性を示した。既往研究において、Lynch 以後、ランドマークが目立つ要因は、「周囲や背景との対比」とみなされてきた。最近になり、目印としての建物が目立つ要因を定量化・モデル化を試みたのが、Raubal らの研究であることがわかった。次に、既往研究では、建物に限定されているが、街路空間では、実際に目印の対象となるものは、建物に限られない場合が多いことが調査①②からわかった。本研究での焦点の一つとしては、街路空間において、建物に限定しない目印の選出と、その頻度である。調査①②でも、道案内に役立つランドマークが目立つ要因は、周りとの比較によることが示された。個人の属性や経験によって挙げられた目印は、周囲との比較を必要としない傾向にある可能性が示された。

また、実験前調査から、本論文の実験手法の確立に重要な、知見を得られることができた。



## 第3章 本実験計画

本論文の目的である、目印が背景から際立つにはどのような特徴がみられるかを探るために、被験者による心理実験を行う。

本章では、実験の詳細を示す。

### 3-1. 本実験手法の確立

第2章で示した実験前調査の結果を参考に、目的に合わせて、本実験手法を確立した。

実験前調査①と調査②を比較し、実際の街を歩行し、目印を挙げてもらうことがよりの確であることが示された。

しかし、調査②で行った、決まったポイントで立ち止まった場合、立ち止まった風景に限定し、その中から際立つものを目印として挙げる傾向にある。本実験では、ルートを同様に400m前後に設定し、歩きながら道案内に役立つ目印を挙げてもらう。また、実際に目印を挙げてもらった場合と、道案内を行った場合では、挙げる目印に相違がみられた。これを受けて、本実験は以下の手法で行うこととする。

- ① 被験者は、決められたルートを移動しながら、目印に役立つと考える対象を挙げる。
- ② ルートのスタート地点まで戻り、①で歩行し学習したルートを再度繰り返し歩く。実際に進む方向と、目印となる対象を声に出しながら、案内を行ってもらう。

### 3-2. 本実験対象敷地の選定

実験で対象とする物的環境要素に合わせて、対象地を再考した。

前章で記述した実験前調査では、オフィス街や商店街などを含め商業要素の強いエリアでも、調査を行った。

しかしながら、商業店舗、看板や広告は街をゆく人々の目に訴求するようつくりされている。

最も広告効果のある店舗や看板が、目印として役立つのは、明確である。

あるいは、人々の活動が盛んなエリアや観光地では、八千公の銅像や、都庁など知名度が極端に高いものが多い。それらのように認知度の高いものが目につきやすいことは、道案内に強く役立つのは、既往研究によって示されている。

以上の考察から、実験対象のエリアを、住宅街に決定した。住宅街では、商業要素の強い店舗の看板等はほとんど見られなく、一般的によく知られている街として、事前にイメージを固定されることや、知名度の極端に高いものはないと考えられたからである。

本実験における対象地を「東京都杉並区高円寺北4丁目・阿佐ヶ谷北1丁目」に選定した。

選定条件

- ・被験者は実験の対象ルートを初めて歩くことが望ましい。よって、被験者が過去に特別に訪れる機会がないルートを選んだ。
- ・今回の実験対象ルートを選定するに当たり、事前に土地を熟知している必要があった。
- ・アクセスが便利で被験者が集まりやすい。

### 3-3. 本実験対象ルートの選定

1 ルート 350m前後とする。

これは人間が1分間に約70mが一般的な速さであることから、5分前後で歩行できる距離を選定するためである。

ルート1

ルート選定条件を以下に示す。

- ① 既往研究で示された通り、ルート上での方向決定を行うと、道案内に役立つ目印として目につきやすいことから、ルート上で曲がる回数を考慮しルートを設定する。
- ② 区域を周り、目印が多いと予測される箇所／少ないと予測される箇所、迷いやすいと予測される道・わかりやすいと予測される道など、全て含まれるよう設定する。

以上から以下の4ルートに決定した。

### ルート1

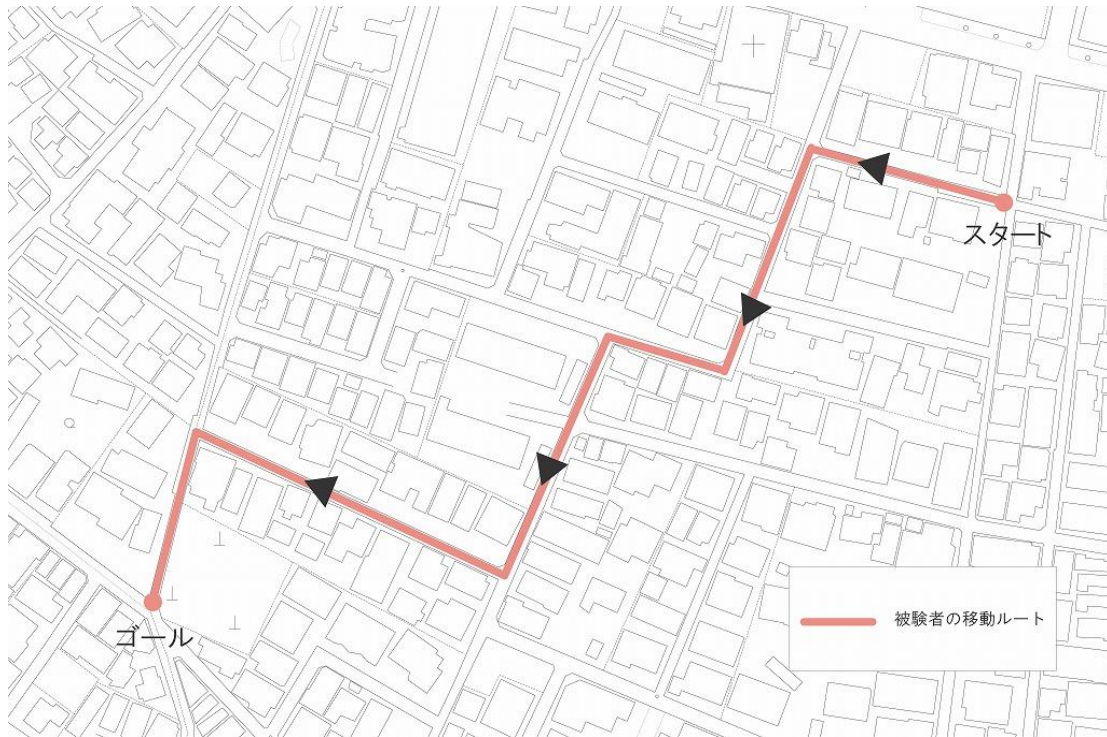


図3-3-1: ルート1図

#### ルート1 特徴

曲がる回数は4回。(方向を決定するポイントは3か所、1か所は道なりに進む。)

大きな集合住宅がみられる。住居以外の建物では、墓地がある。目立った看板・広告はない。

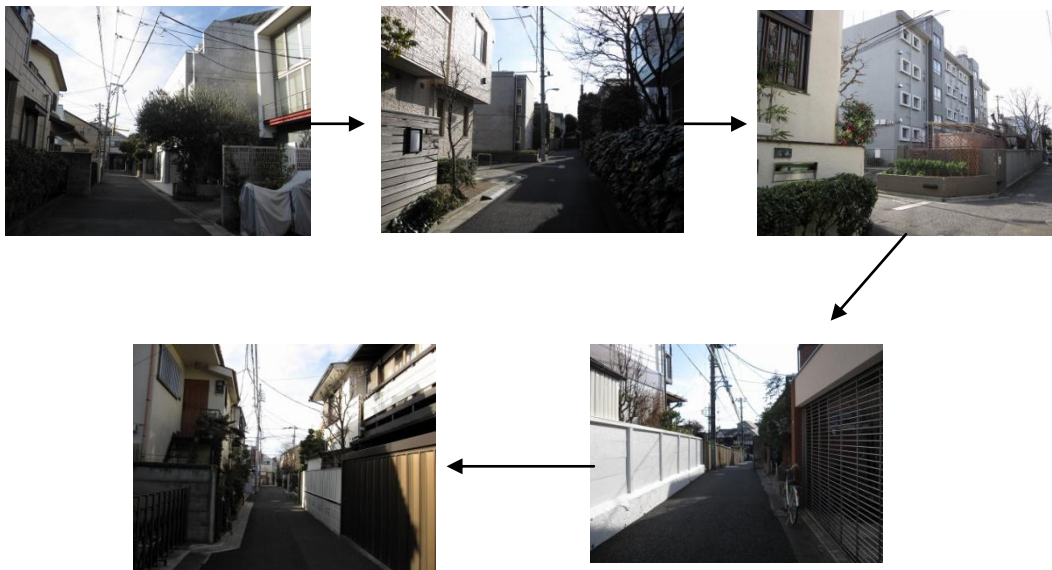


図3-3-2: ルート1写真

ルート1と2は、都市計画上以下に定められる地域を含む。建設予定である空地が一か所ある。

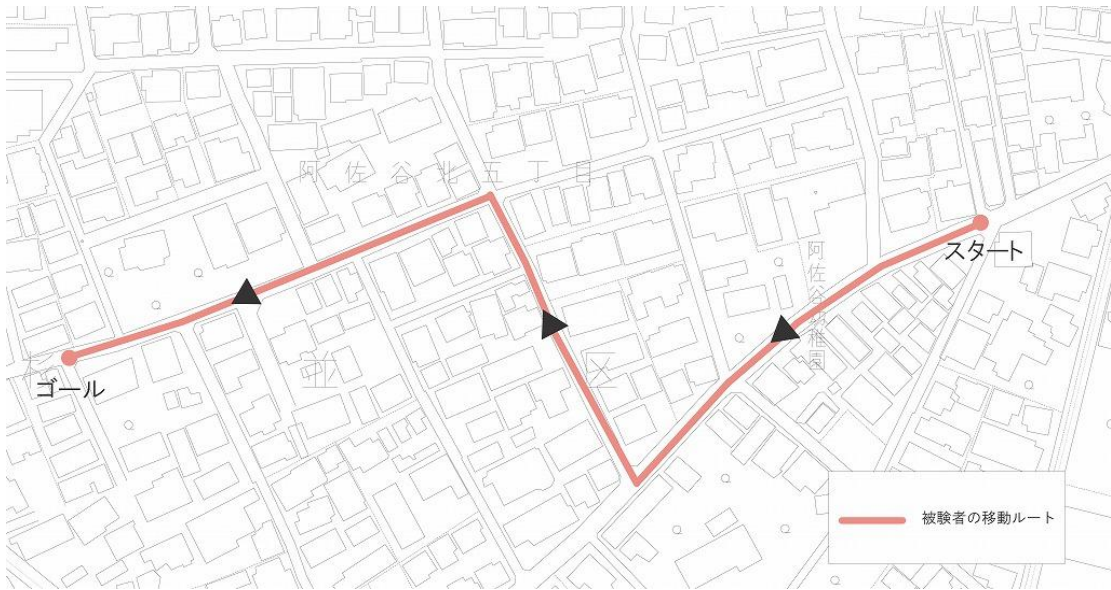
表3-3-1・2: ルート1・2に含まれる地域の都市計画データ表

(参考: 東京都都市整備局・都市計画情報インターネット提供サービス)

用途地域	種別(種類)	第1種中高層住居専用地域
	容積率	150%
	建ぺい率	50%
	外壁の後退距離	-
	敷地面積の最低限度	-
	高さの最高限度	-
高度地区	最高限度	- 第2種高度地区
	最低限度	-
防火・準防火地域		防火地域

用途地域	種別(種類)	第1種低層住居専用地域
	容積率	100%
	建ぺい率	50%
	外壁の後退距離	-
	敷地面積の最低限度	70平方メートル
	高さの最高限度	10m
高度地区	最高限度	第1種高度地区
	最低限度	-
防火・準防火地域		準防火地域

## ルート2



### ルート2 特徴

曲がる回数は2回。幼稚園・祠・クリーニング屋の3つ、住宅以外の用途の建物が入る。目立った看板は見られない。植栽が多い。住居以外の建物と、大きな門のついた集合住宅がある。駐車場が通りを挟んで2か所ある。実験を行った期間中、建設中の建物が一戸見られた。

図3-3-2：ルート2図

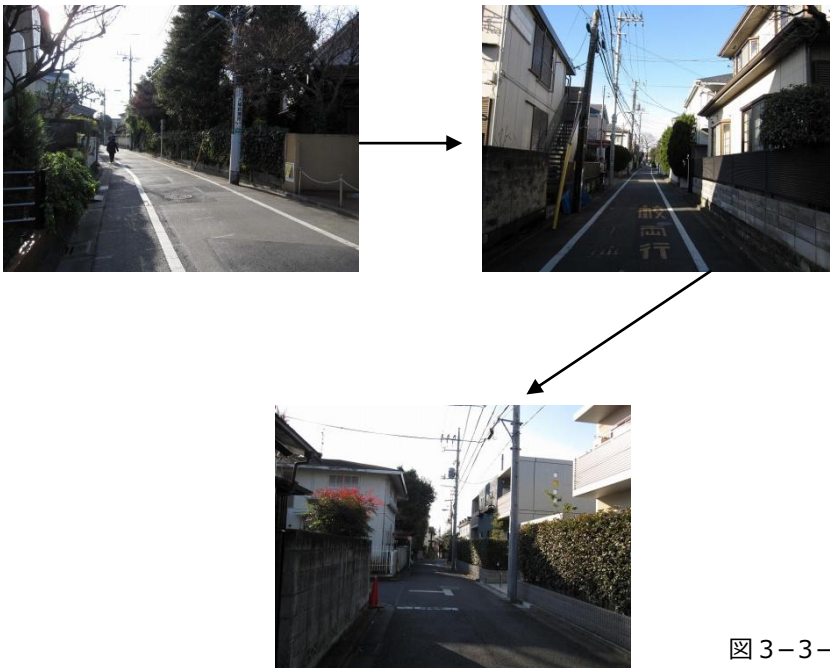


図3-3-4：ルート2写真

ルート3

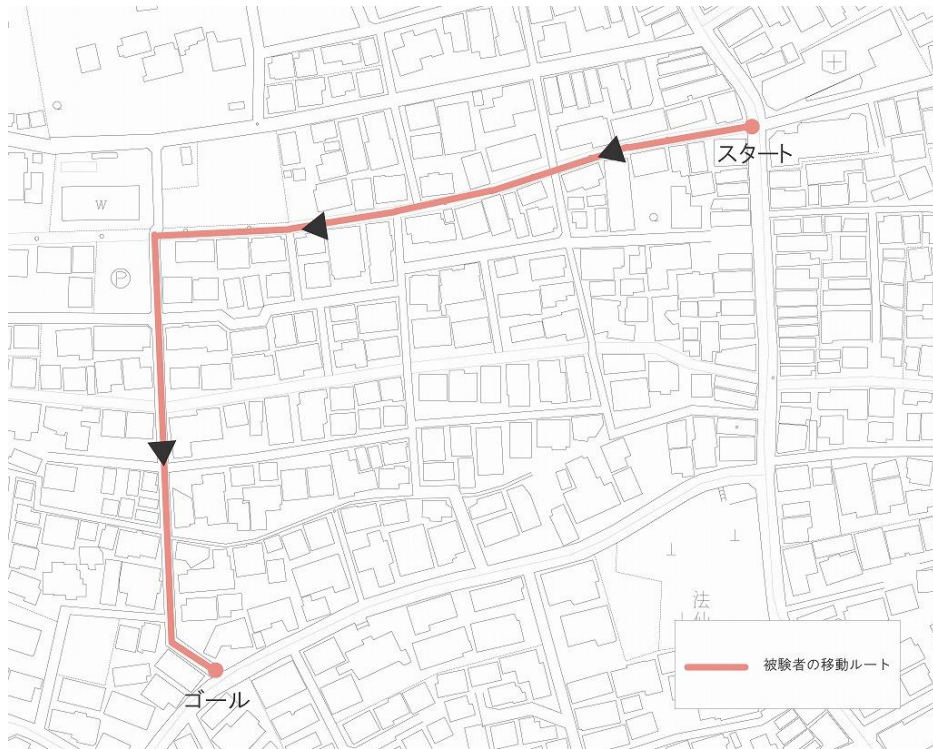


図 3-3-5 : ルート3図



図 3-3-6 : ルート3写真

ルート3 特徴

曲がる回数は1回。道の構成により、挙げられる目印が異なる可能性も視野にいれ、道に並木が続き、車両よけが多数ある、特徴的な遊歩道を取り入れた。住居以外の建物や、目立った看板・広告はない。道が十字に交差する箇所が多い。大きな駐車場が1か所ある。ルート3は、都市計画上以下に定められる地域を含む。

表3-3-3: ルート1・3に含まれる地域の都市計画データ表  
(参考: 東京都都市整備局・都市計画情報インターネット提供サービス)

用途地域	種別(種類)	第1種低層住居専用地域
	容積率	150%
	建ぺい率	60%
	外壁の後退距離	-
	敷地面積の最低限度	60平方メートル
	高さの最高限度	10m
高度地区	最高限度	- 第1種高度地区
	最低限度	-
防火・準防火地域		準防火地域

ルート4

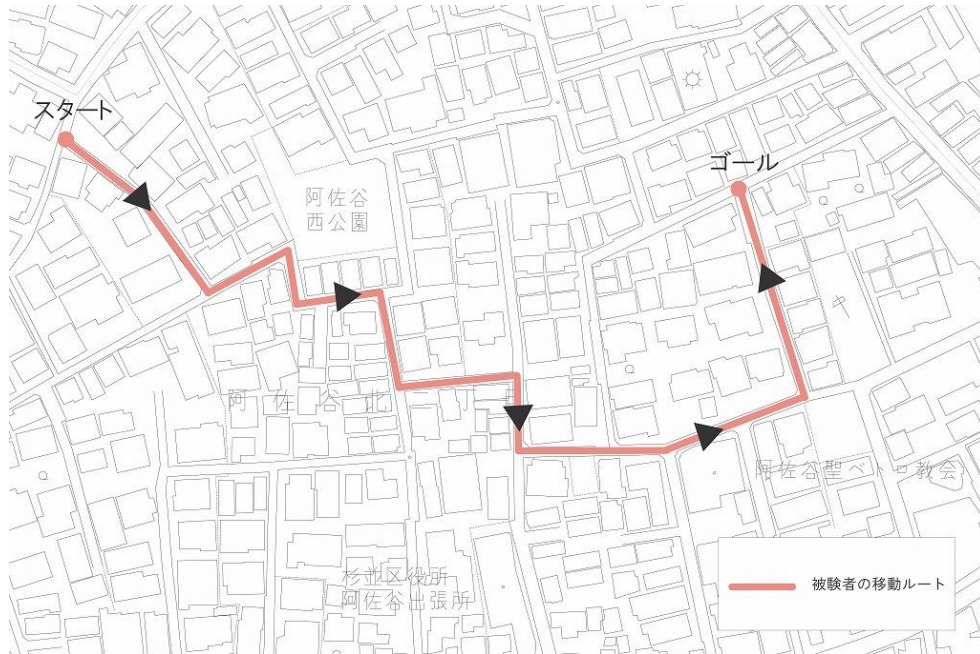


図 3-3-6 : ルート4 図

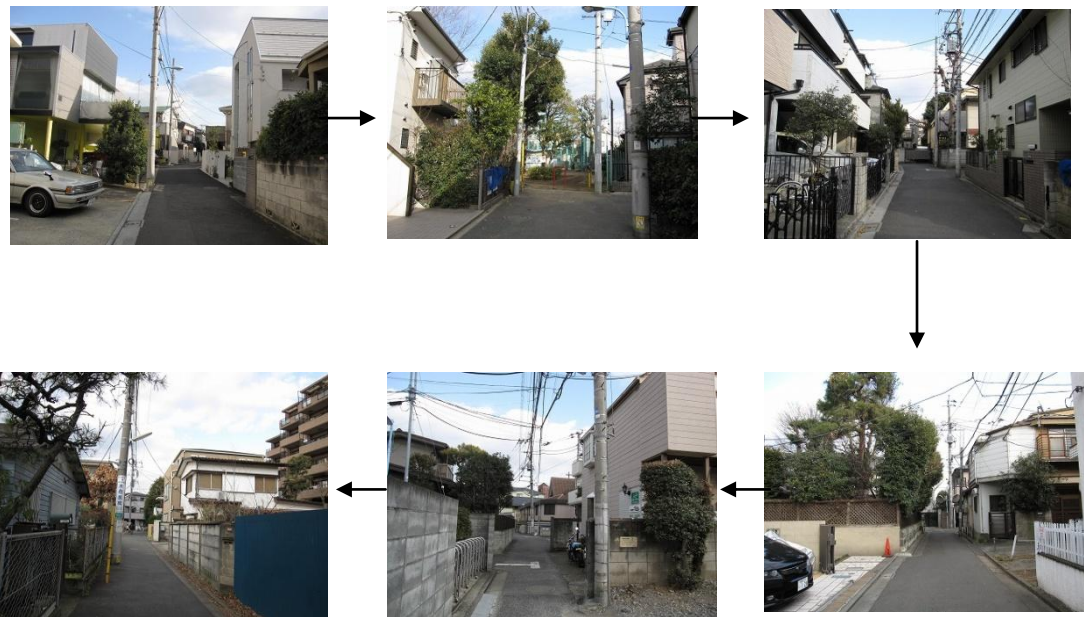


図 3-3-7 : ルート4 写真



ルート4 特徴：

曲がる回数は、8回。（方向を決定するポイントは6か所、2か所は道なりに進む。）

目立った看板として駐車場の看板がある。公園が一か所・駐車場が一か所ある。住居以外の建物では、教会がある。

自動販売機やベンチなど、ストリートファニチャがあり、目立っている。

ルート4は、都市計画上以下に定められる地域を含む。

表3-3-4：ルート4に含まれる地域の都市計画データ表  
(参考：東京都都市整備局・都市計画情報インターネット提供サービス)

用途地域	種別（種類）	第1種中高層住居専用地域
	容積率	200%
	建ぺい率	60%
	外壁の後退距離	-
	敷地面積の最低限度	60平方メートル
	高さの最高限度	-
高度地区	最高限度	- 第2種高度地区
	最低限度	-
防火・準防火地域		準防火地域

ルートごとの道構造比較：

表3-3-5：各ルート道路構造

	曲がる回数	方向決定する回数	道なりに曲がる回数	十字路の数	T字路の数	直進：十字路と交わる回数	直進：T字路と交わる回数
ルート1	4	3	1	0	7	0	3
ルート2	2	2	0	2	7	1	6
ルート3	1	1	0	7	2	6	2
ルート4	8	6	2	0	8	0	6

表3-5を参照すると、方向を決定する回数はルート4が多い。直進する場合に着目すると、ルート3に十字路と交わる回数が多い。ルート2・4は、T字路と交わる回数が多い。

ルートを回る順番の設計：

被験者がルートを同順序で歩く場合、以下の可能性が考えられる。

第一に、被験者が、1つのルートにつき、同じ作業を繰り返すことで、始めに歩いたルートより、数ルート先の方が、目印が多く挙がる可能性がある。また第二に、既往研究と、実験前調査より、被験者は、「周囲」との比較を行い、目印を挙げる可能性がある。「周囲」に2ルート以降は、前に歩いたルートの風景が記憶されているため、今まで歩いた中での比較を行うことが予測される。第三に、2ルート以降では、道案内をもう一度歩いて行うことを学習しているので、ルートでの道案内を前提として目印を挙げてゆく傾向にあることが考えられる。

しかし、本研究の目的に沿った場合、ルートごとで生じる頻度の差より、被験者に与える条件と環境を同一することが優先される。以上の考察から、被験者20名全員、前述の1ルート→2ルート→3ルート→4ルートの順番で歩いてもらう。

第一のばらつきは、ルートを比較するのではなく、ルートごとに挙げられた目印の比較みること、分析を行うことで、解決される。また、第二に挙げた比較を考慮し、分析を行う。

### 3-4. 実験後アンケートの作成

実験実施において、被験者個々人の属性や空間認知に関する傾向も重要となる。ルートを歩いてもらった後に回答してもらうアンケートを作成した。

被験者属性に関する項目

- ① 名前
- ③ 年齢
- ④ 出身都道府県・現住所都道府県／市町村区
- ⑤ 性別
- ⑥ 所属学科／学部名

空間認知に関する傾向に関する項目

まず、被験者の経路探索における能力を計る。

方向感覚に関する自己評価項目として既往研究等で最も引用されている竹内（1998）が作成した、「方向質問紙簡易版（SDQ-S）」(図)の質問20項目に対する5段階評価を行ってもらう。

項目1-9は、「方位に関する意識」について尋ねている。「方位の認知や方位の回転」に関するものである。項目10-17は、「空間行動における記憶」に関するものである。「目印となるものの記憶や、場所の違いの弁別、および経路の知識」にかかわる。

これらの項目で、被験者が経路探索を行う際に、東西南北といった方位に頼るのか、ランドマークに頼るのかといった傾向も明らかになる。

さらに、普段の街歩きの傾向や、街路空間にある様々なものに対する注意深さ、街に対する興味を探るため、以下の7項目を追加した。同じく5段階評価を行ってもらう。

「歩くときは周りの様子を見渡す。」

「似たような景色が続いても、細かな違いを見つけようとする。」

「目的もなく散歩することが好きである。」

「一度行ったことのある街の印象をはっきりと思い出すことができる。」

「知らない街を歩く際は、街全体の印象を捉えようとする。」

「歩くときは、街の印象の変化を意識する。」

「知らないところでは、できるだけ目印をみつけようとする。」

また、普段道を歩きながら目にとめるものの以下6つに対して、優先順位3位までのランク付けを行ってもらった。

- 1・建物 2・看板や広告 3・歩行者 4・空
  - 5・道路または、道路形状 6・ストリートファニチャ
- (1～6にもれるものは記入してもらう。)

以上、個人属性 6項目、方向感覚質問表 20項目、街歩きの傾向に関する 8項目に記入・回答してもらう。

### 3-5. 本実験の概要

以上を考慮した実験の概要は以下の通りである。

被験者：

計20名(男11名、女9名)である。

また、本実験の目的より、被験者の年齢による空間認知の差は、焦点ではない。よって、被験者条件としては、実験対象ルートを2時間前後歩くことが身体的負担にならない、かつ、実験対象地を訪れた経験がない人を対象とした。結果的に、平日に実験を行ったことから、大学生・大学院生が対象となった。

本実験実施方法：

被験者1人あたり実験4ルートを、1ルートにつき2回歩き、口頭での質問に回答してもらう。

①被験者は、決められたルートを移動しながら、目印に役立つと考える対象を挙げる。

②ルートのスタート地点まで戻り、①で歩行し学習したルートを再度繰り返し歩く。実際に進む方向と、目印となる対象を声に出しながら、案内を行ってもらう。

ルートを回る順番は、1ルート→2ルート→3ルート→4ルート である。

被験者の音声は全てHDレコーダーによる録音で記録するものとする。

目印の位置情報の記録として、歩きながら挙げてもらった目印の正確な場所を地図上にプロットする。

以上を組んだ、実験の流れは以下の通り

- ① 被験者と待ち合わせ、同場所で、実験説明（付録参照のこと）と録音機器の使用の説明を行う。（10分）
- ② 終了後、ルート1スタート地点まで移動。
- ③ ルート1を歩く。ルート上を進みながら、道案内において役立つ目印と考えられる対象を詳細に挙げてもらう。挙げてもらった直後、質問形式で理由を尋ねる。
- ④ ルート1終了後、ルート1のスタート地点まで戻る。この時、ルート上の道を一切通らずに、移動をする。
- ⑤ ルート1を、再度歩く。この時、進む方向と、目印となる対象を声に出しながら進んでもらう。
- ⑥ ルート1終了後、ルート2へ移動。
- ⑦ 以後、ルート2からルート4に対して②～④を繰り返す。  
（②～⑥ 約2時間）
- ⑧ ルート4まで、終了後アンケート記入。 実験終了。（15分）



図3-3-1：写真・実験の様子

### 3-6. 第3章 総括

本章では、本論文の目的である歩行者にとってのランドマーク定義の発展に向けた、実験の概要を示した。

ランドマークの挙がる傾向と要因を探るため、実験環境下において、主に①ランドマーク ②ランドマークを挙げた理由 ③被験者属性の3点を抽出することを目的とした。

また、特性の異なるルートを選出し、それぞれの特徴を示した。

次章に得られた結果概要を示す。

## 第4章 実験結果概要

本章では、次章で述べる詳細な分析の前段階として、実験で得られた結果の全体の基本データを示す。本章以降、ランドマークは、目印と定義を同じくする。

### 4-1. 実験結果1/目印（ランドマーク）

#### 4-1-1. 実験で得られた被験者の音声データ

被験者の録音した音声を文章化したものを付録Aに示す。

#### 4-1-2. 被験者が挙げた目印の数（種類）と回数（頻度）

被験者が挙げた目印の数と回数をルートごとにまとめた結果を以下表4-1-1に示す。

なお、本章において、「1度目」とは、前章実験の概要で述べた、「①被験者は、決められたルートを移動しながら、目印に役立つと考える対象を挙げる」実験を差す。

同様に、「2度目」とは、「②ルートのスタート地点まで戻り、①で歩行し学習したルートを再度繰り返し歩く。実際に進む方向と、目印となる対象を声に出しながら、案内を行ってもらう」実験を差す。被験者数は、前章の通り、20名である。

表4-1-1：被験者が挙げた目印の数と回数

ルート名	被験者が挙げた目印の数（種類）	被験者が目印を挙げた頻度 1+2度目 1*(回)	被験者が目印を挙げた頻度 1+2度目 2*(回)	1度目 目印を 挙げた頻度 (回)	2度目 目印を 挙げた頻度 (回)	1度目と 2度目同一 の目印を挙げた頻度 (回)	目印を1度目 のみで挙げた 頻度(回)	目印を2度 目のみで挙げた頻度 (回)
ルート1	73	233 (100%)	324	155	169	91 (39.1%)	64 (27.5%)	78 (33.5%)
ルート2	53	259 (100%)	422	215	207	163 (62.9%)	52 (20.1%)	44 (17.0%)
ルート3	77	268 (100%)	392	196	196	124 (46.3%)	72 (26.9%)	72 (26.9%)
ルート4	75	299 (100%)	477	236	241	178 (59.5%)	58 (19.4%)	63 (21.1%)
合計	278	1059 (100%)	1615	802	813	556 (52.5%)	246 (23.2%)	257 (24.3%)

(1\* : 1度目と2度目に被験者が同一の目印を挙げた場合、1回と数える。2\* : 1度目と2度目に目印が同一であるかに関わらず、1回と数える。)

ルートごとの傾向を探る。被験者が挙げた目印の数をルートごとに比較すると、ルート1・3・4で被験者が挙げた目印の数は、ほぼ同一であった。ルート2のみ少ない。被験者が目印を挙げた頻度をルートごとに比較すると、ルート4、2、3、1の順番で少なくなっている。挙げられた目印の種類は変わらないが、被験者が目印を挙げた回数が1ルートで最も少なくなっているのは、被験者が実験環境に慣れないためと推測される。ルート4でも同様の要因で、被験者が目印を挙げた回数の全体に対する割合が高いため(62.9%)と考えられる。また、前章の通り、ルート4では方向決定をするポイントが多いことから、既往研究において証明された、方向を決定する際に目印が多く挙がることと関連づけることができる。

実験環境への慣れを考えると、ルート4、3、2、1で目印が挙がる頻度が少なくなるのが順当である。ルート2では、挙げられた目印の数が少ないにもかかわらず、被験者が挙げた頻度は多いことから、同一の目印に対して被験者が挙げた場合が多いことに関連づけられる。

次に、1度目と、2度目での目印の挙がる傾向を探る。実験前では、実際に道案内する際には、ルートを説明することから、個人的な理由で挙げる目印は省く傾向が推測された。結果では、ほぼ同一であった。これは、被験者が、①道案内をすることを意識して、直進する際に、目印を挙げない人と、②道案内することに対する意識より、2度目歩いたことで、環境に慣れ、より細かなものに目がいくことで、挙がる目印が増えた人、①②両方の傾向にある人が分かれたためであると予測される。

ルート全体で、1度目と2度目に共通して目印が挙がる頻度は、全体でも半数以上の割合で、ルートごとでも、最低でも四割近く、平均しても5割前後にまで上る。これは、1度目に目印として挙げたものは2度目も目につきやすいためと考えられる。

1度目と2度目、挙げた目印頻度の割合を比較すると、あまり差がみられない。ルートごとによって傾向は少し異なり、ルート1では被験者が2度目歩いた際、新しい目印を他ルートに比べ、より多く挙げていることがわかる。

尚、今後本論文において、被験者が目印を挙げた回数を目印頻度とする。



### 4-1-3.地図上で示す目印と被験者数の対応

被験者が挙げた目印の写真と、被験者数を地図上にプロットした。付録 B-2 参照のこと。  
付録 B-2 における図 4-1-1 の表示例を示す。



図 4-1-1 : 地図上にプロットしたランドマーク

4-1-4. 被験者が目印を挙げた回数（目印頻度）

目印の傾向を探るため、目印ごとに被験者数を対応させた結果をまとめた。詳細なデータは付録 B-3 参照のこと。実験全体の記述統計量を表 4-1-2 に示す。

ルート1、2、3、4の記述統計量を表 4

表 4-1-2 : 全ルート 目印頻度記述統計

	被験者が目印を挙げた回数(回)	1度目目印を挙げた回数(回)	2度目目印を挙げた回数(回)
平均	3.9637681	3.0108696	3.0763636
標準誤差	0.2537113	0.2274035	0.235851
中央値 (メジアン)	2	1	2
最頻値 (モード)	1	1	1
標準偏差	4.214968	3.7779106	3.9111465
分散	17.765955	14.272609	15.297067
尖度	3.8457254	6.6203303	5.4651325
歪度	1.9977447	2.4341879	2.2605873
範囲	19	20	20
最小	1	0	0
最大	20	20	20
合計	1059	802	813
標本数	276	276	275

-1-3、4-1-4、4-1-5、4-1-6 に示す。

ルート1から4に共通して、最頻値は1となり、1人が挙がる目印が全ルートで共通して多いことがわかった。表 4-1-6 参照全ルートで目印が挙げた回数の平均は、3.96回である。ルート2・4・1・3の順で、被験者が目印を挙げた回数の平均が多い。ルート2では、多数の人が共通して同じ目印を挙げる傾向にあったことがわかった。

表 4-1-3 : ルート1 目印頻度記述統計

ルート1	被験者が目印を挙げた回数(回)	1度目目印を挙げた回数(回)	2度目目印を挙げた回数(回)
平均	3.2465753	2.1643836	2.4305556
標準誤差	0.4159953	0.3505886	0.4067248
中央値 (メジアン)	2	1	1
最頻値 (モード)	1	1	1
標準偏差	3.5542651	2.9954303	3.4511741
分散	12.632801	8.9726027	11.910603
尖度	6.7465271	11.213085	9.1274934
歪度	2.4705645	2.9897714	2.8085148
範囲	18	18	19
最小	1	0	0
最大	19	18	19
合計	233	155	169
標本数	73	73	73

表 4-1-4 : ルート2 目印頻度記述統計

ルート2	被験者が目印を挙げた回数(回)	1度目目印を挙げた回数(回)	2度目目印を挙げた回数(回)
平均	5.2641509	4.4150943	4.2641509
標準誤差	0.7524276	0.7098897	0.673008
中央値 (メジアン)	3	2	2
最頻値 (モード)	1	1	1
標準偏差	5.4777555	5.1680749	4.899572
分散	30.005806	26.708999	24.005806
尖度	0.7251242	1.5653094	1.2395969
歪度	1.3351154	1.5408727	1.4408331
範囲	19	20	18
最小	1	0	0
最大	20	20	18
合計	259	215	207
標本数	53	53	53

表4-1-4: ルート3 目印頻度記述統計

ルート3	被験者が目印を挙げた回数(回)	1度目目印を挙げた回数(回)	2度目目印を挙げた回数(回)
平均	3.5454545	2.5974026	2.5974026
標準誤差	0.3919671	0.3187358	0.3369781
中央値 (メジアン)	2	2	1
最頻値 (モード)	1	1	1
標準偏差	3.4394976	2.7968956	2.956971
分散	11.830144	7.8226247	8.7436774
尖度	3.7854828	8.3043047	5.2288903
歪度	1.8619128	2.3462805	2.0484724
範囲	17	17	16
最小	1	0	0
最大	18	17	16
合計	268	196	196
標本数	77	77	77

表4-1-5: ルート4 目印頻度記述統計

ルート4	被験者が目印を挙げた回数(回)	1度目目印を挙げた回数(回)	2度目目印を挙げた回数(回)
平均	4.1780822	3.2739726	3.3561644
標準誤差	0.5110434	0.4617238	0.498235
中央値 (メジアン)	2	2	2
最頻値 (モード)	1	1	1
標準偏差	4.3663564	3.9449696	4.256922
分散	19.065068	15.562785	18.121385
尖度	4.8709464	8.0751796	6.7641263
歪度	2.1469083	2.6300772	2.4817811
範囲	19	20	20
最小	1	0	0
最大	20	20	20
合計	305	239	245
標本数	73	73	73

## 4-2. 実験結果2 / 目印選出理由

表4-2-1: キーワードが挙げられた頻度 記述統計表

平均	16.98718
標準誤差	4.186165
中央値 (メジアン)	4
最頻値 (モード)	1
標準偏差	36.9712
分散	1366.87
範囲	273
最小	1
最大	274
合計	1325
標本数	78

表4-2-2: キーワードが挙げられた頻度上位

KEYWORD	回数
(周りとの) 色の対比	274
(周りで) 珍しい/あまりない/ほかがない/今までにない	141
周りより大きい/広い	84
(経験した中で) 珍しい/見たことない/独特/変わっている	72
住宅街なので	50
曲がり角にあるから	47
同じものが連続していたから	43
素材/質感	42
読みやすい	42
見えている時間が長い/目の高さにある	40
開放的/開けている	38
連想させる/(記憶を呼び戻	34

被験者 20 名が、目印を挙げた理由をキーワード化し、類似したものを統合した。キーワードごとに挙げられた頻度を結果に示す。表 4-2-1 に、キーワードを挙げた頻度のデータ概要を示す。表 4-2-2 に、挙げたキーワードの上位 10 位前後までを表示。キーワードの挙げた頻度順位全ては付録を参照のこと。

(\*被験者が発言として挙げた回数であるので、挙げたキーワードの頻度と、被験者が実際に感じた、考えた頻度を反映しているとは確定できないこと前提とする)

前提を踏まえた上でもキーワードとして「(周りとの) 色 (の対比)」が 274 回と、被験者の発言に多く挙げられたといえる。すなわち、「住宅街で、道案内に役立つ目印には、周囲との色の対比が大事である」。といえそうである。次に多く挙げられたのは、「(周りで) 珍しい/あまりない/ほかがない」である。これは、被験者が実験環境を認知し、「多く見ていれば記憶したはず」という仮定のもとに、「記憶にない→少ないものである」「周りに少ないもの→(初めてこの場所を訪れる人も) 特定できるはず」と目印を処理していることがわかる。既往研究の情報処理過程としてみた認知地図形成過程と全く同様なことが、目印を選出する上でも行われているように考えられる。環境との接触で得られた情報を符号化、貯蔵し、見ている環

境を呼び水として、再度再生・利用を行っている。

それに対して、「初めてみた」などの言葉に代表されるように、「(経験した中で) 珍しい」という理由があげられた。これは、符号化した情報を検索する範囲が、「実験環境で被験者の記憶に残るもの」と「今まで被験者の記憶に残るもの」で異なるといえる。

次の、「(周りより) 大きい/広い/高い」にも同様のことがいえる。さらに、次にキーワードとして上位に挙がっている「住宅街なので」という言葉にも同様のことがいえる。1つに、たとえば、住宅街の中で幼稚園があれば幼稚園が目立つが、当たりを見渡す限り幼稚園である中に、住宅があれば住宅が目立つ。よって、周りに「住宅」の数が多いのでという場合を示している。もう1つに、今まで自分が経験してきた「住宅街」と思われる場所経験した情報を、照らし合わせているのではないか。

「曲がり角にあるから」というキーワードは、既往研究で道案内において目印の曲がり角における重要性と関連しているといえる。「見えている時間が長い」「目の高さにある」なども上位に挙げられており、両方とも対象の構造的要素を挙げているといえる。

上位に、「同じものが連続していること」が目印として役立つ理由に挙げられることは、実験前調査や既往研究で出ていない。おそらく、「同じものを連続→連続しているものは数が少ないであろう→(初めてこの場所を訪れる人も) 特定できるはず」と処理している、或いは、「幾つ連続している」の「個数」は絶対的な値であるので、看板と同様の理由で特定できるという理由が考えられる。

「(周りとの) 比較」と関係がない場合、「数値や固有名詞などの特定できるもの」に目印が目立つ要因は分類できそうである。

次に、以上に挙げた上位キーワードを含む、キーワード分類を表4-2-4に示す。既往研究でも挙げられた「色」「形」「素材/質感」が際立っているだけでなく、「絵柄」「デザイン」「テイスト」「模様」といった、際立っていた対象を表すキーワードを「名詞」として、まとめた。そして、それらが、具体的にどのような様子で目立っていたかを示すキーワードを「形容詞」としてまとめた。形容詞には、「清潔な」や「ファンシーな」などが挙げられた。「非対称/アシンメトリーな」や「対称的」、「直線的」といった「形」に関する表現が挙げられた。「テイスト」としては、形容詞として分類した「和風⇔洋風」の対比や、「レトロな⇔モダンな」といった対比が考えられる。それ以外では、「新しい⇔古い」の対比が挙げられる。

また、被験者が対象を認知することで、なにか感情や記憶、疑問、想像を感じたことも、被験者は触れている。感情では、「好き」「嫌い」「面白い」「かわいい」が挙がっている。

付録の音声データを参照すると、たとえば「幼少のころ住んでいた家に似ている」「(テレビ) CMの木みたい」など、「いつ」「どこ」「どのようにして」得た記憶に限らず、照らし合わせていることがわかる。あるいは、建物の外観を見て「日当たりがよくて住みやすそう」「中の間取りが狭そう」と住んでいる住人の生活や、人柄や資産などを想像して、目についたこともわかった。

表4-2-4：キーワードとその分類

KEYWORD分類	KEYWORD	回数	KEYWORD分類	KEYWORD	回数	KEYWORD分類	KEYWORD	回数	KEYWORD分類	KEYWORD	回数
例外：視覚ではない	声が聞えた	5	周囲との比較 + 形容詞	ガラスが多い/窓が大きい	13	その他	同じものが連続しているから	43	形容詞	段段になっている	1
空間的 配置による	曲がり角にあるから	47		(周りで) 珍しい/あまりない/ほかにない/今までにない/	141		開放的/開けている	38		ジグザグになっている	1
	見えている時間が長い/目の高さにある	40		(経験した中で) 珍しい/みたことない/独特/変わっている	72		自然的な/木が生い茂る	26		生活感のない	3
	道にはみ出していた/せり出していた	10		対象が想像をかきたてるため	連想させる/(記憶を呼び戻す)	34	文字情報に限る	読みやすい		42	殺風景
役立つ要素 / 名詞	(周りとの) 色の対比	274	住みやすそう/住みたい/生活を想像して		3	字体が特徴的		3		邪魔である	3
	素材/質感	42	対象自体に 対比が見られるため	人柄を思わせる	7	直線的/四角/カクカク	7	印象的/インパクトがある		2	
	絵柄	26		2色の対比/コントラスト	32		立体的	1		暖かみ/温かみがない	2
	テイスト/雰囲気	4		洋風と和風の対比	3		装飾的	4		レトロな	1
	デザイン	8	対象に 疑問を感じるため	新旧の対比	1	(色が) 鮮やか/はっきり	4	モダンな		5	
	模様	4		曖昧なので	2	(色が) 明るい	1	左右対称		1	
	形	27		意味がよくわからないので	3	きれいな	14	非対称		2	
道案内を行うため	みんな知っている	4		あるべきところがない/意外なところにある	9	形容詞	清楚な	1		ぼろい	1
	特定できる	5	先に何があるのか気になる	8	おしゃれな		4	立派な	2		
周囲との比較 + 形容詞	周りより大きい/広い	84	対象に 感情を感じるため	不思議に思う/疑問を感じる	17		洋風な/日本ぽくない/	16	仰々しい	1	
	(周りより) 厚い	1		想像と実際が異なるから	8		和風な	1	目がちかちかする	2	
	(周りより) 細い	3	対象に 感情を感じるため	好き	16	高級な/リッチ	4	風情があっ ていい	1		
	経験より大きい	1		興味がある	5	ファンシーな	1	凹凸がない/ 平面的	2		
	住宅街なので	50		嫌・きらい	2	新しい	24	ミスマッチ	1		
	周りが一軒家なので	19		かわいい	13	古い	8	不規則	1		
				面白い	6	斬新	1				

対象を見た際に、意外性や疑問を感じることから、目印として目についたこともあることがわかった。今までの経験から被験者が「本来そこにあるはずだ」と予測したものがその場所にない場合、反対に、「本来違う場所にあるはずだ」と感じた際に起こるものである。被験者は、対象を空間的配置の連続として結び付けていることを示している。たとえば、8人の被験者が言及した「椅子」（ベンチではない）であるが、家の中にあれば、全く目印として役に立たない。「椅子」は「室内空間」にあるもの、と被験者が結び付けを行っていることによって、初めて外に出ている「椅子」は目印として役立つのである。

以上のような場合は、初めて訪れた人に道案内をすることを目指すより、被験者自身が目についたので「同じように目につくのではないか」という仮定のもとに目印を挙げている。これは、被験者が、同様の経験や嗜好を持つ人を案内の対象として想像していることがわかる。このような場合、もし、海外など全く街構造の異なる場所から来た人にとっては、全く均質な環境として映る可能性が高いと考えられる。

前述でキーワードとして挙げられた回数が極めて多かった「色」に関しては、色が鮮やかである、またはきれい、明るいといった表現がみられる。これは、当然ながら、周囲との色相の対比を行っているだけではなく、彩度や明度の対比も目印として役立つ特徴として挙げられることが分かった。また、単色ではなく2色の組み合わせにも被験者が着目していることがわかった。例えば、単に「水色」だけではなく「白い窓枠と水色の組み合わせがきれいだった。」や、「緑とピンクの組み合わせが今までなかった」と挙げている被験者が多い。前者の例では、「きれい」「好き」など、色の組み合わせの好みを挙げていることは他の被験者の記録にも多い。（付録：被験者音声データ参照）後者では、「組み合わせ」が珍しいとしている。これは、実験データにもあるが、対象1つでは周囲との対比が十分でない、被験者が判断した場合、近くにあるものを加えて挙げる場合があることも関連する。1色では、周りとの対比は十分ではないが、2色を挙げる場合がある。

色に限らず、2つの対象が対で対比をなしていることから、目印として挙げたものもあった。例えば、「手前は、金ぴか（の車両止め）で奥が錆びている」（付録：被験者音声データ参照）などがそれである。これは前述した「同じものが連続しているため」にも関連している。或いは、目についたのが、「金ぴか」であったのは、「錆びている」ものがあることで、新しい方のきれいさを、より際立たせているからだと思えることができる。

例外として、「声が聞こえたから」という項目は、目印が目立つ要因は、視覚だけに頼っていないことが示された。しかし、本論文の目的は、視覚認知であること、また、聴覚に頼る傾向は少ないと予測されることから、議論を進めない。



以上をまとめると、(周り)(周囲)の示すところの範囲がみえてくる。被験者の実際の表現をみるため、付録の音声データを参照すると、「このあたり」「このへん」「この道で」「今歩いてきたところで」などの言葉が挙げられている。いずれも、被験者の符号化した情報を検索する範囲を確定できる言葉ではない。ここで、被験者が実験対象地を初めて訪れているという前提を考える。おそらく、「現在見渡せる風景」「ルートで、現在歩いてきた場所まで」「ルート1からルート4まで歩いてきた場所まで」の3つの範囲で情報を照合していると予測される。(表4-2-3aに示す。)これは、本論文の「周囲」とはいずれを差しているかを示した重要な点である。

表4-2-3a: 比較を行った対象範囲

目印と「周囲」の比較対象範囲	実際の音声データ
見渡せる範囲 (半径5m前後)	「このあたり」「今見えているところで」
1ルート (350m前後) (目印を挙げる場所までに歩いてきた道)	「このルートで」
実験対象地 (目印を挙げる場所までに歩いてきたルート)	「この辺で」「ここの住宅街で」「今まで歩いてきたところで」
被験者の「住宅街」での記憶	「住宅街では」
被験者の経験・記憶	「今まで」「初めてみた」

表4-2-3b: 対象範囲の一般化

被験者目線／実験ルート	歩行者目線／一般 (始点から目的地へと辿るとき)
見渡せる範囲 (半径5m前後)	歩行者が見渡せる範囲
1ルート (350m前後) (目印を挙げる場所までに歩いてきた道)	歩行者が辿ったルート (例: 最寄り駅から学校まで)
実験対象地 (半径5km前後) (目印を挙げる場所までに歩いてきたルート)	
被験者の「住宅街」での記憶	歩行者が辿るルートが属する街での過去の経験／記憶 (区切りは歩行者による)
被験者の過去の経験・記憶	歩行者の過去の経験／記憶

今回の実験で、整えられた環境における「周囲」の範囲であるが、ある程度一般的に置き換えることができる。例えば、歩行者が目的地を学校、始点を最寄り駅にし、道を辿るとする。ここで、目印となるものを比較する範囲は、表 4-2-3bのように置き換えられると考えられる。「歩行者が見渡せる範囲」「歩行者が辿ったルート」「歩行者が辿るルートが属する街での過去の経験／記憶」「歩行者の過去の経験／記憶」の5つに区分できる。歩行者が辿るルートが属する街とは、「渋谷」や「原宿」といった名称で区切られるエリアのことを差し、その境界は明確には定義されず、歩行者による。

### 4-3. 実験結果3 / 被験者属性

実験の最後に行ってもらった、被験者個々人の属性や空間認知に関する傾向を探るアンケートの結果を示す。属性結果は、前章で述べた通り。

#### 1 : 方向感覚自己評価結果

表4-3-1 : 方向感覚採点 記述統計

平均	54.85
標準誤差	2.2516
中央値 (メジアン)	53.5
最頻値 (モード)	49
標準偏差	10.07
分散	101.4
範囲	36
最小	36
最大	72
合計	1097
標本数	20

5段階評価 20 項目、採点方法は 1 段階を 1 点と換算し、20 点から 100 点で採点。点数が低いほど、方向感覚が自分で優れていると認識しているものとする。合計得点の基本統計データは表 4-3-1 の通り。有効回答人数は 20。

表 4-3-1 から、方向感覚の自己評価指標は、中立付近で十分ばらついており、問題のないことが示された。

#### 2 : 街歩きの傾向に関する自己評価項目

表4-3-2: 街歩きの傾向  
記述統計

平均	25.2
標準誤差	0.9503
中央値 (メジアン)	25.5
最頻値 (モード)	27
標準偏差	4.2501
分散	18.063
範囲	16
最小	17
最大	33
合計	504
標本数	20

前章で述べた通り、普段歩きながら、街の風景にどれくらい気を配っているか、細部まで目を凝らしているか自己評価を行ってもらった 5 段階評価 7 項目を作成した。1 段階につき 1 点を割りあて、最低 5 点から 35 点満点で採点。結果を表 4-3-2 に示す。有効回答人数は 20 人。結果より、被験者全体として普段の街歩きにおいても、街の風景に注意を払いながら、歩いていることがわかった。特に今回の実験で重要になる「知らないところでは、できるだけ目印となるものを見つけようとする。」に対する 5 段階評価に対して、平均 3.85 と、被験者全体では、目印を道案内において見つけようとする傾向にあることがわかった。

### 3：街歩き視点の調査

普段道を歩いている際に、どのようなものに目を留めているかを調査する項目 28 に関する結果を示す。回答が得られなかった 2 人を除き、有効回答人数は 18 人。順位づけを行うと、1 番は「建物」で 9 人。2 番は「看板や広告」で 7 人。残る 2 人は、「道路または、道路の形状」であった。その他の項目の「歩行者」「空」「街灯やポストなどのストリートフアニチャア」に最も目を留めると回答した被験者はいなかった。

#### 4-4. 第4章 総括

4 章に本論文の手法である実験の、結果概要を示した。挙げた目印と目印選出理由、被験者属性の主となる 3 つに関して、被験者 20 名全員の結果が欠損値なくそろった。

被験者が挙げた目印数と頻度、またその位置を示した。挙げた目印に関して、実験前調査で予測されたことより、目印の挙がる頻度は多かった。また、被験者属性が異なっても、被験者に共通して挙げられる目も多かった。ルートと比較すると、目印数はルート 1・3・4 がほぼ同一であった。ルート 2 のみ少ない。頻度をみると、特に、ルート 2 では、多数の人が共通して同じ目印を挙げる傾向にあったことがわかった。1 度目と 2 度目では、目印頻度の割合にあまり差がみられないことが示された。

また、被験者の目印選出理由をキーワードとしてまとめ、考察を加えた。特に、「(周囲との) 色 (の対比)」が際立ってキーワードの頻度として挙がった。目印が目立つ要因は多岐にわたり、どれも、目印となる場合、周囲と比較を行っていることを示唆する内容であった。既往研究に載らない様々な角度から、対象を目印として比較していることが分かった。

また以下表に示すように、対象を比較している範囲が幾つかに分類されることが示された。

目印と「周囲」の比較対象範囲	実際の被験者の音声
見渡せる範囲 (半径 5 m 前後)	「このあたり」「今見えているところで」
1 ルート (350 m 前後) (目印を挙げる場所までに歩いてきた道)	「このルートで」
実験対象地 (目印を挙げる場所までに歩いてきたルート)	「この辺で」「この住宅街で」「今まで歩いてきたところで」
被験者の「住宅街」での記憶	「住宅街では」
被験者の経験・記憶	「今まで」「初めてみた」

被験者個々人の属性や空間認知に関する傾向を探るアンケートの結果では、被験者の方向感覚に偏りがなかったことが示された。普段の街歩きにおいても、街の風景に注意を払いながら、歩いていることも示された。また、「建物」と「看板や広告」に特に着目していることがわかった。

以上のように、とても興味深い実験結果を示すことができた。

次章第5章と6章で、4章に示した結果から、より詳細な分析と考察を示す。

第5章では、街路空間全体から、目印が選出される傾向と要因を探る。第6章では、目印として建物が選出された場合に焦点を当て、その傾向と要因を探る。

## 第5章 街路空間で選ばれるランドマークの特徴

本章では、前章第4章で示された実験結果に対し、分析と考察を行う。本章では、街路空間より被験者が選出した目印の傾向と要因を探る。本章で示される目印とは、背景から際立った全てを示し、その傾向を探る。

手法として、第1に、実験結果から得られた目印を性質ごとに分類分けし、その特徴を探る。第2に、道路形状などの街路空間の構造に着目し、目印の選出との関連性を調べる。第3に、目印を、目印頻度ごとにグループ分けを行い、各目印群の特徴を探る。

### 5-1. 分類別でみるランドマークの特徴

#### 5-1-1. ランドマークの分類

被験者が挙げた目印から、建物以外に様々な目印が挙げられた。それらを種類別に分類した結果を以下の表5-1-1にまとめる。図5-1-1に目印種類別のイメージ図を示す。

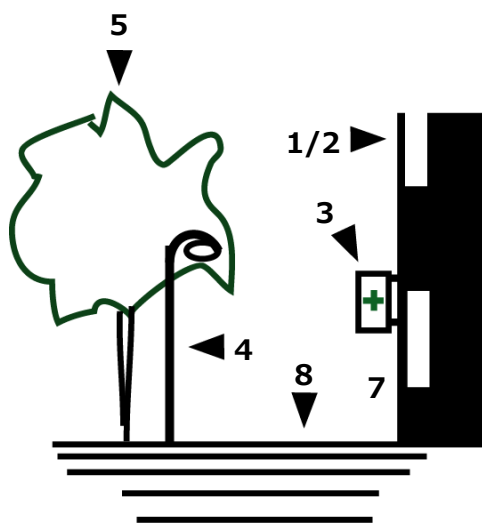


図5-1-1. 目印種類別分類イメージ図

表5-1-1. 目印種類別分類とアイコン

目印分類 番号	種類	アイ コン
1	用途が居住である建物	
2	用途が居住以外の建物	
3	看板や表札など文字情報	
4	ポストや街灯など 道に置かれているもの	
5	駐車場など空き地	
6	植生	
7	塀やドアなど建物に付随している もの	
8	道路またはその形状	
9	車や自転車などの乗り物	

分類番号1の用途が居住である建物は、戸建てとマンション、アパートなど全住宅タイプを含む。用途が居住以外の建物には、幼稚園・教会・商店が例として挙げられる。

分類番号7の建物に付随しているものと、分類番号4の道に置かれているものでは、その所有の如何に関わらず、住宅ファサード面に付属するもの・ないもので区別する。例えば、同じササキさんの家のものでも、インターホンについている小人の置物は分類番号7とし、路上に置かれたたぬきの置物は分類番号4に属するとする。表札は、ファサードに付随しているが、文字情報であるという要因が大きいので、分類番号3に区分する。

分類番号6の植生は、木や壁に這うつたや、花など、植物全般を差し示す。例えば、壁から伸びた一輪のバラも、竹林も同じ分類番号6に属する。分類番号5の空き地は、月極め駐車場や建設予定の空き地を差す。分類番号8の道路またはその形状とは、道路を被験者が差し示した場合である。例えば、道路に描かれたペイントや、道路の舗装や違い、ジグザグした道路でも同じ分類8でる。道路上のペイントに文字情報が含まれていた場合でも、分類番号8に属する。分類番号9の乗り物は、線路上を走る電車も含める。以上で全ての被験者が挙げた目印全てを分類分けすることができた。

5-1-2. 分類別でみる目印数/目印頻度

表5-1-2. 目印分類別  
/目印の数 記述統計量

平均	30.77778
標準誤差	8.447185
中央値 (メジアン)	26
標準偏差	25.34156
分散	642.1944
範囲	80
最小	4
最大	84
合計	277
標本数	9

前述したデータによって、目印を分類した際の、数の比較を行った。表5-1-2に記述統計量を示す。

目印総計 277 個 (種類)、うち、1つの分類に対する平均は 31 個 (種類) である。

図5-1-2に、分類でわけた目印数の比較グラフを示す。

内訳をみると、居住用途の建物が 84 個と最も目印として種類が多い。次に挙げた種類が多いのは、看板や表札などの文字情報で 56 個ある。付録の音声データを参照すると、駐車場の看板やポスター、地域の安全を呼び

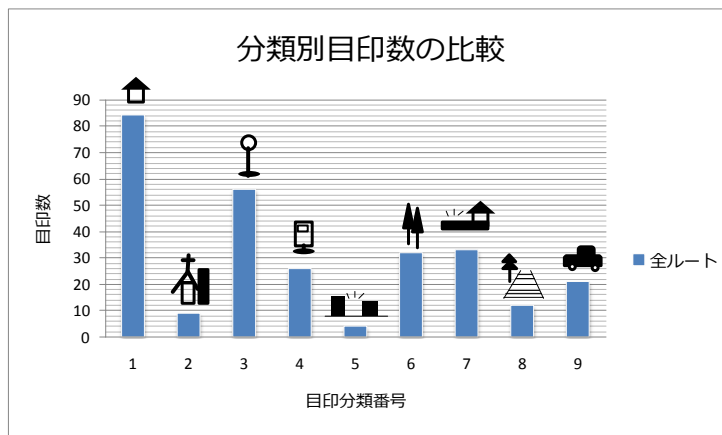


図5-1-2. 目印分類別/被験者が挙げた目印の数 比較

掛ける類のものが多い。また、マンションなどの看板で目立つものも多く挙げられている。実験対象地が住宅街であるので、商業的な看板が少ないのにも関わらず、2番目に種類が多く挙げられているのは、文字情報の道案内における有効性を示唆しているのではないかと考える。

次順位では、植栽が 32 個、建物に付随する塀やドアやインターホンなどが 33 個と続く。居住以外の建物や、空き地が挙げられる数 (種類) が少ないのは、ルート上全体として数が少ないことに関連する。ルート上に道路はずっと続いているものであるが、同じグレーのアスファルト舗装 (前章のルート写真参照のこと) が続き、ペイント等、異なる箇所は少なかったため、数が少ないと考えられる。実験対象地に存在するものの母数が異なることから、その数を反映している結果であるとも考えられる。

次に、分類別に、目印頻度の比較を行う。ここで、1度目と2度目両方で被験者が目

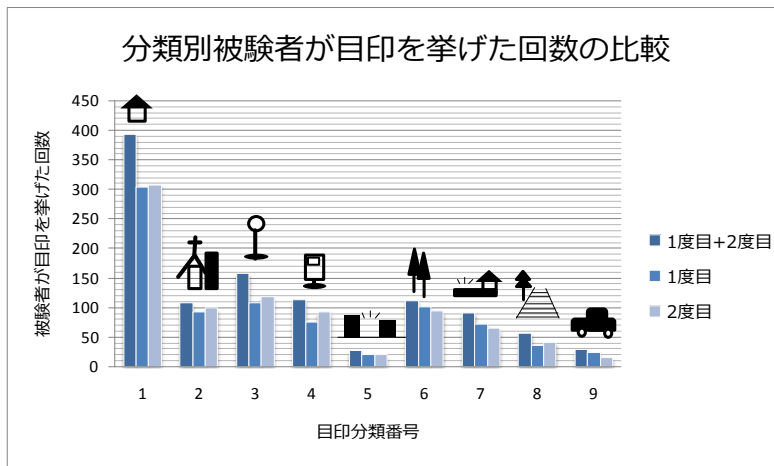


印を挙げた回数を扱った記述統計量を表5-1-3に示す。図5-1-3に1度目\*、2度目、\*そしてその合計の目印頻度をそれぞれ、比較したグラフを示す。（\*前章でも述べた通り、「①被験者は、決められたルートを移動しながら、目印に役立つと考える対象を挙げる」実験を差す。同様に、「2度目」とは、「②ルートのスタート地点まで戻り、①で歩行し学習したルートを再度繰り返し歩く。実際に進む方向と、目印となる対象を声に出しながら、案内を行ってもらう」実験を差す。）

表5-1-3. 目印分類別  
／目印頻度 記述統計量

平均	4.727986
標準誤差	1.031319
中央値（メジアン）	4.307692
最頻値（モード）	4.666667
標準偏差	3.093958
分散	9.572573
範囲	10.61905
最小	1.380952
最大	12
合計	42.55188
標本数	9

目印頻度は、目印数の傾向を反映している。関連して、用途が居住である建物が回数挙げたことがわかった。1度目と2度目を比較する。その割合も回数にも大きな変化が見られなそうであることがグラフからわかる。すなわち、1度目においても2度目においても、同じ分類を示す目印は同頻度で挙げられると仮定される。判定のため、カイ2乗検定を行った。自由度8で検定の結果有意確率は0.99であったため、有意水準5%の判定で、有意と示されなかった。「よって、1度目／2度目、或いはその合計で出



た頻度でも、分類番号における傾向は一定である」といえることがわかった。よって、目印として目につくものは、被験者がより環境に慣れた場合でも、その種別に変化は見られないことが分かった。

図5-1-3. 目印分類別／目印頻度 比較

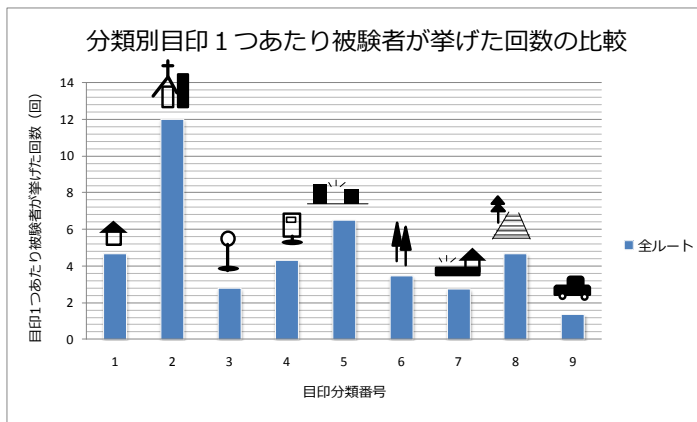


図5-1-4. 目印1つ当たり被験者が挙げた回数 分類別比較

目印1つあたり被験者が挙げた回数の分類ごとの比較を、図5-1-4にグラフを示す。分類番号2：居住以外の用途の建物に対して、平均の4.7回の3倍に近い値が示された。1つの建物に多数が目印

として役立つと判断をしたことがわかる。次、平均を上回る分類番号6の空き地等であるが、これも住宅とは用途が異なるものとしてみなすことができる。住宅とほぼ同スケールかそれ以上の、住宅とは用途が異なる場所が目印として役立つと判断されたことが明らかになった。平均以下に焦点を当てると、番号6の植生が3.5回、番号3の看板と、番号7のファサードに付随している塀やドア等が2.8回となっている。最小値は、分類番号9の乗り物で1.38回、被験者はみんな1回か2回挙げるか程度である。被験者それぞれによって、挙げるものにばらつきがでたのか、もともと挙げた回数が少ないかのどちらかである。看板は、目印数としては多く挙げられていたので、分散している可能性が高い。

### 5-1-3. 分類別でみる目印数/目印頻度 総括

道案内に役立つ目印は種別すると、多種類に渡ることが示された。既往研究では、建物をランドマークとして焦点を当てる研究が多かった。実際の街路空間において、被験者が目印として選出しているものは、建物に限定されていないことがわかった。

これは、人が、環境の認知を、建物より人に近いスケールで行っているためであると考えられる。建物でも、建物に付随するものや表札看板など、より詳細に対象を目印として認知している。

認知している被験者の属性が異なり、目線が異なっても、多数の目印が共通して挙げられた。それは、対象が、目印として共通に認識される強い要因を持っているからである。

分類した目印それぞれにどのような特徴がみられるのかを分析する。

5-1-4. 分類別にみる各ルートでの傾向

表5-1-4. 各ルートにみた目印数の比較 記述統計量

目印の種類 (数)	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	全ルート
平均	8.1111111	5.8888889	8.5555556	8.2222222	30.777778
標準誤差	2.6637716	1.4761478	1.9938176	2.8322438	8.4471852
中央値 (メジアン)	6	4	9	5	26
標準偏差	7.9913147	4.4284434	5.9814528	8.4967314	25.341556
分散	63.8611111	19.6111111	35.7777778	72.1944444	642.19444
範囲	24	13	17	27	80
最小	0	1	1	1	4
最大	24	14	18	28	84
合計	73	53	77	74	277
標本数	9	9	9	9	9

次に、被験者がルート1からルート4において、着目していた目印の傾向を探る。ルート分類ごとに目印が挙げられた数(種類)を割合に換算し、ルート1からルート4のルートごとに分け比較を行った。

各ルートにみた目印分類の分布グラフを図5-1-5に示す。

目印の数(種類)は、1度目と2度目で挙げられた目印の述べ数で、占める割合を算出している。(表5-1-3. 目印分類別/被験者が挙げた回数 記述統計量を参照のこと)

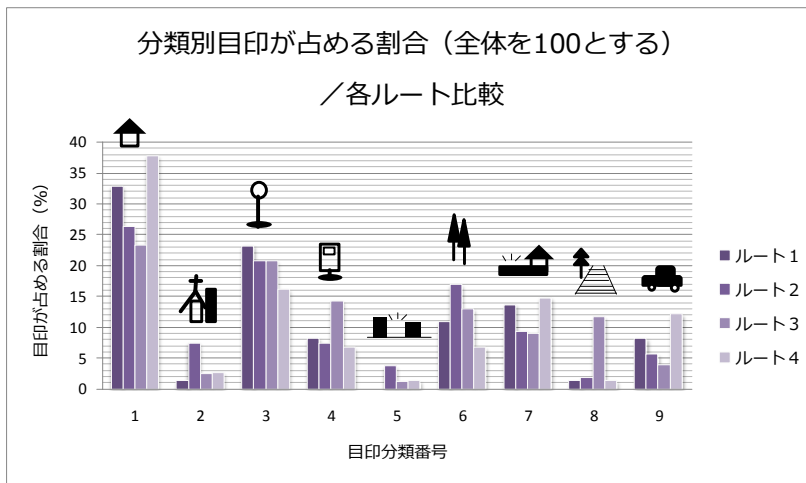


図5-1-5. 各ルートにみた目印分類の分布グラフ (目印数)

表5-1-5. ルート番号と目印分類のクロス集計結果

分類番号とルート番号の加表							
分類番号		ルート番号				合計	
		1	2	3	4		
1	度数	24	14	18	28	84	
	分類番号の%	28.6%	16.7%	21.4%	33.3%	100.0%	
	ルート番号の%	32.9%	26.4%	23.4%	37.8%	30.3%	
	総和の%	8.7%	5.1%	6.5%	10.1%	30.3%	
	残差	1.9	-2.1	-5.4	5.6		
	標準化残差	0.4	-0.5	-1.1	1.2		
	調整済み残差	0.6	-0.7	-1.6	1.6		
	2	度数	1	4	2	2	9
	分類番号の%	11.1%	44.4%	22.2%	22.2%	100.0%	
	ルート番号の%	1.4%	7.5%	2.6%	2.7%	3.2%	
総和の%	0.4%	1.4%	0.7%	0.7%	3.2%		
残差	-1.4	2.3	-0.5	-0.4			
標準化残差	-0.9	1.7	-0.3	-0.3			
調整済み残差	-1.1	2.0	-0.4	-0.3			
3	度数	17	11	16	12	56	
	分類番号の%	30.4%	19.6%	28.6%	21.4%	100.0%	
	ルート番号の%	23.3%	20.8%	20.8%	16.2%	20.2%	
	総和の%	6.1%	4.0%	5.8%	4.3%	20.2%	
	残差	2.2	0.3	0.4	-3.0		
	標準化残差	0.6	0.1	0.1	-0.8		
	調整済み残差	0.8	0.1	0.1	-1.0		
	4	度数	6	4	11	5	26
		分類番号の%	23.1%	15.4%	42.3%	19.2%	100.0%
		ルート番号の%	8.2%	7.5%	14.3%	6.8%	9.4%
総和の%		2.2%	1.4%	4.0%	1.8%	9.4%	
残差		-0.9	-1.0	3.8	-1.9		
標準化残差		-0.3	-0.4	1.4	-0.7		
調整済み残差		-0.4	-0.5	1.7	-0.9		
5		度数	0	2	1	1	4
		分類番号の%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	100.0%
		ルート番号の%	0.0%	3.8%	1.3%	1.4%	1.4%
	総和の%	0.0%	0.7%	0.4%	0.4%	1.4%	
	残差	-1.1	1.2	-0.1	-0.1		
	標準化残差	-1.0	1.4	-0.1	-0.1		
	調整済み残差	-1.2	1.6	-0.1	-0.1		
	6	度数	8	9	10	5	32
		分類番号の%	25.0%	28.1%	31.3%	15.6%	100.0%
		ルート番号の%	11.0%	17.0%	13.0%	6.8%	11.6%
総和の%		2.9%	3.2%	3.6%	1.8%	11.6%	
残差		-0.4	2.9	1.1	-3.5		
標準化残差		-0.1	1.2	0.4	-1.2		
調整済み残差		-0.2	1.4	0.5	-1.5		
7		度数	10	5	7	11	33
		分類番号の%	30.3%	15.2%	21.2%	33.3%	100.0%
		ルート番号の%	13.7%	9.4%	9.1%	14.9%	11.9%
	総和の%	3.6%	1.8%	2.5%	4.0%	11.9%	
	残差	1.3	-1.3	-2.2	2.2		
	標準化残差	0.4	-0.5	-0.7	0.7		
	調整済み残差	0.5	-0.6	-0.9	0.9		
	8	度数	1	1	9	1	12
		分類番号の%	8.3%	8.3%	75.0%	8.3%	100.0%
		ルート番号の%	1.4%	1.9%	11.7%	1.4%	4.3%
総和の%		0.4%	0.4%	3.2%	0.4%	4.3%	
残差		-2.2	-1.3	5.7	-2.2		
標準化残差		-1.2	-0.9	3.1	-1.2		
調整済み残差		-1.4	-1.0	3.7	-1.5		
9		度数	6	3	3	9	21
		分類番号の%	28.6%	14.3%	14.3%	42.9%	100.0%
		ルート番号の%	8.2%	5.7%	3.9%	12.2%	7.6%
	総和の%	2.2%	1.1%	1.1%	3.2%	7.6%	
	残差	0.5	-1.0	-2.8	3.4		
	標準化残差	0.2	-0.5	-1.2	1.4		
	調整済み残差	0.2	-0.6	-1.4	1.7		
	合計	度数	73	53	77	74	277
		分類番号の%	26.4%	19.1%	27.8%	26.7%	100.0%
		ルート番号の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
総和の%		26.4%	19.1%	27.8%	26.7%	100.0%	

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	35.402 <sup>a</sup>	24	.063
尤度比	33.420	24	.096
線型と線型による連関	.142	1	.706
有効なケースの数	277		

a. 14セル (38.9%)は期待度数が5未満です。最小期待度数は.77です。

図5-1-6. ルート番号と目印分類  
カイ二乗検定結果

カイ2乗検定結果を図5-1-6に示す。カイ二乗値は35.402、自由度24で0.063であり、有意確率は、0.063であった。有意水準を5%としたとき、有意な差は見られない。しかし、近い値を示している。

クロス集計で、それぞれのルートに見られた特徴を捉える。また、分類番号とルート番号を対応させた、クロス集計結果を表5-1-5に示す。

割合をみると、全ルートにおいて、住宅が最も種類が多い。クロス集計表より、ルート1は、看板や表札と、塀やドアなどの目印の種類が他のルートより多く分布していることがわかる。全体として、被験者は住宅にあるものや、住宅それ自体に着目している傾向があるのかもしれない。ルート2では、用途が居住以外の建物と駐車場が他ルートより多く、反映して実際に目印として挙がる種類も多くなった。また、被験者の感想としても「ルート2は緑が多かった」と何人か答えていたが、

種類としても植生が全ルートで一番多種類挙がっている。ルート3では、住宅が挙がった種類が少なく、割合は、道路や道に置かれているものに移っている。これは、ルート3の道の特徴をそのまま反映していると考えられる。ルート3は、道の真ん中に並木が続く特徴的な遊歩道がルートの半分近く続いている。また、先ほども述べた通り、この遊歩道には、進行方向先に、道路にペイントや車両止めといった、歩行を妨げるようなものが多く

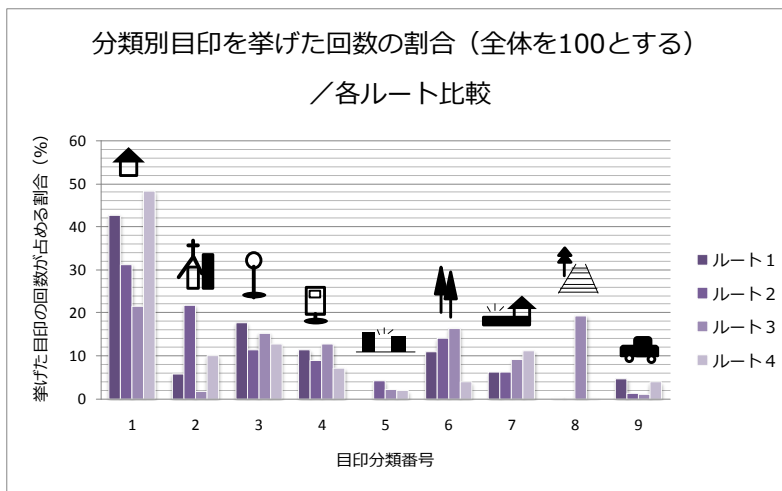
表5-1-6. 各ルートにみた目印頻度の比較 記述統計

回数	ルート1	ルート2	ルート3	ルート4	全ルート
平均	26.333333	29.888889	30.333333	33.666667	120.22222
標準誤差	10.322575	9.0821015	7.1860204	14.701663	36.835889
中央値 (メジアン)	15	28	35	22	108
標準偏差	30.967725	27.246305	21.558061	44.104988	110.50767
分散	959	742.36111	464.75	1945.25	12211.944
範囲	101	85	56	145	366
最小	0	1	3	1	26
最大	101	86	59	146	392
合計	237	269	273	303	1082
標本数	9	9	9	9	9

存在している。実際に

被験者の感想としても、「ルート3は、まん中の木や道路ばかりに目が行って、周りの住宅にあまり目がいかない」と答えた被験者は多かった。こうした被験者の空間を見る視点が、そ

のまま道案内に役立つ目印の数として反映された事実は非常に興味深い。ルート4では、ルート3とは対照的に全体として住宅が目印として種類が多かった。また、他のルートと比較すると、住宅に停車している車が多く挙がった。塀やドアなど住宅面に付随するものも目印として多く挙げられていたことを考えると、ルート1と同様、全体として被験者は住宅面に着目している傾向があるのではない。



目印の数 (種類) の次に、被験者が目印を挙げた頻度を分類別、ルートごとに比較を行う。ここでも1度目と2度目両方で挙げられた回数を、目印頻度として扱う。記述統計量を、表5-1-6

図5-1-7. 各ルートにみた目印分類の分布グラフ (目印頻度)

に示す。目印頻度を各ルートで挙げた回数を100としたときの割合のグラフを図5-1-7に示す。前述の目印の種類数を反映している傾向が強い。ルート1では、住宅と共に、看板や表札が多く挙げられていることがわかる。塀などファサード面にあるものは、種類数ほど割合が高くなかったため、個人的に挙げる被験者が多かったようである。空き地や道路を挙げた被験者はほとんどいない。ルート2では、前述の通り、用途の違う建物に多くの被験者が集中していることから、住宅に近い割合で、幼稚園やクリーニング店などが挙げられた。植生を挙げた被験者の数も、全ルート相対的には多い。ルート3では、住宅が全ルート相対的にも、ルート3内での割合でも少なく、道、看板や表札、ストリートファニチャ、植生が多く挙げた。これは前述のとおり、ルート道の空間構造によるところが大きいのではないかという考えをより裏付ける結果である。ルート4では、住宅の回数が全ルート比較で高い割合を占めている。ルート4における住宅では他ルートと比較して住宅が目につきやすい構造であったことが予測される。

#### 5-1-5.分類別でみる各ルートでの傾向 総括

ルートごとで、目につく目印が違う有意な判定結果は示されなかったが、有意に近い値は示された。目印数と目印頻度ともに、ルートによって挙げる目印の種類は異なるようである。

詳細にみると、ルート1では、看板や表札と、塀やドアなど住宅にあるものや、住宅それ自体が目印として挙げる傾向にあった。対照的に、ルート2では、住宅続きの中で、用途が居住以外の建物と駐車場、そして植生など、住宅以外のものが目印として挙げる傾向にあった。ルート3では、住宅が挙げた種類が少なく、割合は、道路や道に置かれているものに移っている。これは、ルート3の道の特徴をそのまま反映していると考えられる。ルート4では、住宅と、住宅に停車している車、塀やドアなど住宅面に付随するものが挙げる傾向にあった。ルート1同様、住宅のファサードに着目している傾向があるのではないか。

ルートによって目につく目印が違うことは、道の特性によることがわかった。目印として挙げる対象の種類に、優先順位はなさそうである。人が認知する環境によって、建物が目についたり、看板が目についたり、と変わってくるのではないか。しかし、その変化は1人だけではなく、多数の人にも共通してくることがわかった。

## 5-2.分類と被験者の目印（ランドマーク）選出理由

被験者が「4-2-1. 被験者の目印選出理由」で挙げたキーワードを、目印の分類ごとにまとめた。上位キーワードを探ることで、各分類の目立つ要因を探る。

### 5-2-1. 分類別でみる目印選出理由

上位に挙がるキーワードを、以下に挙げる。

#### ① 分類番号1：用途が居住の建物

表5-2-1. 分類番号1 上位キーワード

KEYWORD	回数
（周りとの）色の対比	118
周りより大きい/広い	42
（周りで）珍しい/あまりない/ほか にない/今までにない/	38
素材/質感	34
2色の対比/コントラスト	22
曲がり角にあるから	20
新しい	16
見えている時間が長い/目の高さ にある	15
形	15
連想させる/(記憶を呼び戻す)	15
洋風な/日本ばくない/ローマ字	14
周りが一軒家なので	13
ガラスが多い/窓が大きい	13
読みやすい	13
開放的/開けている	11
きれい	11
（経験した中で）珍しい/みたこと ない/独特/変わっている	10
同じものが連続していたから	8
自然的な/木が生い茂る	8
デザイン	7
かわいい	7
直線的/四角/カクカク	7

表5-2-1 に、分類番号1：用途が居住である建物 を挙げた理由から抽出した、上位キーワードを示す。上位3つに示されるとおり、周囲と比較して特徴がある傾向が極めて強いと考えられる。

住宅の「（周りとの）色の対比」が群を抜いて多い。「（周りで）大きい」が半数以下で次順位と、住宅同士の色と大きさを比較すると、色が特徴立っていると答えた被験者が確実に多いことがわかった。「（周りで）珍しい/あまりない/ほか」が38回である。これは、何の特徴を特にほかと比較しているかは、はっきりと差し示していないが、周りと比較を行っていることがはっきり示されている。

住宅の「素材/質感」が34回で、ほぼ同回数であがっている。これは、被験者音声を参照すると、コンクリート打ちっぱなしであるなどのファサードの素材を差す場合が多い。次順位「2色の対比」は、前章で挙げたのと

同様、例えば、単に「グレーのおうち」ではなく、「グレーとオレンジの窓枠の色の対比が目についた」と挙げている被験者を差す。

「曲がり角にある」「目の高さにある」と建物の目立つ要因を指摘した Raubal (2003) からの既往研究では「構造要因」と分類された理由も挙げた被験者も多い。16 回挙げた「(周りと比較して) 新しい」は、住宅の経過年数を素材や形などから推測していると考えられる。「(何かを) 連想させる」も上位に挙げた。これは、同既往研究では、「意味要因」としての分類に近い。「形」がどのような要素で変わっていると捉えたかは明確ではないが、既往研究でもある通り、目印の選出には、重要となりそうである。

その他「読みやすい」とは、「表札」を示している。「看板の有無」と同義である。

「開放的である」ことや、「自然的」「きれい」「かわいい」であるなど、被験者は、住まいとしての魅力の特徴として捉えていることもわかった。

以上をまとめると、視覚的要因として、第一に、「色」、次に「大きさ」「素材/質感」「形」が、既往研究と共通して挙げられている。新たに、本実験の調査では、1色と周囲だけでの比較ではなく、「2色の組み合わせ」という視点と、「新旧の対比」という建物の経過年数という新たな視点が挙げられた。構造要因としては、曲がり角にある、など既往研究に挙げられている通りである。そのほかに、住宅街では「住まいとして優れているか」も、目印として役立つ要因の一つに挙げられそうであることが分かった。

② 分類番号 2 : 用途が居住以外の建物

表 5-2-2. 分類番号 2 上位キーワード


KEYWORD 	回数
住宅街なので	32
(周りとの) 色の対比	29
(周りで) 珍しい/あまりない/ほかにない/今までにない/	21
開放的/開けている	11
自然的な/木が生い茂る	11
周りより大きい/広い	9
同じものが連続していたから	7

表 5-2-2 に、分類番号 2 : 用途が居住以外の建物を挙げた理由から抽出した、上位キーワードを示す。1 番上位が、「住宅街なので」とは、住宅続きで違う用途の建物が出てきたことを示している。かつ、ほぼ同数で「色」が出てきている。さきほど、同じ用途で比較した場合、「色」が最も挙げられた。建物が目印として役立つには、色と同様に「用途」が異なることが重要となりそうである。他に、「開けている」「自然的な」といったキーワード

は、公園や広場などが目についたことから多く挙げられたと考えられる。



③ 分類番号3：看板などの文字情報

表5-2-3. 分類番号3 上位キーワード

KEYWORD 	回数
(周りとの) 色の対比	30
読みやすい	26
(周りで) 珍しい/あまりない/ほかにない/今までにない/	15
曲がり角にあるから	12
見えている時間が長い/目の高さにある	12
連想させる/(記憶を呼び戻す)	9
絵柄	7
想像と実際が異なるから	5
不思議に思う/疑問を感じる	4
同じものが連続していたから	4
みんな知っている	3
周りより大きい/広い	3
字体が特徴的	3

表5-2-3に、分類番号3：看板などの文字情報を挙げた理由から抽出した、上位キーワードを示す。色が一番に挙がる。これは、看板等が目につくように色を工夫しているといえる。看板としての特徴である、「読みやすい」「字体が特徴的」なども挙げられている。「疑問を感じる」や「想像と実際が異なる」などから、言葉が持つ意味に対して何かを連想する被験者が多いこともわかる。以上をまとめると、看板や表札などが目印として周囲から際立つには、色を周りと変える/読みやすさ/目につく位置にある/絵をつける/文章にインパクトをつけるなどが重要そうである。

④ 分類番号4：道におかれているもの

表5-2-4. 分類番号4 上位キーワード


KEYWORD 	回数
(周りとの) 色の対比	41
(周りで) 珍しい/あまりない/ほかにない/今までにない/	12
(経験した中で) 珍しい/みたことない/独特/変わっている	11
同じものが連続していたから	10
絵柄	6
曲がり角にあるから	4
あるべきところがない/意外なところにある	4

表5-2-4に、分類番号4：道に置かれているものを挙げた理由から抽出した、上位キーワードを示す。

赤い消火器が目立つように、色は目印として役立つ重要な要因であるようだ。かつ、実験対象ルートでも経験上でも、あまりみかけないものであった場合、特定できることから目印として役立つと判断したケースが多かったようである。「同じものが連続していたから」も10回と比較的多く挙げられていたが、これは、街灯や、車両止めなど、連続して置かれているものが多いことによるものだと考えられる。以上をまとめると、道に置かれているものが道案内に役立つ目印となるには、色を周りと変える/同じものを連続させる/絵をつけることが重要そうである。

⑤ 分類番号5：駐車場などの空き地

表5-2-5. 分類番号5 上位キーワード

KEYWORD	回数
開放的/開けている	13
住宅街なので	11
周りが一軒家なので	2

表5-2-5 に、分類番号5：駐車場などの空き地を挙げた理由から抽出した、上位キーワードを示す。周りの住宅の多さや密度に対して、被験者が目印として役立つと判断したことがわかった。

⑥ 分類番号6：植生

表5-2-6. 分類番号6 上位キーワード

KEYWORD	回数
(周りで) 珍しい/あまりない/ほかにない/今までにない/	26
(経験した中で) 珍しい/みたことない/独特/変わっている	21
周りより大きい/広い	17
(周りとの) 色の対比	13
道にはみ出していた/せり出していた	7
自然的な/木が生い茂る	7
曲がり角にあるから	6
見えている時間が長い/目の高さにある	6
連想させる/(記憶を呼び戻す)	4
あるべきところがない/意外なところにある	4

表5-2-6 に、分類番号6：植生を挙げた理由から抽出した、上位キーワードを示す。上位は、周辺が住宅街であるので、植生が多い場所があまりないことと、普段被験者があまり目にしない種類の木や草花であることが要因として考えられる。植生の緑を独立として捉え、色の対比の重要性は、被験者にとって人工物同士に用いられると考えられる。植生では、「道にせり出していた」や、「見えている時間が長い」などの位置も重要となりそうである。

⑦ 分類番号7：ドアや塀など建物のファサードに付随しているもの

表5-2-7. 分類番号7 上位キーワード

KEYWORD 	回数
(周りとの) 色の対比	27
(経験した中で) 珍しい/ みたことない/独特/変わっ ている	16
(周りで) 珍しい/あまり ない/ほかにない/今まで にない/	12
周りより大きい/広い	11
形	4
不思議に思う/疑問を感じ る	4

表5-2-7に、分類番号7：ドアや塀など建物のファサードに付随しているものを挙げた理由から抽出した、上位キーワードを示す。ここでも、最も上位が色・大きさを含む周囲との対比である。また、被験者の今までの経験から珍しいと感じたものも多いようである。

⑧ 分類番号8：道路またはその形状

表5-2-8. 分類番号8 上位キーワード


KEYWORD 	回数
同じものが連続していたから	14
(周りとの) 色の対比	13
絵柄	13
(周りで) 珍しい/あまりな い/ほかにない/今までにな い/	10
(経験した中で) 珍しい/み たことない/独特/変わっ ている	8
2色の対比/コントラスト	3

表5-2-8 に、分類番号8：道路またはその形状を目印として挙げた理由を抽出した、上位キーワードを示す。上位キーワードとして、「同じものが連続していた」「絵柄」が挙げられている。これは、ルート3にあった、道路上にペイントが連続していた場所を挙げた被験者が多かったことに関連すると考えられる。

⑨ 分類番号9：車など乗り物

表5-2-9. 分類番号9 上位キーワード










KEYWORD	回数
(周りで) 珍しい/あまりない/ほかにない/今までにない/	7
好き	5
(経験した中で) 珍しい/みたことない/独特/変わっている	4
(周りとの) 色の対比	3
興味がある	3

表5-2-9 に、分類番号9：車など乗り物を目印として挙げた理由から抽出した、上位キーワードを示す。既往研究では、乗り物のように動いてしまうものは、道案内に役立たないとされている。実験でも、特に車などは個人的に挙げるが多かった。そうした傾向を反映して「好き」という項目が上位に挙がった。また、個人の好み

だけではなく、周囲の中で或いは、経験した中で珍しい/あまりないという理由も挙げられた。停車している車や自転車をストリートファニチャと同等にみて、周囲にないことから位置を特定できると考えた被験者が多いこともわかった。

5-2-2. 分類別でみる目印（ランドマーク）選出理由 総括

表5-2-10. 分類ごと要因

分類番号	種類	アイコン	選出理由
1~9	全てに共通		色 大きさ 交差点にある 見えやすい位置にある 同じものが連続している 記憶との一致 特別な思い入れ/感情
1	用途が居住である建物		素材/質感 形 新しさ/古さ 住まいとしての優良さ 表札の有無 空地の多さ 洋風/和風 植栽の多さ 建物の用途
2	用途が居住以外の建物		空地の広さ 植栽の多さ 読みやすさ
3	看板や表札など文字情報		字体の特徴さ
4	ポストや街灯など道に置かれているもの		言葉の意昧性 絵柄
5	駐車場など空き地		
6	植生		
7	ヘイやドアなど建物に付随しているもの		形
8	道路またはその形状		絵柄
9	車や自転車などの乗り物		

全ての分類と目印の選出理由のまとめを表5-2-10に示す。

これは、対象と「周囲」との比較を行う項目をまとめたものである。表5-2-10には、全てに共通して挙げられた選出理由を、項目下半分にそれぞれの分類特有で挙げられた選出理由両方を示した。

被験者が目印を挙げた理由は、その分類に関わらず、周囲と比較して「色」「大きさ」「交差点にある」「同じものが連続している」「記憶との一致」「特別な思い入れ/感情」が際立っていたことに起因する。見た目にも全くスケールも形も名称も異なる目印でも、一貫したルールのもとに、被験者は対象を目印として選出したと考えられる。

また、建物に限定すると、既往研究で挙げた種類の要因に限ら

れなかった。新たに「建物の性能の優秀さ」「洋風・和風などテイストの違い」「持っている空き地の多さ」「植栽の多さ」なども、ランドマークとして認知する要因として挙げた。これは、人が建物に着目する際、どのような点を注意深く観察しているかの鍵となりそうである。

### 5-3. 道構造／位置でみるランドマークの特徴

#### 5-3-1. 道構造／位置でみる目印数／頻度の傾向

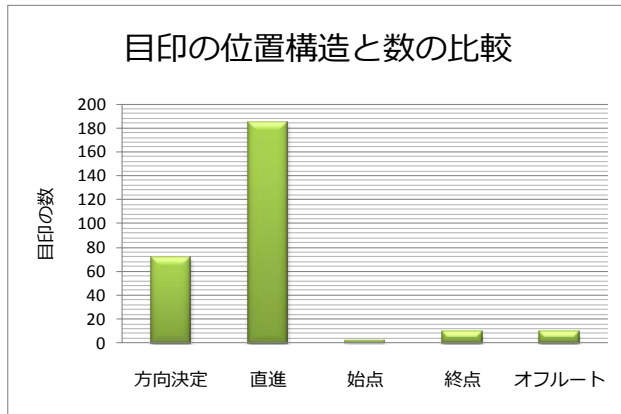


図5-2-1. 目印の位置／道構造と数の比較

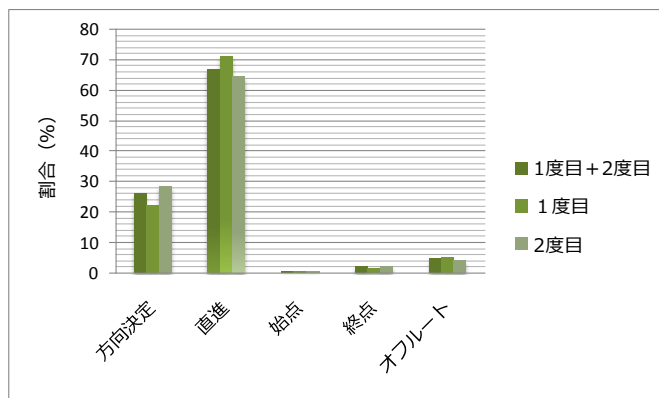


図5-3-2. 目印の位置／道構造と目印頻度

りではなく、直進する場面であっても、目印として役立つと被験者が判断する対象が多いことがわかった。2度目に歩く際は、特に道案内を行うということで、重要となる方向決

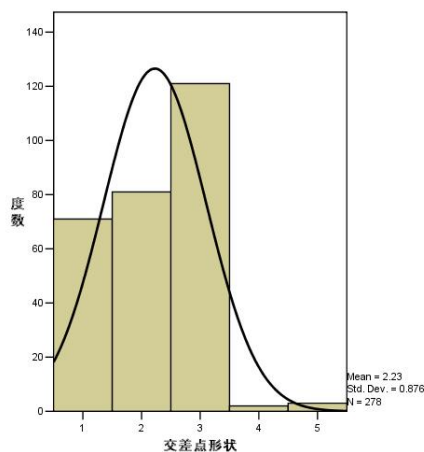


図5-3-3. 位置構造別目印数比較

既往研究でも、本実験におけるキーワード抽出でも、目印が道案内に役立つ重要な要素として道構造が挙げられていた。本実験で挙げた目印はどのような位置関係で挙げられたのかを調べることにする。特に方向を決定する際の目印が挙がること

が多いとされていることから、本実験でも、ルート上で「方向決定を行う」「直進する」「ルートの始点にある」「ルート終点にある」「ルート上にない」の5つの数の比較を行った。結果のグラフを図5-3-1・2に示す。図5-3-1は、目印の数の比較、図5-3-2は、被験者が挙げた頻度を割合に換算し比較したラフである。ルートの方向決定を行うポイントばかり

の箇所目印が集中すると実験前では予想したが、実際には1度目歩いた時よりも、方向決定の際に挙げた目印が多くなるとはいえないそうである。

ルートを移動する際、方向決定の箇所には、目印の挙げた数が変化しないことがわかった。しかし、方向決定しない場合でも、十字路やT字路の交差点にぶつかる場合、目印としての目立ち方

は異なるのではないかと考えた。そこで、次に、「1.交差点形状—方向転換なし」「2.交差点形状方向転換あり」「3.交差点でない—方向転換なし」「4.スタート」「5.ゴール」で分類分けを行った。全体での数の比較をヒストグラムとして、図5-3-3に示す。全体では、「交差点でない」ところで挙がった目印が最も多いことが示された。以上の結果は、目印として際立った1番重要要因が、道路の交差点にあることではないと考えられる。「5-2.ランドマークの分類と被験者の目印選出理由」でキーワード順位上位に挙げられたような色や、その他の要因が重要となってくるようである。

### 5-3-2. 道構造/位置と目印分類

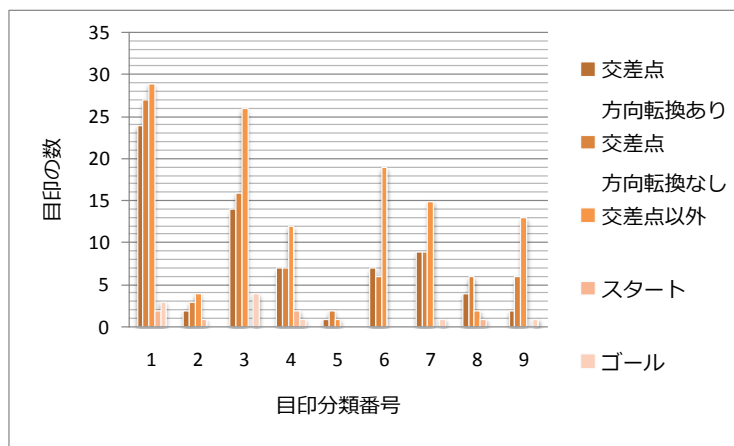


図5-3-4. 分類別目印数/道の構造比較

道の構造によって挙がる目印の種類に変化はないかみてみることにした。図5-3-4に、分類番号と目印数との比較のグラフを示す。それぞれの分類でみると、「交差点方向転換あり」「交差点方向転換なし」「交差点以外」の割合はあまり変化がないようにみられる。

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ2乗	25.778 <sup>1</sup>	32	.773
尤度比	27.031	32	.716
線型と線型による連関	.272	1	.602
有効なケースの数	277		

1. 26セル (.8%) は期待度数が 5未満です。最小期待数は .03です。

図5-3-5. カイ二乗検定結果 /道構造と目印の分類

より詳しく傾向をみるため、カイ2乗検定をおこなった。結果を図5-3-5に示す。カイ2乗値 25.7788、自由度 32で、有意確率は 77.3%である。有意水準を 5%とすると、差はないとなる。以上から、目印分類の違いは、位置構造の違いによらないとわかった。

### 5-4. 頻度でみるランドマークの特徴

頻度の高さは、すなわち、目印としての特徴が強く、多数の人に共通して挙げられやすいと言い換えることができる。目印は、その目印頻度で分けると、共通して認識される目印と、個人が着目する目印として捉えることができる。

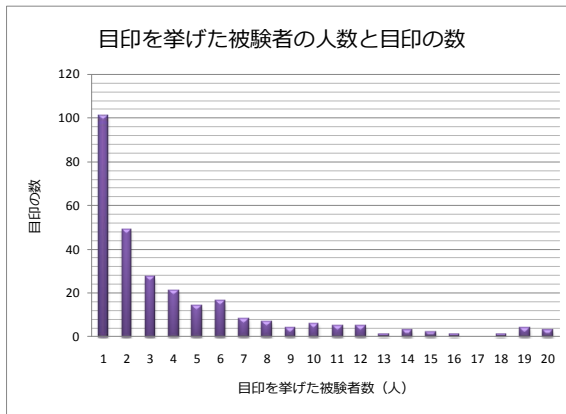


図 5-4-1. 目印頻度の分布

表 5-4-1. 目印頻度の分布

平均	13.9
標準誤差	5.2854816
中央値 (メジアン)	5
最頻値 (モード)	1
標準偏差	23.637392
分散	558.72632
範囲	101
最小	0
最大	101
合計	278
標本数	20

多数の人が共通して挙げる目印と、少数が挙げる目印にはどんな違いがあるのだろうか。単純に「多くの被験者が挙げる目印」と「目印として道案内に役立つ度合いが高い」はほぼ同義でありと推測できる。しかし、少数の人が挙げる目印も、周囲と比較すれば何らかの特徴があると仮定できる。ただ、個人によるか、多数の人によるかの違いであると考えられるかもしれない。ここでは、多数・少数の人が挙げる目印、それぞれの傾向を分析する。目印を挙げた被験者数に対応する目印の数のグラフを図5-3-1に示す。データの概要を、表5-4-1に示す。

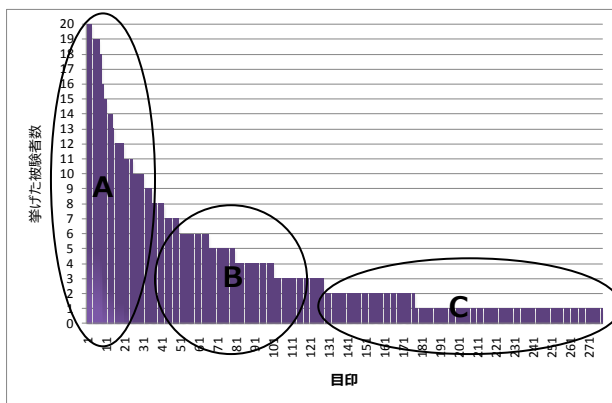


図 5-4-2. グループ分け

グラフの通り、少数の人が挙げた目印ほど、種類が多い。ここで、図5-4-2のように、多数が共通して挙げる目印群をグループA、中間層をB、少数の人が挙げる目印をC、としてそれぞれの傾向をみることにする。グループAに属する目印は、挙げた被験者数が10人以上20人以下である。グルー



グループBに属する目印は、挙げた被験者が3人以上10人未満のグループである。グループCに属する目印は、挙げた被験者数が1人か2人である。

### 5-4-1. 目印頻度と目印分類

A B Cグループの分類それぞれでの目印のうちの割合を図5-4-3 にグラフで示す。以下から、分類ごとに偏りが見られることがわかる。

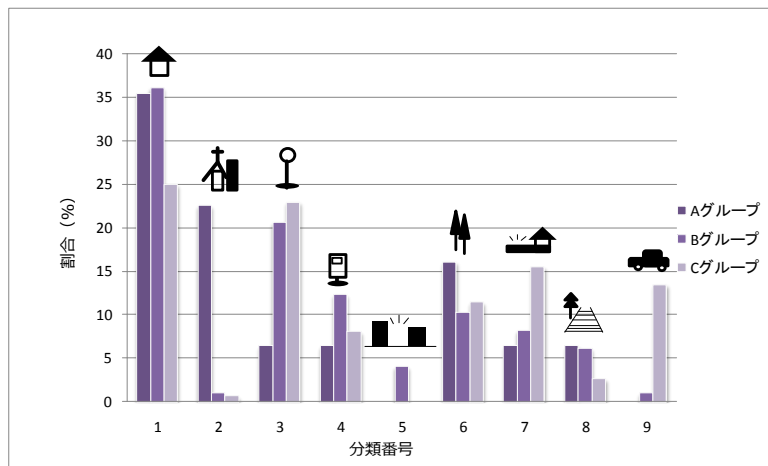


図5-4-3. 目印の分類分けA B Cグループの比較

よってクロス集計及びカイ2乗検定を行う。カイ二乗検定結果を図5-4-4に示す。極めて有意水準を5%とした場合、カイ二乗値が7/自由度16で極めて有意確率は0に近く、有意水準を満たす。よって、両者に関連があり、A B C

グループにおいて、分類番号の分布は全く一様でないことが示された。よって、クロス集計を行う。結果を表5-4-1に示す。クロス集計結果より、分類番号1住宅が属するのは際立ってBグループであり、Cグループでは少ない。分類番号2：住宅以外の用途の建物は、際立ってAグループに属する。分類番号3：看板や表札などの文字情報は、際立ってCグループに属している目印に多いと考えられる。分類番号4：道に置かれたものは、Bグループに属している目印に多い。分類番号5：空き地や駐車場はBグループのみに挙げられている。分類番号6：植栽は、A/Cが同じほどで、Bに属している目印には少ないといえる。分類番号7：ファサードに付随しているものは、際立ってCグループに属している目印に多い。分類番号8：道路は、Bグループに属している目印に多い。分類番号9：乗り物は、際立ってCグループに属する目印に多く見られる。

以上をまとめると、Aグループでは、住宅以外の用途の建物が目印として高い頻度で属している。反対に看板や表札などは少ない。Bグループでは、住宅や空き地、道路が目印として多く属している。反対に、ファサードに属するものや植栽が少ない。Cグループでは、

乗り物やファサードに付随しているもの、看板などの目印が多いことがいえる。そして、建物それ自体はほとんどCグループに目印として属していない。

これは、多数の人に共通して挙がる目印の特徴、或いは、より効果的な道案内を行う目印の特徴として、街全体を見渡した際に、用途が違うなど、瞬時に見て違いが区別できるものが大事であることがわかった。より詳細な建物のディテールや装飾など街を注意深く読みこんでいることで、対象は個人的な目印として道案内に使用される。よって、共通して挙がる目印から、個人による目印へと移行するほど、着目する街のコンテキストの細かさ

は細かくなっていき、そのスケールは小さくなっていくことがわかった。これは、個人によって挙げられる目印が、背景との対比をより必要としないことに関連することも考えられる。

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率 (両側)
Pearson のカイ2乗	76.689 <sup>a</sup>	16	.000
尤度比	64.565	16	.000
線型と線型による連関有効なケースの数	10.775	1	.001
	277		

a. 12 セル (44.4%) は期待度数が 5 未満です。最小期待度数は .45 です。

図5-4-4. 分類とABC カイ2乗検定結果

表5-4-1. 分類とABC クロス集計結果

		abcグループと分類番号のクロス集計表									合計
		分類番号									
abcグループ	分類番号	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00	8.00	9.00	
abcグループ	1.00 度数	11	7	2	2	0	5	2	2	0	31
	abcグループの%	35.5%	22.6%	6.5%	6.5%	.0%	16.1%	6.5%	6.5%	.0%	100.0%
	分類番号の%	13.1%	77.8%	3.6%	7.7%	.0%	15.6%	6.1%	16.7%	.0%	11.2%
	総和の%	4.0%	2.5%	.7%	.7%	.0%	1.8%	.7%	.7%	.0%	11.2%
	残差	1.6	6.0	-4.3	-9	-4	1.4	-1.7	.7	-2.4	
	標準化残差	.5	6.0	-1.7	-5	-7	.7	-9	.6	-1.5	
	調整済み残差	.7	6.4	-2.0	-6	-7	.8	-1.0	.6	-1.7	
	2.00 度数	35	1	20	12	4	8	8	6	1	95
	abcグループの%	36.8%	1.1%	21.1%	12.6%	4.2%	8.4%	8.4%	6.3%	1.1%	100.0%
	分類番号の%	41.7%	11.1%	35.7%	46.2%	100.0%	25.0%	24.2%	50.0%	4.8%	34.3%
	総和の%	12.6%	.4%	7.2%	4.3%	1.4%	2.9%	2.9%	2.2%	.4%	34.3%
	残差	6.2	-2.1	.8	3.1	2.6	-3.0	-3.3	1.9	-6.2	
標準化残差	1.2	-1.2	.2	1.0	2.2	-9	-1.0	.9	-2.3		
調整済み残差	1.7	-1.5	.3	1.3	2.8	-1.2	-1.3	1.2	-3.0		
3.00 度数	38	1	34	12	0	19	23	4	20	151	
abcグループの%	25.2%	.7%	22.5%	7.9%	.0%	12.6%	15.2%	2.6%	13.2%	100.0%	
分類番号の%	45.2%	11.1%	60.7%	46.2%	.0%	59.4%	69.7%	33.3%	95.2%	54.5%	
総和の%	13.7%	.4%	12.3%	4.3%	.0%	6.9%	8.3%	1.4%	7.2%	54.5%	
残差	-7.8	-3.9	3.5	-2.2	-2.2	1.6	5.0	-2.5	8.6		
標準化残差	-1.2	-1.8	.6	-6	-1.5	.4	1.2	-1.0	2.5		
調整済み残差	-2.0	-2.7	1.0	-9	-2.2	.6	1.9	-1.5	3.9		
合計	度数	84	9	56	26	4	32	33	12	21	277
	abcグループの%	30.3%	3.2%	20.2%	9.4%	1.4%	11.6%	11.9%	4.3%	7.6%	100.0%
	分類番号の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	総和の%	30.3%	3.2%	20.2%	9.4%	1.4%	11.6%	11.9%	4.3%	7.6%	100.0%

5-4-2. 目印頻度と道路形状/位置

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	11.990 <sup>a</sup>	8	.152
尤度比	12.777	8	.120
線型と線型による連関	2.124	1	.145
有効ケースの数	278		

a. 6セル (40.0%) は期待度数が 5 未満です。最小期待数は .22 です。

図 5-4-5. 道路形状とABC  
カイ二乗検定結果

表 5-4-2. 道路形状とABC  
クロス結果

ABC と交差点形状 のクロス表

ABC	1	度数	交差点形状					合計
			1	2	3	4	5	
ABC	1	度数	7	15	9	0	0	31
	ABC の %	22.6%	48.4%	29.0%	.0%	.0%	100.0%	
	交差点形状 の %	9.9%	18.5%	7.4%	.0%	.0%	11.2%	
	総和の %	2.5%	5.4%	3.2%	.0%	.0%	11.2%	
	残差	-.9	6.0	-4.5	-.2	-.3		
	標準化残差	-.3	2.0	-1.2	-.5	-.6		
	調整済み残差	-.4	2.5	-1.7	-.5	-.6		
2	度数	30	20	44	0	1	95	
	ABC の %	31.6%	21.1%	46.3%	.0%	1.1%	100.0%	
	交差点形状 の %	42.3%	24.7%	36.4%	.0%	33.3%	34.2%	
	総和の %	10.8%	7.2%	15.8%	.0%	.4%	34.2%	
	残差	5.7	-7.7	2.7	-.7	.0		
	標準化残差	1.2	-1.5	.4	-.8	.0		
	調整済み残差	1.7	-2.1	.7	-1.0	.0		
3	度数	34	46	68	2	2	152	
	ABC の %	22.4%	30.3%	44.7%	1.3%	1.3%	100.0%	
	交差点形状 の %	47.9%	56.8%	56.2%	100.0%	66.7%	54.7%	
	総和の %	12.2%	16.5%	24.5%	.7%	.7%	54.7%	
	残差	-4.8	1.7	1.8	.9	.4		
	標準化残差	-.8	.3	.2	.9	.3		
	調整済み残差	-1.3	.5	.4	1.3	.4		
合計	度数	71	81	121	2	3	278	
ABC の %	25.5%	29.1%	43.5%	.7%	1.1%	100.0%		
交差点形状 の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
総和の %	25.5%	29.1%	43.5%	.7%	1.1%	100.0%		

とが分かった。

以上をまとめると、Aグループ「多数の人が共通して挙げる目印」は、「方向転換あるかないかに関わらず、交差点に対象が位置するかが重要である」といえる。かつ、Bグループに最も「方向転換がある」ことを考えると、最も多数の人に共通して挙げられる目印には、方向転換があることが絶対条件ではないようである。Cグループの目印は、「交差点一方向転換あり」にある目印はあげられないことから、道路形状や方向転換の有無に関係なく、個人的なランドマークは、挙がること示された。

また、ABCグループそれぞれにおいて位置構造に違いがあるかを探るため、5-3-1. 位置構造と目印数/頻度の傾向 で分けた、「1.交差点形状一方向転換なし」「2.交差点形状方向転換あり」「3.交差点でない一方向転換なし」「4.スタート」「5.ゴール」との関係をもととする。カイ2乗検定結果を図 5-4-5 に示す。カイ2乗値 11.99、自由度 8 で有意確率は 15.2% であるため、有意水準を 5% としたとき、両者の間に差はないといえる。

クロス集計結果を表 5-4-2 に示す。「交差点一方向転換あり」では、Bグループにある目印に最も多く、Cグループで最も少なく分布していることがわかった。「交差点一方向転換なし」にある目印は、Aグループに多く、Cグループで少ない傾向にある。「交差点でない一方向転換なし」の場所にある目印は、B・Cが同じほどで、Aグループに最も少なく属しているこ

### 5-5.目印頻度と対象の時間継続時間

被験者の音声には、目印となる対象を「明日にはあるかわからなかったので、目について目印として挙げなかった」というシーンがあった。この言葉に代表されるように、多くの被験者は、目印の継続時間を考慮して、道案内に役立つか判断しているようである。既往研究では、「動くもの」に着目して目印を記憶する人は、一般に方向感覚がないとされる（新垣、1999）。以上から、目印の継続時間に着目した。住宅や電柱などは、今後何年経っても、場所は変わらないと推測される。目印が年単位で継続する（動かない）と判断されるものを1とした。次に、工事現場などは、出来上がった場合ってしまうと他の住宅と変わらなくなるため、継続しない。月単位で継続するもの（動かない）、2とした。停車している自動車など、日が変われば動いてしまうものを3とした。正規分布を取らないことを仮定して、目印の挙がる頻度との相関をとった。結果を図5-4-1に示す。目印頻度と、2度目に挙げられた頻度と時間経過の間にマイナスの相関が出た。すなわち、時間継続が長い目印ほど、多くの被験者が挙げる傾向にあることが示された。特に、2度目では、道案内における目印を挙げることを意識したことから、1度目よりも長く継続するものを挙げる傾向にあると考えられる。

相関係数						
			時間経過	目印頻度	目印頻度 一度目	目印頻度 2度目
Spearmanのr	時間経過	相関係数	1.000	-.212**	-.106	-.209**
		有意確率(両側)	.	.000	.080	.000
		N	276	274	274	273
	目印頻度	相関係数	-.212**	1.000	.852**	.904**
		有意確率(両側)	.000	.	.000	.000
		N	274	276	276	275
	目印頻度 一度目	相関係数	-.106	.852**	1.000	.708**
		有意確率(両側)	.080	.000	.	.000
		N	274	276	276	275
	目印頻度 2度目	相関係数	-.209**	.904**	.708**	1.000
		有意確率(両側)	.000	.000	.000	.
		N	273	275	275	275

\*\*、相関は、1%水準で有意となります(両側)。

図5-4-1. 継続時間と目印頻度 相関

5-6. 第5章 総括

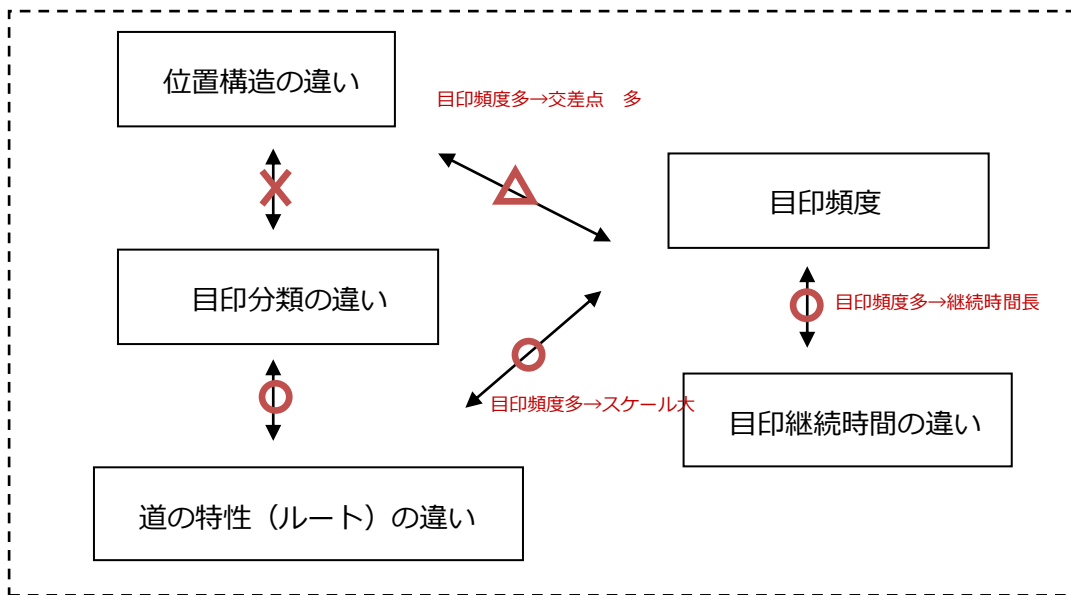


図5-5-1. 分析結果関係図

第5章では、目印の分類分けを中心として、多角的に目印の分析を行った

第一段階として目印の分類分けを行った。道案内に役立つ目印は種別すると、多種類に渡ることが示された。目印数と目印頻度ともに、ルートによって挙がる目印の種類は異なるようである。

これは、道の特性が目印の種類に反映されている結果である。

また、目印選出理由のキーワード分析により、見た目に全くスケールも形も名称も異なる目印でも、一貫したルールのもとに、被験者は対象を目印として選出していることが示された。その分類に関わらず、周囲と比較して「色」「大きさ」が際立っていたこと、「交差点にある」「同じものが連続している」こと、「記憶との一致」「特別な思い出/感情」に起因する。人が街や建物に着目する際、どのような点を注意深く観察しているかの鍵となりそうな結果も数多く示された。

第2段階として、道路形状に着目した。「1.交差点形状—方向転換なし」「2.交差点形状方向転換あり」「3.交差点でない—方向転換なし」「4.スタート」「5.ゴール」で分類分けを行った。「交差点でない」ところで挙がった目印が最も多いことが示された。目印として際立つ

た1番重要要因が、道路の交差点にあることではないことがわかった。また、目印の分類は道の構造にはよらないことが分かった。これは、被験者が、対象がどのような形でも、目印の選出に一貫した基準を自分に設けていることを再度示しているのではない。

第三段階として、目印頻度に着目した。頻度は、すなわち、目印としての特徴が強く、多数の人に共通して挙げられやすいと言い換えることができる。

まず、分類番号との関係を調べた。結果、目印頻度が大きくなるのと比例し、よりスケールの大きいものが目印として認知される傾向にあることがわかった。

道路形状との関係をみると、最も頻度の高い目印には、「方向転換あるかないかに関わらず、交差点に対象が位置するかが重要である」ことが示されそうであることが分かった。

また、対象の継続時間に着目すると、時間継続が長い目印ほど、多くの被験者が挙げる傾向にあることが示された。

以上より、第5章では、図5-5-1に示す関係図が示された。

第5章では、新たに以下の事柄がわかった。

本実験での目印は、その種類や名称を基準として、

- 1：用途が居住である建物
  - 2：用途が居住以外の建物
  - 3：看板や表札など文字情報
  - 4：ポストや街灯など道に置かれているもの
  - 5：駐車場など空き地
  - 6：植生
  - 7：塀やドアなど建物に付随しているもの
  - 8：道路またはその形状
  - 9：車や自転車などの乗り物
- の9つに分類できる。

重要な点を以下の3点に示す。

- ① 異なる分類の対象でも、選出理由には共通項目が多く存在する。それは、対象が、周囲から「色」「大きさ」が際立っていること、「交差点にある」「同じものが連続している」こと、「記憶との一致」「特別な思い出／感情があること」を認知して、目印として選出している。
- ②異なる分類の対象でも、位置構造が及ぼす目立やすさへの影響は同じである。  
一方、道の特性が異なると、目印として目立つ対象の分類は、反映して変わってくる。
- ③ 目印頻度が異なると、目印として目立つ対象の分類は変わってくる。目印としてより多数の人に共通して認知されるのには、よりスケールが大きくなることが重要である。

結論として、異なる分類の目印でも、その選出理由は共通項が多くみられる。1つに、道路形状がある。どの分類がより目立つかは、道の特性により変化する。傾向として、より多数の人に共通して目印と認知されるのには、よりスケールが大きくなること、より対象の継続時間が長くなることが重要であることがわかった。

## 第6章 ランドマークとして選出される建物の特徴

本章では、建物の特徴と、ランドマークとして機能する要因との関係を定量的に示すことを目指して、分析と考察を行う。

前章 5-3 で、より多数の人に共通して挙げられる目印には、住宅街では、よりスケールの大きい建物が多く属していることが分かった。では、それら建物の目立つ要因として様々な要素が既往研究では説かれていたが、そうした要素が重要となってくることを定量的に示したい。

そこで、実際にルート上に面する建物全ての因果関係にあると考えられる物理量を測定し、目印頻度との相関を調べることにする。

### 6-1. 目立つ要因となりうる物理量の抽出

#### 6-1-1. 項目とデータ取得方法

既往研究と、前章 5-1-2. ランドマークの分類と被験者の目印選出理由より、住宅が目立つ要因と考えられる以下の項目に関して、実験全4ルート、戸数268戸に関して以下の項目データを作成した。

- ① ルートに面する建物幅 - 単位 m (メートル)  
取得方法：ゼンリン住宅地図から、測定する。
- ② 建物の高さ - 単位 m (メートル)  
取得方法：目視による現地調査。2階建て-5m、3階建て-7m、4階建以上-目視による推定、とする。
- ③ ファサード面積 - 単位 平方メートル  
取得方法：①×②を計算。ファサードがルートから2面見えている場合は、両面のデータを取る。
- ④ 建物の色  
取得方法：現地の全住宅をビデオ撮影、画像をRGB値として「color picker」を使い取得。この際の色は、建物ファサード面の色であり、植栽に覆われていても、植栽の色は含めないこととする。



⑤ 建物の経過年数

取得方法：目視による現地調査。5段階評価。1：築年数40年より以前 2：築年数20年～40年 3：築年数10年～20年 4：築年数5年～10年 5：築年数5年以内

⑥ 建物屋根の形状

形状により分類分けを行った。1：寄棟 2：片流れ 3：以下図6-1-1を参照のこと。

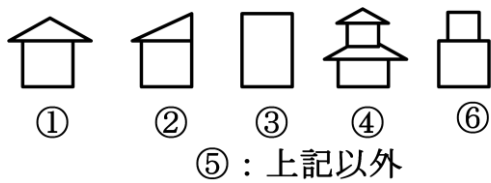


図6-1-1. 屋根タイプ分け図

6-1-2. ヒストグラムで示すデータ概要

実験全4ルート、戸数268戸に関して項目①～⑥、各々の記述統計量とヒストグラムを示す。記述統計量を表6-1-1に示す。

表6-1-1. 記述統計量

記述統計量							
	度数	範囲	最小値	最大値	平均値	標準偏差	分散
目印頻度 合計	268	20	0	20	2.33	4.48	20.11
目印頻度 1度目	268	20	0	20	1.85	3.97	15.79
目印頻度 2度目	268	20	0	20	1.92	3.95	15.62
道に面する建物幅	268	32	2	34	7.13	3.67	13.44
高さ	267	19	2	21	5.42	1.39	1.93
ファサード面積	268	714	0	714	40.35	48.26	2329.10
年代	268	4	1	5	2.99	1.14	1.30
屋根形状	268	5	1	6	2.03	1.47	2.16
R色1	268	255	0	255	175.47	55.65	3096.50
G色1	268	255	0	255	172.15	56.32	3171.59
B色1	268	255	0	255	164.57	53.29	2839.98
R色2	59	229	26	255	139.80	62.08	3854.13
G色2	59	234	16	250	128.98	65.59	4302.12
B色2	59	211	28	239	124.03	64.83	4202.31
有効なケースの数 (リストごと)	58						

\*色1：建物で割合が1番高い色を差す。色2：割合が2番目に高い色を差す。

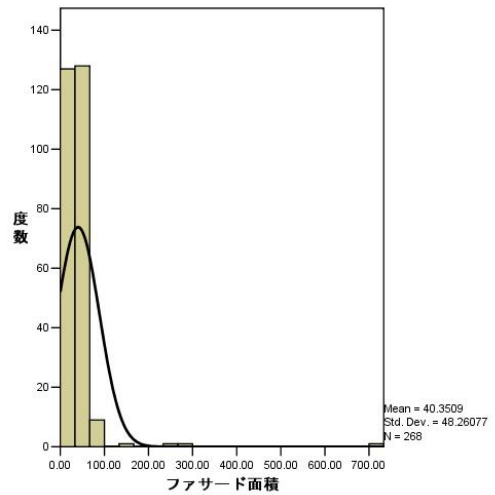
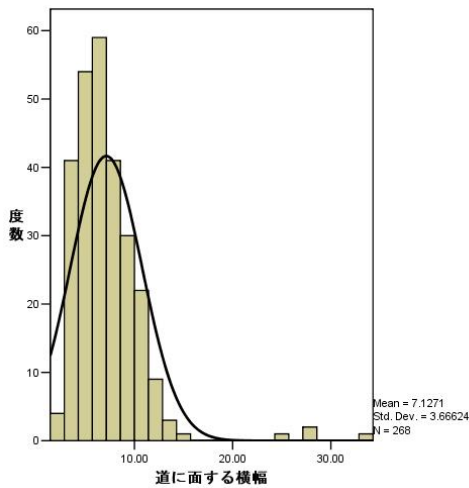


図6-1-1. 全ルート/建物幅ヒストグラム

図6-1-2. 全ルート/ファサード面積のヒストグラム

全ルートで、建物幅の平均は、7.13m、高さは5.42m、ファサード面積は、40.35㎡となった。ファサード面積の分散が大きい。高さは対象地の都市計画図でも表わした通り、二階建ての住宅がルートのほとんどを占める。横幅は平均の周りに一様に分布している。

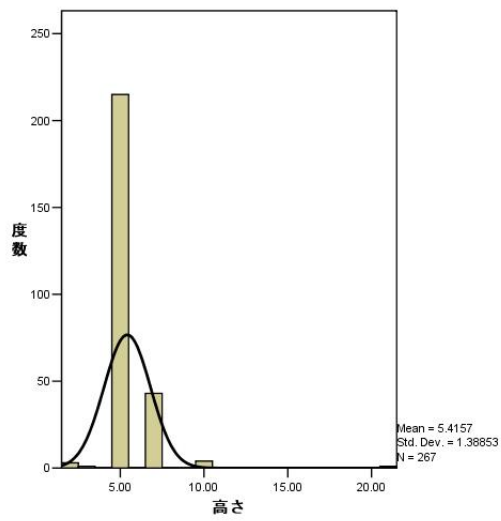


図6-1-3. 全ルート/  
高さヒストグラム

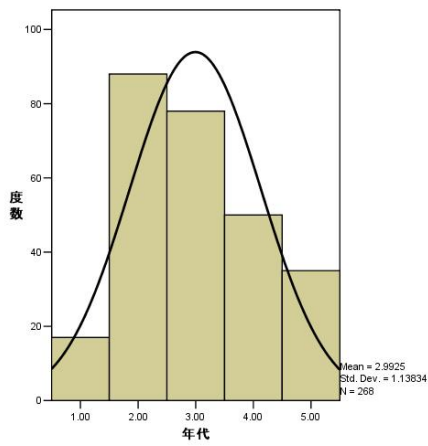


図6-1-4.  
全ルート/年代ヒストグラム

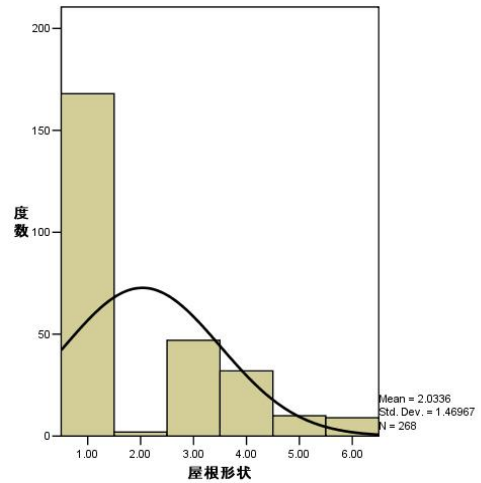


図6-1-5.  
全ルート/屋根形状ヒストグラム

建物の経過年数で、最も多いのは、建設後 20 年から 30 年であるようである。

屋根形状は、ほとんど寄棟が多い。

次に、色は、「鮮やかさ」や「色味」などの対比を被験者は挙げていることから、HSV値

$$\begin{aligned}
 &RGB \Rightarrow HSV \\
 &MAX = \max(R, G, B) \\
 &MIN = \min(R, G, B) \\
 &V = MAX \\
 &V = 0 \text{ の場合} \\
 &S = 0 \\
 &H = 0 \\
 &V = 0 \text{ 以外の場合} \\
 &S = (MAX - MIN) / MAX \\
 &Cr = (MAX - R) / (MAX - MIN) \\
 &Cg = (MAX - G) / (MAX - MIN) \\
 &Cb = (MAX - B) / (MAX - MIN) \\
 &H = \begin{cases} Cb - Cg & R = MAX \\ 2 + Cr - Cb & G = MAX \\ 4 + Cg - Cr & B = MAX \end{cases} \\
 &H = 60 \times H \\
 &H = H + 360 \quad H < 0
 \end{aligned}$$

の結果を探るため、RGBからの変換を行った。この際、色の割合が一番高かった色1のRGB値を採用する。変換式を図6-1-6に示す。変換後、記述統計量を表6-1-2に示す。

HSVについて説明を加える。

赤っぽい、緑っぽいなど、色の大きな種類の違いを色相(H : hue)という。生活の中で色が同じとか違うとか言う場合は、色相を指して言っていることが多い。

似ているものが隣り合うように色相を並べると円環のようになる。このため、色相は基準の色相(たとえば赤)からの方向の違いの度合いとして表す。

表6-1-6.全ルートHSV記述統計量

記述統計量					
	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
目印頻度 合計	262	0	20	2.38	4.524
目印頻度 1度目	262	0	20	1.89	4.010
目印頻度 2度目	262	0	20	1.96	3.988
色相	261	.00	300.00	97.9072	82.73229
彩度	262	.00	.62	.1259	.10202
明度	262	46.00	255.00	180.0191	52.91093
有効ケースの数 (リスト)	261				

色には黒～白のように全く色みがない色から、プリズムで日光を分けた場合に見える赤、緑、青などのように鮮やかな色まで、いろんな鮮やかさのものがある。この違いを彩度(S : saturation)、という。鮮やかな色ほど彩度が高い。反対に、黒や灰や白では彩度は最小になる。これらの色を無彩色と言い、

それ以外の色を有彩色という。色の明るさを明度(V : value)という。

明るい色ほど明度が高い。黒の明度は最小になり、白や鮮やかな色の明度は最大になる。

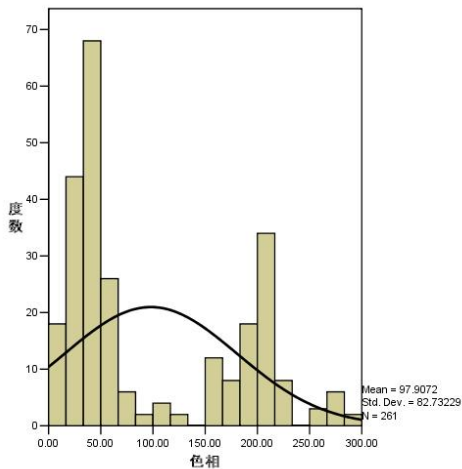


図6-1-6.全ルート  
色相ヒストグラム

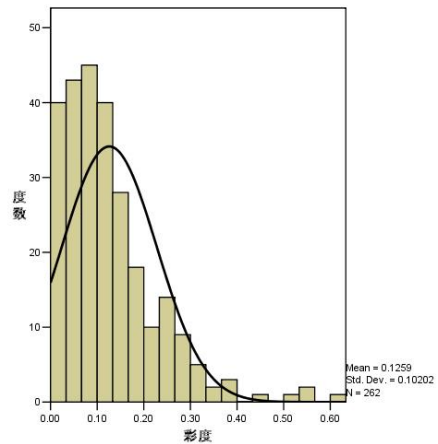


図6-1-7.全ルート  
彩度ヒストグラム

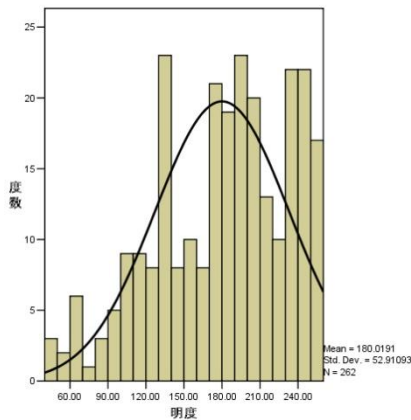


図6-1-8.全ルート  
／色相ヒストグラム

対象地における建物の割合が一番高かった色の目視での戸数結果を、図6-1-9に示す。対象地の建物の色は、目視では、ほとんど白／クリーム／ベージュや、或いはグレーや赤茶が多い。実験対象地の住宅ほとんど色相0~100に多く分布し、200近辺にも見られる。色味で表わすと、0から100は、赤からオレンジ、黄色を経て黄緑、緑の色味を差す。200近辺は水色である。ので、違う色味でも、明度や彩度の違いによることが考えられる。彩度をみると、図6-1-9の通り、白／クリーム／ベージュといった無彩色が多いため、全体として、彩度は低い方に

多く分布している。明度をみても、白や明るい色の分布が全体的に多いことがわかる。しかし、動画を撮影した時間帯などによって、影になる部分など、実際にその建物が持つ色味とは、明度が異なる可能性が懸念される。しかし、実験を行った時間帯と、同じ時間帯に撮影を行ったので、実際に被験者が認知する環境の値により近いことがいえると考えられる。

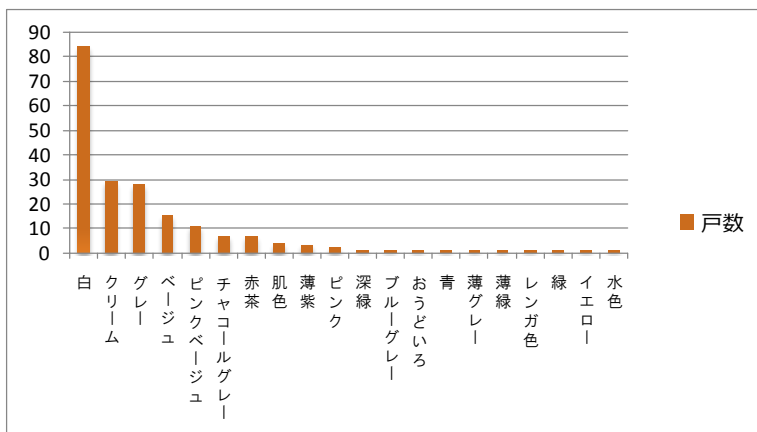


図6-1-9.全ルート 目視での色の戸数比較

6-2.分析・考察結果／実験全ルート

6-2-1. 各項目と目印頻度 相関結果

以上に挙げた建物項目ごと、目印として役立つ程度を探ることとする。6-1-2に示した項目ごとに、被験者が挙げた目印頻度との相関をみる。

項目①②③、建物大きさ・高さに関する項目と目印頻度との相関、またその有意判定結果を表6-2-1に示す。目印頻度合計とは、1度目と2度目に被験者が挙げた目印の総回数を示す。

表6-2-1.全ルート／目印頻度と建物スケールの相関・有意判定結果

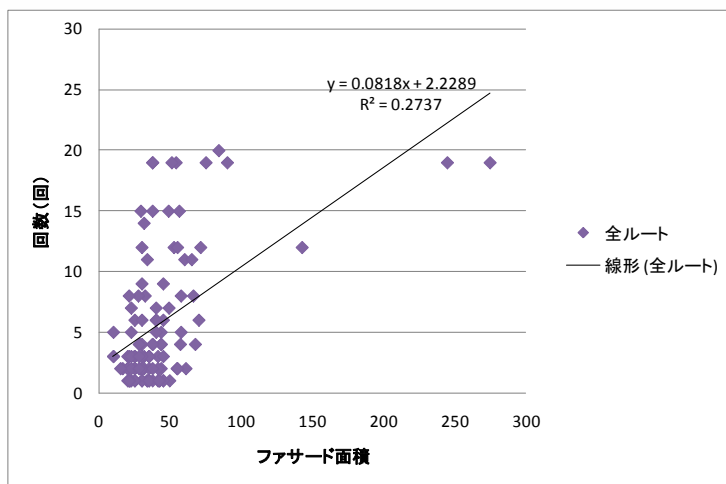
		目印頻度 合計	目印頻度 1度目	目印頻度 2度目	道に面する建物幅	高さ	ファサード面積
目印頻度 合計	Pearson の相関係数	1	.983**	.985**	.337**	.177**	.210**
	有意確率 (片側)	.000	.000	.000	.000	.002	.000
	N	268	268	268	268	267	268
目印頻度 1度目	Pearson の相関係数	.983**	1	.971**	.343**	.203**	.224**
	有意確率 (片側)	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	N	268	268	268	268	267	268
目印頻度 2度目	Pearson の相関係数	.985**	.971**	1	.364**	.214**	.238**
	有意確率 (片側)	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	N	268	268	268	268	267	268
道に面する建物幅	Pearson の相関係数	.337**	.343**	.364**	1	.402**	.789**
	有意確率 (片側)	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	N	268	268	268	268	267	268
高さ	Pearson の相関係数	.177**	.203**	.214**	.402**	1	.776**
	有意確率 (片側)	.002	.000	.000	.000	.000	.000
	N	267	267	267	267	267	267
ファサード面積	Pearson の相関係数	.210**	.224**	.238**	.789**	.776**	1
	有意確率 (片側)	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	N	268	268	268	268	267	268

\*\*、相関係数は 1% 水準で有意 (片側) です。

「目印頻度合計／1度目／2度目ー建物幅」「目印頻度合計／1度目／2度目ー高さ」「目印頻度ーファサード面積」での相関は、両側で有意という結果が出た。

よって、周囲と比較して、建物幅が長い、高さが

高い、ファサード面積が大きくなる、のと比例して、目印は挙げられる傾向にある。比較を行った場合には、ルートに面する建物幅が、1番関係しそうであることがわかった。ファサード面積と目印頻度の相関を示す



散布図を図6-2-1に示す。

図6-2-1.全ルート／ファサードと目印頻度の関係

次に、項目④建物の色、色相・彩度・明度（HSV）と目印の挙がる頻度の相関をみる。

HSVと目印頻度に関する相関、またその有意判定結果を表6-2-2に示す。

表6-2-2.全ルート/目印頻度とHSVの相関・有意判定結果

		相関係数					
		目印頻度 合計	目印頻度 1度目	目印頻度 2度目	色相	彩度	明度
目印頻度 合計	Pearsonの相関係数	1	.983**	.985**	-.008	.183**	-.103
	有意確率(両側)		.000	.000	.891	.003	.097
	N	262	262	262	261	262	262
目印頻度 1度目	Pearsonの相関係数	.983**	1	.971**	-.003	.187**	-.107
	有意確率(両側)	.000		.000	.959	.002	.084
	N	262	262	262	261	262	262
目印頻度 2度目	Pearsonの相関係数	.985**	.971**	1	-.014	.184**	-.109
	有意確率(両側)	.000	.000		.822	.003	.078
	N	262	262	262	261	262	262
色相	Pearsonの相関係数	-.008	-.003	-.014	1	-.264**	-.180**
	有意確率(両側)	.891	.959	.822		.000	.004
	N	261	261	261	261	261	261
彩度	Pearsonの相関係数	.183**	.187**	.184**	-.264**	1	-.132*
	有意確率(両側)	.003	.002	.003	.000		.033
	N	262	262	262	261	262	262
明度	Pearsonの相関係数	-.103	-.107	-.109	-.180**	-.132*	1
	有意確率(両側)	.097	.084	.078	.004	.033	
	N	262	262	262	261	262	262

\*\*、相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\*、相関係数は5%水準で有意(両側)です。

「目印頻度合計/1度目/2度目 - 彩度」において相関は両側で有意であるという判定結果が出ている。すなわち、彩度の値、色の鮮やかさに目印として役立つ要因は最も関連しているという結果がわかった。色相・彩度・明度とそれぞれの相関を示す散布図を図6-2-2, 3, 4に示す。目印として役立つには、色みにはよらないことがわかった。明度をみると、目印頻度が高いものが、一様に分布している。周囲が暗めの色の中、鮮やかな色で目立った、或いは、周囲が明るい色の中、黒や茶色であるから目立った、ということが考えられる。詳しくは6-3で述べる。

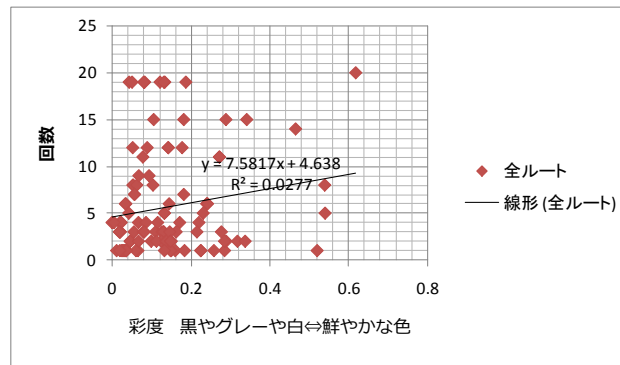


図 6-2-4.全ルート／彩度と目印頻度の関係

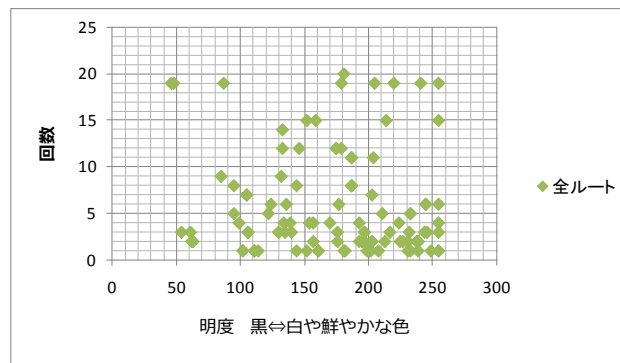


図 6-2-3.全ルート／彩度と目印頻度の関係

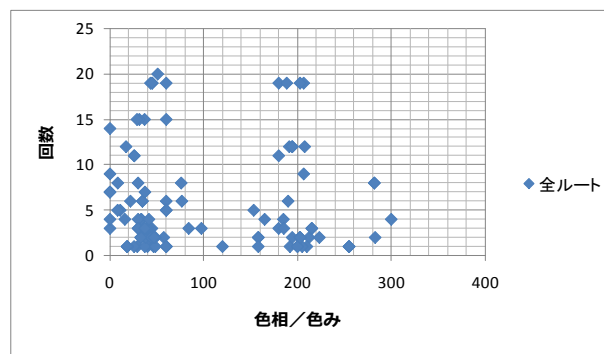


図 6-2-4.全ルート／色相と目印頻度の関係



次に項目⑤建物の経過年数と、目印頻度との関係を見る。相関、またはその有意判定結果を、表6-2-3に示す。なお、経過年数は5段階評価であるため、正規分布を仮定しない相関の有意判定を調べた。

表6-2-3.全ルート/目印頻度とHSVの相関・有意判定結果

相関係数			目印頻度 度 合計	目印頻度 1度目	目印頻度 2度目	年代	屋根形状
Spearmanのr	目印頻度 合計	相関係数	1.000	.949**	.975**	.194**	.145*
		有意確率 (両側)	.	.000	.000	.001	.018
		N	268	268	268	268	268
	目印頻度 1度目	相関係数	.949**	1.000	.912**	.186**	.176**
		有意確率 (両側)	.000	.	.000	.002	.004
		N	268	268	268	268	268
	目印頻度 2度目	相関係数	.975**	.912**	1.000	.181**	.122*
		有意確率 (両側)	.000	.000	.	.003	.046
		N	268	268	268	268	268
	年代	相関係数	.194**	.186**	.181**	1.000	.180**
		有意確率 (両側)	.001	.002	.003	.	.003
		N	268	268	268	268	268
	屋根形状	相関係数	.145*	.176**	.122*	.180**	1.000
		有意確率 (両側)	.018	.004	.046	.003	.
		N	268	268	268	268	268

\*\*、相関は、1%水準で有意となります(両側)。  
\*、相関は、5%水準で有意となります(両側)。

「目印頻度合計/1度目/2度目 -年代」両側で有意であるという判定結果が出た。すなわち、建物の築年数が浅いほど、建物が新しいほど、役立つ目印として挙げられることが多くなることが分かった。

最後に、項目⑥建物の年代と、目印頻度の関係を見る。表6-1-9の相関の有意判定では、片側有意と出ているが、正規分布を仮定しないため、カイ二乗検定による判定を行う。ここで、前章5-3で挙げた目印に対する頻度によって分類したABCグループを使い、屋根形状と目印頻度との関係を見てもみることにする。グループAは、挙げた被験者数が10人以上20人未満で、3人以上10人未満がB、1人もしくは2人がCである。カイ二乗検定結果を図6-2-5に示す。カイ2乗値が30.775、自由度10で、有意確率が1%である。有意水準を5%としたとき、有意な差が見られた。ABCグループに屋根形状は一樣に分布していないことが分かった。詳しくみるため、クロス集計結果を表6-2-4に示す。

クロス集計結果から、Aグループには、屋根形状3と4を持つ建物が多く属していることが分かった。Bグループには、均等である傾向がある。グループCには、屋根形状1が多く、屋根形状3が少ない。

カイ2乗検定

	値	自由度	漸近有意確率(両側)
Pearson のカイ2乗	30.755 <sup>1</sup>	10	.001
尤度比	28.151	10	.002
線型と線型による連関	7.861	1	.005
有効なケースの数	268		

1. 9セル (50.0%) は期待度数が5未満です。最小期待数は .16 です。

図 6-2-5 : A B Cグループと屋根形状カイ2乗検定結果

表 6-2-4: A B Cグループと屋根形状 クロス集計結果

処理したケースの表約

	ケース					
	有効数		欠損		合計	
	N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
ABCグループ * 屋根形状	268	100.0%	0	.0%	268	100.0%

ABCグループと屋根形状のクロス表

		屋根形状						合計
		1	2	3	4	5	6	
ABCグループ	1 度数	4	1	10	6	0	1	22
	ABCグループの%	18.2%	4.5%	45.5%	27.3%	.0%	4.5%	100.0%
	屋根形状の%	2.4%	50.0%	21.3%	18.8%	.0%	11.1%	8.2%
	総和の%	1.5%	.4%	3.7%	2.2%	.0%	.4%	8.2%
	残差	-9.8	.8	6.1	3.4	-.8	.3	
	標準化残差	-2.6	2.1	3.1	2.1	-.9	.3	
	調整済み残差	-4.5	2.2	3.6	2.3	-1.0	.3	
	2 度数	29	0	9	4	3	1	46
	ABCグループの%	63.0%	.0%	19.6%	8.7%	6.5%	2.2%	100.0%
	屋根形状の%	17.3%	.0%	19.1%	12.5%	30.0%	11.1%	17.2%
総和の%	10.8%	.0%	3.4%	1.5%	1.1%	.4%	17.2%	
残差	.2	-.3	.9	-1.5	1.3	-.5		
標準化残差	.0	-.6	.3	-.6	1.0	-.4		
調整済み残差	.1	-.6	.4	-.7	1.1	-.5		
3 度数	135	1	28	22	7	7	200	
ABCグループの%	67.5%	.5%	14.0%	11.0%	3.5%	3.5%	100.0%	
屋根形状の%	80.4%	50.0%	59.6%	68.8%	70.0%	77.8%	74.6%	
総和の%	50.4%	.4%	10.4%	8.2%	2.6%	2.6%	74.6%	
残差	9.6	-.5	-7.1	-1.9	-.5	.3		
標準化残差	.9	-.4	-1.2	-.4	-.2	.1		
調整済み残差	2.8	-.8	-2.6	-.8	-.3	.2		
合計	度数	168	2	47	32	10	9	268
ABCグループの%	62.7%	.7%	17.5%	11.9%	3.7%	3.4%	100.0%	
屋根形状の%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
総和の%	62.7%	.7%	17.5%	11.9%	3.7%	3.4%	100.0%	

ここで、屋根形状の全ルートのヒストグラムを振り返ると、全ルートで、屋根形状1が一般的であり、差を開いて屋根形状3、4と続く。2や5、6はほとんどない。結果、多数の人が目印として挙げた建物の屋根形状は、ルート上に数少ない形であったことが示された。よって、数が少ない屋根形状であるほど、目印頻度は高くなる。屋根形状が目印として役立つ要因の1つとなることが示された。

6-2-2. 回帰分析結果

目印頻度と各項目の間に相関がみられたことから、回帰式を立てる。目印頻度を、対象が目印としての目立ちやすさとし、従属変数に設定する。

建物の大きさは、③ファサード面積、④建物の色では彩度、⑤建物の経過年数、の3つの項目を説明変数とする。この時、ステップワイズ方式を採択した。

回帰分析結果を図6-2-6, 7に示す。

モデル集計				
モデル	R	R2乗	調整済みR2乗	推定値の標準誤差
1	.210 <sup>1</sup>	.044	.041	4.43280
2	.278 <sup>2</sup>	.077	.070	4.36375
3	.326 <sup>3</sup>	.106	.096	4.30340

1. 予測値: (定数)、ファサード面積。  
2. 予測値: (定数)、ファサード面積、年代。  
3. 予測値: (定数)、ファサード面積、年代、彩度色1。

分散分析 <sup>4</sup>						
モデル		平方和	自由度	平均平方	F値	有意確率
1	回帰	236.428	1	236.428	12.032	.001 <sup>1</sup>
	残差	5108.915	260	19.650		
	全体	5345.344	261			
2	回帰	413.392	2	206.696	10.855	.000 <sup>2</sup>
	残差	4931.952	259	19.042		
	全体	5345.344	261			
3	回帰	567.378	3	189.126	10.212	.000 <sup>3</sup>
	残差	4777.965	258	18.519		
	全体	5345.344	261			

1. 予測値: (定数)、ファサード面積。  
2. 予測値: (定数)、ファサード面積、年代。  
3. 予測値: (定数)、ファサード面積、年代、彩度色1。  
4. 従属変数: 目印頻度 合計

図6-2-6 : 重回帰分析結果/モデル集計・分散

係数 <sup>1</sup>						
モデル		非標準化係数		標準化係数	t	有意確率
		B	標準誤差	ベータ		
1	(定数)	1.587	.356		4.464	.000
	ファサード面積	.020	.006	.210	3.469	.001
2	(定数)	-.546	.782		-.698	.486
	ファサード面積	.019	.006	.201	3.369	.001
	年代	.722	.237	.182	3.048	.003
3	(定数)	-1.410	.828		-1.703	.090
	ファサード面積	.018	.005	.197	3.340	.001
	年代	.699	.234	.176	2.992	.003
	彩度色1	7.536	2.614	.170	2.884	.004

1. 従属変数: 目印頻度 合計

除外された変数 <sup>3</sup>						
モデル		投入されたときの標準回帰係数	t	有意確率	偏相関	共線性の統計量 許容度
1	年代	.182 <sup>1</sup>	3.048	.003	.186	.998
	彩度色1	.176 <sup>1</sup>	2.942	.004	.180	.999
2	彩度色1	.170 <sup>2</sup>	2.884	.004	.177	.998

1. モデルの予測値: (定数)、ファサード面積。  
2. モデルの予測値: (定数)、ファサード面積、年代。  
3. 従属変数: 目印頻度 合計

図6-2-7 : 重回帰分析結果/係数

R二乗値が、0.106 とモデルとしてあまり良い結果は出なかった。

以上より、本実験対象ルートにおける、対象の目印としての目立ちやすさを示す回帰式は、

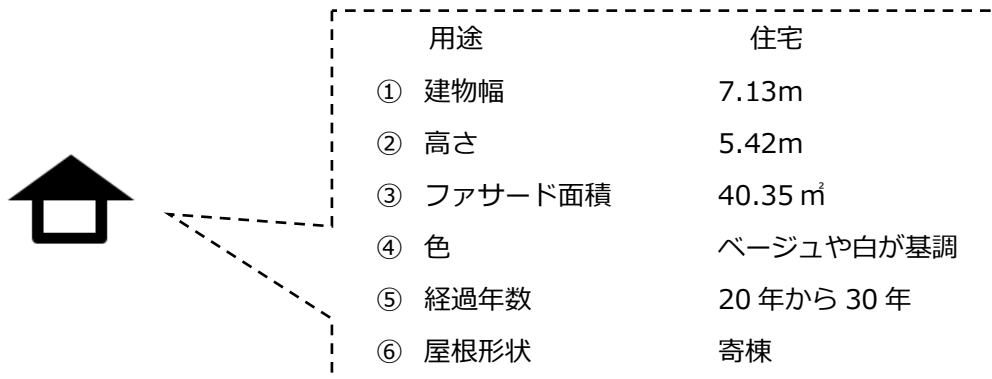
$$Y = 0.018 X1 + 0.699 X2 + 7.536 X3 - 1.41$$

(Y : 目立ちやすさ X1 : ファサード面積 (m) X2 : 年代 (5段階) X3 : 彩度の値)

で示されることがわかった。

### 6-2-3. 分析結果・考察／実験全ルート 総括

実験ルート全体の概要を振り返ると、本実験ルートで最も戸数の多い建物像は、図 6-2-8 の通りである。



用途	住宅
① 建物幅	7.13m
② 高さ	5.42m
③ ファサード面積	40.35 m <sup>2</sup>
④ 色	ベージュや白が基調
⑤ 経過年数	20年から30年
⑥ 屋根形状	寄棟

図 6-2-8 : 建物像イメージ

分析結果より、①から⑥の項目全てと、目印頻度との間に相関があることが示された。

用途は住宅でない方が目立つ。

①②③は、値が大きくなるほど、目印として役立つ。

色は鮮やかになるほど、経過年数は少ないほど、目立つ。屋根形状は寄せ棟でないものが目立つ。

全ての項目において、ルート上から浮かび上がる一般的な建物の像の特徴と、かけ離れていればいるほど、人にとって目印として役立つ要因となることが示された。

以上より、6項目全ての建物の特徴が、建物がランドマークとして目立つことの要因となることが定量的に示された。

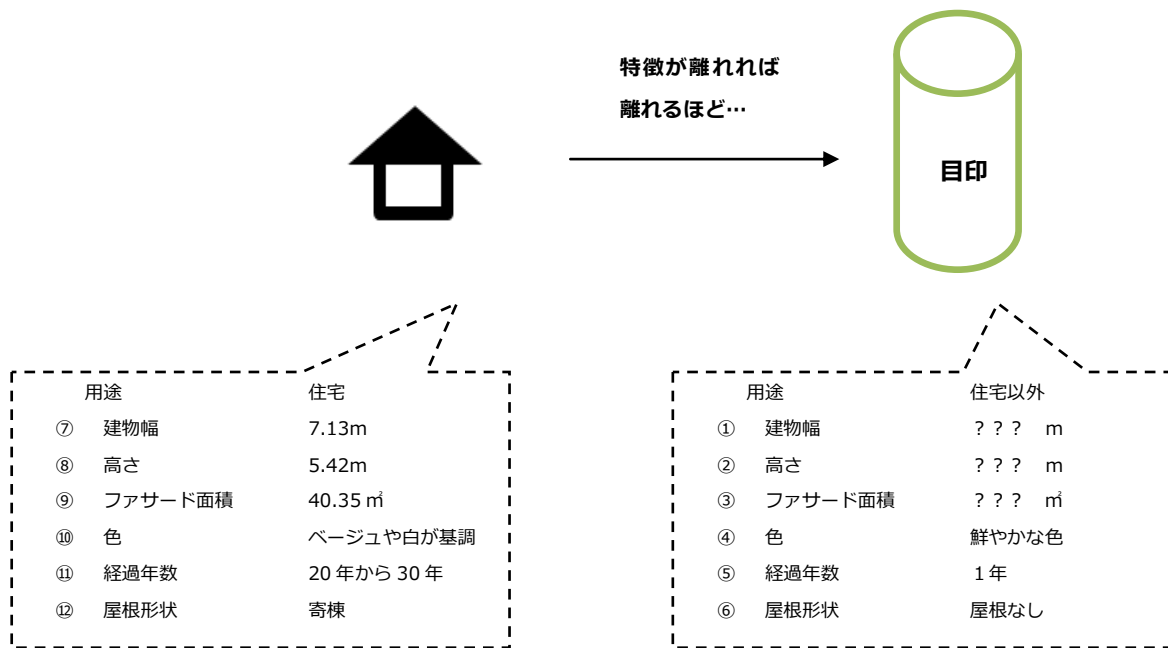


図 6-2-9 : 建物像イメージ2

### 6-3.分析結果・考察／各ルート

実験全体における相関を示したことで、建物が、目印として役立つ要因は、周囲と比較した「大きさ」、「色—特に彩度」、「経過年数」、「形」であることが示された。

「目印として目立つ要因」は、「周囲との比較」であるという前提のもと、本論文の目的としての「比較」項目を全体として定量化することができた。今度は「周囲」により焦点を当てたいことから、被験者が認知しているスケールに近づいて、検討を行ってみたい。そこで、ルートごとの傾向をみてみることにする。

#### 6-3-1. 分析結果・考察／ルート1

ルート1における建物の記述統計量を表6-3-1に示す。

表6-3-1.ルート1 記述統計量

記述統計量					
	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
目印頻度合計	76	0	19	2.53	5.085
目印頻度1度目	76	0	18	1.88	4.490
目印頻度2回目	76	0	19	2.22	4.955
道に面する横幅	76	2.00	28.50	8.1059	4.36555
高さ	76	5.00	10.00	5.5000	1.24900
ファサード面積	76	10.00	274.50	46.6678	39.61161
年代	76	1.00	5.00	3.0000	.97980
屋根形状	76	1.00	6.00	2.2500	1.55885
R色1	76	39.00	255.00	183.4211	55.18122
G色1	76	39.00	255.00	177.1053	54.12223
B色1	76	40.00	255.00	164.7895	50.60021
R色2	21	51.00	255.00	126.6190	58.20951
G色2	21	45.00	250.00	109.6667	56.15544
B色2	21	41.00	228.00	103.6190	52.05812
色相色1	73	.00	274.29	69.9878	62.73867
彩度色1	73	.01	.32	.1333	.08760
明度色1	73	46.00	255.00	182.9178	52.29477
有効なケースの数(※ごと)	21				

ルート1における①建物幅 ②高さ ③ファサード面積 ④色相・彩度・明度と、目印頻度との相関、またはその有意判定結果を表6-3-2に示す。

道に面する①建物幅 ②高さ ③ファサード面積と目印頻度に両側5%水準で有意と判定結果が出た。④色においては、ルート1では明度両側1%水準でマイナス有意となった。ここで、経過年数と目印頻度

の相関結果では、有意判定が出なかったため、結果を省略する。結果から、ルート1では、大きくて、色が暗い建物が目印として選ばれる傾向にあることがわかった。詳細にみるため、相関が強く見られたファサード面積と目印頻度の散布図を図6-3-1に示す。散布図において、ファサードが二面見えていた場合は、面積を足した値に換算されている。彩度の値と、目印頻度の関係を図6-3-2に示す。図6-3-1と、図6-3-2に、特徴的な建物A B C Dを挙げる。図中のA B C Dは同一であり、対応関係にある。A B C Dの詳細データを表6-3-3に示す。ルート1に関するヒストグラムを図6-3-3に示す。

表 6-3-2. ルート1 目印頻度との相関/有意判定結果

		相関係数								
		目印頻度合計	目印頻度1度目	目印頻度2回目	道に面する横幅	高さ	ファサード面積	色相色1	彩度色1	明度色1
目印頻度合計	Pearsonの相関係数	1	.977**	.995**	.554**	.651**	.672**	.189	-.057	-.257*
	有意確率(両側)	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.109	.630	.028
	N	76	76	76	76	76	76	73	73	73
目印頻度1度目	Pearsonの相関係数	.977**	1	.982**	.594**	.733**	.736**	.202	-.042	-.294*
	有意確率(両側)	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.087	.726	.012
	N	76	76	76	76	76	76	73	73	73
目印頻度2回目	Pearsonの相関係数	.995**	.982**	1	.563**	.671**	.691**	.181	-.056	-.249*
	有意確率(両側)	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.126	.637	.034
	N	76	76	76	76	76	76	73	73	73
道に面する横幅	Pearsonの相関係数	.554**	.594**	.563**	1	.388**	.904**	.293*	-.082	-.342**
	有意確率(両側)	.000	.000	.000	.001	.000	.000	.012	.489	.003
	N	76	76	76	76	76	76	73	73	73
高さ	Pearsonの相関係数	.651**	.733**	.671**	.388**	1	.679**	.212	.104	-.277*
	有意確率(両側)	.000	.000	.000	.001	.000	.000	.072	.383	.018
	N	76	76	76	76	76	76	73	73	73
ファサード面積	Pearsonの相関係数	.672**	.736**	.691**	.904**	.679**	1	.344**	-.031	-.422**
	有意確率(両側)	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.003	.793	.000
	N	76	76	76	76	76	76	73	73	73
色相色1	Pearsonの相関係数	.189	.202	.181	.293*	.212	.344**	1	-.281*	-.303**
	有意確率(両側)	.109	.087	.126	.012	.072	.003	.016	.009	.009
	N	73	73	73	73	73	73	73	73	73
彩度色1	Pearsonの相関係数	-.057	-.042	-.056	-.082	.104	-.031	-.281*	1	-.085
	有意確率(両側)	.630	.726	.637	.489	.383	.793	.016	.473	.473
	N	73	73	73	73	73	73	73	73	73
明度色1	Pearsonの相関係数	-.257*	-.294*	-.249*	-.342**	-.277*	-.422**	-.303**	-.085	1
	有意確率(両側)	.028	.012	.034	.003	.018	.000	.009	.473	.473
	N	73	73	73	73	73	73	73	73	73

\*\*、相関係数は1%水準で有意(両側)です。  
\*、相関係数は5%水準で有意(両側)です。

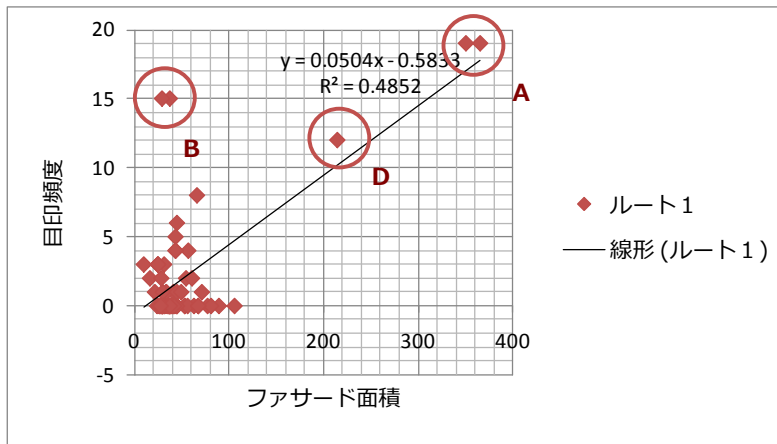


図 6-3-1. ルート1 ファサード面積散布図

図 6-3-1 に示される散布図の通り、Aの建物は、戸建ではなく、集合住宅で、ファサード面が二面見えており、ルート1で際立ってファサード面積が大きいことから、相関に示される通り、目印として選出されている。被験者の挙げたキーワード

でも、全員が「(周囲より) 大きい」と述べていた。図 6-3-1 に示されるBは、ファサード面積が大きい、挙げられなかった。ここで、表 6-3-3 に挙げたBの詳細データを参照する。Bは、2つの住宅が連続して同じ外観であるのが、目についた理由の一つとして挙げられる。それぞれの経過年数をみると、ルート1にあるものに比べ、新しい。屋根形状をみると、片側は、片流れになっており、ルート1でも数少ない。(図 6-3-1 ルート1ヒストグラム参照のこと。) よって、被験者は、周囲とのこれらの項目を周囲と比較し、

目印として役立つと認知したのではないかと考える。さらに、細かくみると、色1と色2の彩度が異なる。目視では、色1はレンガで鮮やかな褐色で、色2は白で無彩色である。このことから、2色の対比の鮮やかさも被験者の目に留まる要因であると考えられる。

表 6-3-3.ルート1 建物A B C D詳細項目別

	幅(m)	高さ(m)	ファサード面積	色1 色相	色1 彩度	色1 明度	色2 色相	色2 彩度	色2 明度	経過年数	屋根形状
A	9	10	364.50	206.67	0.19	48.00	48.89	0.11	255.00	2	3
B	7.5	5	37.50	60.00	0.11	255.00	240.00	0.01	114.00	5	1
	5.85	5	29.25	36.92	0.18	214.00	10.00	0.56	139.00	5	2
C	6.3	5	31.50	97.50	0.13	61.00	26.00	0.48	187.00	3	1
D	28.5	5	213.75	17.14	0.05	133.00				3	3

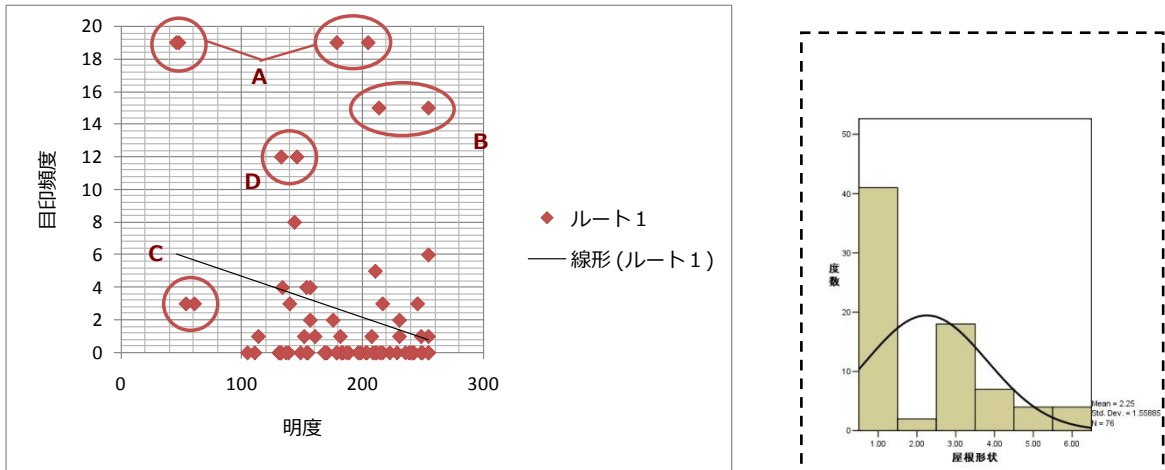


図 6-3-2.ルート1 明度—目印頻度散布図

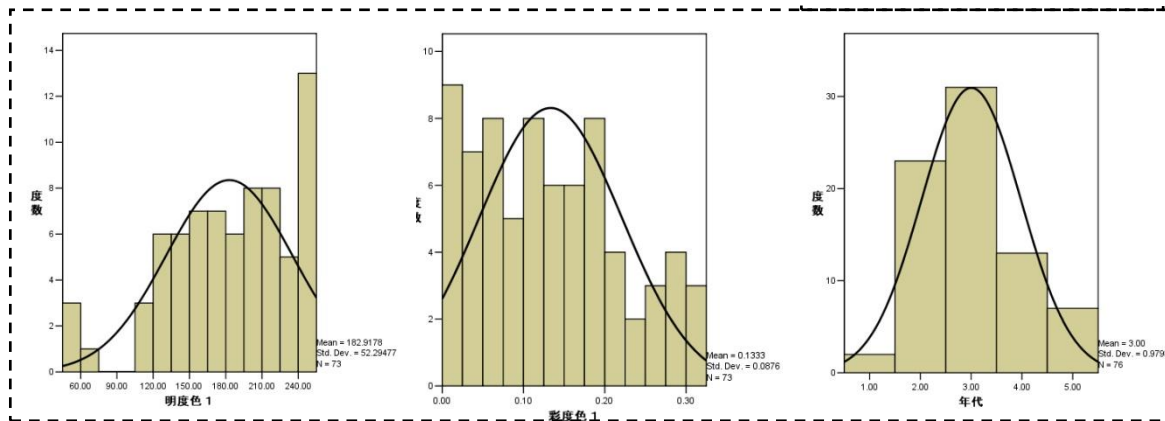


図 6-3-3.ルート1 明度 (右) /彩度 (中央) /経過年数 (左) /屋根形状 (左上) ヒストグラム図



次に、図 6-3-2 に示す目印頻度と明度の相関散布図をみてる。目視では色 1 はグレーであり、明度において、相関がみられたのは A が要因であると考えられる。かつ、A の色 2 は窓枠の白で、明度において違いがみられたのも、被験者が選出した 1 つの要因であると考えられる。

色 1 で、明度が暗いが、ルート 1 で目印頻度との相関がでなかった建物 C をみてる。ファサード面積／経過年数／屋根形状 3 項目では、ルート 1 から際立ってはいない。(図 6-3-3 参照) 色 1 は、目視で確認すると、深緑色のベランダの木枠が住宅二階部分より全面にでている。色 2 は、あまり明度が際立って低くないことから、色 1 と色 2 の相乗で、あまり暗いと認知されていないようである。かつ、C の建物は、B の建物と近い箇所があり、B の建物の方が前述のように特異な点が多いことから、周囲との比較を行う際、B の建物がより目についたのではないかと考えられる。

まとめとして、ルート 1 では、色が暗いものと、ファサード面積が大きいものが選ばれる傾向にある。これは、実際にルート 1 で際立って大きい建物 A の要因の特色が反映されているに関連する。実際のルートの空間構造を反映して、目印となって選ばれるものも変わってくるのがいえる。被験者が目印選出理由において挙げた 2 色の対比が、定量的にみても周囲と異なる場合に目印として機能することがルート 1 の分析で証明された。

6-3-2. 分析結果・考察／ルート2

ルート2における建物の記述統計量を表6-3-3に示す。

表6-3-4. ルート2 記述統計量

記述統計量					
	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
目印頻度	63	0	19	2.59	5.296
目印頻度 1度目	63	0	18	2.17	4.774
目印頻度 2度目	63	0	16	2.02	4.267
道に面する建物幅	62	4.50	14.70	7.9645	2.36621
建物高さ	61	2.00	7.00	5.3934	1.06894
ファサード面積	62	.00	73.50	41.7629	14.64876
色相	60	.00	300.00	112.7942	82.08347
彩度	61	.00	.54	.1310	.12430
明度	61	68.00	255.00	184.4098	53.06706
年代	62	1.00	5.00	3.0323	1.29270
屋根形状	62	1.00	6.00	2.5645	1.74263
有効なケースの数 (リストごと)	59				

ルート2における③ファサード面積 ④色相・彩度・明度と、目印頻度との相関、またはその有意判定結果を表6-3-2に示す。相関に関して全項目有意な判定結果は出なかった。ここで、経過年数と目印頻度の相関結果でも、有意判定が出なかったため、結果を省略する。

ルート2では、ルート2で認知される環境との比較によらず、目印として際立った可能性がある。また、本分析項目ではみられない別の要因があるのではないかと可能性が考えられる。そこで、多数の人が共通して挙げる目印、Aグループ（合計の目印頻度が10回以上）に属し、ルート2で挙げられた建物の特徴を観察する。Aグループに属し、ルート2で挙げられた建物EFGHIを取り上げる。ルート2の屋根形状ヒストグラムは図6-3-4に示す。目印頻度と屋根形状／経過年数／ファサード面積／彩度／明度の相関を示す散布図を図6-3-5、図6-3-6、図6-3-7、図6-3-8、図6-3-9に示す。（ルートから建物ファサードが2面見えている面積は2つ別にプロットされる。）

表6-3-5. ルート2 目印頻度との相関／有意判定結果

		目印頻度	目印頻度 1度目	目印頻度 2度目	ファサード 面積	色相	彩度	明度
目印頻度	Pearsonの相関係数	1	.992**	.992**	.030	-.121	.198	-.047
	有意確率(両側)		.000	.000	.820	.355	.126	.720
	N	63	63	63	62	60	61	61
目印頻度 1度目	Pearsonの相関係数	.992**	1	.986**	.048	-.123	.189	-.025
	有意確率(両側)	.000		.000	.714	.351	.144	.846
	N	63	63	63	62	60	61	61
目印頻度 2度目	Pearsonの相関係数	.992**	.986**	1	.026	-.121	.191	-.044
	有意確率(両側)	.000	.000		.840	.357	.140	.734
	N	63	63	63	62	60	61	61
ファサード面積	Pearsonの相関係数	.030	.048	.026	1	-.001	-.195	.073
	有意確率(両側)	.820	.714	.840		.993	.132	.579
	N	62	62	62	62	60	61	61
色相	Pearsonの相関係数	-.121	-.123	-.121	-.001	1	-.332**	-.122
	有意確率(両側)	.355	.351	.357	.993		.010	.353
	N	60	60	60	60	60	60	60
彩度	Pearsonの相関係数	.198	.189	.191	-.195	-.332**	1	-.206
	有意確率(両側)	.126	.144	.140	.132	.010		.112
	N	61	61	61	61	60	61	61
明度	Pearsonの相関係数	-.047	-.025	-.044	.073	-.122	-.206	1
	有意確率(両側)	.720	.846	.734	.579	.353	.112	
	N	61	61	61	61	60	61	61

\*\*、相関係数は1%水準で有意(両側)です。

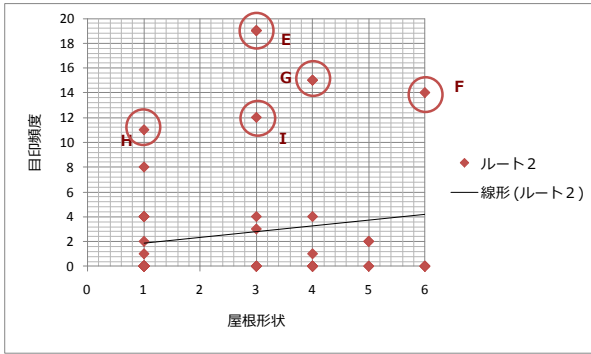


図 6-3-5. ルート2  
屋根形状と目印頻度の相関散布図

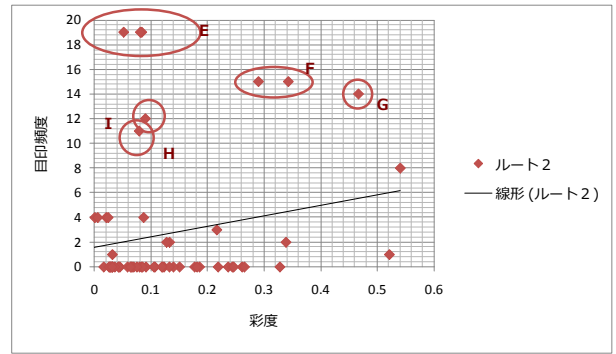


図 6-3-6. ルート2  
彩度と目印頻度の相関散布図

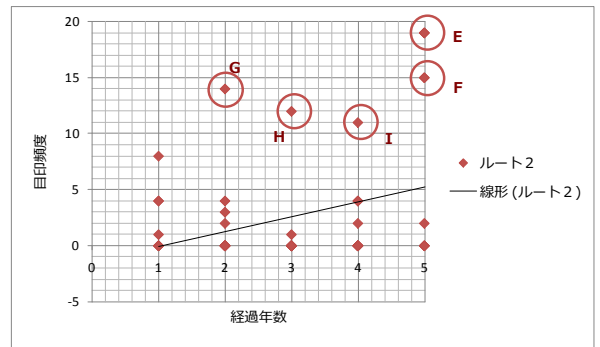
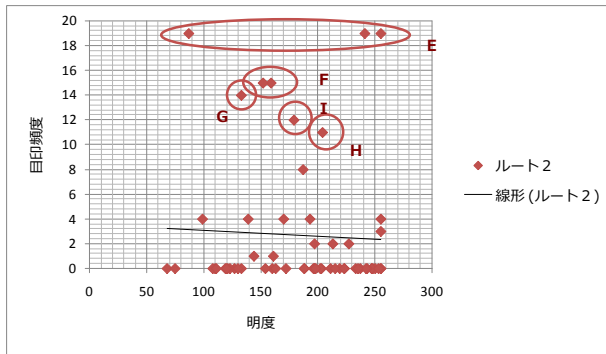
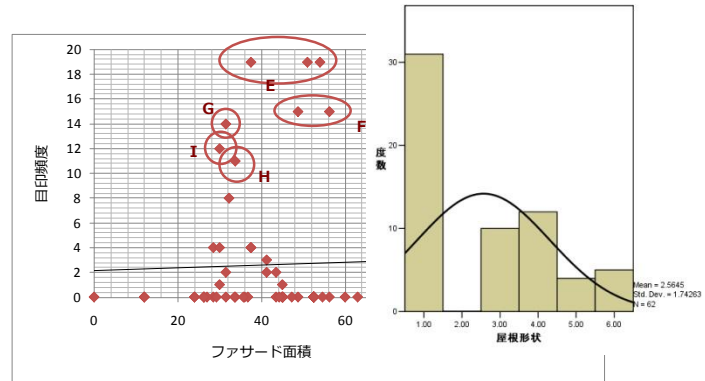


図 6-3-8. ルート2  
明度と目印頻度の相関散布図

図 6-3-9. ルート2  
経過年数と目印頻度の相関散布図  
図 6-3-4.  
屋根形状ヒスト



最も多く挙げたEの建物は、外観が似たづくりの2棟の建物が1つの集合住宅として構成されている。よって、個々の建物それぞれはルート平均であるが、2つをひとまとまりとして被験者が捉え、大きさが目についたことが考えられる。新しさと、屋根形状も目についた要因となるようである。建物Fは、図に示されるとおり、経過年数がまだ新しい

こと、彩度が比較的高く、鮮やかな色であることが考えられる。また、図に示す通り、そのファサード面がルートから2面見えていることが考えられる。建物Gは彩度が高く、住宅街において用途が異なることから、目印として選出されるのではないかと考えられる。

Iは各項目で際立っていないことから、別の要因が考えられる。推測として、建物Iは、表面がコンクリート打ち放しであることから、色の値として突出していないが、目立つファサードになっていることが考えられる。また、建物の目立つ位置に看板がついていることが、要因として考えられる。

以上をまとめると、ルート2全体では、相関をとった数値としては示されていないが、原因として、それぞれ違った要因が際立った、性格の違う建物がルート2上に多かったためと推測される。

6-3-3. 分析結果・考察／ルート3

ルート3における建物の記述統計量を表6-3-5に示す。

表6-3-4. ルート3 記述統計量

記述統計量					
	度数	最小値	最大値	平均値	標準偏差
道に面する横幅	61	2.50	12.50	6.2656	2.58759
高さ	61	3.00	7.00	5.0000	.36515
ファサード面積	61	12.50	60.00	31.0492	12.23918
年代	61	1.00	5.00	2.7049	1.00572
屋根形状	61	1.00	5.00	1.4098	1.03886
R	46	49.00	255.00	171.7391	56.54750
G	46	44.00	255.00	169.0652	56.77848
B	46	49.00	255.00	163.3043	53.03369
色2R	8	26.00	225.00	108.0000	71.49226
色2G	8	26.00	238.00	107.7500	78.83210
色2B	8	32.00	234.00	108.5000	78.47657
色相	59	9.80	300.00	115.9527	93.07350
彩度	59	.01	.39	.1198	.07566
明度	59	49.00	255.00	177.2034	52.76976
有効なケースの数(オトコ)	8				

ルート3における③ファサード面積 ④色相・彩度・明度と、目印頻度との相関、またはその有意判定結果を表6-3-6に示す。ここで、経過年数と目印頻度の相関結果では、有意判定が出なかったため、結果を省略する。ファサード面積との相関が1%水準で有意であるという結果が出た。ルート3にお

けるファサード散布図を図6-3-6に示す。図に示す通り、ファサード面積が大きいJが目印として選出されている。建物J K Lの詳細を表6-3-6に示す。建物Jは、「つたが絡まっているので」「甲子園球場みたい」等、植栽が住宅に多いことが被験者による目印の選出理由のほとんどであったが(付録参照のこと)、実際にファサード面積が大きいことが、その植栽の多さを際立たせたことが考えられる。

表6-3-5. ルート3 目印頻度との相関/有意判定結果

相関係数										
		目印頻度 合計	目印頻度 1度目	目印頻度 2度目	道に面する横幅	高さ	ファサード面積	色相	彩度	明度
目印頻度 合計	Pearsonの相関係数	1	.980**	.976**	.382**	.000	.417**	.169	.134	.045
	有意確率(両側)		.000	.000	.002	1.000	.001	.201	.310	.738
	N	61	61	61	61	61	61	59	59	59
目印頻度 1度目	Pearsonの相関係数	.980**	1	.942**	.364**	.000	.398**	.143	.119	.075
	有意確率(両側)	.000		.000	.004	1.000	.001	.279	.368	.571
	N	61	61	61	61	61	61	59	59	59
目印頻度 2度目	Pearsonの相関係数	.976**	.942**	1	.379**	.000	.413**	.167	.118	.048
	有意確率(両側)	.000	.000		.003	1.000	.001	.205	.375	.717
	N	61	61	61	61	61	61	59	59	59
道に面する横幅	Pearsonの相関係数	.382**	.364**	.379**	1	-.300*	.966**	-.101	.217	.014
	有意確率(両側)	.002	.004	.003		.019	.000	.448	.098	.914
	N	61	61	61	61	61	61	59	59	59
高さ	Pearsonの相関係数	.000	.000	.000	-.300*	1	-.071	.148	-.421**	.197
	有意確率(両側)	1.000	1.000	1.000	.019		.587	.263	.001	.135
	N	61	61	61	61	61	61	59	59	59
ファサード面積	Pearsonの相関係数	.417**	.398**	.413**	.966**	-.071	1	-.061	.094	.062
	有意確率(両側)	.001	.001	.001	.000	.587		.644	.477	.639
	N	61	61	61	61	61	61	59	59	59
色相	Pearsonの相関係数	.169	.143	.167	-.101	.148	-.061	1	-.262*	-.251
	有意確率(両側)	.201	.279	.205	.448	.263	.644		.045	.066
	N	59	59	59	59	59	59	59	59	59
彩度	Pearsonの相関係数	.134	.119	.118	.217	-.421**	.094	-.262*	1	-.099
	有意確率(両側)	.310	.368	.375	.098	.001	.477	.045		.456
	N	59	59	59	59	59	59	59	59	59
明度	Pearsonの相関係数	.045	.075	.048	.014	.197	.062	-.251	-.099	1
	有意確率(両側)	.738	.571	.717	.914	.135	.639	.056	.456	
	N	59	59	59	59	59	59	59	59	59

\*\*、相関係数は1%水準で有意(両側)です。  
\*、相関係数は5%水準で有意(両側)です。

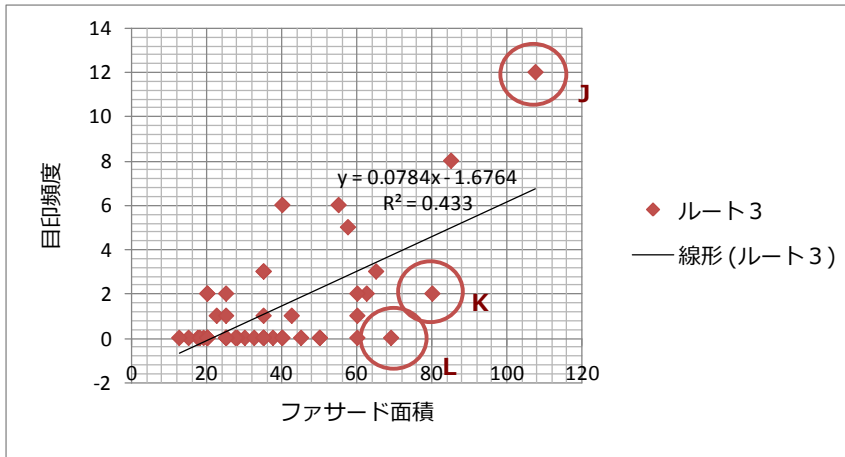


図 6-3-6. ルート3 ファサード面積-目印頻度との相関散布図

ルート1と同様、ファサード面積が比較的大きいが、目印として選出されなかった、建物Lに着目する。建物Lは、他の項目でも、ルート3にある建物群から際立った特徴はなかった。(表6-3-4・表

6-3-6 参照のこと)。もう1つ、目印として選出されなかった要因として、ルート3の独特な空間構造が関連しそうである。建物Jは、遊歩道にあり、路上にペイントや車よけ、看板などが多くみられた。建物Jの近くで、建物でない目印を挙げる被験者も多かったことから、建物J以外のものがより目印として目立つ要因が強かったことが一因と考えられる。

以上をまとめると、ルート3では、そのファサード面積が大きいものが目印として挙げられやすいことがわかった。ファサード面積が大きくても挙げられなかった建物は、近くにそれより目についた目印が多かったことが推測された。ルート3ではルートに面する建物と同等に、或いはそれ以上に路上にあるものが、目につきやすいこともわかった。

表 6-3-6. ルート3 建物 J K L 詳細項目別表

	幅(m)	高さ(m)	ファサード面積	色1色相	色1彩度	色1明度	経過年数	屋根形状
J	10.5	5	107.50	194.40	0.14	175.00	2	1
K	11	5	80.00	158.18	0.05	238.00	2	1
L	9	5	69.00	32.73	0.15	225.00	3	4

6-3-4. 分析結果・考察/ルート4

表6-3-7. ルート4 記述統計表

	度数	範囲	最小値	最大値	平均値	標準偏差	分散
目印頻度 合計	69	20	0	20	2.51	4.175	17.430
目印頻度 1度目	69	20	0	20	2.03	3.796	14.411
目印頻度 2度目	69	20	0	20	2.07	3.595	12.921
道に面する建物幅	69	32.00	2.00	34.00	6.0580	4.15821	17.291
高さ	69	19.00	2.00	21.00	5.7101	2.10812	4.444
ファサード面積	69	704.00	10.00	714.00	40.3478	83.46165	6965.848
年代	69	4.00	1.00	5.00	3.2029	1.23169	1.517
屋根形状	69	3.00	1.00	4.00	1.8696	1.19942	1.439
R色1	57	210.00	45.00	255.00	171.6316	55.89647	3124.415
G色1	57	205.00	50.00	255.00	169.1930	57.21308	3273.337
B色1	57	190.00	56.00	246.00	163.0351	54.06146	2922.642
R色2	17	174.00	81.00	255.00	175.8235	53.37513	2848.904
G色2	17	198.00	42.00	240.00	168.7647	58.38186	3408.441
B色2	17	199.00	34.00	233.00	160.6471	61.55073	3788.493
色相	69	255.00	.00	255.00	99.0699	86.32501	7452.007
彩度	69	.61	.01	.62	.1189	.11464	.013
明度	69	199.00	56.00	255.00	175.4783	54.18232	2935.724
有効なケースの数 (リスト)	17						

ルート4 記述統計を表6-3-7に示す。ルート4における③ファサード面積④色相・彩度・明度と、目印頻度との相関、またはその有意判定結果を表6-3-8に示す。正規分布を仮定しないとした継続年数と、目印頻度との相関の有意判定結果を表6-3-9に示す。

表6-3-8. ルート2 目印頻度との相関/有意判定結果

		目印頻度 合計	目印頻度 1度目	目印頻度 2度目	高さ	ファサード面積	色相	彩度	明度
目印頻度 合計	Pearsonの相関係数	1	.983**	.979**	-.011	.018	-.148	.423**	-.083
	有意確率(両側)		.000	.000	.926	.880	.224	.000	.497
	N	69	69	69	69	69	69	69	69
目印頻度 1度目	Pearsonの相関係数	.983**	1	.962**	-.003	.020	-.125	.432**	-.086
	有意確率(両側)	.000		.000	.983	.869	.306	.000	.482
	N	69	69	69	69	69	69	69	69
目印頻度 2度目	Pearsonの相関係数	.979**	.962**	1	.001	.032	-.162	.484**	-.089
	有意確率(両側)	.000	.000		.994	.793	.183	.000	.465
	N	69	69	69	69	69	69	69	69
高さ	Pearsonの相関係数	-.011	-.003	.001	1	.895**	.139	-.015	-.047
	有意確率(両側)	.926	.983	.994		.000	.256	.904	.700
	N	69	69	69	69	69	69	69	69
ファサード面積	Pearsonの相関係数	.018	.020	.032	.895**	1	.119	.081	-.010
	有意確率(両側)	.880	.869	.793	.000		.331	.508	.935
	N	69	69	69	69	69	69	69	69
色相	Pearsonの相関係数	-.148	-.125	-.162	.139	.119	1	-.217	-.074
	有意確率(両側)	.224	.306	.183	.256	.331		.073	.546
	N	69	69	69	69	69	69	69	69
彩度	Pearsonの相関係数	.423**	.432**	.484**	-.015	.081	-.217	1	-.140
	有意確率(両側)	.000	.000	.000	.904	.508	.073		.250
	N	69	69	69	69	69	69	69	69
明度	Pearsonの相関係数	-.083	-.086	-.089	-.047	-.010	-.074	-.140	1
	有意確率(両側)	.497	.482	.465	.700	.935	.546	.250	
	N	69	69	69	69	69	69	69	69

\*\*：相関係数は1%水準で有意(両側)です。

有意判定は5%水準で有意と出た。よって、ルート4では、新しく彩度が鮮やかなものが目につきやすいことがわかった。明度/彩度と目印頻度の相関散布図を図6-3-7/8、年代と目印頻度の散布図を図6-3-9に示す。

図における建物Mは、彩度が鮮やかで、新しいことから、選出されたことが示されている。反対に、彩度が低いが、目印頻度の高い建物Nを観察する。表6-3-10にその詳細を示す。比較を行うため、ルート4色相/年代/ファサード面積のヒストグラムを、図6-3-10に示す。比較的新しい建物であることがわかった。

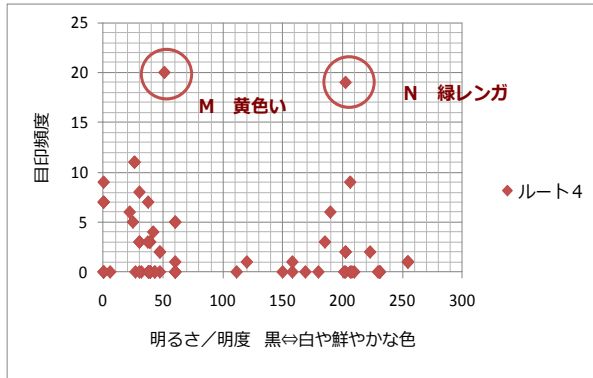


図 6-3-7. ルート4 明度-目印頻度との相関散布図

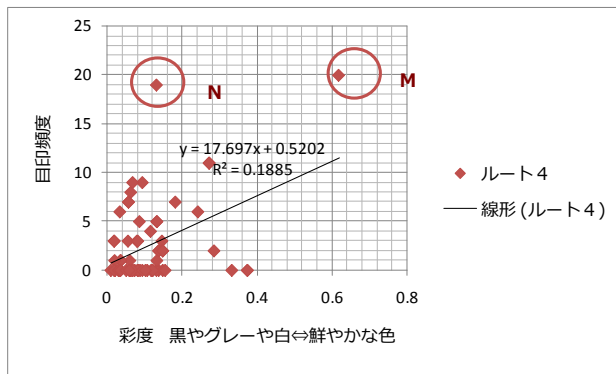


図 6-3-8. ルート4 彩度-目印頻度相関散布図

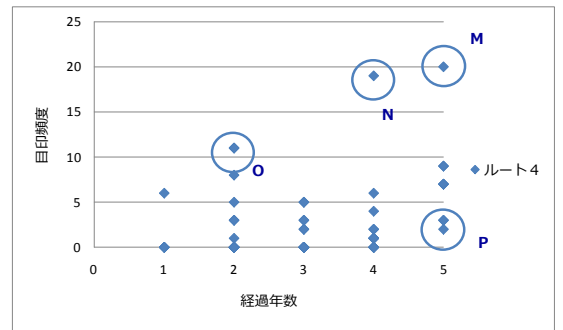


図 6-3-9. ルート3 経過年数-目印頻度相関散布図

表 6-3-9. ルート4 目印頻度との相関/有意判定結果

相関係数		目印頻度 合計	目印頻度 1度目	目印頻度 2度目	年代
SpearmanのR <sup>s</sup>	目印頻度 合計	1.000	.958**	.985**	.270*
	相関係数		.000	.000	.025
	有意確率(両側)		.69	.69	.69
目印頻度 1度目	相関係数	.958**	1.000	.934**	.238*
	有意確率(両側)		.000	.000	.049
	N		.69	.69	.69
目印頻度 2度目	相関係数	.985**	.934**	1.000	.286*
	有意確率(両側)		.000	.	.017
	N		.69	.69	.69
年代	相関係数	.270*	.238*	.286*	1.000
	有意確率(両側)		.025	.049	.017
	N		.69	.69	.69

\*\*、相関は、1%水準で有意となります(両側)。  
\*、相関は、5%水準で有意となります(両側)。

しかし、際立って目立つ要因は数値では表わされていない。おそらく、これには、ルート上の道構造と、パステルグリーンという色が関係していると考えられる。鮮やかな色ではないので、彩度にはあらわされないが、明度をみると、



比較的高い数値である。周囲が、明度が低い建物や塀が多かったことから目印として選出されたのではないかと考える。次に、経過年数と目印頻度の散布図を分析する。経過年数が新しいが選出されていない建物Pに関する項目詳細を表6-3-10に示す。

経過年数以外の項目では際立って特徴はやはり見られなかったためであると考えられる。記載されていないが、建物Pの前ではベンチを挙げる被験者が多かった。今までのルートにも共通するように、被験者が認知する環境によって、目立つ要因の優先は変わってくることが分かった。

表6-3-10.建物MNOP 詳細項目データ

	幅(m)	高さ(m)	ファサード面積	色1 色相	色1 彩度	色1 明度	色2 色相	色2 彩度	色2 明度	経過年数	屋根形状
M	12	7	84.00	50.89	0.62	181.00				4	1
N	8	5	37.50	202.76	0.13	220.00				5	3
O	12	5	125.00	25.88	0.27	187.00				3	4
P	3	7	21.00	39.00	0.08	244.00	39.00	0.08	244.00	5	4

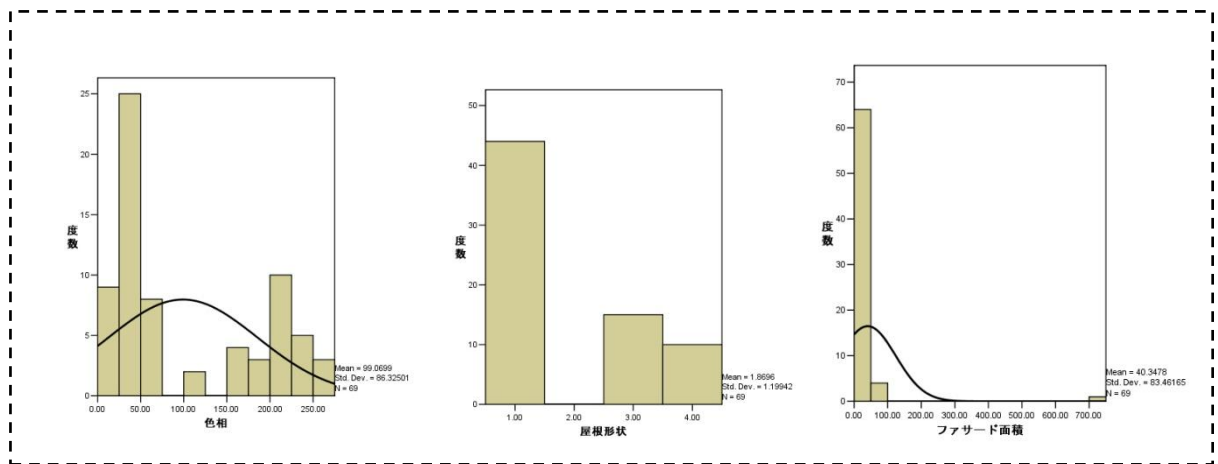


図6-3-10.ルート3 色相 (右) 屋根形状 (中央) ファサード面積 (左) ヒストグラム図

以上をまとめると、ルート4では、比較的新しく、色が鮮やかな建物が目立つ傾向にある。

### 6-3-5. 分析結果・考察／各ルート 総括

ルート1では、色が暗いものと、ファサード面積が大きいものが選ばれる傾向にある。これは、ルート上に、戸建住宅が並び、1つ大きな集合住宅が際立つ特徴を反映している。被験者が目印選出理由において挙げた「2色の対比」が、定量的にみても目印が挙がる要因となることが証明された。

ルート2では、共通した傾向は挙げられなかったが、戸数単位でそれぞれ目立つ要因は、各項目に関連していることがわかった。よって、相関が出なかったのは、それぞれ違った要因が際立った、性格の違う建物がルート2上に多かったためと推測される。実際に、ルート2では、住まい手の意図を反映した住宅が多かった。また、建物の用途は、挙げた①から⑥と同等に、或いはそれ以上に目立つ要因となりうることも分かった。

ルート3では、ファサード面積が大きいものが目印として挙げられやすい傾向にあることがわかった。それ以上に、特徴的な遊歩道があることを反映して、道路上に目移りしやすい傾向にあった。これは、5章で示した通り、目印は、その種類やスケールによらず、一貫したルールのもとに挙げられていることに関連している。

ルート4では、比較的新しいもの、色が鮮やかなものが目立つ傾向にあった。

ルート1からルート4には、目立つ要因と各々の相関の傾向に違いが観察された。ルートごとによって、目立つ要因が異なるということは、人は街路構造によって、対象のどのような特徴を捉えるかを変化させているということがいえるだろう。また、建物ごとを詳細に分析すると、ルート全体で示されなかったが、それぞれに①から⑥の何らの要因が表れている場合も多かった。

よって、道の特性ごとに目印が目立ちやすい項目はある。人は全体の道の特性をつかみ、目印選出に役立っている。加えて、道の特性によらずに選出された目印である場合は、見えている範囲での比較を行った上で、より特徴的であると判断している。

#### 6-4. 第6章 総括

本章では、実際にルート上に面する住宅全ての物理量を測定し、実際に目印として役立つ建物の要因を定義することを目指した。

全ルート、実験全体において、検証した以下の項目と、目印頻度とが相関関係にあることが示された。

- ① 建物幅
- ② 高さ
- ③ ファサード面積
- ④ 色 ー彩度
- ⑤ 経過年数
- ⑥ 屋根形状

よって、以上6項目全ての建物の特徴が、建物がランドマークとして目立つことの要因となることが初めて定量的に示された。特に、①の建物幅が今回の実験結果では一番相関が強かった。色では、彩度が重要となることも示された。対象の2色の対比も目印として選出される要因であることも定量的に示された。

実験全体では、全てが目印として役立つ要因となることがわかった。

しかし、詳しく各ルート进行分析すると、ランドマークとして目立つと示された項目の相関に違いがでた。これは、道の特性によって、ランドマークとして建物が目立つ要因の優先順位は変わることを表している。「背景や周囲」との比較を行うにあたり、ルートごとの区切りが、目印選出の重要な区切り範囲であることがわかった。

また、各ルートでの傾向に沿わない建物に関して個々に要因を探ると、6項目のどれか別の項目に関連するか、或いは、別の種別のランドマークで際立ったものが周囲に多かったためであった。

## 第7章 結論

本論文は、歩行者にとってのランドマークと、その目立ちやすさの要因を本研究では、歩行者にとってのランドマークと、そのランドマークが目立つ要因を探ることを目的とし、分析と考察を行った。

### 7-1.本論文 総括

第1章では、本論文の背景と目的、また、既往研究と本論文の位置づけを示し、「周囲との比較」に加わるランドマークとしての定義の発展に向けて、その手法の方向性を示した。

第2章では、ランドマークの定義と、その目立つ要因の既往研究での発展を明らかにした。また、それらの調査結果を受け、結果の検証を行うことを目的とした調査を行った。同時に、本論文の目的に沿った心理実験手法のあり方を探った。

第3章では、本実験計画の設計概要と、理由を明らかにした。

実験結果の分析と考察により、本研究の目的であった「背景／周囲との比較」の定義の発展に関して、分析と考察を第4から第6章で明らかにした。第4章では、「背景／周囲」の示すところの分類分けし、特徴をみた。第5／6章では、「比較」の特徴を観察した。

第4章では、本実験によって得られた結果概要を示した。

被験者が挙げた目印数と頻度を全ルート、各ルートで示した。

被験者の目印選出理由（目立つ要因）をキーワードとしてまとめ、考察を加えた。特に、「（周囲との）色（の対比）」が際立ってキーワードの頻度として挙げられた。目印が目立つ要因は多岐にわたり、どれも、目印となる場合、周囲と比較を行っていることを示唆する内容であった。既往研究に載らない様々な角度から、対象を目印として比較していることが分かった。

また対象を比較している範囲が幾つかに分類されることが示された。実験環境から、一般化した場合、「歩行者が見渡せる範囲」「歩行者が辿ったルート」「歩行者が辿るルートが属

する街での過去の経験／記憶」「歩行者の過去の経験／記憶」の5つに区分できると考えられる。

第5章では、得られた結果より、①街路空間において、ランドマークとして機能する全ての傾向と要因を探ることを目的に分析と考察を行った。

手法として、第1に、実験結果から得られた目印を性質ごとに分類分けし、その特徴を探る。第2に、位置構造に着目し、目印選出との関連性を調べる。第3に、目印頻度と、各目印群の特徴を探った。

①異なる分類の対象でも、選出理由には共通項目が多く存在する。それは、対象が、周囲から「色」「大きさ」が際立っていること、「交差点にある」「同じものが連続している」こと、「記憶との一致」「特別な思い出／感情があること」を認知して、目印として選出している。

②異なる分類の対象でも、位置構造が及ぼす目立やすさへの影響は同じである。一方、道の特性が異なると、目印として目立つ対象の分類は、反映して変わってくる。

③目印頻度が異なると、目印として目立つ対象の分類は変わってくる。目印としてより多数の人に共通して認知されるのには、よりスケールが大きくなることが重要である。

異なる分類の目印でも、その選出理由は共通項が多くみられる。1つに、道路形状がある。どの分類がより目立つかは、道の特性により変化する。傾向として、より多数の人に共通して目印と認知されるのには、よりスケールが大きくなること、より対象の継続時間が長くなることが重要であることがわかった。

第6章では、実験により得られた結果より、②ランドマークとして機能する建物に焦点を当てた。「色」や「ファサード面積」などの建物の特徴が、ランドマークの目立つ要因と関係することを定量的に示すことを目的に、分析と考察を行った。

要因となりうる実験ルートに面する全建物の特徴を、①建物幅 ②高さ③ファサード面積 ④色（RGB値） ⑤経過年数（5段階評価） ⑥屋根形状（6つのタイプ分け）の6項目に関して抽出した。以上6項目全ての建物の特徴が、建物がランドマークとして目立つことの要因となることが初めて定量的に示された。特に、①の建物幅が今回の実験結

果では一番相関が強かった。色では、彩度が重要となることも示された。対象の2色の対比も目印として選出される要因であることも定量的に示された。

実験全体では、全てが目印として役立つ要因となることがわかった。

詳しく各ルート进行分析すると、ランドマークとして目立つと示された項目の相関に違いがでた。これは、道の特性によって、ランドマークとして建物が目立つ要因の優先順位は変わることを表している。

また、各ルートでの傾向に沿わない建物に関して個々に要因を探ると、6項目のどれか別の項目に関連するか、或いは、別の種別のランドマークで際立ったものが周囲に多かったためであった。

以上のまとめを、図7-1に示す

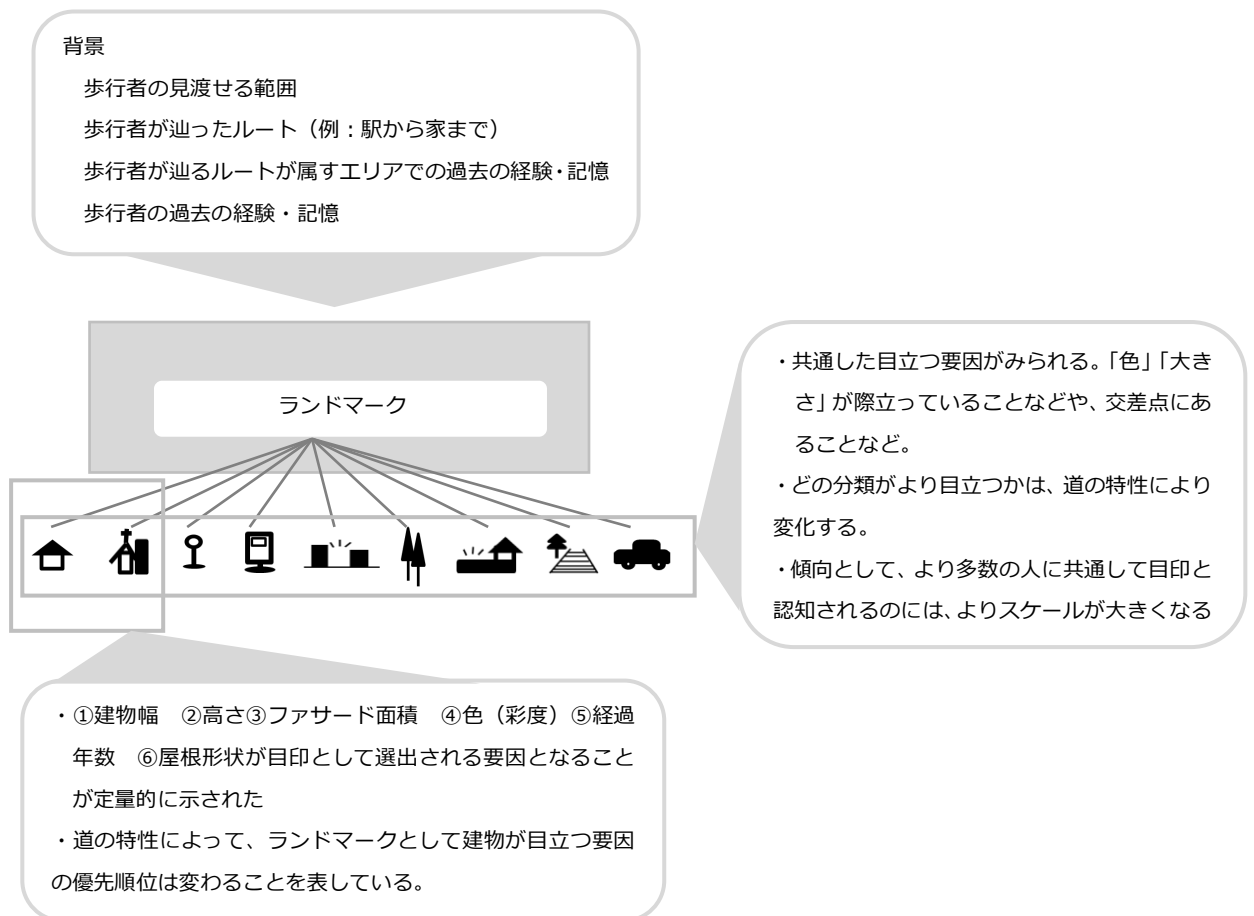


図7-1. 本論文総括イメージ図

## 7-2: 今後の発展性

今後の本論文の発展性を示す。考察において、本実験環境下で、周囲や背景の特徴を示すことができた。一般的に歩行者が道を辿る場面での応用を考察したので、それらをより詳細に調査を行うことができる。

また、分析①で行った、ランドマークとして選出される全てを対象とした考察では、建物に限らず様々な性質を持つ目印が挙げられた。位置構造による各ルートでの目印の挙がる傾向に関しても分析を進められそうである。また、被験者の選出理由によって、目印の性質によらない、目印の目立つ要因の可能性が示された。それらを②の建物と同じく、物理量を測定し、定量的に示したい。また、今回の被験者には、方向感覚の良い/悪い、普段建物に特に着目する/看板に着目する、といった様々な被験者の傾向がみられた。被験者属性によって、挙がる傾向をより詳細に観察することで、新たな発展の可能性がある。

分析②では、建物の物理量に焦点を当てた。そうした建物の特徴が、道路形状や位置構造によって異なるかについて、傾向を探る。また、被験者の選出理由では、今回の6項目以外で新たに、建物の性能や、洋風や和風といった建物のテイスト、などが挙げられた。今回で示された新たな項目を検討し、目立つ要因としてまた、定量的に因果関係を示すことで、可能性が広がる。

## 参考文献

### 論文

- [1] ケビン・リンチ著,丹下健三・富田玲子 (1968) 『都市のイメージ』,岩波書店  
Lynch K. (1960) *The Image of the city*, M.I.T Press
- [2] Klippel, A., & Winter, S. (2005):Structural salience of landmarks for route directions.  
In A. G. Cohn & D. M. Mark (Eds.), *Spatial Information Theory. International Conference, COSIT 2005*, Ellicottville, NY, USA, September 14-18, 2005, Proceedings (pp. 347-362). LNCS 3693. Berlin: Springer. (pls quote original)
- [3] Raubal, M., Winter, S.: Enriching wayfinding instructions with local landmarks.  
In Egenhofer, M.J., Mark, D.M., eds.: *Geographic Information Science. Volume 2478 of Lecture Notes in Computer Science*. Springer, Berlin (2002) 243–259
- [4] Nothegger, C., Winter, S., Raubal, M. : Selection of salient features for route directions.  
*Spatial Cognition and Computation* 4 (2004)
- [5] Winter, S., Raubal, M., Nothegger, C.: Focalizing measures of salience for wayfinding.  
In Meng, L., Zipf, A., Reichenbacher, T., eds.: *Map-based Mobile Services – Theories, Methods and Implementations*. Springer Geosciences, Berlin (2005) 127–142
- [6] Winter, S.: Route adaptive selection of salient features.  
In Kuhn, W., Worboys, M.F., Timpf,S., eds.: *Spatial Information Theory. Volume 2825 of Lecture Notes in Computer Science*.Springer, Berlin (2003) 320–334
- [7]Presson, C.C., Montello, D.R.: Points of reference in spatial cognition: Stalking the elusive landmark. *British Journal of Developmental Psychology* 6 (1988) 378–381
- [8]Siegel, A.W., White, S.H.:The development of spatial representations of large-scale environments. In Reese, H.W., ed.: *Advances in child development and behavior. Volume 10*. Academic Press, New York (1975) 9–55
- [9] Couclelis, H., Golledge, R.G., Tobler, W.: Exploring the anchorpoint hypothesis of spatial cognition. *Journal of Environmental Psychology* 7 (1987) 99–122
- [10] Denis, M.: The description of routes: A cognitive approach to the production of spatial discourse. *Current Psychology of Cognition* 16 (1997) 409–458
- [11] Michon, P.E., Denis, M.: When and why are visual landmarks used in giving directions?  
In Montello, D.R., ed.: *Spatial Information Theory. Volume 2205 of Lecture Notes in Computer Science*. Springer, Berlin (2001) 292–305
- [12] Tversky, B., Lee, P.: Pictorial and verbal tools for conveying routes.  
In Freksa, C., Mark, D., eds.: *Spatial Information Theory. Volume 1661 of Lecture Notes in Computer Science*.Springer-Verlag, Berlin (1999) 51–64
- [13] Lee, P., Klippel, A., Tappe, T.: The effect of motion in graphical user interfaces.



- In Butz, A., Krüger, A., Olivier, P., eds.: Smart Graphics. Springer, Berlin (2003) 12–21
- [14] Tom, A., Denis, M.: Referring to landmark or street information in route directions: What difference does it make? In Kuhn, W., Worboys, M., Timpf, S., eds.: Spatial information theory. Volume 2825 of Lecture Notes in Computer Science. Springer, Berlin (2003) 384–
- [17]平成 18 年度 東京大学工学部 都市工学科 都市計画コース 卒業論文 平田翠  
「歩行者案内図において役立つ目印の特徴」
- [18] Deakin, A., “Landmarks as Navigational Aids on Street Maps”.  
Cartography and Geographic Information Systems, vol. 23 (1), pp. 21-36, 1996.
- [19] Lovelace, K. L., Hegarty, M., & Montello, D. R. (1999). Elements of good route directions in familiar and unfamiliar environments. In C. Freksa, & D. M. Mark (Eds.), Spatial information theory: Cognitive and computational foundations of geographic information science, COSIT '99, Vol. 1661 Lecture Notes in Computer Science (pp. 65–82). Berlin: Springer.
- [20] Siblle D.Steck and Hanspeter A. Mallot, 2000:“The Role of Global and Local Landmarks in Virtual Environment Navigation”: Presensce, Vol.9, No.1, Febraury 2000, 69-83
- [21] 中澤啓介,2008 :『ランドマークの視認性に基づいた動的な案内地図作成』: 情報処理学会論文誌,Vol.49,No 1,pp233-241
- [22] Appleyard ,D(1969) Why Buildings Are Known: A Predictive Tool for Architects and Planners  
Environment and Behavior, 1, 131-156.
- [23]志水 英樹 (1979)『街のイメージ構造』技報堂出版 141 p
- [24]Siegel, A.W. and Schadler,M. (1977): Young children’s cognitive maps of their class rooms.  
Child development,48,388-394
- [25]
- [26] Siegel, A.W. and White,S.H.(1975): The development of spatial representations of large-scale environments. Ress,H.W.ed : Advanced in Child Development and Behavior Vol.10. Academic Press,N.Y.,9-55
- [28]Thorndyke,P,W.,& Strasz,C (1980) Individual differences in procedures for knowledge acquisition from maps. Cognitive Psychology,12,137-175
- [29]Golledge,R.G.(1991):Cognition of Physical and built environments. Garling,T. and Evance,G.eds.: Environment, Cognition, And Action: An integrated approach.Oxford UP, New York,35-62

## 図書

- [15]村越 真 『方向オンチの謎がわかる本』(2003、集英社)
- [16]新垣 紀子 野島久雄 『方向オンチの科学』(2001、講談社)
- [27]若林 芳樹 『認知地図の空間分析』(1999、地人書房)

## 謝辞

**本論文を完成させる経緯では、多くの方々に支え、導いていただきました。ここに、深く感謝の意を表します。**

修士過程より環境心理という異なる学術分野に挑戦し、本論文を書きあげるまで、幅広い知見と多角的な視野を持つことができました。これは、先生方々の貴重なご指導のもと、結実したものであります。ここに深く感謝いたします。

石川准教授には、三年間という長い間に渡りご指導いただきました。先生の講義は大変興味深く、空間情報科学という新しい分野に踏み込めたのも、先生の講義がきっかけでした。私が興味をもった日常の些細なテーマを、学術的な結果として納めることができたのも、建築分野で得た私の知見を生かそうと先生が根気強く指導してくださったおかげです。心より感謝いたします。実験計画や分析においては、幾度となく軌道修正してくださり、正しい方向へと導いてくださりました。本当にありがとうございました。

浅見教授は、幅広い視点と深い学術的知識の両方を兼ね備えた方で、示唆に富んだ貴重なご指導をいただきました。ご多忙の合間を縫って、熱心にご指導くださったこと、心より感謝いたします。研究会の活動などでも、先生と過ごした楽しい思い出をつくることができ、とても嬉しかったです。本当にありがとうございました。

大野教授、松村教授には、ベルギー建築学校への留学で大変お世話になりました。ありがとうございました。社会環境学専攻、空間情報科学センター、工学部研究科、学際情報学府の先生方々、授業やシンポジウム等で、大変興味深い知見を数多く示してくださったこと、感謝いたします。

浅見研究室と都市解析研究室の先輩方々にもご指導賜りましたこと、深く感謝いたします。殊に、中田さんの根気強い適切なご指導の下、本研究の精度を高めることができました。研究の方向性から具体的な分析手法まであらゆる場面において、幾度となく耳を傾けてくださり、的確なご指導をいただきました。加えて、物理的な面でも精神的な面でもサポート頂き、本当にありがとうございました。

浅見研究室、石川研究室、都市解析研究室、社会環境学専攻、建築学専攻、学際情報学府に所属される同輩や後輩の方々から新たな知見を得られ、とても有意義な学生生活を送ることができました。殊に、去年卒業された4人も含め、石川浅見研究室の方々、留学先で共に学んだ方々、まちなみと住まい研究会の方々には、楽しい思い出と共に、お互いを支え合うことができ、感謝しております。柗座さん、川中くん、手伝っていただいて本当にありがとうございました。共に三年間頑張ってきた李さんの、前向きな考えに何度も助けられました。物理的にも精神的にも多くの面で支えて頂きありがとうございました。荻野くん、様々な場面で色々なアドバイスありがとうございました。

また、被験者として、実験参加してくださった、社会文化環境学専攻の方々、内定先の方々、貴重なお時間の中、実験参加いただき、本当にありがとうございました。とても協力的で熱心に実験に取り組んでくださったこと、心より感謝いたします。

生活面や精神面で全面的に支えてくれた父と母のおかげで、学問を続けることができました。本当にありがとうございました。支えてくれた周囲の友人の方々、本当に感謝しております。

**最後に、改めまして本論文を執筆するにあたり支えていただいた多くの方々に感謝の意を伝えます。**

## 付録A：本実験資料

### 付録A－1：本実験での原稿（実際には口頭で説明）

今日は実験参加ありがとうございます。

今回の実験では、普段、言葉に出さないような、考えていること、心の動きをできるだけ詳細に伝えるよう心がけてください。

また今回の実験では、音声を録音させていただきます。音声は本研究の目的のみ使用します。

実験にあたり、注意点です。実験のルートを歩いている間は、実験に関係することのみをお話ください。

ただし、途中質問は、いつでも受けます。なんでも聞いてください。

（録音機器の使用の説明を行う。）

これから4つのルートを歩きます。どう歩くかを、適宜指示しますので、指示に従ってください。

歩きながら道案内に役立つと思う目印をできるだけたくさん挙げてください。特に、ここを初めて訪れてきた人に説明する際に、必要となる目印を挙げてください。目印となるものは、何でも構いません。自由に挙げてください。

初めて訪れた方が、説明を聞いて何を差し示しているか、わかるような説明を心がけて録音を行ってください。

挙げた目印に対して、それがなぜ、目印として役立つと考えたのか、なぜ他から際立っていたのか、私から必要に応じて質問してゆくので、教えてください。

（スタート地点へ移動）

では、スタートします。

（一度ルートを歩き、終点にたどり着く。）

（再度スタート地点まで戻る。）

では、もう一度歩きます。この場所からルートの終わりまで、なんとなく思い出せますか。今度は、この場所から終わりまで、実際に初めて来た人を道案内する説明を録音してもらいます。今たどってきた道を覚えているかどうかを計る実験では、ありません。

目印となる対象と、進む方向を声に出しながら歩いてください。

この際、1回目に歩きながら挙げた目印と全く同じである必要はありません。

挙げた目印に対して、それがなぜ、目印として役立つと考えたのか、なぜ他から際立っていたのか、私から必要に応じて質問してゆくので、教えてください。

では、スタートします。

（再度、終点にたどり着く。）

（次のルートへ移動。）

付録A - 2 : 実験後アンケート

名前: \_\_\_\_\_ 年齢: \_\_\_\_\_ 歳  
 出身地: \_\_\_\_\_ 都・道・府・県 \_\_\_\_\_ 市・区 \_\_\_\_\_  
 現在居住地: \_\_\_\_\_ 都・道・府・県 \_\_\_\_\_ 市・区 \_\_\_\_\_  
 性別: 男・女 \_\_\_\_\_  
 所属学科・学部名: \_\_\_\_\_

以下の質問1～27は、あなたの空間や経路探索に関する能力・好み・経験に関する文章から成っています。各文章を読んで、その内容があなたにどの程度当てはまるかを1から5の、数字を一つ〇で囲んで答えてください。

質問1～24は、とでもよく当てはまる場合は5、まったく当てはまらない場合は1、どちらともいえない場合は、3で〇で囲んでください。

	一あてはまる	あてはまらない
1 知らない土地へ行く時、とたんに東西南北がわからなくなる。	5	4 3 2 1
2 知らないところでも東西南北をあまり間違えない。	5	4 3 2 1
3 道順を教えてもらおうとき「左、右」で指示してもらおうと分かるが、「東西南北」で指示されると分らない。	5	4 3 2 1
4 電車(列車)の運行方向を東西南北で理解することが困難。	5	4 3 2 1
5 知らないところでは自分の歩く方向に自信が持てず不安になる。	5	4 3 2 1
6 ホテルや旅館の部屋に入るとその部屋がどちら向きかわからない。	5	4 3 2 1
7 事前に地図を調べていても始めての場所へ行くとはかななり難しい。	5	4 3 2 1
8 地図上で自分のいる位置をすぐに見つけることができる。	5	4 3 2 1
9 道の中に地図のイメージをいきいきと思いつかせることができる。	5	4 3 2 1
10 ところどころの目印を記憶する力がない。	5	4 3 2 1
11 目印となるものを見つけたらいい。	5	4 3 2 1
12 何度も行ったことのあるところでも目印になるものをよく覚えていない。	5	4 3 2 1
13 景色の違いを区別して覚えることができない。	5	4 3 2 1
14 特に車で右折左折を繰り返して目的地についたとき、帰り道では、どこでどう曲がったらいいかわからなくなる。	5	4 3 2 1
15 自分がどちらに曲がってきたか忘れる。	5	4 3 2 1
16 道を曲がるころでも目印を確認したりしない。	5	4 3 2 1
17 人に詳しく教えてもらっても道を正しく辿れないことが多い。	5	4 3 2 1
18 住宅地で同じような家が並んでいると、目的の家がわからなくなる。	5	4 3 2 1

	一あてはまる	あてはまらない
19 原掛けよ似た道路でもその違いをすぐに区別することができる。	5	4 3 2 1
20 2人以上だと人について行って疑わない。	5	4 3 2 1
21 歩く時は周りの様子を見渡す。	5	4 3 2 1
22 似たような景色が横いても、細かな違いを見つけてよとする。	5	4 3 2 1
23 目的もなく散歩することが好きである。	5	4 3 2 1
24 一度行ったことのある街の印象(イメージ)を、はっきりと思い出せる。	5	4 3 2 1
25 知らない街を歩く際は、街全体の印象(イメージ)を捉えようとする。	5	4 3 2 1
26 歩く際は、街の印象の変化を覚悟する。	5	4 3 2 1
27 知らないところでは、できるだけ目印となるものを見つけてよとする。	5	4 3 2 1

次の質問28では、普段のあなたの考えや行動に近いと思う選択肢のアルファベットに〇をして下さい。〇のついた選択肢に当てはまる方は、〇内へ記入して下さい。

28. 普段道を歩きながら主に、以下のものに目をとめる(気にかける)。  
 A.建物 B.看板や広告  
 C.歩行者 D.空  
 E.道路または道路の形状 F.ストリートファニチャア(断灯やポストなど)  
 G.A～F以外

以下は、実験対象地(阿佐ヶ谷)に関する質問です。選択肢のアルファベットに〇をして下さい。〇のついた選択肢に当てはまる方は、〇内へ記入して下さい。

29. 対象地を訪れたことはありますか。 A.ある B.ない  
 30. Aと答えた方を対象に伺います。  
 (1) 訪れたのは何回ですか。 ( )回  
 訪れた回数:  
 (2)一番最近に訪れたのはいつですか。  
 訪れた日時:( )年 ( )月頃  
 (3)また、対象地の町並みはどの程度記憶に残っていますか？  
 A.よく覚えている B.少し覚えている C.あまり覚えていない D.まったく覚えていない

質問は以上です。お疲れ様でした。ありがとうございました。

出力サイズ : 257mm×364mm



## 付録B：本実験結果

### 付録B-1：被験者音声データ 20名（No.1—No.20）

#### No.1

##### 1ルート1回目

- ・左手に赤い消化器
- ・島田さんの家
- ・赤い消化器
- ・高円寺アパートでその前に畑
- ・杉の木（松）
- ・左手墓地
- ・両側塀

##### 1ルート2回目

まっすぐきた突き当りに小池さんの表札が見えるのでそこを左に曲がってください。

まっすぐ進んでいると道なりに右に曲がっていくので右に曲がります。

左前に高円寺アパートが見えるのでそこを左に曲がります。その高円寺アパートは結構大きくて門の前に畑のようなものがあります。

高円寺アパートの次に右に入るところの道を入ります。

曲がった角の家は垣根的なものがあります。

右手に杉の木のある家があります。

左手にカーサビアンカって大きく文字が書かれているアパートがあります。

まっすぐすすんでくると正面に同じ感じの家が二つあって、その家はわりと新しく、茶色と白の家がありますので、そこを左に曲がります。

そこを左に曲がると、右と左に塀がある道を進みます。

左手には墓地があります。

##### 2ルート1回目

- ・左手に鳥居があってちょっと木が生えているところ
- ・右手にアスレチック/阿佐ヶ谷幼稚園
- ・ヘイに草がいっぱい垂れている
- ・右手に工事中
- ・左手にシャッターがいっぱいある車庫
- ・左手に杉山商事っていうコンクリート造りの建物—セットバックしているから
- ・右前の家というかブロックはわりと木や緑がたくさんあります。

- ・左手に、日本風な玄関がある家
- ・左手に、富士見月極め駐車場が角の一区画にあります。
- ・右手に木で作られた塀みたいなやつがあって、park village asagaya ってゆうちょっと入口がきれいな大きめのアパート
- ・竹

## 2ルート2回目

後ろに公園があるのでそちら背にして進みます。

左手に鳥居のようなものがある木がいっぱいあるところがあります。

左手にお地蔵さんがいます。

右手にあさがや保育園があります。

右手に草に覆われた塀があります。

左手にシャッターのついた車庫がいっぱい並んでいるところを右手に曲がります

その角に消化器があります。

左手に杉山商事があります。コンクリートの壁で、きれいなかんじです。

左手にオレンジ色の壁の家があります。

右斜め前に草や木がいっぱいある角があります。そこを左に曲がります。

左手に赤茶色っぽい壁の家があります。

右手と左手に駐車場があります。

右手に木でできた塀があるアパート、park village asagaya があります。わりときれいで大きめのところ  
です。

左手に竹のある角があります。

## 3ルート1回目

- ・道の真ん中に木
- ・車両止
- ・右手の塀はコンクリートではなく、鉄板の板
- ・ひまわり荘っていうかわいい名前の建物
- ・左手に壁と塀が草に覆われている家
- ・左手にわりと新しいアパートがあります。茶色いアパートです。

## 3ルート2回目

道の真ん中に木が生えている通りを進んでいきます。

今まではコンクリートの塀だったんですけど、今は鉄板の壁のある家があります。薄い紫色です。

赤く塗られた車両止、交差点のようなところを左に曲がります。

左に曲がるときに右手には赤い塀が見えます。

右手には駐車場があります。

地面が赤いコンクリートのところがあります。

左手は、壁と塀が木で覆われている家です。

今交差点にいますが、左手の奥に家を建設中のところがあります。

左手にサンパレスというアパートがあって、

道なりにすすむと左に曲がってゆくんですけど、その角にわりと新しい茶色の壁のマンションがあります。

#### 4ルート1回目

- ・左手に黄色い建物、一階部分だけ黄色い
- ・正面の家に杉の木が一本
- ・正面に公園のようなところ、フェンス 一開けている、土が見えた
- ・左手に同じ様な形をした家が四つほど並んでいます。
- ・左手に壁の真ん中に赤いラインが入っているマンション、アパート 一色、面積が広い
- ・コンクリートのブロック
- ・左手に草や木が生えているところ
- ・左手にピンクっぽい建物、ヒルズ阿佐ヶ谷

一曲がった正面にあった、文字が見やすい、ヒルズってなんだろうと思った

- ・通り歩いて右前にコンクリートでできてオレンジ色がある建物
- ・サンハイツ阿佐ヶ谷
- ・左手に家の敷地内に木がいっぱいある家があって、その家はコンクリートの塀で囲まれている
- ・前方の方に高い木一木があんまりない
- ・タイムズの黄色い看板 一緑の中に黄色い色が目立った
- ・右手に青い鉄の板の塀色
- ・右手にはけっこう大きめの茶色いマンション一高さが高い
- ・左手にベンチ
- ・左手にわりときれいなかんじのアパート 一上質的な色でいいマンションなのかな、と
- ・右手には肌色の塀で囲まれている敷地があって木などがいっぱい生えている

一長く続く塀がこのルートになかった

#### 4ルート2回目

左手前方に、一階部分が黄色い建物が見えます。建物の前が駐車場であるので、ちょっと遠くからでも確認できます。一周りに黄色ってゆう建物がまぶらないから。

右手には、わりと新しめのアパートでガラスの面積が結構大きく使われてる建物があります。一ガラスの面積が大きい。色が白くてきれい。

まっすぐ進みます。

目の前に杉の木が一本立っている家があるので、そこを左に曲がります。

そこを左に曲がると、なにか開けた広場みたいな場所があって、その奥にはフェンスが見えます。そこにむかって歩いていくと、公園の文字が見えます。



その公園の前で、右に曲がります。

消化器が右手にあります。

左手には同じ様な形をした家が4つ並んでいます。

右に曲がると、左手に真ん中に赤いラインが入った建物があります。—赤い面積大きいから。

前方にうす緑色と赤色の壁の家があり、ここで左に曲がります。

左手には、木が高め生い茂った敷地があってその中に家があります。

道をちょっと進むと、右前くらいにピンク色をしたアパートがあってヒルズ阿佐ヶ谷、そこを左に曲がります。

今歩いている前方には、壁がコンクリートで、茶色の色が入っている建物を確認できます。

角にサンハイツ阿佐ヶ谷、白いアパートがあるので、そこを左に曲がります。

右手には砂利の駐車場があって、—このルート

左手には、コンクリートの塀の上に、茶色い鉄の板の塀があります。—

視界が開けたかなというところを歩いていて、前方には木が生い茂ったところがあります。

左手にコンクリートの壁につたが張り付いている家があります。

家の入口が小さめで、ここから入るのか、と思うところがあります。

タイムズっていう駐車場の看板があり、自動販売機もその角にあります。そこを左に曲がります。

左に曲がると、青い鉄板の塀があるところがあって、その奥に高さのある茶色い建物があります。

進むと、左手に白いベンチがあります。

歩いてくると、左手前方に新しそうなマンションがあります。

右手にはちょっと今までより高めの、2mくらいある塀がある敷地があり、そこは木が生い茂っています。

肌色の塀です。

## No.2

### 1ルート1回目

- ・団地みたいな
- ・町内会の看板—(ポスターの)大沢あかね、気になる
- ・ゴミ集積所—青いネット
- ・松
- ・お墓—視線の先にぴょんと墓石が出ている。

### 1ルート2回目

西にまっすぐ行ってT字路があります。

突き当たりまで歩いたらT字路の正面に青い屋根の家があります。その家の前を左に行きます。

この家には「いかのおすし」の看板があります。—文字だから読んだ

そのまままっすぐ。続いてまっすぐ行くと、コンクリート打ちっばなしの住宅があります。そこは通りすぎてまっすぐ行ってください。

そうしたら、すぐ右に曲がる場所があるので、そのまま道なりに右へ。

ピーポくんがいっぱいいます。

続きまして住宅街にどーんとアパートがあります。名前は、高円寺アパートらしいです。その高円寺アパートを左に曲がってください。—古めかしい。学校かと思った。無機質な感じが、住宅街にミスマッチ。アパートっぽくない。

高円寺アパートを過ぎる前に看板があります。高円寺新生町。

ゴミ捨て場の角を右に曲がります。

曲がると、オペルとブジョーが並んでいます。

右側に立派な松が、丁寧に育てているっぽい、玄関の前にどーんと。通り過ぎます。

通り過ぎた後に、アパートが二つ。高円寺と、カーサビアンカ。

—文字の大きさ。普通おアパートより大きい。

カーサビアンカを過ぎると、ジープが止っている家。自然採光の家。

—屋根が斬新。屋根の側面のガラスが、光を取り入れて、中が結構明るいのではないかと思う。

自然採光の家を左に曲がると、すぐお墓が見えます。

カサデルアーチェロの前で止まります。

### 2ルート1回目

- ・鳥居と祠 —木が多い。鳥居は誰が参拝するんだろう。

- ・クリーニング屋さん ーレトロで好き。
- ・あさがや幼稚園 ー木が気になった。 カンバン大きい。
- ・車庫と書いてあるシャッター ーシャッターに文字があるのが気になった。
- ・ローズ
- ・シャッター9枚 ーふつうの住宅じゃない
- ・シティハイムエム ー家主が森さんかな。
- ・シティハイムあきよし
- ・鉄筋の足場。 ーただの雨よけにしては行業しいかんじがする。かすれているのが塗りなおさなくていいのか。
- ・コンクリート打ちっばなしの家。CUBE。
- ・黄色の家
- ・古めかしいアパート
- ・キノコみたいな木 ー他の木と違い手入れがされている。
- ・自然採光がされている家、田上さん
- ・パークビレッジ阿佐ヶ谷 ー門構えが目立つ。周りのアパートと比べて新しい。モデルハウスみたい。
- ・竹 ーかっこいい。東京にあるのは珍しい。

## 2ルート2回目

鳥居と祠の角を左手にみてまっすぐ進みましょう。

すぐに右手に幼稚園、左手にクリーニングがあります。まっすぐ進みましょう。

シャッターにわざわざ車庫と書いてある文字を、左手にみてまっすぐ進みます。

メゾンローズを左手にみてまっすぐ進むと、メゾンローズからだいたい30mぐらい進むと、左手にシャッターがいきなり9枚並んで。シャッター9枚の正面に道があります。

角にシティハイムエム。シティハイムエムの前を入っていきます。

すると、シティハイムあきよし。

シティハイムあきよしの横には、赤い足場の家を左手にみてまっすぐ進みます。

隣には、またコンクリート打ちっばなしのアパートがあります。

まっすぐ進むと、土色の家。

角に古めかしい家があるので、そこを左。レトロな古いアパートを左に曲がります。

右手の民家、林さんなんですが、キノコの木があります。

まっすぐ進むと、右手に、モデルルームみたいなアパート、名前はパークビレッジ阿佐ヶ谷。

左手に、竹の群れが見えます。ここで終了です。

### 3ルート1回目

- ・道路上に文字
- ・道の真ん中の木 一気使って手入れしている。道の真ん中
- ・「マテバシイ」の札
- ・左手の通路の天井が斜めっているアパート。
- ・止まれの道路の絵がイルカ 一なゼイルカ
- ・道路の絵がライオンとワニ。
- ・遊歩道の看板の金太郎の絵。
- ・道路の絵がパンダ
- ・改装中のアパート 一古めかしいアパートだから、全面改装か、塗り替えか気になる
- ・電柱の「ミニダックス子犬譲ります」のポスター
- ・阿佐ヶ谷 JAZZ ストリートのポスター
- ・ツタだらけの家 一人が住んでいるのか
- ・町内会の掲示板
- ・阿佐ヶ谷サンパレスの看板
- ・アパート avion の看板

### 3ルートの2回目

遊歩道をまっすぐ進んでいきます。特徴として、道の真ん中に木があります。マテバシイの木を何本もくぐりぬけてまっすぐ。

スタートから 50m くらいに、左手に天井が斜めになっているアパートがあります。

ずっとシイの道を歩いてきてください。

右手にクリーム色のアパートがあります。フジエフパティオ。

クリーム色を過ぎて下さい。(シイばかりみて道間違えた)

右手にすごく真っ赤なフェンスが見えたら、まわれ左、左にまっすぐ進んでいきます。

しばらくすると、アパートの改装をしています。

電柱に「ミニダックス子犬譲ります」のポスターを左にみてまっすぐ進みます。

そうすると、左に葉っぱにまみれたおうちがあります。

左手に、青いイスト(車)が見えます。

左手に、avion という名前のアパートがあります。Avion を左手にみて道なりにまっすぐ進みます。T 字路になります。電柱にまた、子犬譲りますのポスターが見えます。

#### 4ルート1回目

- ・日産のローレル（車） — ボンネットにサイドミラーがあるのは珍しい
- ・黄色の家
- ・白い、モダンの家 — 直線が多いので、オフィスにみえる
- ・コスモ弥生
- ・大阪ナンバーと岐阜ナンバーの車
- ・阿佐ヶ谷西公園 — ネットで囲まれたエリア。自然があるから。
- ・若草色のアパート
- ・サンハイツ阿佐ヶ谷
- ・半地下で角にある建物（阿佐ヶ谷聖ペテロ教会）
- ・ホークス阿佐ヶ谷、色が黄緑
- ・トヨタ、ハイエース（車）
- ・たぬきの置物
- ・ベンチ — 民家になかなかない
- ・黄色い松田デニー口
- ・プレジール阿佐ヶ谷
- ・キャンプカー

#### 4ルート2回目

左手に車、日産ローレルがあります。

すぐに、黄色いおうちがあります。

コスモやよいを左手にまっすぐいきます。

T字路になります。T字路を左に向くと、その正面に公園がみえます。

公園に向かってまっすぐ進みます。

阿佐ヶ谷西公園がある角にきたら、その角を道なりに右にいきます。

10mほどでまた、左に行くところがあるので、そのまま道なりに左にいきます。

すぐに、また表札に草刈さん、があります。車はBMW。

草刈さんちの角を右に曲がります。

すぐに左手に若草色のアパートを右手に見ながら、左に曲がりましょう。

まっすぐ行くと、正面にアズキ色のヒルズ阿佐ヶ谷というアパートがあるので、そのアパートを左手にしてまっすぐ進んでください。

ヒルズ阿佐ヶ谷の隣に、サンハイツ阿佐ヶ谷があるので、サンハイツ阿佐ヶ谷を巻き込むように左に曲がってください。

まっすぐ進むと、半地下になっている教会を右手にもうちよいまっすぐ行きます。

まっすぐいくと、自動販売機が三つ並んでいます。三つ並んでいる所がT字路になっているのですが、そこを左に入っていきます。

すぐにタヌキの置物があるおうちがあります。

たぬきの置物の家を通りすぎた後に、道にベンチを置いてあるお宅があります。

そこも左手にみてまっすぐ進んでください。

ベンチのお宅の横は、またマンション、プレジール阿佐ヶ谷。

道なりにまっすぐ行くと、キャンピングカーがあるお宅があり、ルート終了です。

## No.3

### 1ルート1回目

- ・南国っぽい木 ー張り出して大きい。
- ／船みたいなドアのところ ーこだわりを感じる
- ・レモンイエローのおうち ー南欧風の家、日本になさそう
- ・渡辺さんちの門 ー錆びているかんじ、珍しい色の取り合わせ
- ・門灯 ー粋がかわいい
- ／高めの塀 ー石の取りあわせが不規則で面白い
- ・深緑のベランダ ー山荘にきているみたい、こだわりを感じる、下に柱がないので張り出している

### 1ルート2回目

左手には、赤い消化器が見えて、左手には木が生えて、白いおうちのところからスタートします。

右手に、ドアが白くて丸窓がついている印象的な家、しかも南国風なオリーブっぽい木が生えています。

そのまま左手をみると、空き地があります。

「緊急！ひったくり多発」の看板がある電柱があるので、そこを左に曲がります。

消化器が電柱に倒れそうにあります。

(音声取れていない)

- ・ピーポくん
- ・高円寺アパート
- ・垣根
- ・ゴミ収集所
- ・深緑のベランダ
- ・ギリシャ風のうち
- ・お墓

## 2ルート1回目

- ・左手の祠
- ・幼稚園・教会　—自分の学校がカソリックだった
- ・工事現場　　—いきなり空き地
- ・赤く張り出している玄関
- ・木　　—真白なおうちとの比較
- ・水色のおうち
- ・木の実が見えている木　—紅葉の色が好きだから。背も高い
- ・Park Village　—開放感があるから
- ・竹　—密集している。間引きした方が

## 2ルート2回目

左手に祠が見えます。赤い鳥居も見えるので、わかりやすいかと。

このまま道なりに進みます。

クリーニング屋さんが見えて、正面左手には、アスレチックが見えてきます。

もうちょい歩くと、教会だとわかります。

左手にガレージが並んでいる建物があります。9枚くらい。

ガレージが見えたら、T字路になるので、右手に曲がります。

左手に、杉山商事ってゆう会社があります。—CUBEが目についた。

下が茶色で、上が薄ピンクの家があります。

ピンクのおうちのところが十字路になるので、左手に曲がります。

右手に駐車場が見えます。—手前に木が生えているから庭かと。新しいから。

PARK VILLAGE ってゆうのが右手に見えます。

まだ道なりです。終点は左手に竹が見えます。

## 3ルート1回目

- ・道の真ん中に木がポンポンと生えている
- ・イルカ　—水色だから
- ・レモンイエローのおうち　—色
- ・白いアパート群　—みんな似ているから
- ・レンガのおうち　—赤っぽい色が好き。暖かいカンジがする。
- ・幅が狭いのに建っているおうち　—中の間取りまで考えてしまう。

## 3ルート2回目

遊歩道に入ります。手前のところにライオンの標識があるので、入口だとわかります。

道の真ん中に木が生えているのが、等間隔に5本見えます。

今右手に白樺が日本並んでいます。一高原な感じがする。

左手のおうちに2つピンクのバラが咲いています。一秋にバラが珍しい。

曲がり角がありますが、真っ直ぐで、右手に黄色いアパートが見えます。

左手は、塀がトタンになっている家があります。

道のところ、十字路に出るところにワニがいます。

左に曲がります。すると、電柱に、「左折車通行困難」って書いてあります。

十字路に出ます。十字路のしるしのところが赤地に白になっていて、この道は遊歩道です。

左手に曲がっていくところに、花が満開です。

そこを曲がったら、そのまま道なりです。

#### 4ルート1回目

- ・左手の黄色いうち 一はっきり黄色、円柱が目につく。個性を主張。
- ・公園 一 バスケができる網、ネットが目に入る。手前が開けている。
- ・インターホンの上の白雪姫の小人 一かわいい。
- ・つたに覆われているおうち 一隣が新築で、対比がある。甲子園球場みたい。
- ・ピンクのような黄色を薄めたような家、半地下（阿佐ヶ谷聖ペテロ教会）
- ・レンガ造りの家 一門が気になって、庭が開けている

#### 4ルート2回目

左手に見えてくるおうちが、一階部分がまっ黄色で、二階が箱っぽい、目に入ってきます。

道なりにまっすぐ行きます。

右手に三階のマンションが見えてきたら、T字路に出ます。一おうちが続いていたから。

T字路の正面のおうち、目の前に松の木が生えています。

左に曲がります。正面に青緑のフェンスに囲まれた公園が見えます。

それが見えたら、また、右手に曲がります。

すると、また消化器がみえるのですが、そこを左手に曲がります。一色はっきりしている。

またT字路に出ると、太い木が生えているアパートの方に、右に曲がっていきます。

またT字路に出て、左手に薄みどりのおうちが見えてきたら、左手に曲がります。

またT字路にあたって右手に曲がります。

次のすぐT字路のところで、左手に曲がります。かなり細いです。

目の前にピンク色の建物が見えます。

T字路がありますが、道なりです。

T字路があって、道まっすぐ行ってしまうと、駐車場があって、自動販売機が三つ並んでいるんですけど、

そちらにはいかず、左に曲がります。

T字路のところに出て、終わりです。右手には、黄色い壁が見えます。



## No. 4

### 1ルート1回目

- ・壁がグレーの家—他の家がコンクリートだった
- ・黄色い壁の家 一色
- ・つたが壁に這っている家
- ・グレーの集合住宅
- ・掲示板 —マタニティのピンクのポスター
- ・マツの木 —洋風のおうちに和風の松
- ・白い外壁の壁 —白の反射が強い気がした

### 1ルート2回目

まず、白い外壁の壁の前を直進します。

正面に掲示板があるT字路を左折します。

外壁につたが這っている家の前をそのまま直進します。

壁にステンドグラスがはめ込まれている家の前を道なりに右折します。

集合住宅の前の通りを左折します。

右手に掲示板が見える通りの10m先のT字路を右折します。

正面の外壁が白と茶色で、三角形の家の前のT字路を左折します。

道なりに下り坂をずっとT字路まで下っていきます。

その途中で、左手に墓地が見えます。

### 2ルート1回目

- ・赤い鳥居の神社
- ・クリーニング屋さん —中に洗濯物がたくさん。
- ・右手の幼稚園 —子供の声が聞こえたから
- ・工事現場 —重機が目についた
- ・赤い建物の庇 一色が
- ・白い外観のアパート —BOX型、一階から二階まで壁
- ・茶色の外観の家
- ・茶色の壁のレトロな家 一色・素材、瓦の屋根だったから
- ・水色の外観の家
- ・駐車場 —閉塞感のある道を通ってきて急に開けたから
- ・尾崎と書いてある看板 —一人の家を表わしているか疑問に思った
- ・パークビレッジ阿佐ヶ谷 —小さい窓が黄色い、青い壁
- ・竹 —節の模様が目に入る

## 2ルート2回目

左手の鳥居が見える、神社とゆうか祠の前をまっすぐ直進します。  
左手のクリーニング店の前もそのまま直進です。  
クリーニング店の右斜め45度に、幼稚園が見えます。  
大きなシャッターがある家の前もさらに直進です。一車庫とゆう文字が目に入った。  
工事現場が右手に見えますが、そのまま直進します。  
右手に消火器が立っているところと、シティハイムエムの名前のアパートのT字路を、右折します。  
一消化器は、色と何年も変わらないかと思った。エムは、消火器だけだところどころでもあるかと思い。文字。  
赤い庇が見える家の前をさらに直進です。  
左手にCUBEと書いてある集合住宅が見えますが、そのまま直進です。  
左手に茶色い外壁の家があります。そこをそのまま直進します。  
茶色い外壁の家から10m先の十字路を、左折します。  
十字路から左折して10m先左手に、茶色い外壁のレトロな家があります。  
その前をさらに直進します。  
右手に水色の外壁の前をさらに直進します。  
水色の外壁を過ぎると、T字路があり、その角に駐車場があります。  
そこをさらに直進します。  
青い外壁と、黄色いと白の子窓が見えるパークビレッジ阿佐ヶ谷の前をさらに直進です。  
左手に竹藪が見えます。そこをもう少しだけ直進します。

—ずっと直進だったが、T字路や十字路が多かったので、間違っ曲がらないよう指示した。

## 3ルート1回目

・道路の真ん中の木

／イス

- ・左手の朝顔 一季節違う。10月なのになぜだろうと思った。
- ・白とグレーの外壁の四角の建物 一層上になって色が変わっていたところ。
- ・黄色の木 一色
- ・左手のピンクの家が二軒続いていること 一
- ・ドア 一家の扉についていて珍しい。
- ・白い壁の集合住宅 一色と、開けた空間にある、見える面積が大きい
- ・ミラーのポールの水色
- ・ツタがたくさん壁に這っている家
- ・ピンクの花 一20m前からずっと気になった。

### 3ルート2回目

道の真ん中に木がある遊歩道を直進します。

集合住宅の中に十字路が見えますが、さらにそこを直進します。一数が多かった。

2m弱くらいの塀の前を直進します。一高かった。

左手にピンクの外壁の家が二軒続きます。その先の十字路がありますが、さらに直進します。

右手にトタンで作られた外壁の家がありますが、そこをさらに直進します。一ドアが一番気になったが、トタンの面積が広いのでわかりやすいかと思った

十字路の右手に白い外壁の集合住宅がありますが、その十字路を左折します。

工事中のアパートがありますが、その十字路をさらに直進します。

一ポールはさっき挙げたけど、よく見たらこのポールはたくさんあることに気がついた。

左手に壁につたが這っている家が見えます。そこをさらに直進します。

正面にピンクの花が咲いた木が見えるのですが、そこも突き当たりまでずっと直進です。

突き当りを道なりに進んで左手に茶色い板張りの塀が見えます。

そのT字路まで進みます。

### 4ルート1回目

・白塗りで柱が茶色い家 一白と茶の対比が鮮やか

・黄色い外壁の家 一黄色い色

／黒い表札の横に青い鳥

・グレーの外壁の建物 一駐車場がすごく広いなと思ったから。

・正面の公園 一住宅街なのに公園少ないと思っていた。赤いポール、貝のついたトイレ

・ハイムK 一家の幅が細くて、一軒家かと思ったら違った

・白い壁にピンクのトタンが張り付けてある集合住宅 一トタンをなんでつけたかと

・薄緑色の外壁の建物 一珍しい色

・白い3階建の家 一白い壁が、海をイメージしているような模様

・打ちっぱなしのコンクリートに茶色い窓枠の建物 一窓枠の茶色い色、角度的に良く見えた

・茶色い高いマンション 一高さが他より高い

・駐車場 一路地が狭いのに、タイムズの黄色い看板が目立つ

・左手のピンクの外壁と、ピンクの屋根の家 一色が好き、庭のツタとの対比

・右手の緑色の窓枠 一緑とピンクの対比好き

### 4ルート二回目

後ろに白と、茶色の対比がきれいな家を背にして、その前の道路を直進します。

直進後、すぐ左手に黄色の外壁が目立つ建物があります。その前をさらに直進します。

右手に駐車スペースが三台ある、集合住宅がありますが、その角のT字路を左折します。

正面に公園が見えます、そこを道なりに右に曲がります。

クリーム色の外壁の家と、ピンクのトタンが壁に張り付けてある外壁の間のT字路を右折します。

緑色の外壁の家の前のT字路を左折します。

白の壁に波打った模様がある家の前をさらに直進し、その先にあるT字路を右折します。

コンクリートの打ちっぱなしの壁が奥に見えますが、その手前のT字路を左折します。

ピンクの外壁の建物の前にT字路がありますが、そこを曲がらずに直進します。間違えて曲がらないように使った。

右手にタイムズのパーキングが見えますが、その角を、T字路を左折します。

右手と左手両方に、ピンク色の外壁の家がありますが、そこをさらに直進します。

## No. 5

### 1ルート1回目

- ・右手にコンクリート打ちっぱなし — 周りの建物に使ってなかったの
- ・工事の金網 — 色。
- ・左手にコンクリート打ちっぱなし
- ・左手に大きめのアパート（高円寺アパート）—高さ。このへん2階建ての中4階建て。
- ・門がちょっとせり出ている、道路が狭くなっているおうち —違和感を感じた。
- ・立派な松の木 —あまりない。
- ・ペンキ塗りの白いかべ —黒ずんだ時にわからなくなってしまうかも

### 1ルート2回目

右手にコンクリート打ちっぱなしの建物、そして正面が白いおうちが二軒、工事中のオレンジ色の金網です。これをまっすぐ進みます。

突き当りを左に曲がります。つきあたりのちょっと右手には、木がたくさん植わっている庭のあるおうちがあります。—この辺住宅街で、ここまで木が生えている場所があまりないので。

消火器のあるT字路を過ぎていきます。そのまままっすぐです。—色。

左手にコンクリート打ちっぱなしの建物が出てくるT字路もまっすぐです。

突き当りを道なりに右にまがります。正面が車の車庫になっています。一歩いて正面にあったので、それだけ。

左前に高円寺アパートというアパートが出てきたら、左に曲がります。

4階建ての大きなアパートです。

そのまま高円寺アパートに沿ってまっすぐ進みます。

T字路とかは、スルーでまっすぐ進みます。

ゴミ捨て場のあるT字路を右に曲がります。

ゴミ捨て場は進んできてちょうど右前に位置しています。一曜日などの表示。網とかかごはその辺の道端にもありそう。

右手に高さ3、4mの松を見ながら、まっすぐに進みます。

正面オレンジ色のレンガ造りの門があるお宅にぶつかったら左に曲がります。

一曲がるポイントで使う目印として。

## 2ルート1回目

- ・鳥居 一色。神社の形。
- ・アスレチックのある幼稚園 一アスレチックがまわりにはないので。
- ・シャッターが15mくらい並んでいる 一長いので、わかりやすい。接している時間が長い。
- ・茶色一色で塗られたお宅 一周りが白が基調なため。
- ・右手に木の子のかさの形に刈り込まれた植え木 一カザに刈り込む庭師さんを生まれて初めてみた。びっくりした。
- ・左手に空き地を利用した駐車場 一住宅続きで、空き地。
- ・20km制限の標識 一この辺で道路標識がなかった。
- ・竹の箱庭 一竹っていうので珍しい。「あっ！」って思ったから。

## 2ルート2回目

左手に神社を見ながら、まっすぐ進みます。

右手にアスレチックと一緒にあった幼稚園を見ながら直進です。

幼稚園を過ぎたら、右手に草が生い茂った塀が続きます。その塀が切れたところの十字路をまっすぐです。

一十字路に特徴がなかったので、その手前で挙げようと思った。一回目はよくあるものだと思った。

左手にシャッターが10mくらいずらっと並んでいるT字路、シャッターの切れたところにあるT字路ではないです。右に曲がります。

左手に茶色一色で塗られたお宅が出てきたら、お宅を過ぎたところにある十字路を左に曲がります。

右手に木の子のかさの形に刈り込まれた植え木が出てきます。それをまっすぐです。

右斜め前に駐車場のあるT字路を素通りで、過ぎてすぐ左手には、空き地を利用した駐車場があります。

駐車場からまっすぐ左手に20KMの標識があります。そこにあるT字路をまっすぐ行きます。竹の箱庭みたいなのがゴールです。

### 3ルート1回目

- ・真中に木 ーおかしい、こんなに剥き出しになっているのは初めて
- ・車止めが4か所 ー歩いているのにどうしてもよけないといけないから。
- ・車道がジグザグ、歩行者専用道路で車が行けないはずなのに、T字路に行けるようになっていて違和感。
- ・2本だけ右によった木 ー
- ・金太郎の車止め
- ・ひまわり荘 ー看板、ネーミング
- ・歩行者道路と交わる ー歩行者道路って密集するものでないので珍しい
- ・正面にななめに向かって立っているアパート ー角度がへん
- ・金箔荘という名前 ー建物が白い。名前と実物のギャップ

### 3ルート2回目

歩道をまっすぐ、そのまま正面に車止めが見えてきます。

そのまままっすぐ進みます。

車道とぶつかります。ライオンのマークを超えて、イルカの止まれマークを通過してまっすぐ進みます。

ーこっち側とあっち側を指示するのにいいかなと。

後ろをみると、金太郎が指を指しています。遊歩道です。

もう一度車道とぶつかります。

車道は、ジグザグ、T字路の表記ですが、T字路ではありません。

手前はワニのマーク、向こう側は、ライオンのマークです。

ライオンのマークの左手にうちがあるんですけど、屋根が気持ち急です、周りより。

右側の塀の下の方の隙間が何のためかきになった。

その塀がきれるところ、また車道とぶつかります。手前ワニ、向こうパンダです。

金太郎はこっち向いています。

これを左曲がります。パンダの上は通りません。

十字路やT字路は全部するーです。

正面にななめを向いた家があります。離れているとわかりづらいですが、近づくと、木盛り悪い角度で向いているのがわかります。

ー離れていると、側面が見えない。近づくと、見える錯覚がおきる。

正面に金箔荘がゴールです。

#### 4ルート 1 回目

- ・左手に一階部分が黄色で、2階部分、窓が大きめに取ってある建物があります。
  - 一色、窓の大きさ。
  - ・正面に二階建部分より高い松 一高さ。自分が住んでいるところ基準で、大きい。
  - ・正面に公園
- 拾おうと思えば、拾えるが、目印パワーがあるものがさほどない。
- ・二階部分までつたが伸びたお宅 一つたがはっている。周りにあまりない。
  - ・いびつな道路、整備しきれなかった。ものが見えなくなったり、見えたり。
- 自分が住んでいる町が、直角平行でできているから。
- ・ベンチ

#### 4ルート 2 回目

左手に一階部分が黄色い建物のお宅があります。それをまっすぐです。

正面に二階建部分より伸びている松があります。そこまで進みます。

松の木まで着いたら、そのT字路を左です。

田部さんと長山さん。このルート5, 6軒は2つの苗字が並んでいるおうちがあります。一直島に行った経験から表札は見るようになった。

曲がってすぐ正面、公園があります。道なりに進んでいきます。公園もワニのマークですね。

ずっと道なりに進んでいきます。T字路は行きどまりなので、間違わないと思います。

突き当る手前のT字路を右に曲がります。

緑色の建物を左に曲がります。一色。曲がり角の目印として。

突き当りを右に曲がります。

目印としては、左手に周りと比較して木がちょっと多めなおにわがあるT字路です。

右に曲がります。

右手に二階部分までつたが伸びたお宅があります。このT字路を左に曲がります。

コープZENが右手にあるのですが、そこにあるT字路はまっすぐ進みます。

—かんばん。T字路の分岐点なので。

コープZENを過ぎると、ちょっとくねくねした道なんですけど、T字路は無視して進みます。

右手に自販機が出てきて、左前に青みがかったとたん屋根の壁がでてきたら、そのT字路を左に曲がります。一自販、この辺にない。トタンは、自販機が道に対して並行に立っているの、とおめからわからないかと思って。

左手にベンチが出てきます。こちらで、一休みしてからまっすぐ進んでください。

## NO.6

### 1ルート1回目

- ・ 空き地の正面にある手塚さんのおうちです。—表札、文字
- ・ 止まれのペイント —マークがなかなかみない。
- ・ ひったくり多発の看板 —初めて来る人にとってここは危ないかな、視界のちょうど正面に入るから
- ・ ステンドガラスのある家 —見渡す限りの家の窓にないから
- ・ 笥弘毅（カケイ）さんの家 —名前が珍しい、シュロの木が高い、和風の家にまっちしてない
- ・ 高円寺アパート —広いし、オーソドックスな名前だから
- ・ 宮沢さんの家の松の木 —でかくて目に入る、立派
- ・ フローラ高円寺 —自分のバイト先の名前がフローラ西村だから
- ・ カーサビアンカ —文字が大きい、字体が特徴的
- ・ 通学路の看板 —緑に白、あまりないから、目の高さにある

### 1ルート2回目

吉田・石川さんのピンクのおうちを右手にしまっすぐ突き当たりまで行きます。

正面にある小池さんの家を左にしまっすぐ。

—道案内だと、曲り角で特徴あるものをゆった方がわかりやすいから。一番目立つのは、小池さんの家の表札と思った。

消化器が右手にある通りをそのまま直進。

—消化器はあまり見ないし、色が赤いから目立つ。

ピーポくんが二つ視界に入る通りをそのまままっすぐ。—色味があって目立つ、曲り角高円寺アパートを左。

左に塩山さんの家を右手に進む。 —曲がり角に挙げた。

左手にエステートピア高円寺。

右手にでっかい松の木がある宮沢さんの家。

フローラ高円寺と、カーサビアンカのアパートを左手。

正面の赤レンガが入った家を左。

—曲がり角だから。赤と白のコントラストが目に入りやすいから情報になるかなと思った。

正面の下り坂を止まれのところまでまっすぐ、左がお墓です。

カサデロアーチェロまで来る。 —ゴールの目じるし

(一回目と違った目印を挙げた理由を尋ねる)

道案内となると、曲がり角で、印をよく探そうという意識が働くために、

曲り角で目に入りやすいものを挙げると、ステンドグラスは、ピーポくんより目につかない。文の文字も同じ理由。見渡さなくてもすぐにわかるように。わざわざ首を挙げないとわからないものは、挙げないようにはしていた。



## 2ルート1回目

- ・阿佐ヶ谷幼稚園 — 子供の声
- ・十字路のBMW — 外車に興味がある。視界が開けている。色が青だから。
- ・「石原のぶてる」の看板 — マークが印象的。大きいから。
- ・家の中にある黄色い時計と、その下の黄色に赤の矢印。一色が目立つ
- ・シティハイムあきよし — 大きい看板で、あんまりみない。
- ・CUBE HM — 車が置いてないからかもしれないけど、視界が開けているところに文字がある。おしゃれだし。
- ・すみれハイツ — 名前が面白い。表札みる。
- ・中村さんちの紫の色の家 — ラベンダー色が他にまず見ないであろうと。
- ・増田さんの家のオレンジの家
- ・岡本さんの青い家 — 色があまりみない。
- ・パークビレッジ阿佐ヶ谷 — 視界が開けて、文字が大きくて、立派な入口だから。
- ・「見てる空き巣」とピーポくんの看板がある加賀山さんの家 — 色と目にインパクトある。

## 2ルート2回目

池田良夫さんの家をバックにしてスタート。

スタート地点から幼稚園児の声が入ってきます。

阿佐ヶ谷幼稚園を右手にまっすぐ。

青いBMWがある十字路をそのまままっすぐ直進。

自由民主党の石原のぶてるの看板を目印としてそのまままっすぐ。

黄色い時計がある家を左手にしてまっすぐ。

シティハイムエムを右手にしてまっすぐ。

CUBE HMを左にしてまっすぐ。

左手にオレンジ色の建物、右手にラベンダーの色の建物をそのまままっすぐ。

— オレンジ入れた方が、わかりやすいかな、と。色っていう目印を強調するために言った。

紫の色の家の十字路を左に。

すごい濃いオレンジの増田さんの家をそのまま左手にまっすぐ。

右手にある、岡本さんの青い家を右手にしてそのまままっすぐ。

パークビレッジ阿佐ヶ谷を右手にまっすぐ。

制限速度 20 の標識を左手にそのまままっすぐ。 — 色。20 なかなか見ない。

加賀山さんの「見ているぞ」のポイントで終了。

(一本目との違いに関する質問)

一本目の道は、小さくても見につくものを探そうとしたけど、

二本目は広い視野で全体見たときに目につくものを選択しました。

### 3ルート1回目

- ・マテバシイの木 一道路の真ん中にあるし、背が高いから。
- ・ドムス阿佐ヶ谷 一字体が特徴的。名前も特徴的。
- ・ピンク色のレンガ模様の家 一色が特徴的。
- ・ビニールの傘がいっぱいある、グリーンコーポ 一同じ傘をいっぱいみることはあまりないから。
- ・左折車通行困難の看板 一目の高さちょうど入る、大きい看板だから。
- ・ひまわり荘 一名前がかわいい。マンガに出てきそう。建物もよく見ると、ピンクで特徴的。
- ・龍島 元さんの表札 一漢字が読めなさすぎて。
- ・右折行きどまりの看板 一ちょうど目の高さにあって、色が認識しやすい。
- ・「hand to hurt」の文字が書いてあるワゴン 一道路から突き出していて目に付く
- ・「avion」の表札 一なんかおしゃれな字体。意味を考えてしまう。

### 3ルート2回目

八幡せんべいの横にある、真中に木がある路地でスタート。一スタートを示すため。

真中にマテバシイの木がある通りをそのまま直進。

緑のアパートがある十字路を、そのまま直進。

左手にピンク色の赤レンガ模様のアパートを直進。マテバシイの木がある通りを直進。

左手にグリーンコーポのある建物をそのまま直進。

左手にあるハイム A をそのまま直進。 一視界が開けているところに文字があるから見やすい。

右手に駐車場で囲まれた十字路を左折。一曲がり角に特徴が、駐車場だと思った。

右折車通行困難の標識を左手にしてそのまままっすぐ直進。

左手にひまわり荘のピンク色の建物をそのまま直進。

すごい緑に覆われた吉田さんの家を左手にして直進。

「HAND TO HURT やさしい手」の車を右手にして直進。

サンパレスの看板を左手にして直進。一文字が大きい。

「AVION」の看板を左手にして直進。

「今井金箔荘」の表札で終了。

### 4ルート1回目

- ・黄色いおしゃれな建物 一色がきれい。赤いナンバーのついた車。
- ・阿佐ヶ谷西公園一空いている空間が目についた。
- ・赤レンガの家の洗濯物を干すところがスケスケ。一スケルトンのガラスが目についた。
- ・杉並区保護樹林のけやき。一ビックスケール。
- ・緑とクリーム色の混ざったアパート 一色が目立つ。
- ・ヒルズ阿佐ヶ谷、ピンク色の建物。一色と、ヒルズ阿佐ヶ谷の字体が丸みを帯びて特徴的。

- ・ オレンジの柵があるコンクリートの家。(杉並区役所) ー無彩色な背景にオレンジがくっきり浮き出て見えた。
- ・ コープ ZEN の標識 ーZEN の意味が分からないし、エイブルの看板の色も目立った。
- ・ 小さい扉にある「猛犬注意」の表札 ー言葉自体が猛犬いるのかな、と気になる。
- ・ 「犬のフンは飼い主が持ち帰りましょう」札が書いてあるタヌキの置物。  
ータヌキの置物みない。
- ・ 高須賀 茂文さんの表札

#### 4ルート2回目

黄色いおしゃれな建物、赤い車が置いてある建物を左手にして直進。  
ピンク色のバジリカの文字がある看板 ー色  
田部井・長山さんの突き当りの家を左折 ー道案内するために  
阿佐ヶ谷西公園を右に曲がります。広い空間があるから目立ちます。  
佐々木さんのおしゃれな表札がある曲がり角を右折 ー字体のおしゃれさが目についた。  
緑のアパートの曲がり角を左折

(けやきが目につかなかった理由を尋ねて)

曲がり角がどこにあるのか気を取られて、曲り角でないところは注意してみなかった。

ヒルズ阿佐ヶ谷のピンクの建物を左に直進。  
オレンジ色の柵がある手前の建物前の阿佐ヶ谷北2丁目17を左折。  
ー曲がり角にある目印。文字が大きい。  
ZENの標識を右手にして直進。  
ホークス阿佐ヶ谷のアパートを右手にして直進。ー間違えて曲がらないように。  
川端康成の家の前の路地を左手に左折。  
左手にあるたぬきの置物を直進。  
プレジール阿佐ヶ谷のマンションを左手に直進。 ー文字。  
高須賀さんの表札を左手にして直進。  
そしてゴール。

## No.7

### 1ルート1回目

- ・コンクリートの二階建てのビル —コンクリートだけの家が珍しい
- ・青い家 —ガレージを含めると四階建て、高い、日当たり良好なかんじ。
- ・T字路に右手にメルセデスベンツ —エンブレム、自分が将来乗りたい
- ・左手にコンクリートに家なのか研究所なのかわからないです —色が無い、暖かみがない
- ・向かいには、モダンな家—ガラスが目につく、窓が大きい、日当たり良好でいいおうち
- ・四階建てのアパート —窓が結構特徴的で、塀と塀の間にグレー、住宅の中で背が高い、水タンクが上にあるのが目についた。
- ・竹の塀 —日本的な家なのに、ドアは新しいカンジで、塀だけ和を感じます。素材感。
- ・家（角の家） —ベランダのフェンスの曲がり具合と、瓦の色がいや、玄関のブロック面白い。
- ・家 —長い、高い、アメリカにあった。ドアが大きい、木の素材。周りより新しい。
- ・二階のベランダが大きい、窓が大きい、駐車場のフェンスのつくりがモダン、屋根の形、壁の色が他の家よりきれい。
- ・車のカバー —かわいい。ミニのライトに合わせてきゅっとなっている。

### 1ルート2回目

右手にコンクリート打ちっばなしの三階建ての住宅か事務所か分からないがあるので、そこを右手に正面に進んでゆきます。

T字路に突き当たるので、そこを左に曲がります。

「緊急ひったくり多発」の看板が見えると思います。一目の高さに合ってる。

まっすぐ進みます。—左手にベンツと、コンクリート打ちっばなしの二階建の長い建物があるので、そこを左手にしたまま、まっすぐ正面に進んでいきます。

進むと、急に開けて、アパートで、窓が特徴的な四階建ての建物が左手に見えます。

その手前を左手に曲がります。このアパートは高円寺アパートとゆうそうです。

電信柱に通学路文、杉並区、あと、近隣の方に速報というチラシが貼ってある電信柱、その角を右に進みます。 —一目の高さにあった。ゴミ捨て場があるけど、それより、わかりやすいから。ゴミは何日か経ったらなくなっちゃうかも。

右手には、私のきれいな瓦の家があります。でも、この生垣とか塀は好きです。

2、3軒進むと、柱が特徴的で、西洋を感じる家が見えてきます。

フェンスもドアもおしゃれです。

車の前に、いっぱい緑があるので、きれい好きな奥さんなんだな、と感じます。

さらにまっすぐ進むと、T字路にぶつかります。

T字路の目の前の家の、屋根の形も特徴的で、壁の色も、比較的新しく、すごくモダンな感じを受けます。

窓とベランダが大きいのも特徴的だと思います。

そして、そこを左に曲がります。

下り坂に差し掛かります。

左にはベージュの塀があって、正面には結構古そうな、アパート、二階が汚そうです。

一塀が長いから。中が覗けない高さ。

一トタンが古びている。

## 2ルート1回目

- ・小さな鳥居 一住宅地の中にあるから目立つ、赤と緑のコントラストがきれい
- ・クリーニング屋さん 一ランプが目についた
- ・幼稚園（阿佐ヶ谷幼稚園） 一開けているから目についた
- ・背の高い木の大群 一道にはみ出していたから
- ・建築途中のおうち 一鉄のベース、鉄の色が目についた
- ・学校車両通行止め 一色に反応して、何が書いてあるか気になった。
- ・バイクの雨よけ、後ろが大きい。
- ・赤い鉄製の家 一何のためのものなのか、敷地が大きい
- ・塀と家の壁の色が同じ 一同じなのが珍しい
- ・木がはみ出ている家 一木が家を隠しているから
- ・増田さん。 一壁が面白い。昔の家をそのまま塗りなおした感じ。階段が、アパートか一軒家なのかわからなくさせている。
- ・スカイブルーの家 一色は目につく。車の色も家と同じだった。
- ・駐車場 一看板が目についた。昔、ゲッキョク駐車場と読んでいたことを思い出す。
- ・アパート（パークビレッジ阿佐ヶ谷） 一2個同じなのが並んでいるから。中間にあるエメラルドグリーンがきれいに映えている。屋根がないのが今までと違う。
- ・竹林 一背が高く、長い。竹の節が目についた。

## 2ルート2回目

- ・鳥居が左手に見えるので、そのまままっすぐ進みます。祠も見えます。

歩いていくと、赤いちょうちんみたいなランプが見える、人の良さそうなおばちゃんが働いている、クリーニング屋さんがあります。

そして、目を奪われるのが、うっそうと茂る、森みたいな一角。塀から出ているのと、背の高い木が目につくと思います。

まっすぐ進みます。

両手にミラーがあります。 一道が狭いからかと思った。

そして、その右手には、建設途中の赤い鉄骨が組みたてられていて、窓ははめられています。旭化成さんです。

建設途中の家のとなりを右に入っていくと、黄色い文字で、学校車両通行止めっていうのが書かれています。

塀と壁が同じ色の家を左手にみて、正面の十字路を左に曲がります。

右手に水色の壁の家が見えてきます。

住宅街の中で目をひくと思うので、これを右手にまた正面に進みます。

そして、月極駐車場が右手、そして、左手にも、富士見月極駐車場があります。

二台しか止まってないけど。 — 住宅街にサラ地が珍しい。

きれいなエメラルドグリーンの壁がついているマンションを右手に正面に進みます。

パークビレッジ阿佐ヶ谷と書いてあります。モダンなつくりで、近代的なおいがします。

まっすぐ進むと、左手に、竹林がある家があります。化が・山切り山本さんの家です。

一本一本細く、長いです。

### 3ルート一回目

- ・真中に木がある — 好きな感じ。実家の近くに道の真ん中に桜並木があった。
- ・車両が入らないためのストッパー — 手前のは錆びているのに、反対側はぴかぴかで、コントラストが。

木に目を取られていて、建物に目がいかなかった。

- ・きれいな色の家。クリーム。 — 壁の色。屋根の形が四角い。
- ・真ん中にある木がちょっと右にずれている。
- ・アパートの階段 — 三軒連続して並んでいて、階段の色も統一されている感じがするので一体感がある。
- ・アパート — 幼稚園時代の友人の家を思い出す。
- ・赤い柵 — 真っ赤が目につく。
- ・朝顔 — この季節に朝顔が咲いている。
- ・軽自動車 — 練馬ナンバーが多い中、品川ナンバーだった。
- ・松の木に、シダがからみついている — 路上への出方、形が変わっている。
- ・ピンクがきれいな木 — 面白い形の木で、ピンクが混ざってきれい。位置的に目につきやすい。角だし。

### 3ルート2回目

歩道をまっすぐ行くと、真ん中に木が生えている素敵なお空間があります。

ちょっと歩いていくと、車が入らないようにストッパーがあります。手前が錆びていて奥が金ピカです。

ライオンさんが書かれたものが手前にあります。ライオンさんは、さびたものに囲まれていて、かわいそうです。奥の方はイルカさんです。イルカさんは、金ピカのストッパーとペアになっています。

まっすぐ行きます。金ピカのストッパーが見えてきました。

その左手にある家、レンガ造りなのですが、一階のレンガが赤味を帯びていて、二階のレンガの方は、クリーム系のうちです。 — 色合いがいいなど。レンガ、壁の素材がかわいい。

まっすぐ行くと、真ん中にあった木がここの2本だけ右にずれています。  
左手に見える、コーポが三つ並んでいます。階段が三つとも同じ色です。  
錆びた車よけが見えてきました。1個目のペアを超えて、左にはいります。  
そして、まず目に入るのが、左折車通行困難。一意味が曖昧で考えてしまう。角を曲がった先で目を奪われた。  
その電柱を超えると、朝顔です。それを左手に見ながら、また正面に向かって歩いてゆきます。  
とても細い十字路です。歩行者用の道路と車道の十字路です。  
その十字路を超えると、面白い形の木が見えます。  
左手にみながら、正面に進んでいきます。  
その右手に阿佐ヶ谷北3丁目町会の看板があります。  
道なりに左に行きますが、カーブのところに、きれいな花が咲いています。  
木の形が、丸くて長くて、ピンクと緑が目を惹きます。  
それをみながら、左へ行きます。

#### 4ルート1回目

- ・黄色の家、2階が近代的 ー住宅街で黄色が目につく
- ・白のBM、大阪ナンバー ーBM好きです。
- ・木がある家 ー小学校のころの友達の家似ている。
- ・公園 ー青のネットが目についた。住宅街に公園。
- ・つぎはぎの家 ーベランダのガラスと、壁がジクザグなのが、珍しい。今まであまりみない。
- ・古いBM
- ・黄緑の住宅 ー二面が見えているのもある。
- ・色の境目が面白い家 ー1戸の家なのかわからない
- ・車のカバー
- ・庭 ー庭広くて、真ん中の木が切られているところ。植栽が少ないので、殺風景。
- ・シャッター ー目がちかちかした。今までなかった。
- ・トタンの塀 ー色
- ・大きなマンション ー住宅地の中に、ぼーんと大きいのが見えたから。
- ・元田さん家 ーアメリカの家みたいに壁がレンガ。塀もかわいい。知人の家に似ていた。

#### 4ルート2回目

まず目につくのが、1階が黄色くて、2階がモダンなテイストのおうち。  
黄色がとても目立つので、目印にして下さい。  
進むと、右手に鉄骨の四角いマンションが見えます。  
3階建てで、正面から見ると壁が白ですが、脇から見ると、ブロック調になっています。  
1階の駐車場には、大阪ナンバーのBMWが止っています。  
ー駐車場が広いので、開けていて目につきやすいかな。

そのマンションを右手にみながら、左手に曲がります。

左に曲がって正面に見えるのが、青と緑のポールとネットが見えて、公園になっています。手前には赤いポールが見えます。

右に曲がって道なりに進みます。

道なりにすすんで、面白い家が見えます。壁がジグザグになっていて、2階のベランダがガラス張りになっています。

これを右手に見ながら、まっすぐ進み、角を右に曲がります。

曲がって目に入ってくるのが、緑色の角の家と、オレンジ、茶色のレンガの家が見えます。

黄みどりの家を右手に見て曲がってきます。

T字路を右に曲がります。

曲がって正面に見えるのが、コンクリート打ちっぱなしで、オレンジの窓枠が目に入ります。一住宅街なので、コンクリート打ちっぱなしは少ないだろうし、オレンジとの色のコンビネーション。

区域全域、歩きたばこ禁止の広告が貼ってある電柱を左に曲がります。

—自分が喫煙者だから気になった。

道なりに進んでいくと、1階が白のコンクリートで、2階がピンクがかったベージュ、屋根がごつごつ三角しています。—音楽が気になった。大きい。屋根の形。

右手にまっすぐ進みます。

右手に自動販売機が3台あります。

ここを右手にしながら、左手に入るのですが、途中から青の塀が続いています。

進んでいくと、元田さん家があります。

家の前にベンチがあって、家も西洋的で、小人の人形置いても似合う家です。



## No. 8

### 1ルート1回目

- ・コンクリートの建物－安藤忠雄の作品のような気がした。コンクリートの打ちばなし。
- ・つきあたりの家（小池さんの家）－電信柱が黒くて家の白さ
- ・緑わさーとなった塀－道路と建物の色が黒くて落ち着いているから、緑が目につく。
- ・四階建ての高いアパート－他の家が低くて、ここだけ高い。
- ・右手にコウエンジアパートの入口－窓が白く緑どられているので特徴的
- ・三角の屋根で茶色の外壁の家－突き当りにあって大きくあるから。形が変わっている。レンガとガラスと白。
- ・木で作ったベランダ－色と形。
- ・壁の色が白い。－色。
- ・塀が少し低くなっているので、墓だと思うと特徴的－住宅街で墓。

### 1ルート2回目

歩きだしたら右手にコンクリート打ちばなしの建物が見えると思うんだけど、それも過ぎてまっすぐ行くと、道のつきあたりになります。道のつきあたりにきたら、そこを左に曲がってください。道のすぐ左手に電信柱が立っていて、白くて「緊急 ひったくり多発と書いた看板があります。それが目印で、そこを左に曲がってください。－今日明日だとなくなることはないかなと思って。

看板ところをまがったらまっすぐつきあたりまで行きます。

右手に先ほどと同じようなコンクリート打ちばなしの建物があります。けっこう大きな建物です。それも抜けてつきあたりまで行ってください。－屋根が変わっていて

つきあたりまできたら、そこを右に曲がって下さい。

割と細い道がしばらくまっすぐ続いています。

曲がってから歩きだして一番初めの曲がり角、左に曲がるところに4階建てくらいの大きな建物が見えます。コウエンジアパートとあります。そこを左に曲がってください。

左に曲がるところがありますが、それも過ぎて、コウエンジアパートを見ながらまっすぐ進んで下さい。初めに右にまがるところを右に曲がります。つきあたりには大きな三角の形をした家が見えます。少し変わっているかたちで目につくと思います。

道を進んでいると右手に二階建ての高さくらいの立派な松が見えます。－他の木と違って松。わりと立派な形をしていたので。

（べらんだを上げなかった理由）

突き当りに近いのでわかるかなと思って。

道の突き当りにきました。目の前には三角の屋根と片流れの屋根の家が見えます。

そこを、まっすぐ見て、左に曲がります。

左に曲がるとすぐに左手に白くて長い壁が見えます。

そこをまっすぐ行きます。

白い壁が途切れると、茶色に変わって、その向こうに、お墓の頭が見えます。

そこを超えてまっすぐ進んでください。つきあたりに出ます。

## 2ルート1回目

- ・小さな神社。鳥居 – 視界開けて、赤い鳥居がどんとある。
- ・右手に公園（幼稚園） – 木で組んである遊具が目についた。
- ・緑がわっさーとなっている – 道にはみ出していて、長い。
- ・建設中の家 – 他はできているけど、ここはできていない。鉄骨とか剥き出しになっている。
- ・車庫。 – 長さ。
- ・右手にあずき色のような家に赤の鉄骨 – 色と、周りの住宅と比べてないような形。
- ・できたての家 – セットバックしているから。新しい。
- ・鉄の格子の網と緑 – 鉄の網が今までなかったから。
- ・茶色の家 – 壁の仕上げ。色。
- ・左手にむっちゃ茶色 – 色。
- ・左手黄土色 – 単色で全部塗ってある。窓ないから。
- ・道の両側が駐車場
- ・パークヴィレッジアサガヤ – 門。下の道の舗装が目がちかちかする感じ。
- ・緑の多さ。その奥に竹林。 – 今まで竹がなかったので、目につく。

## 2ルート2回目

歩き始めてすぐ左手に神社があります。木がいっぱいあって赤い鳥居があります。

左手にお地藏さんがいます。

レンガつくりのようなクリーニングやさんがいます。 – かわいいな。フルっぼい感じ、レンガで木がよじれて目の前にある。

超えて、右に曲がる場所もあるけど、まっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、右手に公園のような幼稚園があります。そこを右手にみながらまっすぐ進んでください。

右手に緑のつたで覆われたような眺めの堀があるので、そこを右手にみながら、まっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、右手に建設中の家があります。茶色の鉄骨が目立っています。

そこを右手にみて、まっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、左手に白いシャッター閉まった駐車場のようなものがあります。

長いです。駐車場のようない長いシャッター閉まったところを右に曲がって下さい。

曲がってすぐ行くと、左手に赤いベランダのような屋根のようなものが見えます。

それを左手にみながら、まっすぐ進んでください。

さっきの赤いベランダのような屋根があった家を超えると、左手にセットバックしたできたばかりのマンションがあります。

それを左手にみながら、さらにまっすぐ進んでください。

さっきのセットバックした家を超えた先に、鉄の網に緑が絡まった、さらに先に木の柵がある家があります。

そこを過ぎてまっすぐ進んでください。

すると、左に曲がるコーナーのところに、すごい茶色の家があります。外壁がざらざらしそうな素材の家があります。そこを左に見ながら、そこは左に曲がらずにまっすぐ行ってください。

茶色い家を超えてゆくと、十字路がありますが、そこを左に曲がって下さい。

曲がってすぐ左手にペンキの塗りがたてのような茶色い家があります。そこを左手にみながら、まっすぐ進んでください。

すると、また左に、日本家屋、壁の色が黄土色、一階には窓がない家があります。そこを左手にみながら、まっすぐ進んでください。

ちなみにその右手には青い家もあります。左に黄土色、右に青色、そこを見ながらまっすぐ進んでください。

道の右も左も駐車場の場所があります。

そこを見ながらまっすぐ進んでください。

道の右手にできたばかりの新しいマンション、二階建て位なんですけど、あって、あたらしくてさらに道のT字路の突き当りのところにコンクリート打ちっぴなしの門と、すぐ目につく舗装があります。そこを右手に進みながらまっすぐ進んでください。

進むと、左手に木でうっそうとした家、奥に竹林があります。

### 3ルート1回目

- ・遊歩道と書いてある金太郎の看板－絵が特徴
- ・ライオンの絵－変な絵なので。アスファルトが黒くて、黄色と緑。
- ・椅子が2脚－恒久的にあるものかわからないけど、椅子って中にあるものだと思うから。
- ・水色の街灯
- ・イルカのとまれ－かわいくもない妙な絵
- ・とまれワニ
- ・木でできた自転車駐車場－木でつくられているのが珍しい。
- ・ライオン立っている。
- ・右手にトタンの薄赤－今までフェンス・ブロック塀だったのが、素材が変わった。色。
- ・金太郎の看板
- ・右手にある消火器
- ・ワニ

- ・右手に赤い壁 ー色。
- ・パンダ
- ・ひまわり荘 ー壁の色が薄赤・白いトタンの通路の壁
- ・十字路ー黒かったのが、地面が赤くて。舗装が変わっている遊歩道があった。
- ・緑色の工事の仮幕。ビニール。 ー恒久的でないけど。

### 3ルート2回目

遊歩道入ってほしいんやけど、入口に遊歩道とかいてある金太郎の絵があって、その足もとにライオンの絵が書いてあります。道のまん中には木が立っています。その道をまっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、左手に真っ青な街灯が何本か続いています。

そのままその道をまっすぐ進んでください。

遊歩道がほかの道と交わっている十字路があります。その遊歩道の交わっているところにライオン、次の遊歩道の入口にイルカの絵があります。イルカの絵があるほうに進んでください。

遊歩道が違う道と交わっています。十字路です。また、ここに足元にワニの絵がありまして、向こう遊歩道の入口に立ったライオンの絵があります。その立ったライオンの方に、進んでください。

足元と、木に目が行って（自転車置き場を）忘れていた。

右手にあずき色のトタンの壁があります。そしてその壁の終わりに赤の消火器があります。

その道をまっすぐ進んでください。

遊歩道の終わりにワニの絵が書いてあって、次の遊歩道の入口にまた、遊歩道って書いて金太郎の絵の看板と、地面にはパンダの絵が書いてあります。

その道をこんどは左に曲がります。右方向には赤い壁があります。

そっちの方向でなくて、左手に進んでください。

まっすぐ進んで初めの十字路に白いトタンの壁と、あずき色ピンク色の薄赤のマンションがあります。看板にはひまわり荘と書いてあります。それを左手にみながら、まっすぐ進んで下さい。また十字路があって別の遊歩道と交わっています。足元が道路が赤く塗られています。その十字路を遊歩道に入らず、まっすぐ進んでください。

道の左手にウスみどり色の塀があります。家もちょっとうす緑いろです。ー色が変わっているので目につく。

薄緑の塀を見ながら、まっすぐ前に進んで下さい。まっすぐ進んでいくと、道が左に曲がってゆきます。

そのまま左に曲がって下さい。

#### 4ルート 1 回目

- ・一階が黄色で二階が黒でメタルぼい家 - 黄色い色。
- ・向かいに白い三階建ての家 - 真っ白。形が変わっている。ふつうの家は三角屋根とか寄せミネとか日本っぽいけど。二階がセットバックしている、一階の方が大きいけど、道路面にそろっている。
- ・右手にマンションの前に駐車場。- 今まで住宅だったのが急に空いて駐車場になったので目立つと思う。
- ・突き当りに大きな松 - 高い。立派な松。突き当りで目印探したら。
- ・公園 - 赤いポールの色。他が住宅だから目立つ。
- ・赤い消火器。
- ・家の細さ。- 他の住宅と比べて。横に駐車場にある。
- ・曲がるところでレンガで造ったような壁の家。フェンスのところに謎の黄色い、四角形と対角線で引いてある - 黄色い色。
- ・薄緑色の家 - 色。
- ・水色のポール - 見ている時間が長いからかも。色。
- ・黒のガルマニウム?の三階より大きい家 - 黒の占める面積が大きくて、他の家にあまり使われていない色だから。ドアの茶色。と新しさ。
- ・緑で覆われた家 - だれか住んでいるのかなあと思う。
- ・道の前にコンクリートできて茶色い木枠のようなものが入っている。- コンクリート打ちっばなしと、茶色が鮮やかだから。家っぽくない。
- ・右手に駐車場、空き地。- 今まで家があって空き地になっているから。
- ・右手に薄ピンクの建物 - 色と大きさ。よく見ると、右手側に教会と書いてある看板があるので、教会かと思った。
- ・右手に黄緑っぽい住宅と、左手に同じ木が三本並んで立っている - 他になかった。種類が珍しい。
- ・左手に緑みどりした大きい木 - 大きかったの。
- ・右手に自動販売機 - 今までのルートになかった。
- ・タイムズのパーキング - 看板は目につくように作られているし。タイムズみんな知っているの、タイムズあるんだ、みたいな。共通の認識として。
- ・白いベンチ、一休みしてね。 - 他の住宅には道に面してこういうの無い。
- ・左手にマンション - 明かりがともっていたから。
- ・右手に黄色っぽい塀、向こうが木でもさもさしている。 - 木が高いので。密集しているのはほかななかったかな。

曲がるが多かったの、まがることによって、新しい風景が出てくるので。

#### 4ルート 2 回目

歩いていると、左手に黄色い家があります。一階が黄色で、二階が黒っぽい家があります。

そこを左手に見ながらまっすぐ進んでください。

(白い家をあげなかった理由)

黄色い家だけで十分だと思った。

道の右側にマンションがあります。その前に駐車場があります。

そこを左手に見ながらまっすぐ進むと、T字路になります。

T字路には、突き当りに松が生えています。そのT字路を左に曲がってください。

T字路をまっすぐ進むと、つきあたりに赤いポールがあって、その先が公園になっています。そのつきあたりを公園には入らずに右に曲がってください。

つきあたりを左に曲がるようになっていきます。そのつきあたりには、赤い消火器と、変な細い家がありますが、それを見て、左に曲がってください。

その道をまっすぐ進むと、一番目のT字路があります。左手側に一階がレンガでできている塀と壁の家があります。そこを右手に曲がってください。

(黄色い枠をあげなかった理由)

歩いている水平面にあるから、目につかなかった。

まっすぐ進むと、右側に曲がる道があります。その道の角に緑色の家が建っています。その道を左に曲がってください。

まっすぐ進んでいるとつきあたりに、青色のポールが見えます。ちなみにそのつきあたりに行くまでに、緑が茂った家があります。

そのつきあたりを右に曲がります。

左手に真っ黒のガルマニウムでできた家があります。

そこを右手にみながら、始めに現れた左に曲がる道を左に曲がります。

ちなみに左に曲がる前にまっすぐ目の前にコンクリートうちっぱなしで茶色い木枠がついた建物があります。そこをまっすぐ見ながら、左手に曲がってください。右手に謎の空き地があります。駐車場のようで駐車場じゃないような空き地がありますが、そこを右手にみながら、まっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、右側に曲がる道があってその角に、家と比べるとわりと大きな薄赤の建物があります。その道を右に曲がらずに、まっすぐ行ってください。

左手側にわりと大きな変わった種類の木が三本植わっている家があります。

それを左手にみながら、まっすぐ進んでください。右に曲がる道がありますが、右には曲がらないでください。

またT字路があります。そのT字路には、自動販売機とタイムズが右手にあります。

そのT字路を左にまがってください。

左手にベンチがあります。ひとやすみしてねっと書かれています。

そのベンチを左手にみながら、まっすぐ進んでください。

右手に黄色い塀の向こうが木でわっさと茂った家があります。

(明かりをあげなかった理由)

昼間ならついていないかなと。

道案内をする場合は、曲がり角を意識。ただ目につくものをあげると、混乱を生じる恐れがあるので、なるべく道のつきあたり・曲がり角に絞る。

屋根が切り妻か寄せミネが一般。でも、色が変わっていたら目印になるのでは。

## No. 8

### 1 ルート 1 回目

- ・コンクリートの建物－安藤忠雄の作品のような気がした。コンクリートの打ちばなし。
- ・つきあたりの家（小池さんの家）－電信柱が黒くて家の白さ
- ・緑わさーとなった塀－道路と建物の色が黒くて落ち着いているから、緑が目につく。
- ・四階建ての高いアパート－他の家が低くて、ここだけ高い。
- ・右手にコウエンジアパートの入口－窓が白く緑どられているので特徴的
- ・三角の屋根で茶色の外壁の家－突き当りにあって大きくあるから。形が変わっている。レンガとガラスと白。
- ・木で作ったベランダ－色と形。
- ・壁の色が白い。－色。
- ・塀が少し低くなっているので、墓だと思うと特徴的－住宅街で墓。

### 1 ルート 2 回目

歩きだしたら右手にコンクリート打ちっばなしの建物が見えると思うんだけど、それも過ぎてまっすぐ行くと、道のつきあたりになります。道のつきあたりにきたら、そこを左に曲がってください。道のすぐ左手に電信柱が立っていて、白くて「緊急 ひったくり多発と書いた看板があります。それが目印で、そこを左に曲がってください。－今日明日だとなくなることはないかなと思って。

看板ところをまがったらまっすぐつきあたりまで行きます。

右手に先ほどと同じようなコンクリート打ちっばなしの建物があります。けっこう大きな建物です。それも抜けてつきあたりまで行ってください。－屋根が変わっていて

つきあたりまできたら、そこを右に曲がって下さい。

割と細い道がしばらくまっすぐ続いています。

曲がってから歩きだして一番初めの曲がり角、左に曲がるところに4階建てくらいの大きな建物が見えま

す。コウエンジニアパートとあります。そこを左に曲がってください。

左に曲がる場所がありますが、それも過ぎて、コウエンジニアパートを見ながらまっすぐ進んで下さい。

初めに右にまがる場所を右に曲がります。つきあたりには大きな三角の形をした家が見えます。少し変わっているかたちで目につくと思います。

道を進んでいると右手に二階建ての高さくらいの立派な松が見えます。－他の木と違って松。わりと立派な形をしていたので。

(べらんだを上げなかった理由)

突き当りに近いのでわかるかなと思って。

道の突き当りにきました。目の前には三角の屋根と片流れの屋根の家が見えます。

そこを、まっすぐ見て、左に曲がります。

左に曲がるとすぐに左手に白くて長い壁が見えます。

そこをまっすぐ行きます。

白い壁が途切れると、茶色に変わって、その向こうに、お墓の頭が見えます。

そこを超えてまっすぐ進んでください。つきあたりに出ます。

## 2ルート1回目

- ・小さな神社。鳥居　－視界開けて、赤い鳥居がどんとある。
- ・右手に公園（幼稚園）　－木で組んである遊具が目についた。
- ・緑がわっさーとなっている　－道にはみ出していて、長い。
- ・建設中の家　－他はできているけど、ここはできていない。鉄骨とか剥き出しになっている。
- ・車庫。－長さ。
- ・右手にあずき色のような家に赤の鉄骨　－色と、周りの住宅と比べてないような形。
- ・できたての家　－セットバックしているから。新しい。
- ・鉄の格子の網と緑　－鉄の網が今までなかったから。
- ・茶色の家　－壁の仕上げ。色。
- ・左手にむっちゃ茶色　－色。
- ・左手黄土色　－単色で全部塗ってある。窓ないから。
- ・道の両側が駐車場
- ・パークヴィレッジアサガヤ　－門。下の道の舗装が目がちかちかする感じ。
- ・緑の多さ。その奥に竹林。－今まで竹がなかったので、目につく。

## 2ルート2回目

歩き始めてすぐ左手に神社があります。木がいっぱいあって赤い鳥居があります。

左手にお地藏さんがあります。

レンガつくりのようなクリーニングやさんがあります。－　かわいいな。フルっぼい感じ、レンガで木がよじれて目の前にある。



超えて、右に曲がる場所もあるけど、まっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、右手に公園のような幼稚園があります。そこを右手にみながらまっすぐ進んでください。

右手に緑のつたで覆われたような眺めの塀があるので、そこを右手にみながら、まっすぐ進んでください。まっすぐ進んでいると、右手に建設中の家があります。茶色の鉄骨が目立っています。

そこを右手にみて、まっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、左手に白いシャッター閉まった駐車場のようなものがあります。

長いです。駐車場のようない長いシャッター閉まったところを右に曲がって下さい。

曲がってすぐ行くと、左手に赤いベランダのような屋根のようなものが見えます。

それを左手にみながら、まっすぐ進んでください。

さっきの赤いベランダのような屋根があった家を超えると、左手にセットバックしてきたばかりのマンションがあります。

それを左手にみながら、さらにまっすぐ進んでください。

さっきのセットバックした家を超えた先に、鉄の網に緑が絡まった、さらに先に木の柵がある家があります。そこを過ぎてまっすぐ進んでください。

すると、左に曲がるコーナーのところに、すごい茶色の家があります。外壁がざらざらしそうな素材の家があります。そこを左に見ながら、そこは左に曲がらずにまっすぐ行ってください。

茶色い家を超えてゆくと、十字路がありますが、そこを左に曲がって下さい。

曲がってすぐ左手にペンキの塗られたような茶色い家があります。そこを左手にみながら、まっすぐ進んでください。

すると、また左に、日本家屋、壁の色が黄土色、一階には窓がない家があります。そこを左手にみながら、まっすぐ進んでください。

ちなみにその右手には青い家もあります。左に黄土色、右に青色、そこを見ながらまっすぐ進んでください。

道の右も左も駐車場の場所があります。

そこを見ながらまっすぐ進んでください。

道の右手にできたばかりの新しいマンション、二階建て位なんですけど、あって、あたらしくてさらに道のT字路の突き当りのところにコンクリート打ちっばなしの門と、すぐ目につく舗装があります。そこを右手に進みながらまっすぐ進んでください。

進むと、左手に木でうっそうとした家、奥に竹林があります。

### 3ルート1回目

- ・ 遊歩道と書いてある金太郎の看板－絵が特徴
- ・ ライオンの絵－変な絵なので。アスファルトが黒くて、黄色と緑。
- ・ 椅子が2脚－恒久的にあるものかわからないけど。椅子って中にあるものだと思うから。
- ・ 水色の街灯

- ・イルカのとまれ –かわいくもない妙な絵
- ・とまれワニ
- ・木でできた自転車駐車場 –木でつくられているのが珍しい。
- ・ライオン立っている。
- ・右手にトタンの薄赤 –今までフェンス・ブロック塀だったのが、素材が変わった。色。
- ・金太郎の看板
- ・右手にある消火器
- ・ワニ
- ・右手に赤い壁 –色。
- ・パンダ
- ・ひまわり荘 –壁の色が薄赤・白いトタンの通路の壁
- ・十字路一黒かったのが、地面が赤くて。舗装が変わっている遊歩道があった。
- ・緑色の工事の仮幕。ビニール。 –恒久的でないけど。

### 3ルート2回目

遊歩道入ってほしいんやけど、入口に遊歩道とかいてある金太郎の絵があって、その足もとにライオンの絵が書いてあります。道のまん中には木が立っています。その道をまっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、左手に真っ青な街灯が何本か続いています。

そのままその道をまっすぐ進んでください。

遊歩道がほかの道と交わっている十字路があります。その遊歩道の交わっているところにライオン、次の遊歩道の入口にイルカの絵があります。イルカの絵があるほうに進んでください。

遊歩道が違う道と交わっています。十字路です。また、ここに足元にワニの絵がありまして、向こう遊歩道の入口に立ったライオンの絵があります。その立ったライオンの方に、進んでください。

足元と、木に目が行って（自転車置き場を）忘れていた。

右手にあずき色のトタンの壁があります。そしてその壁の終わりに赤の消火器があります。

その道をまっすぐ進んでください。

遊歩道の終わりにワニの絵が書いてあって、次の遊歩道の入口にまた、遊歩道って書いて金太郎の絵の看板と、地面にはパンダの絵が書いてあります。

その道をこんどは左に曲がります。右方向には赤い壁があります。

そっちの方向でなくて、左手に進んでください。

まっすぐ進んで初めの十字路に白いトタンの壁と、あずき色ピンク色の薄赤のマンションがあります。看板にはひまわり荘と書いてあります。それを左手にみながら、まっすぐ進んで下さい。また十字路があって別の遊歩道と交わっています。足元が道路が赤く塗られています。その十字路を遊歩道に入らず、まっすぐ進んでください。

道の左手にウスみどり色の塀があります。家もちょっとうす緑いろです。–色が変わっているので目につ

く。

薄緑の塀を見ながら、まっすぐ前に進んで下さい。まっすぐ進んでいくと、道が左に曲がってゆきます。そのまま左に曲がって下さい。

#### 4ルート1回目

- ・一階が黄色で二階が黒でメタルぽい家 - 黄色い色。
- ・向かいに白い三階建ての家 - 真っ白。形が変わっている。ふつうの家は三角屋根とか寄せミネとか日本っぽいけど。二階がセットバックしている、一階の方が大きいけど、道路面にそろっている。
- ・右手にマンションの前に駐車場。- 今まで住宅だったのが急に空いて駐車場になったので目立つと思う。
- ・突き当りに大きな松 - 高い。立派な松。突き当りで目印探したら。
- ・公園 - 赤いボールの色。他が住宅だから目立つ。
- ・赤い消火器。
- ・家の細さ。- 他の住宅と比べて。横に駐車場にある。
- ・曲がるところでレンガで造ったような壁の家。フェンスのところに謎の黄色い、四角形と対角線で引いてある - 黄色い色。
- ・薄緑色の家 - 色。
- ・水色のポール - 見ている時間が長いからかも。色。
- ・黒のガルマニウム?の三階より大きい家 - 黒の占める面積が大きくて、他の家にあまり使われていない色だから。ドアの茶色。と新しさ。
- ・緑で覆われた家 - だれか住んでいるのかなあとと思う。
- ・道の前にコンクリートできて茶色い木枠のようなものが入っている。- コンクリート打ちっばなしと、茶色が鮮やかだから。家っぽくない。
- ・右手に駐車場、空き地。- 今まで家があって空き地になっているから。
- ・右手に薄ピンクの建物 - 色と大きさ。よく見ると、右手側に教会と書いてある看板があるので、教会かと思った。
- ・右手に黄緑っぽい住宅と、左手に同じ木が三本並んで立っている - 他になかった。種類が珍しい。
- ・左手に緑みどりした大きい木 - 大きかったの。
- ・右手に自動販売機 - 今までのルートになかった。
- ・タイムズのパーキング - 看板は目につくように作られているし。タイムズみんな知っているの、タイムズあるんだ、みたいな。共通の認識として。
- ・白いベンチ、一休みしてね。 - 他の住宅には道に面してこういうの無い。
- ・左手にマンション - 明かりがとっていたから。
- ・右手に黄色っぽい塀、向こうが木でもさもさしている。 - 木が高いので。密集しているのはほかななかったかな。

曲がるが多かったの、まがることによって、新しい風景が出てくるので。

#### 4ルート2回目

歩いていると、左手に黄色い家があります。一階が黄色で、二階が黒っぽい家があります。

そこを左手に見ながらまっすぐ進んでください。

(白い家をあげなかった理由)

黄色い家だけで十分だと思った。

道の右側にマンションがあります。その前に駐車場があります。

そこを左手に見ながらまっすぐ進むと、T字路になります。

T字路には、突き当りに松が生えています。そのT字路を左に曲がってください。

T字路をまっすぐ進むと、つきあたりに赤いポールがあって、その先が公園になっています。そのつきあたりを公園には入らずに右に曲がってください。

つきあたりを左に曲がるようになっていきます。そのつきあたりには、赤い消火器と、変な細い家がありますが、それをみて、左に曲がってください。

その道をまっすぐ進むと、一番目のT字路があります。左手側に一階がレンガでできている塀と壁の家があります。そこを右手に曲がってください。

(黄色い枠をあげなかった理由)

歩いている水平面にあるから、目につかなかった。

まっすぐ進むと、右側に曲がる道があります。その道の角に緑色の家が建っています。その道を左に曲がってください。

まっすぐ進んでいるとつきあたりに、青色のポールが見えます。ちなみにそのつきあたりに行くまでに、緑が茂った家があります。

そのつきあたりを右に曲がります。

左手に真っ黒のガルマニウムでできた家があります。

そこを右手にみながら、始めに現れた左に曲がる道を左に曲がります。

ちなみに左に曲がる前にまっすぐ目の前にコンクリートうちっぱなしで茶色い木枠がついた建物があります。そこをまっすぐ見ながら、左手に曲がってください。右手に謎の空き地があります。駐車場のようで駐車場じゃないような空き地がありますが、そこを右手にみながら、まっすぐ進んでください。

まっすぐ進んでいると、右側に曲がる道があってその角に、家と比べるとわりと大きな薄赤の建物があります。その道を右に曲がらずに、まっすぐ行ってください。

左手側にわりと大きな変わった種類の木が三本植わっている家があります。

それを左手にみながら、まっすぐ進んでください。右に曲がる道がありますが、右には曲がらないでください。

またT字路があります。そのT字路には、自動販売機とタイムズが右手にあります。

そのT字路を左にまがってください。

左手にベンチがあります。ひとやすみしてねっと書かれてあります。

そのベンチを左手にみながら、まっすぐ進んでください。  
右手に黄色い塀の向こうが木でわっさと茂った家があります。

(明かりをあげなかった理由)  
昼間ならついていないかなと。

道案内をする場合は、曲がり角を意識。ただ目につくものをあげると、混乱を生じる恐れがあるので、なるべく道のつきあたり・曲がり角に絞る。

屋根が切り妻か寄せミネが一般。でも、色が変わっていたら目印になるのでは。

## No.10

### 1ルート1回目

右手にコウシンキカクって白い建物があります。 — 平面的で、壁がまっすぐ。他と比べてセットバックしてないので、みんな威圧感を感じると思う。

左手に安全第一 — いつなくなるかわかりませんが。他が白と黒なのに黄色で目立ちます。

左手に福島県高円寺職員住宅があります。 — 子供の声ができるから。しなかったら目立たないかも。

高円寺アパート — この辺建物低いから高さが気になった。

きれいな家が多い — 新しい家、住みたいと思った。

カーサビアンカ — 文字

きれいな家、三角形の屋根 — レンガの色と、白と、緑の色遣いがおしゃれ。上のガラス。

お墓 — お墓が怖いから。

### 1ルート2回目

右手に白い建物、壁がまっすぐになっている建物で、コウシンキカクというのがあり、それを右に見ながら直進します。

そして、左手に安全第一があります。これはいつまであるかわからないけれど。

突き当りを左に、小池さんの家を前に左に曲がります。 — 何もなかったけど、正面に表札があってわかりやすいかと。

左に道が分かれていて、福島県高円寺職員住宅がありますが、そこは直進です。 — 道がそこで分かれていたので、目につくのではないかと。

突き当りを右にまがります。

歩いていると、左に大きな高円寺アパートが見えるので、そこを左に曲がります。

右手には高円寺アパートがずっとあります。

増田さん宅があるので、そこを右に曲がります。 — ゴミ置き場しかない。このゴミ置き場って移動するの

かな。しないか。

(言い直して)

まっすぐ来てゴミ置き場があるので、そこを右に曲がります。一さっきも目にはついてた。

きれいな、絶対金持ちな家を左手に、すると、エステートピア高円寺があって一カタカナが。抽象的に白い家より、名前の方がわかる。

左手にカーサビアンカを見て、そこを直進します。

正面に赤レンガと白い、配色のきれいなおうちがあり、そこを突きあたりななおで、左手に曲がります。

左手にお墓があり、若干の坂を下っていきます。

## 2ルート1回目

- ・鳥居と祠 一自然な感じ。住宅街の中の古いカンジが目につく。
- ・右手に滑り台、幼稚園、教会。一木の滑り台が珍しいから。うちのまわりは、ステンレス
- ・ヘーベルハウス 一緑の垂れ幕が目立った。
- ・左手に、赤の鉄筋の棒 一棒と赤の柱が何かないと。色と形。
- ・杉山商事、CUBE HM 一形、cube って書いてあってキューブだなあと。
- ・茶色、オレンジ色の家 一暖色だけど、グレーとか白とか薄い茶色が多いから、オレンジが目立つ。
- ・クボデラさんの家の玄関 一料亭っぽい。おかみさんがいておいしい食事ができそう。古い。
- ・右手に水色の家があります。一色と新しさ。
- ・パークビレッジ阿佐ヶ谷 一門。入りたくなる感じ。こんなきれいな、ひとまとまりの場所があると、この通りから浮いて見える。
- ・高い竹 一高さ

## 2ルート2回目

左手に鳥居と祠があります。

クリーニング屋さんも左手に。一この辺に店がないから。

右手に幼稚園・教会があります。

ヘーベルハウスの垂れ幕を右手に直進します。

車庫、9個くらい車が入りそうな車庫、を左手に右に曲がります。

一車庫かな、とは思ったが、いいかと思った。

謎の赤い柱がある家を左手に、そこを直進です。

左手に杉山商事があります。CUBEと書いてある、CUBE型のおうちです。

オレンジ色の建物が左手にあります。 直進します。

オレンジの建物を過ぎて、一個目の角を左に曲がります。

左手に田舎にありそうな門をした、家があり、その右手には最近っぽい水色の建物が 있습니다。

左手に駐車場がります。一建物ばかりだったので、開けていてびっくりした。

右手にパークビレッジ阿佐ヶ谷があります。

左手の白い家が気になる。

一窓がつくりものみたいで、空くのかなって気になった。色かな。おとぎ話に出てきそう。

左に高い竹のある家があります。

### 3ルート1回目

- ・道の真ん中にある木 一
- ・左手に緑色の建物 一エメラルドグリーンが。木を見ていたら、左手に建物があって緑だなーと。
- ・ピンク色の建物 一自転車置き場が木でできていたから。木とうしろのピンクがよい。
- ・黄色の家 一色がきれい。
- ・段ボールの断面みたいな壁 一家っぽくない。
- ・左にヒマワリ荘 一ひまわり荘って名前なのに、建物ピンクだし。固有名詞だから。
- ・葉っぱに包まれた家 一
- ・サンパレス 一固有名詞。

### 3ルート2回目

道の真ん中に木が並んでいる通りを歩いてゆきます。

ここは、ひたすら木が目印です。

木を見てると、左手にエメラルドグリーンの建物が見えます。

一旦この木の道の終了したところに、右手に黄色い建物があって、そこを左に曲がります。

(道間違える)

そのまま直進です。また、ひたすら木、木です。

段ボールみたいな断面、の家があります。

ひたすら木の道を行くと、遊歩道って書いてあるところへ行かずに左に曲がります。

一絵が気になった。赤だから。

ひまわり荘という看板があります。直進します。

左手にはっぱにくるまれたおうちがあります。吉田さん宅です。

家の色がどれも白くて、あまりどこも特徴的でないので、唯一目印になるとすれば、

左手にある白い建物のサンパレスっていう看板です。

道なりに歩きます。

### 4ルート1回目

- ・左手に黄色い建物 一広くて、駐車場4台。色。

- ・ 白い建物。一周りに白い建物ばかりなら、目立たないけど、左手に黄色い建物があるから、白い清素なかんじが目立つ。新しくてきれい。
- ・ 公園 一公園好き。家なくて開けて青い網。
- ・ ピンクの色のドアの家 一色。ピンクの密度が高いなあ。
- ・ 7人の小人の置物 一いつまであるかわからないけど。
- ・ 右手に緑のおうち。一全部緑にすればいいのになあ、と。色。
- ・ ヒルズ阿佐ヶ谷 一名前。六本木ヒルズ。
- ・ コープZEN -エイブルの方が（色が）目立つけど、コープZENって教える。
- ・ タイムズの駐車場 一黄色い看板。会社が経営しているような駐車場だから。
- ・ マンション 一あまり後半、高い建物がなかったから。
- ・ 元田さんち 一やさしそうなおばあさんが住んでそう。一休みしてねっていうベンチ。

#### 4ルート2回目

直進していると、左手にすごく目立つ黄色い建物があり、右手に清素な真白い建物があります。つきあたり左に曲がります。すると、真正面に公園が見えます。

公園を前に右に曲がります。

道なりです。

ピンクと白を融合した家があり、扉もピンクで、なにか気になる。

表札の上に7人の小人が乗っている家が左手にあります。右折します。

緑と茶色の色の家のところを左に曲がります。

右手にその緑の家が見えるように左折します。

左手に辻本さんの家。一三階まであって、高い。

まっすぐ歩いて、右折するとヒルズ阿佐ヶ谷が見えます。

向こうの方にグレーに窓の枠がオレンジ、ピンクの建物を見ながら左に。一窓枠の色

右手にコープZEN。

家にしては質素すぎる、白とピンクの建物が。教会らしいです。一こんな広いから一軒家。半地下だから気になる。

前にタイムズが見えます。タイムズにはいかずに、左に曲がります。

左手にひとやすみしてねっていう白いベンチがあります。

その家はこのベンチのおかげで、やわらかいオーラが出ています。元田さんの家です。



## No.11

### 1ルート1回目

- ・赤い消火器 — 色、住宅街なので家以外を探した。
- ・福島県高円寺職員住宅 —

住宅街の中で、職員住宅珍しい。コンクリートの建物なので、何かなど。塀がないから。

- ・高円寺アパート — 他の住宅に比べて大きい。馬橋児童館の看板が気になった。
- ・きれいな、アシンメトリーな形の家

一道の突き当りでずっと見えていた。きれいな家、色が明るい、おしゃれな雰囲気。

- ・お墓 — 福泉寺墓地っていう名前がちゃんとあるので、見分けがつくかなと。囲まれたお墓珍しい。

### 1ルート2回目

まっすぐ進むと、工事している箇所（工事してなくなったら使えない目印なんですけど）—黄色が目立った。

を左手に見ながら、まっすぐ進んで、つきあたり、「ひったくり多発」の看板を左に曲がります。

（一回目に挙げなかった理由）

たくさんあったら困ると思ったが、ひとつしか見当たらなかったの。

一家以外のものを探そうとしていた。

福島県の職員住宅が左手に見えてきます。

道なりに進んで、道が右に曲がっているので、右に曲がってゆくと、左手に高円寺アパートが見えてくるので、左折します。

そのあと、ひとつ目の角を右に曲がります。

道をまっすぐ進むと、そのつきあたりに、茶色と白のアシンメトリーのおしゃれな屋根の形をしたおうちがみえるので、そこを左に曲がります。

左手にお墓が見えてきて、福泉寺跡墓地とあるので、そこがゴールとなります。

曲がり角以外の目じるしがあまり役に立たないなあとと思った。

### 2ルート1回目

- ・鳥居 — 赤い色。
- ・クリーニング屋さん — 赤いライト、お店だから。
- ・右側に阿佐ヶ谷幼稚園 — 数がないかなと。

- ・右手にヘーベルハウス。ー布をかぶっているから。
- ・左手に気になる家ー赤い鉄筋のつくりが目につく。
- ・やたら洗濯物を干してあるアパートーぼろいのが気になった。
- ・左手に昔の日本家屋風の家ー歴史が好きだから。歴史風。門がまえの木の感じ。
- ・20とゆう道路標識ーかなり遅い速度なので、気になった。20.
- ・竹藪。ー家で多くの竹を育てているのが珍しい。

## 2ルート2回目

まずスタートしたら、鳥居を左手にみて、道をまっすぐ進みます。

少し進むと、阿佐ヶ谷幼稚園が右手に見えますが、まだ直進します。

直進すると、ヘーベルハウスの工事している住宅がありますので、その奥の道を右に入ります。

赤い鉄筋がくっついている家を左手に見ながら直進します。

そのまままっすぐ進むと、少し古めのアパートがある交差点があるので、洗濯物干しているやつですね、そこを左に曲がります。

(日本家屋を挙げない理由を尋ねる)

日本家屋は、自分が好きなだけなので、他の人に説明しても伝わらないかなと。道も直進だし。

そのあとに、直進してゆくと、右手にパークビレッジ阿佐ヶ谷のマンションがあって、左手には20kmの速度制限の標識が見えます。

(1回目挙げなかった理由)

先ほどは、標識が目がいき、右方向に注意が行ってなかった。

ー 標識だけだと、どこでもあると思って、近くに名前がついたマンションがあった。わりときれいで、字も読みやすい。

そのまままっすぐ行ったところで、左手に竹藪がたくさん生えているおうちがあるので、そこがゴールです。

## 3ルート1回目

- ・八幡のせんべい屋さんースタート地点だから。
- ・道の中央に木が植わっているー邪魔、珍しい。
- ・止まられて書いてあるイルカー道路に絵があったので、目についた。道端でいるかを目にする機会がない。
- ・ワニー地面に色がついていると、目がいきやすい。
- ・金属で高めの塀ー塀が高くて中が見えないので、怪しい。素材と高さ。

- ・金太郎が書いてある遊歩道の看板 ー赤い。絵が書いてあったので、なんの絵だろう。
- ・右手に赤い壁がずらーと並んだ。 ービビッと赤。
- ・ひまわり荘 ー名前が昔からある。
- ・面白い形に剪定された木、家のつた

最初より多く感じたが、慣れはあるが差し引いても多い気がした。

### 3ルート2回目

左手におせんべい屋さんがある道を進みます。

これからしばらく中央に木が立っている道を直進してゆきます。

地面にライオンやイルカが書いてあると思うのですが、その道はそのまま直進してゆきます。

ライオンやイルカがいる遊歩道の切れ目ポイントを2つ超えると、まだ直進なのですが、右手にトタンの高い塀があります。それを右手に見て、そのまま直進します。

次の交差点では、金太郎が書かれた遊歩道とゆう看板が見えて、右手には赤い塀がずらーと並んでいる交差に出ますが、そこを左折します。

(ひまわり荘を言わない理由)

見つけれられない可能性があるから。

まっすぐ進んでいくと、左手に面白い形をした木が生えているつただけの家が左手に見えますが、そのまま直進します。

そのまま道なり行くと、道が最後左に曲がっていて、左に行くと、最後T字路にてでて、金箔荘がゴールになっております。

ー金箔という看板。道の途中なら気にならないかも。

### 4ルート1回目

- ・黄色い家 ー大きい。高級。デザイン斬新。車のナンバーが斜め。止まっていれば、目印となる。
- ・阿佐ヶ谷西公園。ー突き当りに開けた、家じゃない場所。

小さい小人がいたが、目印には小さいと思ったので、スルーした。

・うっそうと木が茂る、古そうな屋敷 ー木の感じが好き。木が茂っていたので、中に何があるのかと思って。

・鉄筋コンクリートと茶色い格子みたいな窓がついている変わった建物 ー家じゃないなにかなので、気になった。

- ・ピンク色、なんとも言えない形の建物(教会)

一家じゃなさそう。大きい。マンションであれば、一様に同じ形の窓が並んでいるはず。いろいろな形の

窓が大小並んでいる。

- ・自販機と、タイムズの駐車場 一組み合わせがよりわかりやすい。
- ・窓が緑で囲まれている 一他にはないなど。窓枠の緑が目だった。

色と木が気になるみたい。

#### 4ルート2回目

進み始めてすぐに、左手に黄色い斬新なデザインの大きなおうちがあります。

車のナンバーが斜めについているのも特徴です。

すぐ行って突き当りの道を左に曲がります。

左手には、あさがや西公園が見えるので、道なりに進んでいきます。

くねくねと道を進んでいくのですが、注意しないとわからないのですが、左手に、郵便受けのついた壁に小さな小人が二人ついた家があるので、そこを右に行ってください。

右に曲がったあと、すぐに次の曲がり角を左に曲がります。

左に曲がると、次の曲がり角には、左手に木がうっそうと生い茂る木でできた古い屋敷があります。

そこを右に曲がります。

右に曲がると、前方に、コンクリートの建物に茶色い格子の入った施設のような建物があるのですが、そこにはいかず、手前の角をすぐ左に曲がります。

そのまままっすぐ行くと、右手にピンク色の建物、ちょっと大きめの建物があつて、屋根がとんがっていて、よく見ると十字架があつて教会なのですが、それを右手に見ながら通り過ぎます。

そのあと、また右前方に駐車場がありますので、その手前の角を左に曲がります。

まっすぐ行くと突き当りのT字路のところで終わりです。

一度しゃべったから覚えたかもしれない。

道案内にわかりやすいのを選んでしまうかも。

緑色は道の途中なので必要ないかな。

## No.12

### 1ルート1回目

- ・消火器 一 赤い色が、白い住宅の中で目立った。

- ・上がグレーのアサダさんのおうち — 家の色と、素材がまわりと違う。素材が、プレハブ。コンクリートっぽくない。白い窓のデザイン。
- ・つたがいっぱい絡まった塀 — 草が生えている。
- ・壁がグレーの山口さんのおうち — 周りの家が茶色・ベージュの中で、こい目のグレーが際立っていた。
- ・福島県高円寺職員住宅 — 打ちっぱなしの素材。住宅っていう看板があったので。
- ・高円寺アパート — 窓の枠が飛び出ているので、壁に映えている。
- ・高円寺北4丁目新生会の掲示板 — 一周りにそんなに似たような掲示板がないから。
- ・秋山さんの家の木のドア — 一家の外で木をあまり使ってないから。
- ・木原・山野さんのおたくの白いレンガの柱 — 片方が家にくっついているのに、もう片方は独立して建っているので、非対称な感じが気になりました。
- ・カーサビアンカの看板 — 文字が大きくて、わかりやすい。
- ・白の壁と赤レンガで作られているおうち — 白の壁と赤レンガの色のコントラストが、周りの家と比べて際立っていた。屋根の角度が急で、二つ並んでいるのが、大きい。
- ・カサデルアーチェロの看板 — 正面にあるのと、シルバーのアルミっぽい素材が、マンションの壁から際立っていた。

## 1 ルート2回目

(音声取れていない)

- ・消火器
- ・アサダさん
- ・つたがいっぱい絡まった塀
- ・レモン色の家
- ・福島県高円寺職員住宅
- ・高円寺アパート
- ・渡辺さんの家の門
- ・高円寺北4丁目新生会の掲示板
- ・白いレンガの柱

曲がり角のところで、正面に白い柱で赤いレンガの屋根が急な家が二つ並んでいるのですが、それが見える曲がり角を左に曲がってください。

正面にカサデルアーチェロという銀色の看板がついた茶色のレンガでできたアパートがあるので、そこで終わりです。

## 2 ルート1回目

- ・神社、赤い鳥居と、一赤い色、周りが木の中で目立つ。
- ななめについている消火栓の標識 — ななめで、割れているから。
- ・階段が、すりガラスで透けている事務所 — コンクリートとすりガラスの対比で目立っていたのと、中がすけていて壁がオレンジの色。

- ・クリーニング屋さん 一お店に木が絡まっていて、周りが無機質な中で目立っていた。
- ・阿佐ヶ谷幼稚園 一住宅街の中で幼稚園だから。門についている、ひらがなの看板がわかりやすい。
- ・車庫って書いてあるシャッター 一シャッターにわざわざ車庫って書いてあるので。
- ・青色のポールのカーブミラーが三本 一ポールの青色のミラーはあまり見たことない。
- ・シャッターが9個並んでいる倉庫みたいな。 一周りがほとんど家だから。
- ・赤い色で塗られた雨よけ 一ベージュ系の色の中で、赤い色が映える。雨よけの吊り方が独特。
- ・CUBE HM アクリル素材の看板 一周りの家が、普通の家の中で、コンクリートやアクリルの素材を使っていてモダンなかんじがする。デザインもきれい。
- ・茶色で、家のそとのランプがガラスケースに入っているおうち。一周りが白っぽい中で、茶色い家が映えた。ランプが小さいケースに入っていて、かわいいなあ。実際に道案内する際は、壁の色を使うと思う。
- ・増田さんのおうち 一赤茶色の壁。あとで塗られていて、質感が違う。外の階段の手すりの形が、角角していて気になる。
- ・久保寺さんちの家の門 一周りの家の門が洋風な中で、和風の門だから。
- ・岡本さんの家 一水色の壁と、白を窓の枠やシャッターに使っていて、さわやかできれいな色遣い。
- ・パークヴィレッジ阿佐ヶ谷のマンションの門 一分かれ道のところにあり、コンクリートで門を造っているの。

## 2ルート2回目

赤い小さな鳥居が見えます。

コンクリート打ちっぱなしで、階段の中が透けて見えるおうちと、その向こうに、草が絡まっているようなクリーニング屋があると思います。その道をまっすぐ行って下さい。

右に阿佐ヶ谷幼稚園があるので、その阿佐ヶ谷幼稚園という文字が見えたら、道をずっとまっすぐ行ってください。

十字路にきたら、青いカーブミラーが三本立っているので、そこをずっとまっすぐ行って下さい。

まっすぐ行く道と、右に行く道に分かれている曲がり角で、左手にシャッターが並んでいるので、それが見えたら、右に曲がってください。

左に、茶色、ピンクのような建物で、赤い雨よけがついている家があるんですけど、それを左に見てずっとまっすぐ行ってください。

左に、コンクリートのマンションで、アクリルみたいな看板で CUBE HM と書かれているマンションがあるんですけど、それを左にみてずっとまっすぐ行って下さい。

左に阿佐ヶ谷北5丁目16という表札がついてある茶色い色の家があるんですけど、それを左に見てそのまままっすぐです。

さっきの茶色い色の家を過ぎて、次の曲がり角を左に曲がります。

左に赤っぽい茶色のペンキで壁を塗られた家があります。その家の外には、ちょっと手すりが角角した階段がついています。それを左に見てまっすぐ行ってください。

左に黄土色の壁で和風の門がついた家があります。

それを左に見てそのまままっすぐです。

まっすぐ行くと、右に、鮮やかな水色で、白の窓枠のついたおうちがあるんですけど、それを右にみてそのまままっすぐ進んでください。

左に行く道と、まっすぐ行く道がある通りで、右手にパークビレッジ阿佐ヶ谷というコンクリートでできた門がついてあるマンションを右に見てまっすぐ行って下さい。

マンションの壁の色は、コンクリートのグレーと青色のマンションです。

左に細い竹が密集して生えてある家があります。

それを左にみてまっすぐ行ってください。一松とかはあったが、周りにある木と違ってまっすぐ伸びているので。ナニの木と説明しやすい。

### 3ルート1回目

・遊歩道と書いてある標識

一金太郎というみんなが知っているキャラクターを書いているので、誰に説明してもわかると思った。

・黄緑色のタイルの壁のアパート 一今までなかった黄緑色

・十字路にある木でできた自転車置き場があるマンション 一自転車置き場の木が素材で今までなかったから

・ながやすさんのおうちの、薄むらさきの塀。叩くと、ぱんぱんという音がして軽い感じの塀 一色。幅が長いので、初めて来た人でもわかると思った。

・赤い家の塀がずっと並んでいるのが見える。一色。

・左折車通行困難のプレート 一電信柱で道を通るときに目につく。

・ひまわり荘 一建物の色もちょっとピンク。かわいい名前。表札がわかりやすいところに貼ってある。

・壁がつたで覆われている吉田さんのおうち

・avion と書かれているマンションの表札 一マンションを説明するだけでは伝わりにくいが、目線の高さに表札がある、英語の名前。

### 3ルート2回目

金太郎の絵が書いてある看板のある遊歩道に入ってください。

左手に黄緑色の壁のアパートがあるんですけど、それを左にしてそのまままっすぐ行ってください。

十字路にきたら、右斜め前に外に階段のついたアパートがあります。その十字路をそのまままっすぐ、行ってください。

一ちょうど、道の正面にあったのと、階段のついたアパートがあまり周りにないから。

階段の手すりのデザインが気になった。

左手に木でできた自転車置き場で、入居者募集の看板がついてある自転車置き場があるアパートがあるんですけど、それを左にしてそのまままっすぐ行ってください。

十字路を進んで、右手にながやすさんちの塀、薄紫のプラスチックっぽい素材でずっと続いている通りがあります。それをそのまままっすぐ進んでください。

十字路に出て、右手の奥に赤い、鮮やかな色の塀がついている家があります。

その家を背にしてまっすぐ進んでください。交差点を左です。

その角を曲がったところに、左折車通行困難という電柱に貼ってある看板があるので、その道をそのまままっすぐ進んでください。

次の十字路で、左ななめ前に、ピンク色の壁で、ひまわり荘というアパートがあります。

その道をそのまままっすぐ進んでください。

細い遊歩道みたいなのと重なる十字路で、左ななめ前に、つたがいっぱい絡まっているおうちがあります。

それをそのまままっすぐ進んでください。

#### 4ルート1回目

・下がれもん色で、上がグレーの金属的な素材でできている家 一下の黄色が目立つのと、上のシルバーの家とのコントラストが、周りの家の中では珍しい。

・向かいの家 一カーテンのきみどり。正面から見て左と、右三分の1くらいの素材が違う。塀がだんだんになっている。

・コスモ弥生というアパートに貼ってあるばじりかという管理会社の看板 一白の壁の家に映えるので、目立つ

・曲がり角にある、家のドアが紋章、銅板のレリーフっぽいパネルが集まっているようなドア

・公園 一みどりのネット、トリの絵が彫ってあるトイレ

・右側にある入口だけ赤いレンガで他が白 一その赤いレンガとドアも同じ色なので、周りから見るとわかりやすい。

・道の左側、白いドアで、ガラスに模様が書いてあるおうちと、その家のインタホンとポストがついた小さな塀みたいなの、でこぼこした素材 一ちょうど角にあった。ガラスに模様が珍しい。

・角にあるきみどりの家 一ちょうど角にあるから。周りが茶色とか白が多い中、きみどりが映えると思った。

・道の左側にある、三階建のおうち 一高さ、ベランダの手すりのすりガラスの素材がきれい。周りに同じような家がない。

・ヒルズ阿佐ヶ谷というアパートについてあるインタホン

一ガラスケースに入っていて、ちょうど目の高さ、角の正面にある。マンションの壁が薄紫なので、まわりの中で目立ちやすい。

・コンクリートの建物で、階段の柵とか窓にもオレンジ色 一色。

・右にある薄むらさきの建物 一三角に屋根のところが飛び出ている、歩行者の目線の高さから見て、そこだけが飛び出ているように見える。

・ドムス阿佐ヶ谷 一周り薄むらさきが多い中で、きみどり色。

・タイムズという駐車場。一都内多くある駐車場なので、だれもが知っていると思った。



- ・おうちの庭に置いてあるたぬきの置物 一通りから目につくところにある。
- ・元田さんち 一色。屋根が赤い。家の薄いピンクのようなまだら。かわいいカンジ。車が、赤・黄色・白と停まっていて、車が止っていればわかりやすい。

#### 4ルート2回目

道を進んで行って、一階が黄色で塗られている家で、その反対側に、みどりのカーテンがある白い家のあるとおりがあるので、そのまままっすぐ進んでください。

道の左側にコスモ弥生というアパートに貼ってあるピンク色の管理会社の看板があります。

その通りをそのまままっすぐ進んでください。

道の角のところで、ドアに銅板のレリフ、はっぱみたいな模様のパネルがはってあるドアがあるおうちがあります。

それが見えたら、そのかどを左に曲がってください。

道を進んでいくと、正面に赤と黄色のポールが立っていて、奥にネットがある公園があります。その公園をそのまま右に曲がってください。

道沿いに行くと左に曲がってすぐ、白の壁で、入口のところだけが赤いレンガでできている家があります。

その家を右手にしてそのまま進んでください。

その道沿いに、左手に白い家で、一階の入り口のところとインタホンがついてある小さな塀のところが、石を積み上げて白っぽい色で塗ってあるような家があります。

そこを右に曲がって下さい。その家のドアは白色で、ドアのガラスに模様が書いてあります。

まっすぐ行く道と、左に曲がる道がある曲がり角のところで、左ななめ前にきみどり色の壁の家がみえます。その家のところを左に曲がってください。

道沿いに行くと、左手に三階建てで白っぽい壁で、ベランダの部分がすりガラスになっているような家があります。

その家を左にしてそのまままっすぐ進みます。

次の曲がり角のところで、右に行く道と、左に行く道があるんですけど、正面にガラスのケースに入っているインターホンがある紫色のヒルズ阿佐ヶ谷というマンションがあります。

それを正面にして右に曲がってください。

次のまっすぐ行く道と、左に曲がる道があるところで、右手に濃い茶色のyトタンっぽいけど、トタンじゃないおうち、入口が、その家は白いです。一無機質な素材を使っていた。

その隣には、つたが絡まったような家があります。

それを、左に曲がってください。

道の右側に薄いピンク、紫の建物があって、屋根の天窓の部分がすごい鋭角にとがった形をしています。

下からみると、とがった部分だけが見えるので、それを右手にしてそのまままっすぐ進んでください。

ホークス阿佐ヶ谷という黄緑色のアパートがあって、それを右手にしてそのまままっすぐ進んで下さい。

左に曲がる道と、まっすぐ行く道があって、右ななめ前には、タイムズの駐車場があります。

その角を左に曲がってください。

その角を曲がると、すぐ左側にたぬきの置物がおいてあります。その道をまっすぐ進んでください。その

道をまっすぐすすんでいくと、赤い屋根で、壁がピンク色っぽい家があります。赤白黄色の車が停まってかわいいおうちです。それを左手にしてそのまままっすぐ進んでください。

3・4ルートは道案内をするときにわかりやすいかな、と思ったものを挙げてしまった。色、特徴的なデティールを気をつけてた。

## No.13

### 1ルート1回目

- ・あたらしめの白い家 ー新しいので。
- ・高円寺北4丁目25の標識 ー文字だと他にはないから。
- ・高円寺アパート ー建物自体大きい。高円寺アパートって文字で書いてある。高い。
- ・お墓 ーこの辺でなさそう。

### 1ルート2回目

つきあたりまでまっすぐ。

つきあたりを左で曲がってください。

コンクリート打ちっばなしの家がある突き当りに着くので、そこを右。

ー打ちっばなしが他にないカンジ。

高円寺アパートを左に曲がります。

高円寺アパートのところを曲がってちょっと歩くと、交差点になっていて、小沢さんという赤レンガの家が見えるので、そここのところで右手に曲がります。

曲がっていくと、つきあたりに着くので、つきあたりを左に曲がります。

そうすると、左手にお墓が見えてくるので、そこをまっすぐ歩きます。

### 2ルート1回目

- ・神社 ーまわりが住宅街なので。
- ・クリーニング屋さん ー曲がるところで、他にお店がなかったから。
- ・右手に阿佐ヶ谷幼稚園 ー住宅が多いので。名前がついている。住宅だと、同じ表札がある。
- ・左手に10個くらいシャッター ー曲がり角だった。あまりこの辺にない。
- ・CUBE HM ー名前が他にないので。看板。

- ・ 赤い壁の家でローマ字で増田って書いてある。 一曲がるところで、表記と色で特徴あるから。
- ・ パークビレッジ阿佐ヶ谷一看板。英語で書いてある、形も特徴。

## 2ルート2回目

左手に小さい神社が見えるところをまっすぐ進んでいきます。

左手にクリーニング屋があって、すぐ近くの右手には、公園があるので、そこをまっすぐ進みます。

さらにちょっと進むと、左手に阿佐ヶ谷幼稚園というところが見えると思うので、そこをまだまっすぐ歩きます。

ずっと歩いていくと、左手の方に車庫みたいなところがあって、シャッターが10個くらい並んでいる長い車庫があるので、そこを右手に進みます。

しばらく歩いていくと、白いコンクリート打ちっぱなしの建物があって、その看板にCUBE HM っ て見えると思うので、そこをまたまっすぐ歩きます。

そこを歩いていくと、十字路があるんで、そこを左に曲がります。

左に曲がったときに、左手に赤い家が見えていて、小さいんだけど、表札にローマ字で増田って書いてあるのが見えるので、そこをまっすぐ歩きます。

ずっとまっすぐ歩いていくと、右手にパークビレッジ阿佐ヶ谷というアーチの形したアパートの看板があるので、そこをまっすぐ歩きます。

一回目より曲がり角を意識した。まっすぐの時はあまりいらないうちも。

## 3ルート1回目

- ・ 金太郎の柄がある遊歩道の看板 一他にあまりないかんじ。
- ・ また遊歩道の看板 一後ろからみると、古さが一個目と同じ。
- ・ 右手に黄色い建物 一色。
- ・ 3つ目の金太郎の看板
- ・ 駐車場 一 家が多い。

3つ目は、目印少ない。あいまいなかんじな目印を挙げてしまいそう。

## 3ルート2回目

金太郎の柄がついている遊歩道の看板をまっすぐ歩いていきます。

しばらく行くと、また同じ看板、今度裏側から見える感じなんですけど、そこをまたまっすぐ進みます。

右手に黄色いがあるんですけど、そこもずっとまっすぐです。

歩いていくとまた金太郎の看板が見えるんですけど、三つめもスルーしてまっすぐ行きます。

さらにまっすぐ行くと、4つめの金太郎の遊歩道の看板があるので、そこを左に曲がります。左に曲がると、右手に駐車場が見えてくるので、そこを道なりにまっすぐ進んでいきます。途中、左手にはっぱが生い茂っている家がありますが、そこをまっすぐ進んでください。— 直線が長いので、アバウトの中でも特徴的なのを挙げた。まっすぐ歩いていくと、つきあたりにぶつかるので、そこを左に曲がります。

#### 4ルート1回目

- ・ビビっとな黄色い建物 一色。
- ・公園 一左に曲がるときに目印がなかった。開けた感じがする。
- ・左手にうすみどりの建物 一色。
- ・左手にヒルズ阿佐ヶ谷 一周りより新しい。看板。
- ・コープZENの看板 一字体。
- ・右手にタイムズの駐車場 一タイムズだと、どこの駐車場でも別々に名前についているかと。
- ・左手にたぬきの置物
- ・左手にファンシーな家 一他とちがう感じ。

目についたものは多かった。本当に曲がるところがたくさんあると、目が引かれやすい。

#### 4ルート2回目

左手の方に、下が黄色くて、上が黒い建物があるので、そこをまっすぐ歩いていきます。道なりに歩いていくと、つきあたるので、そこを左に曲がります。左に曲がると、目の前に公園がみえてくるので、その公園に入らないで、そこを右の道に曲がります。すぐ突き当るので、そこを左に曲がります。曲がり道を右に曲がります。高い木があるところです。左手に、きみどりの家があると思うので、左に曲がります。歩いていくと突き当るので、つきあたりを右に曲がります。左手にヒルズ阿佐ヶ谷って書いてある新しいアパートが見えると思います。交差点を左に曲がります。みちなりにまっすぐ歩いていきます。まっすぐ歩いていくと、タイムズの駐車場が見えるので、その曲がり角を左に曲がってください。ここを歩いていくと、左手の方にたぬきの置物が見えるので、ちっちゃい見えるのですが、さらに歩いていくと、ベンチとか、元田って書いてあるファンシーな家が見えます。

一回目目についたところで、2回目まっすぐ進む道だと見落としている。

## No.14

### 1 ルート 1 回目

- ・みかんがなっているおうち 一近くにみかんのなっているおうちがあまりないので、わかるかな、と。
- ・赤い車 一目立つ色。
- ・高円寺アパートの看板 一名前がわかりやすいところに出ていたので、見えるかなと。
- ・三田村さんのおうち一上に緑の階段

### 1 ルート 2 回目

ピーポくん 101 番が貼ってある寺田さんのおうちからスタートします。

一色・絵。寺田さんの表札も近くにあるので、わかりやすいかと。

みかんの木がなっている一軒家の前にいます。

突き当りを左に曲がります。

佐藤さんのおうちと、松山さんのおうちがあるところを右に曲がります。

一ちょうど突き当りにあったから。普段なら言わない。

赤い車が手前にある、一軒家のおうちの前にいます。

高円寺アパートがあるところを左に曲がります。

高円寺北4丁目新生会っていう看板を張るところ、掲示板の前にいます。

一歩いていて目につく。固有名詞があるからわかりやすいかなと。

青いカバーがかかったゴミ箱の手前を右手に曲がります。一色。曲がり角だから挙げた。

黄色い自転車が壁に立てかけてある、フローラ高円寺というアパートの前にいます。

一色が目についた。黄色い自転車があまり周りにない。セットだとわかりやすいかと。

三田村さんというおうちがあります。上に緑色の階段があります。

黒い JEEP が停めてあるおうちを左手に曲がります。一曲がるときにわかりやすい。曲がらなかつたら  
いわないかな。

道を説明されるときに、色を使った説明を受けることが多いので、それがわかりやすいかと思った。

## 2ルート1回目

- ・アイロン屋さん。下から蒸気が出ているのと、お店のつたのようなくるくるしている木があります。 — 木が変わっている。ガラス張りになっていてお店の人がかけているアイロン屋さん
- ・公園。子供たちが遊んでいる。(阿佐ヶ谷幼稚園) — 子供の声が耳についた。公園があまり周りにないので。
- ・工事をしている建物
- ・赤い柱のようなものが上につている。 — 珍しい屋根の形。なんだろうと思った。
- ・杉並区阿佐ヶ谷北5丁目16の看板が茶色いおうちのところに。 — 固有名詞だから、確認しやすいかな。目の高さにあった。
- ・水色のおうちの前 — 周りが昔からある古い建物なので、水色生えた。
- ・パークヴィレッジ阿佐ヶ谷 — 書いてあると目につく。文字。モダン的な建物の感じ。
- ・加賀山さんのおうち、竹のような長い木がたくさん。 — 住宅街で竹はない。

## 2ルート2回目

- アイロン屋さんの前にいます。下から蒸気が立っていて、お店の前につたがある木があります。
- 阿佐ヶ谷幼稚園の前にいます。公園のような広場になっていて子供たちの声がたくさん聞こえます。
- 上にシーサーがあるようちがあります。小川さんのおうちです。門構えがあって、上をぱっと見ると、シーサーがいます。
- 沖縄の人の家のなのか、珍しいなど。
- 工事している家の前にいます。
- シティハイムエムと書いてあるアパートを右手に曲がります。
- 右に曲がる時の目じるし。歩いてきて目に入る看板。
- 赤い柱が屋根になっているおうちの前にいます。
- 阿佐ヶ谷北5丁目16と書かれている看板の前にいます。
- 上を見上げて、ベランダにたくさん鉢植えが置いてあって、オレンジ色のライトが中に見える、アパートを左手に曲がります。 — 鉢が多くて目立つ。
- 水色のおうちの前にいます。
- うすピンク色の田上さんのおうちの前にいます。おうちの前に赤い葉っぱがたくさんついているおうちです。 — 赤い葉っぱと、うすピンクの色合いがきれいだなと思って。
- 歩いてきて右手にパークヴィレッジ阿佐ヶ谷という駐車場のマークがあるところにいます。加賀山さんというおうちの前にいます。その前には、竹がたくさん生えています。

## 3ルート1回目

- ・マテバシイという木の下に、イスが一つだけ、置いてあります。 — イスがなぜここにあるのだろうと思って。
- ・温泉庵という京都を思わせるような、おうちで、上はアパートってゆう建物。

- 文字が書いてある木みたいな（看板）と、竹の感じが珍しいな。歩いてきてなかった。
- ・一軒家にみえるが、ポストをよく見ると、名前がたくさん書いてあって、アパート。駐輪場がわりと新しい。かわいらしいレンガ造り。
- 一軒家に見えるアパートに、驚いた。
- ・ながやすさんの家、トタンみたいな壁にポスト、インターホンがあるので、家だと分かった。
- 一見、普通の壁に見えて、おうちだったので、不思議な感じ。
- ・阿佐ヶ谷北3丁目と書いてある看板が角三つにぼんぼんぼんとある。それぞれ番号が6, 3, 8になっていたの、伝えやすいかな。
- 三ついっきに入ってきて、同じ三丁目なのがわかりやすいかなと。
- ・緑のカバーがしてあるおうち — 工事中なのか。緑のカバーがわかりやすいかなって思いました。

### 3ルート2回目

- マデバシイって書いてある木の前にいます。下にイスが一つだけ置いてあって、ぱっと目に入ります。おんじゅま（温寿庵）と書いてある標識みたいなところのアパートの前にいます。
- レンガ造りのおうちで、一見みたところ一軒家に見えるのですが、アパートになっているおうちの前にいます。
- ながやまさんのうちの前にいます。
- 遊歩道と書いてある杉並区役所の、金太郎の絵が書いてある道を左に曲がります。
- ぱっと目についたのが金太郎の絵でした。
- （一回目挙げなかった理由を尋ねる）
- 曲がり角を意識したからかもしれない。
- 阿佐ヶ谷北三丁目の看板が三つ角にあるところをまっすぐ行きます。
- おうちにすぐつたが生えてある、一軒家のおうちがあります。
- 標識（表札）を見ると、吉田さんと書いてあります。一家のまわりにつた。
- 緑色のシートがしてある吉田さんのおうちの前にいます。
- 阿佐ヶ谷サンパレスという白いアパートの前にいます。一歩歩いて名前がすごくわかりやすい。看板。固有名詞なので、説明しやすい。

### 4ルート1回目

- ・黄色いおうち — 黄色と赤のコントラスト。赤の車も、バックナンバーが斜めにある。
- ・阿佐ヶ谷西公園 — 公園の標識が目についた。そのあとに赤いポール。
- ・ベランダがガラス張りになっている — 珍しい。初めて見た
- ・抹茶色のおうち — 色が珍しい。緑が今までなかった。
- ・栗原さんのおうち。一家が見えないくらいつたで覆われていてわかるかなと。家の前にママチャリが置いてあって、つたとセットでゆうと通じると思った。
- ・白いワゴン車が止っているおうち。向かいが、元田さんという人のおうちになっています。 — 白い、

色が目立った。向かいのおうちとセットでゆうとわかりやすいかと思った。

・白いベンチが置いてあるおうち。レンガ造りになっていて、ガーデンニングもしてあってイギリス式のおうちの前にあります。一ベンチの上にひとやすみしてねって書いてあるのが、かわいいと思った。

・プレジール阿佐ヶ谷 一固有名詞だから。看板。カタカナで読み易かった。

最後のルートは色遣いが独特だった。

#### 4ルート2回目

黄色のおうちがあります。車が赤で、黄色と赤のコントラストがすごく目立つおうちです。

つきあたり正面、大きな松の木があるおうちがあります。田部さん、長山さんという標識（表札）があるおうちを左手に曲がります。

一松の木が目についた。曲がり角でなければ、挙げてない。

阿佐ヶ谷西公園と書いてある公園を右手に曲がります。

二階がガラス張りのベランダになっているおうちの前にいます。

「空き巣許さない」と書いてあるポスターを右手に曲がります。

一目線に入った。絵にインパクトがあるから。

緑色のおうちがあるところを左手に曲がります。

ヒルズ阿佐ヶ谷と書いてあるアパートを右手に曲がります。アパートのまん前にオートロックが二つついています。

一 右手に曲がるときに、固有名詞もあるので間違えないかなと。

栗原さんというおうちの前にいます。おうち全体がつたで覆われているのでわかりやすいです。

阿佐ヶ谷北2丁目17と書いてある看板を見て、左手に曲がります。

一曲がるときは目印になるかなと。

白いワゴン車があるおうちの前にいます。

一白と隣接しているおうちが緑色っぽいので、両方つたえれば、わかりやすいかなと。さっきは白だけ。

遠めから見ると、白と緑ってゆえば目立つと思う。

右手に自動販売機が三つあってコインパーキングになっている駐車を右手にみて、左に曲がります。一色と看板。

白いベンチが置いてあるレンガ造りのおうちの前にいます。

プレジール阿佐ヶ谷というアパートの前にいます。

(質問して)



二回目は説明するとなると、具体的に説明しようと思うので、いろんなものが一回目よりも目に入ってくるなという印象は受けました。

2・4は色彩が多く使われていた。

## No.15

### 1ルート1回目

- ・ 右側におしゃれな家 —コンクリート打ちっぱなし。他の家とちょっとちがう。
- ・ 空き地に周りにオレンジ色のフェンス —空き地がこのへんにはない。
- ・ ミカンの木 —実がなっているのは、このあたりはないと思う。
- ・ 消火器 —色
- ・ コンクリート打ちっぱなしの建物 — 大きい。
- ・ 通学路 文、緑色の看板 —色とマーク
- ・ 高円寺アパート —鉄筋コンクリート、高い、建物のまわりに空き地がある。
- ・ 高円寺北4丁目新生会 掲示板 —ポスターがいっぱい貼ってある。
- ・ ゴミ置き場 —ネット・ポスターも出ていて色があつた。
- ・ マツの木 —道にせり出していたから
- ・ カーサビアンカ —名前が面白い、文字が大きい。
- ・ ちょっと洋風っぽいレンガの家 —色と形が回りの家と比べて独特。 屋根の形が左右違う。新しくてきれい。シャッターがついているところも違う。
- ・ お墓 —住宅街の中で墓地。
- ・ カサデロアーチェロ — 新しめ、きれい。タイルの色と看板。

### 1ルート2回目

まっすぐ進みます。

右にコンクリート打ちっぱなしの住宅が見えます。それが二つあります。

左に柵で囲われた空き地があります。

突き当りを左です。

右に消火器があります。

左側にコンクリート打ちっぱなしの大きな建物が見えます。

道なりに左に進みます。

左前に高円寺アパートが見えるので、その前に左に曲がります。

高円寺北4丁目新生会の掲示板があります。

三差路の右前のところにゴミ捨て場があります。

ここを右に曲がります。

右に白いアパートで、エステートピア高円寺があります。

— 一回目は松に目が行ったが、二回目はこっちに目がいった。白い外観。

左側に消火器があります。一色

左側にカーサビアンカのアパートがあります。

消火器があります。

つきあたりを左です。つきあたりにちょっときれいな家があります。

左側に墓地があります。

## 2ルート1回目

- ・鳥居がある神社みたいな 一色が目立つ。住宅地の中に違うもの。
- ・左にコンクリート打ちっばなしで、変わった形、正面がガラス張り 一形が変わっている。
- ・クリーニング屋さん 一お店があまりないので。
- ・公園（幼稚園） 一広場みたいなスペースが珍しい。
- ・十字路 一十字路みたいなのがなかった。
- ・シャッター 一このあたりでは見ない。
- ・杉山商事 一かっこいい。コンクリート打ちっばなし。周りとかんじが違う。
- ・十字路
- ・右側にこの木なんの木みたいな木
- ・水色の住宅 一色
- ・左右に駐車場 一住宅ばかりであったので、開けているカンジ
- ・パークビレッジ阿佐ヶ谷のゲート 一ローマ字で書いてある。全体のおしゃれだし。
- ・竹林 一竹は珍しい。

## 2ルート2回目

左側に神社が見えます。

変わった建物とクリーニング屋が見えます。

右に幼稚園が見えます。

十字路があります。

まっすぐ進んでいます。

シャッターが見えます。

右に曲がります。

両側にもこもこした木があります。 一道からせり出しているのです。

左に杉山商事という管理会社があります。

十字路があります。

左に曲がります。

右側にこの木何の木みたいな木があります。

右側に水色の家があります。

両側に駐車場があります。

パークビレッジ阿佐ヶ谷という建物とゲートがあります。

竹林があります。

### 3ルート 1 回目

- ・道の真ん中に木 一珍しい
- ・タイルが緑色の家 一色が珍しい。
- ・十字路
- ・イルカの絵 一色。道に絵が描いてあること。
- ・十字路みたいに道が交差
- ・右よりな木が2本
- ・グリーンコーポとコスモハイム 一看板。文字がこのあたりになかった。
- ・十字路
- ・駐車場 一開けているので。今まで塀に囲まれていたので、広い。
- ・十字路
- ・十字路 一赤いのが珍しい。左右のポール。
- ・つたが表面に生えている家。一歩いてきた中でなかった。
- ・ゴミ捨て場 一緑のかごの色が目立つ。
- ・掲示板
- ・十字路 一交わっているのが狭い。
- ・サンパレス 一文字の大きさ。名前。

### 3ルート 2 回目

木が道の真中にあるのが並んでいます。

緑色のタイルのアパートがあります。

十字路があって、絵が道に描いてあります。

十字路があります。

右に寄った木が2本あります。

アパートの看板、グリーンコーポとコスモハイムがあります。

十字路があります。

駐車場があります。

左に曲がります。

十字路があります。

ひまわり荘が左にあります。 一ありがちな名前。

十字路があって、つたが絡まった家と、ゴミ置き場があります。

十字路があります。

十字路があります。

つきあたりに、古い白い集合住宅があります。 一突き当りにあったから。

### 4ルート 1 回目

- ・左に黄色いおしゃれな家 一色と形。ファサード全体が面白い。
- ・ばじりか 一看板の色

- ・ 左に大きいマンション ー大きさ。窓が少ない。
- ・ ゴミ置き場 ー道にはみ出している。ねっとの色。
- ・ 阿佐ヶ谷西公園 ー広場。建物がなくて開けている。
- ・ 壁が緑色の家
- ・ ヒルズ阿佐ヶ谷 ー少し新しそうな外観と、看板。
- ・ 空き地のような、駐車場 ー家が建ってそうな場所になかった。
- ・ タイムズ 24 時間のコインパーキング ー看板。
- ・ たぬきの置物 ーあまりみないから。
- ・ イス、ひとやすみしてね、の看板 ー珍しい。
- ・ 高めの塀で木 ー向こうに何があるか気になった。

3 ルートは印象に残っている。

#### 4 ルート 2 回目

左側に、一階が黄色で、二階がせり出している家があります。  
ピンクの看板があります。  
右側に大きいマンションがあります。  
突き当りを左に曲がります。  
ゴミが目に入ります。  
正面に真中に木がある公園があります。  
右に曲がります。  
左に曲がります。  
右に曲がります。  
空き巣許さないというポスターが目に入った。 ー絵と、文字。  
左側に木があります。  
左の緑の建物の手前で左に曲がります。  
突き当りで右に曲がります。  
ヒルズ阿佐ヶ谷アパートがあります。  
阿佐ヶ谷北 2 丁目 17 番の看板のところを左に曲がります。  
右に空き地があります。  
コインパーキングのところを左に曲がります。  
たぬきの置物があります。  
ベンチがあります。  
新しそうなマンションがあります。 ー新しいから。  
壁と木があります。

## No.16

### 1ルート1回目

- ・ 空き地、オレンジの安全大一のフェンスが囲ってある — 大きなVOIDになっているので、わかりやすいかと
- ・ 大きな果物の木 — 道に飛び出していて、実がいっぱいなので、遠くからみて目立っていた。果物の黄色の色。食べ物だし。
- ・ 黄色い家 — サッシの色とポストが緑色、色の組み合わせが奇抜で他の住宅からういている。と、隣の大きな木。
- ・ RC打ちっばなしの建物 — 一角にあって、打ちっばなしで閉じているから。住宅っぽくない。
- ・ 屋根の底についている、オレンジの瓦 — 色
- ・ 高円寺アパート — 住宅街に大きなヴォリューム
- ・ 線路 — 電車が通るとわかる。いつも通るわけではないけど。
- ・ 松 — 大きい
- ・ 新しい住宅 — 新しいから白いのがすごく目立つ。立地がつきあたりにあるので、すごく目立つ。
- ・ 坂
- ・ お墓 — 住宅地にはそんなに多くないかな、と。地理的情報になるかと。

### 1ルート2回目

道をまっすぐ歩いていきます。

太陽光パネルが乗った建物を右手にしなから、道に沿って歩いてください。

空き地を左に見ながら、コーナーを左に曲がります。

電柱が変な位置に立っているので、気をつけて下さい。

一歩歩いていてでっばっていて。わりと（建物脇から）50cmくらい出ているので。障害物。

道をずっとまっすぐいってもらって、つきあたりの角を右に曲がります。右手にかわいい白いおうちがあります。

— かわいい。建築家がつくるような家だし、ヴォリューム感が普通の家と違う。モダンな。

（左手のコンクリートよりこちらを挙げた理由を尋ねる）

右に曲がってください、といったので、意識が右に行くのではないかと。

曲がるころの突き当りにある、住宅に、目印として、ステンドグラスが二枚ついていると思います。 —

曲がるポイントとなる特徴を挙げた方がいいと思った。

まっすぐ行ってもらって、左手に集合住宅があるので、その角を左に曲がってください。

左に曲がる曲がり角を通りすぎて、次に見える右手に曲がる角を右に曲がります。

今の角を曲がって、白い真新しい住宅がみえたら、その道であっていると思います。

（松を挙げなかった理由を尋ねる）

ルート説明の際には使わない。曲がったりするところでも十分。向こうが見えないとかだということかも。

つきあたりのさっき見えた戸建住宅を左に曲がってしばらく行くと、お墓が左手に見えると思うので、お

墓に沿って、坂を下ります。

ルートがわかっていると、目印として意識する場所が違って来る気がする。

漠然と歩いていると、目立つなと思う場所はいっぱいあるけど。ルート説明では、角とかつきあたりとかよく見る。

## 2ルート1回目

- ・赤い鳥居のある神社 — 赤がきれい。
  - ・木が生えているクリーニング 屋
- 一中にある赤いランプと、うっそうとしている木が目立っている。住宅地でお店はあまりない。
- ・右手に幼稚園
- 木が生えているので、一見わかりづらいけど。看板出ているし。敷地が取り方が大きいので、わかる。
- ・ヘーベルハウスの工事中の戸建住宅 — 足場が組んであって、幕をかぶっているの、目立つ。暫定的ですよね。

いわゆる住宅地で特徴つけるのはむずかしい。

- ・車三台のうち2台ベンツ — リッチ感。
- ・黄色いおうち — ギリシャ風のモチーフを使っておしゃれ。色とデザイン。
- ・左手にオレンジっぽい住宅、左手にラベンダー色の住宅。 — 色。片方でも目立つかも。
- ・正面に背の高い木 — 道の延長線上に立っていて、しかも大きい。

広いから雰囲気はちがう。

- ・きのご型の木 — ずっとときの子でいてくれるなら役立つかな。
- ・左右に、駐車場 — 明らかに建物が建っているべきところが空いているから。ヴォリューム感的に。
- ・パークヴィレッジ阿佐ヶ谷 — デザイン。青い色。門は説明に使う。ヴォリューム大きい。

## 2ルート2回目

左手に赤い鳥居のある小さな神社があります。

そこを左に見ながら、まっすぐ進んでいきます。

しばらく行くと、左手にクリーニング屋さんがあるかと思います。

右の方には、幼稚園が見えるので、そこをそのまままっすぐ進んでください。

右にヘーベルハウスの工事中の建物があって、それを過ぎて、すぐの右に曲がる角で、右に曲がってください。

左手にすごいおおきなガレージがあるかと思います。

—背が低くて横に長いので。ガレージがこんなに長いそんなにない。

(1回目挙げてなかった理由)

曲がる角の近くにあったので、見ようとしたかも。

右に曲がってまっすぐ行くと、正面に大きな木が見えると思います。それを見ながら、まっすぐ進んでください。

道沿いの右手にラベンダー色の住宅が見えると思いますが、それを右手にみつつ、次の角を左に曲がりま

す。

(オレンジの住宅を挙げなかった理由を尋ねる)

ラベンダー色の住宅の方が特徴的だったので、そちらだけ挙げた。

(ギリシャ風の家を挙げなかった理由を尋ねる)

奥まっけていて見えづらかった。

曲がってしばらく進んでもらうと、大きなきのこの形をした木が見えると思うので、それを右手に見ながら、引きつづき歩いてください。

しばらく進んでもらうと、左手にも右手にも駐車場がある場所があると思うので、それを通り過ぎて道なりに進んでください。

阿佐ヶ谷ビレッジ、あまり使えないと思った。高さが一緒だからかも。

情報を省こうとしちゃう傾向がある。

### 3ルート1回目

- ・道の中心に木が続いている —こういう道ってあまりないなあ。対道の比較だけど。
  - ・柵、止まれのイルカとライオン。 — アスファルトのグレーの色に対してちがう色が入ってきたから。
  - ・ワニ、柵。 —遠くからみるとペイントあまり見えないので、柵の方が目印になるかなと。
  - ・フェンス(トタン) —ブロックできている塀が普通だけど、フェンスの塀がずらーっとなっている
- ので他と違う。薄ぺっらい。朽ちているかんじ。
- ・コスモハイムの看板 —文字情報だと見る。進行方向に正面に向いている。
  - ・開けた駐車場だらけ
  - ・赤いフェンス
  - ・地面につくり。赤い、遊歩道が横に入っている。 —色。
  - ・赤い屋根のおうち —行きとまりにあるから。立地がいいから。敢えて挙げるなら。位置がいいだけで。

(目印があまり3ルートでない理由)



最初の道が特徴的過ぎて、目印を見つけようとするのが難しかった。

### 3ルート2回目

道の中心に木が均等に立ち並んでいるちょっと細い道を、歩いてきます。

道なりに沿ってしばらく進んでいくと、柵が4つ見えてくると思うのですが、それを通過して進みます。

柵の根元にライオンとかイルカのペイントがあれば、その道で正しいと思います。

しばらく行くと、同じような柵がでてくると思うので、通過します。

しばらく進むと、真中にあった木が右側に、フェンスの方に寄っている感じになりますが、その道で正しいので、まっすぐ行きます。

一歩き方が変わったから。

またしばらく行くと、ちょっと開けたところに来て、また柵のある角を左に曲がります。

一駐車場より開けた感じ。

右手に赤いフェンスがあるのがわかるかと思います。

左に曲がります。

一個十字路を通り過ぎて、二個目の十字路が見えるかと思いますが、道が赤くなっていて、横に遊歩道が広がっているような道の十字路になっています。

それをまっすぐ通過してください。

その道をまっすぐ進んでもらうと、行き止まりのところに、赤い屋根の白いおうちが見えると思うので、そこまで進んで行ってください。途中いくつか曲がり角があるかと思いますが、まっすぐ進んでください。

### 4ルート1回目

・左手に一階部分が黄色くなっているおうち。一 大きい。色。

・向かいにある白いおうち 一すごく白い。色。

・集合住宅 一手前に駐車場で、奥に集合住宅の建物がある感じが、道がわっと開けているので、目立つと思います。オープンスペースがあったから。集住のつくりとかは関係ないかな。

・大きな松の木 一位置と大きさ。

・公園 一赤い柵の色。

・7人の小人 一小さいから目立たないかと思ったが、目にとまった。

・うす緑の住宅 一 色。こちら辺で目立つ。

・木がいっぱい生えているおうち 一木が目立つ。暗くなったし。

・RCでサッシがオレンジの建物 一グレーとオレンジの色の違いが出ている。開口が多くて、サッシが無駄に入っている。

・空き地 一空間が空いているので。

・教会の十字架

・タイムズの看板 一すごい黄色。

・自動販売機が三台 一3台あるから、ヴォリューム的にもあるし。

- ・ 青いフェンス 一色。
- ・ 白いベンチ ー ベンチが人に向けて出ていることがあまりないかな。すごい。
- ・ 緑の多い背の高い壁 ー スケールが全体的に大きい。

#### 4ルート2回目

1階のところ黄色い大きな住宅を左手に見ながら、道を進んでいきます。

右手にちょっと開けたところに駐車場があって、正面に松の木が見える。T字路を左に曲がります。

左に曲がってもらって正面に赤い柵がある公園が見えると思いますが、それをみつつ右に道なりに進んでください。クランクしてますが、道なりに進んでもらいます。

奥の道を右に曲がってください。

左のおうちに、7人の小人がいますが、まあ、見えるかな。

曲がってもらって、薄い緑の建物が左手に見えると思いますが、その住宅を見ながら、左に曲がってください。曲がってもらってしばらく行くと、木が生えているちょっと古いおうちがあるのですが、それを通り過ぎて、T字路で右に曲がってください。

まっすぐ見る方向に、オレンジの柵がついているコンクリートの大きな建物があると思います。それをそこまではないで左に曲がってください。

進んでもらって右手に空き地があるかと思いますが、過ぎてもらって、正面にピンクの建物で十字架がある教会があるかと思うんですけども、それを右手にみつつ、そのまま道なりに通り過ぎて下さい。

しばらく進んで行ってもらうと、タイムズの駐車場の黄色い看板が見えてくるかと思いますが。タイムズの駐車場が面している左に曲がるT字路を、左に曲がってください。

自動販売機が3台あるかとおもいますが、それに背を向けて進んで下さい。

曲がったところに、青い色のフェンスがと思いますが、それに沿って進んでください。

しばらく進むと、左に、白いベンチがありますが、座りつつ、休みつつ行ってください。

右手に背の高い木が立ち並んでいる住宅があると思います。

覚えていると目が行きがち。

4ルートは、グニャグニャ曲がったからか、細かく目についた。

3ルートは道自体に特徴あるので、あまり。

1・2ルートは、見慣れている、家の近くと似ている。

## No.17

### 1ルート1回目

- ・ノウラさんのおうち — デザイナーズ建築のようなコンクリートの変わったデザイン。周辺の家とデザインが変わっていた。
- ・お庭が広い家で草がたくさん — 他の家より草が生えているから。
- ・高円寺アパート — 一戸建てが多い中、アパート。
- ・立派な松の木 — 大きく目立っていた。
- ・ベランダ — 変わったデザイン。外に飛び出ている。木の枠のデザインと色。
- ・お墓で長い塀が続いている。 — 住宅街に中にお墓。

### 1ルート2回目

右手にデザイナーズ住宅のコンクリート打ちっばなしの家があります。  
それを右に見ながら進みます。  
まっすぐ進んでいると、左手に安全第一の黄色い柵が囲ってあります。—黄色い色。  
突き当りを左に曲がります。  
道なりに右へ曲がります。  
角で高円寺アパートが見え始めます。そこの角を左に曲がって、高円寺アパートを右に見ながら進みます。  
もうすぐ行くと、角があるので、そこを右に曲がります。  
そのあとまっすぐ行きます。  
そのまままっすぐ行くと、右手に大きな松の木の生えた家があるので、その道をまっすぐ行きます。  
(緑色のテラスを挙げない理由)  
目についたが、まっすぐ行くので、必要ないと思った。  
突き当りを左に曲がります。  
左手にベージュの塀があっってお墓が見え始めます。そこをまっすぐ行きます。

### 2ルート1回目

- ・クリーニング屋さん — シャツが並んでいた。住宅街の一つだけあったから。
- ・右手に阿佐ヶ谷幼稚園 — 広い、遊具がある。場所の単語としてわかりやすい。家ばかりで、幼稚園。
- ・左手にガレージ — 10個くらい並んでいた。横に長く、道なりに続いているから。
- ・左手に黄土色の大きな一軒家 — 色、ベタ塗りで変わっている。
- ・水色の家 — 太陽の塔の置物、色。
- ・パークヴィレッジ阿佐ヶ谷 — 色とデザインが変わっている。— 軒家でなく大きなアパート。

### 2ルート2回目

左手に小さなクリーニング屋さんがあります。外見はレンガ造りです。

右手に、阿佐ヶ谷幼稚園があり、そのまままっすぐ行きます。

左手に大きいガレージがいくつも並んでいて、そこにある角を右に曲がります。

まっすぐ行くと、左手に黄土色の一軒家があります。

角を左に曲がります。

水色の一軒家が右手に見えてきます。

そのまままっすぐ進みます。

右手にアパート、パークヴィレッジ阿佐ヶ谷です。

特徴的なのは、デザインと広い大きいアパート。

### 3ルート1回目

- ・道の真ん中に木
- ・右手に、変わった壁 — 他と違い塀ではなく、鉄でできている。空間を占める割合が多いから。
- ・右手に、ローヤル第三駐車場 — 今まで家が続いていたので、広く開けていた。
- ・左右に広がっている道 — 道路の床が違うのと、ずっと遠くまで続いているところ。丸いポールがある。
- ・左手にシダが壁に這っている家 — 今までの家にあまりなかった。

### 3ルート2回目

道の真ん中に木が続いている道をまっすぐ行きます。

まっすぐ行くと、右手にスチールの壁、塀があります。

左手に駐車場が見えたら、その角を左に曲がって、右に駐車場を見る形で、まっすぐ進みます。

左右に少し変わったレンガで造られた道が伸びていますが、そこを曲がらず、まっすぐ行きます。

左手に壁や家にシダが這っている家がありますが、そのまままっすぐ行きます。

3ルートは、デザインが凝った家やアパートもなく、駐車場が目についたくらいです。

### 4ルート1回目

- ・右手に白い家 — 大きな家。色。ガラスが大きく出ている。
- ・左手に黄色い家 — 大きな家。色。二階の形。
- ・目の前に赤いポール、奥に公園 — 家ばかりで広く広がっているところ。
- ・右手に細長い家 — 他の家に比べて横幅が、細長い。
- ・ライムグリーンのおうち、赤いレンガのおうち。一色
- ・右手に、シダが這った家 — シダが這っているから。窓が開かないのではないか。
- ・右手に空き地、今は駐車場 — 家が密集していたので。

- ・抹茶色のアパート 一色。
- ・色合いがかわいいおうち 一お庭がきれい。他の家に比べて色合いがきれい。屋根の色、壁の色。

#### 4ルート2回目

右手に、白いガラス張りが目立つ、デザインが変わった家と、左手に黄色い壁が目立つ家があります。その道をまっすぐ進みます。

突き当りを左に曲がると、赤いポールがあって、その奥が公園となっています。

その道をまっすぐ進みます。

公園についたら道なりに沿って曲がって、目の前に横幅のせまい家が見えます。

そこも道なりに左に曲がります。

一つめの角を右に曲がると、左手に、ライムグリーンの変わった家が見えます。その奥には茶色のレンガの家が見えます。

ライムグリーンの角を右に曲がって、そのアパートを右に見ながら、まっすぐ行きます。

突き当りを右に曲がると、草が生い茂った家が右に見えます。

ドアが開かないくらい草が生えています。

その家を右に見ながら、角を左に曲がります。

まっすぐ歩いていると、空き地があって車が何台か停まっています。

右手に抹茶色のアパートがあります。

すると、左手に屋根の色と、壁の色がかわいらしい一戸建てがあって、お庭も整備されていてきれいな家があります。そのまままっすぐ進みます。

(感想を聞く)

1・2ルート目、特に、1ルート目は見えてない部分が多かった。

家であれば、色とデザインと一番目につく。家が続いていて駐車場、家が続いていてお墓、などが気になる。

## No.18

### 1ルート1回目

- ・柑橘類の木 — 今までの道にはなかったから
- ・「緊急 ひったくり多発」の看板

ゴミが出してあるのが目につくが、ゴミは動いてしまうから目印として役に立たなそう。

- ・高円寺アパート — 大きい。一軒家が多い中でアパート。
- ・シュロの木 — 木の種類が珍しい。

目線より上にあるものの方が、目印として役に立ちそうだと思った。

### 1ルート2回目

十字路を赤い消火器を左手にみて、まっすぐ行きます。

黄色い柑橘類がなっている木がつきあたりにありました。

つきあたりを左にいきます。

青い屋根の道を、道なりにそのまままっすぐです。 — 普段目印としては使わないのではないか。

でっかい高円寺アパートを左に行きます。

ゴミの回収所も右に行きます。 — 青いネットが目につく。

突き当たりを左に進みます。

一時停止の標識がゴールです。 — 止まれの標識がゴールっぽいから。

高い、色と、常にあるかどうか、で目印として判断していると思った。

### 2ルート1回目

- ・杉の木
- ・茶色い粘土みたいな壁の家 — 色と質感。
- ・オレンジ色の家 — 色。
- ・青い家（パークヴィレッジ阿佐ヶ谷） — あまりない色。
- ・木が乱立 — 木が高い。いろいろな木が密集して生えていること。

さっきより道が開けている。木が多い。

### 2ルート2回目

木が乱立しているところを左手に見ながらまっすぐ進みます。

左手に、木が店の入口までかぶっているところ、クリーニング屋があります。

一つたが巻いているのが目立っている。

右手に阿佐ヶ谷幼稚園があります。その道をまっすぐ進みます。

右手に木が乱立しているところがあります。

十字路をまたまっすぐで、T字路を右に曲がります。右に消火器があるのが目立っているかと思います。

—赤い。建物だとわかりづらいかと。右折するので、右をみているかなと思った。

通学路の標識がずっとあるのが目立っています。

十字路を左に進みます。

オレンジ色の家が目立っています。

ブルーの建物が2個あるのが目立っています。

木が乱立しているのが目につきます。

### 3ルート 1回目

- ・金太郎の遊歩道と書かれた看板 —あまり見たことがないから。
  - ・道の真ん中に木 — 見たことがない。
  - ・止まれのイルカ — ライオンは金太郎に負けている。青。
  - ・ワニ — さっきはライオン・ライオンで、イルカ・ワニなところが統一性ない。
  - ・ライオンが立っている
  - ・アパートが何棟か —今までの道にはなかったから。
  - ・ワニ
  - ・金太郎の標識 —日常あまりみない。
  - ・右（左）折車通行困難
  - ・十字路で遊歩道 —遊歩道を横断することがあまりないから
  - ・ゴミの収集のカゴ —緑。何か気になった。
  - ・一時停止の標識
- 今まで通ってきた中でなかったから。マンションだとイメージしづらいが、共通認識にあるから。

今まで（1・2ルート）と違うような気がした。遊歩道が特徴的で、目立つものが多かった。

### 3ルート 2回目

金太郎の標識のある遊歩道をまっすぐ進みます。

前には、真中に木がいくつか立っていて、最初の木にはイスがおいてあります。

十字路になっているところをまっすぐ進みます。

（イルカなどを挙げなかった理由）

遊歩道といえば、わかると思った。

T字路が二つづつあるところ、十字路っぽくなっているところをまたまっすぐ進みます。

次はライオンの遊歩道に入りました。

コスモハイムと書いてあるアパートが3つ並んでいるところを、左手にみてまっすぐ進みます。

また、十字路があって遊歩道があります。ここを左に進みます。

左折車通行困難がある道です。

十字路があって、遊歩道になっているところをまっすぐ進みます。

一時停止の標識が目について、ここがゴールです。

#### 4ルート1回目

- ・一階が黄色い家 一丸いポールが立っているのも珍しい。
- ・マツ ー 道の進む真中にある。
- ・ネットが張った公園 ー 住宅街の中で、公園。ワニ。
- ・木が生えている家 ー 家から道に出ている。
- ・ミラー2つ ー 2つあったから。
- ・駐車場 ー タイムズの黄色い看板
- ・自販機

4ルート目印になりそうなのが多かった。

道がくねくねしていたから、目印探るのが、注意深くなった。

普段は大きい建物が目印になっている。

#### 4ルート2回目

黄色い建物を左手に見ながらまっすぐ進みます。

正面に松の木があるT字路を左に進みます。

公園を前に右に進みます。道なりにまっすぐです。

T字路のところを右に進みます。

T字路を左に曲がって、緑の建物を右手に見ながら、まっすぐ進みます。

左にいっぱい木があるところを進んで、二つミラーがあるT字路を右に進みます。

最初の曲がり角を左に曲がります。

黄色い看板の駐車場を右に見ながら、T字路を左に進みます。

その道の突き当りでゴールです。

道案内の時は、ふつう標識は使わないが、使いやすいと思った。

1、2ルートは住宅街を歩いた。4は難しかった。



## No.19

### 1ルート1回目

- ・みかんの木 ー高い。落ちてしまうので、考えた。
- ・高円寺アパート ー大きい建物
- ・線路 ー電車が動くものであった。
- ・カーサビアンカ ー文字が大きかった。
- ・坂 ー平坦な道だったため

### 1ルート2回目

道をまっすぐ進みます。

つきあたりを左に曲がります。

つきあたりには小池さん家があります。 ーちょうど目の高さだった。

先ほどの道をまっすぐ行って、つきあたりを右に曲がります。

ここは右にしか曲がれません。

一つめの曲がり角を左に曲がります。

曲がると、右手に高円寺アパートという団地のようなのが見えます。

先ほどの高円寺アパートを通り過ぎて、ひとつめの曲がり角を右に曲がります。

(線路を挙げなかった理由)

曲がり角からとおいので、わからなくなると思った。

つきあたりを左に曲がります。ここからちょっと下り坂になります。

### 2ルート1回目

- ・お地藏さま
- ・幼稚園 ー周りに比べて空き地になっていた。
- ・工事中 ーいつまであるかわからないけど。周りに工事しているところがなかったため。
- ・赤い屋根、雨よけがあるおうち ー色。分厚い。
- ・うっそうと木のたくさん生えたおうち
- ・キノコみたいなはっぱが刈り込まれていた。
- ・塀と植え込み ー植物が他と違って西洋風。
- ・竹 ーこの辺で珍しい。

## 2ルート2回目

左手に、神社と鳥居を見ながらまっすぐ進みます。

左に道なりに進みます。右手には幼稚園があります。

一つ目の十字路をスルーして、右手に工事現場を見ながら、そのままさらに進みます。

工事しているお宅を過ぎて、ひとつめの曲がり角で右に曲がります。

そのまままっすぐ道なりに進みます。

まっすぐ来て、十字路にぶつかったら、左に曲がります。

そのまままっすぐ道なりに進みます。

左手に竹の生えたおうちがあったらゴールです。

## 3ルート1回目

- ・金太郎の遊歩道の看板 一色。
- ・真中に等間隔に木 一あまりない。
- ・金太郎の遊歩道の看板
- ・ライオンが地面に描かれている 一色が黄色と緑。
- ・2本だけはじっこによっている木
- ・赤い壁 一色。広範囲にわたる。
- ・地面にパンダ 一色。
- ・遊歩道がある 一地面がレンガでまわりと違った。

普段、道案内をするときは、目印よりも、いくつめの曲がり角というようなことを手がかりします。

## 3ルート2回目

金太郎の看板の遊歩道を入れてまっすぐ進みます。

十字路をはさんで、次の遊歩道に渡ります。

地面にライオンとイルカの絵がかいてありました。

次の十字路も渡りきって、次の遊歩道に進みます。

パンダの手前で遊歩道が途切れたら、左に曲がります。

ひたすらまっすぐ進みます。

途中で同じく遊歩道がありますが、それも気にせず進みます。

途中で小さい十字路がいくつかありますが、全て曲がらずそのまま進みます。

つきあたりまできたら道なりに左に曲がります。

#### 4ルート1回目

- ・壁の黄色いおうち ー大きい
- ・公園 ー今まで住宅ばかりであったため
- ・モスグリーンの家 ー周りがモノクロ、レンガ色が多い中で、パステルカラー
- ・つたが絡まったおうち
- ・空き地 ーまわりに比べて開けているので。空き地か駐車場かあいまいなので、迷う。
- ・駐車場の黄色い看板 ー位置が高い。
- ・おしゃれなお宅 ーちょっと洋風テイストが入っている。壁がレンガ。
- ・植木 ー背が高い

3ルート目は印象が違う。

#### 4ルート2回目

道の進んですぐ左手に壁の黄色い家があります。

そのまま道なりに進みます。

黄色い建物の向かいに、真白の建物がありました。 ー色。

つきあたりを左に曲がります。

すぐまた突き当るので、そこを右に曲がります。

突き当りには公園があります。

さらに進むとまたすぐつきあたり、道なりに左に曲がります。

突き当りの手前を右に曲がります。

一つめの曲がり角を左に曲がります。角には壁が薄緑色の建物があります。

つきあたりをまた右に曲がります。

そのまま細い道をまっすぐ行きます。

道なりにまっすぐ来て、右手に駐車場が見えるので、黄色い看板の駐車場の手前で左に曲がります。

まっすぐつきあたりまで進みます。

1回目より2回目の方が、無駄なもの、自分の興味を排除してどれが目立つかを考えていた。

3ルートがいろんなものが目についた。2. 4が説明しやすい。

## No.20

### 1ルート1回目

- ・みかんの木 —この辺にあまりなかった。
- ・緊急ひったくり多発 —この近辺に見当たらなかった。
- ・福島県高円寺職員住宅 —名称があると、ひとつのものに特定できると思った。
- ・マツの木 —ここら辺に松がなかった。高さ。
- ・高円寺アパート前の野菜園 —アパートだと大きいので、角を特定しづらいかと。
- ・マツの木と赤い家 —松の木あまりない。さっきもあったので、セットにした。
- ・玄関が高い家 —今まで歩いてきた中でなかった。洋風。
- ・赤いレンガと白っぽい石でつくられた家 — 十字路で目印になるものを探した。
- ・墓地。—今まで歩いて見かけなかった。

### 1ルート2回目

まっすぐ来てオレンジ、みかんのある木のある突き当りを、左側に曲がってください。

新築の家が三軒並んでいるところ。 —白みがかっている。新築三軒。新築なので、時間が立ったら使えない。

そのまままっすぐ行って福島県高円寺職員住宅を越えると、行き止まりみたいなのところがあるので、そこを右に進んでください。

高円寺アパートの野菜園がある角を左に曲がります。

アパートを超えた最初のT字路を右に曲がってください。

真っ正面に白と茶色のレンガの家が見えてくるので、そのつきあたりを左に曲がってください。

道がまっすぐなので、つきあたりってことをいえば、家と松を抜いてもわかるかなと思ったので、省きました。

左曲がってまっすぐ行くと、左側に墓地が見えてくるので、その墓地を超えたT字路が目的地です。

### 2ルート1回目

- ・赤い鳥居のある小さな神社 —周りにあまりない
- ・赤い頭巾をかぶったお地蔵さん —あまり見当たらない。
- ・幼稚園 —住宅街では珍しい。子供の声。
- ・車庫って書いてあるシャッター —理由はこの住宅街でも経験上でも見たことない。シャッターが開いていたらわからないなあ、とためらった。
- ・9個連なった車庫 —このあたりではみかけないかな。
- ・シティハイムあきよし —カンバンが目につく位置にある。

- ・CUBE HMってゆう建物 —コンクリート造りがあまり見かけなかった。カンバンが目につきやすい。
- ・紫色した家 —色が珍しい。
- ・茶色のペンキをべったり塗った建物 —べったり塗っている感。古い。
- ・水色の家 —珍しい。
- ・パークヴィレッジ阿佐ヶ谷の門 —名前がついている。
- ・竹がたくさんある家 —今まで歩いてきた中で、みたことない。竹の節。

## 2ルート2回目

赤い鳥居のある神社を左手にして直進してください。  
シャッターのある車庫が9つ連なっている向かいのT字路を右折して下さい。  
右折したら、おおきなけやきの木が一本見えます。  
ピンク色の壁をした家が建っている十字路を左に曲がってください。  
左手にたくさん竹の木の生えている家があるのですが、そこがゴールです。

情報が多いとわかりにくいと思ったので、省きました。

## 3ルート1回目

- ・遊歩道と書いてある金太郎の看板 —絵。
  - ・道路の中央に木が並んだ遊歩道 —この境界で珍しい。
  - ・一番手前の木にイスが二個 —木の前にはないかと思った。
- 特徴的な道を歩いていると、あまり周りに目がいかない。
- ・クリーム色の建物、窓から緑の人形 —色。
  - ・道路にワニの絵 —今まで見たことない。
  - ・赤い塀 —景観に赤が溶け込んでない。
  - ・地面に描いてあるパンダの絵
  - ・阪神甲子園球場の外壁についているやつがついている家 —巻きついている家がないので。
  - ・U字の支柱 —色。
  - ・ミラーの支柱の水色 —色。

## 3ルート2回目

歩道の真中に木が何本か並んでいる道を直進します。  
そのまままっすぐ行くと、下に止まれって書いてあるイルカの絵が描いてあるので、そのまままっすぐ行きます。—絵が描いてあるのが珍しい。  
地図が地面に埋め込まれているもの。—珍しい。  
そうすると、地面にワニが見えるかと思うのですが、そこをまだまっすぐ行ってください。  
—その前にイルカがいると言ったので。  
右手に赤い壁の見える十字路に立つと、正面の地面にパンダの絵が描いてあると思うので、その十字路

を左に曲がって下さい。

まっすぐ来ると、道が左の方に曲がっていると思うので、そのまま左に曲がってください。

#### 4ルート1回目

- ・一階が黄色くて二階がアルミ、形が変わっている。一形。色。
- ・高い一本松のある家 一突き当りのところにある。
- ・杉並区阿佐ヶ谷西公園 一公園がこの辺にそんなに多くない。
- ・家の壁に貼ってある黄色い枠組みに斜線が入っているもの。一自分でつくってあるので、唯一無二のもの。
- ・杉並区保護樹林 一大きい。木の名称ついている。
- ・みどりと木目調合わさっている家 一変な色と思った。
- ・原付につるが巻きついている 一しばらくのっっていないと思った。
- ・コンクリートの二階建の建物に窓ブチとかがオレンジ色の建物 一色。
- ・家の扉までに敷いてあるゴザ 一この辺ではあまりない
- ・一階が一段低くなっている建物（教会）一地面に対してくぼんでいる。
- ・タイムズの駐車場 一パーキングがこの辺になかった。
- ・タヌキの置物の家 一タヌキがこっち向いているので、見つけやすい。置いてあるのが珍しい。
- ・赤いVOLVOのある家 一赤いVOLVO珍しい。好き。
- ・三階建の茶色い家で、窓が緑色に飾られている家 一色づかい。

#### 4ルート2回目

左手に1階が黄色くて、二階がちょっとアルミで作られている家を、左手にみてまっすぐ進みます。

そのまま歩いていくと、一本松が正面に見えてきて、そのT字路を左に曲がります。

左に曲がると、正面に、公園が見えるとおもんですけど、それを道なりに右に曲がります。

10mくらい歩いてすぐ左に曲がってください。

小人がインターホンの上に置いてある家。一この辺ではみかけない。

左手の家に、壁に黄色い枠に斜線が引いてある家があるんですけど、そのT字路を右に曲がってください。

そうすると、みどりのアパートが見えてくると思うので、その角を左に曲がってください。

つきあたりのT字路を左に曲がってください。

曲がってまっすぐ行って、最初のT字路を左に曲がってください。

右手にタイムズがみえてくるので、自販機があるので、自販機の目の前のT字路を左に曲がってください。

一奥のT字路と間違えないように、手前の自販機を使った。

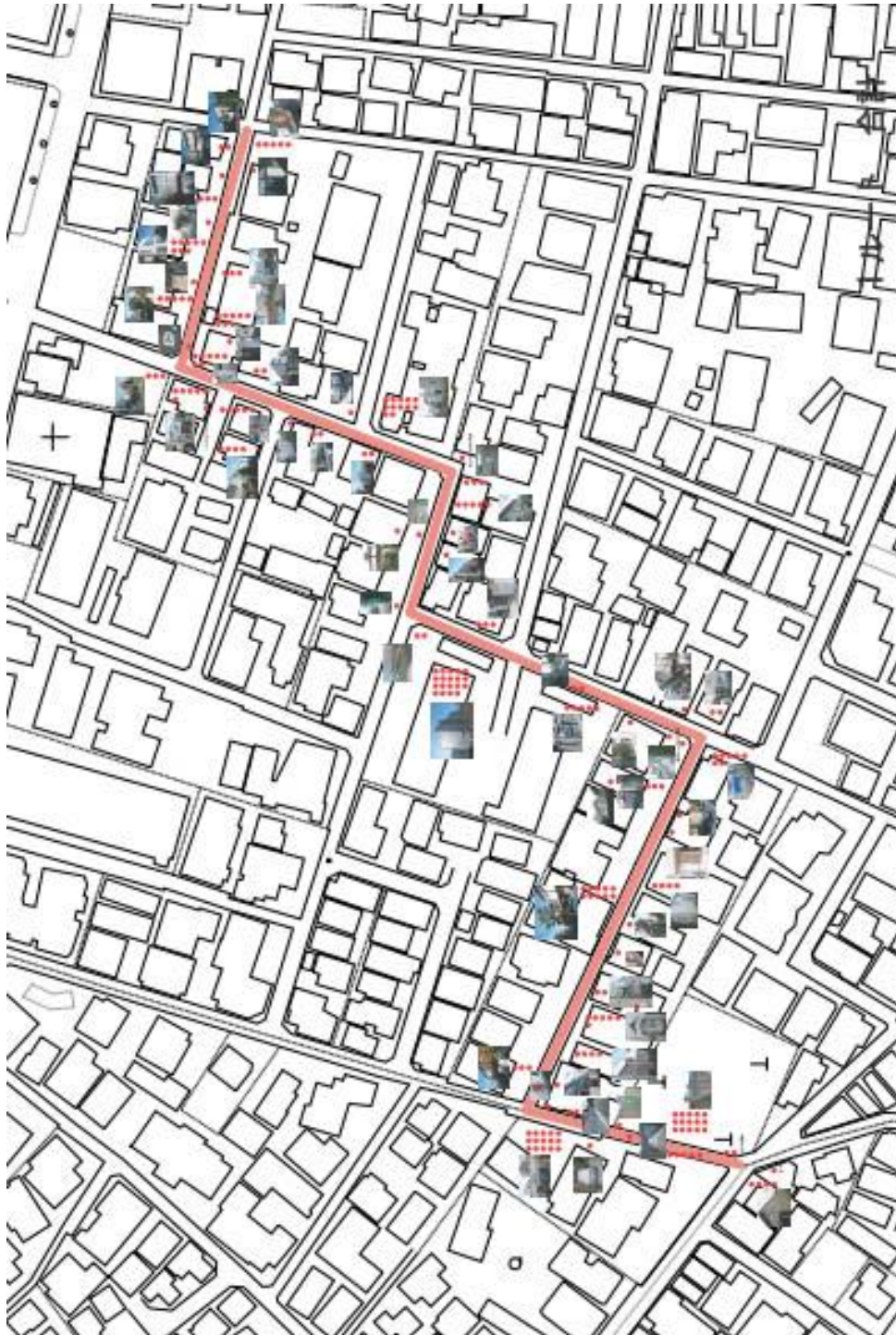
ルート上に始めて出てきたものだと、説明に使うが、二回みると、あまり使いたくない。

## 付録B - 2 : 地図上にプロットしたランドマーク

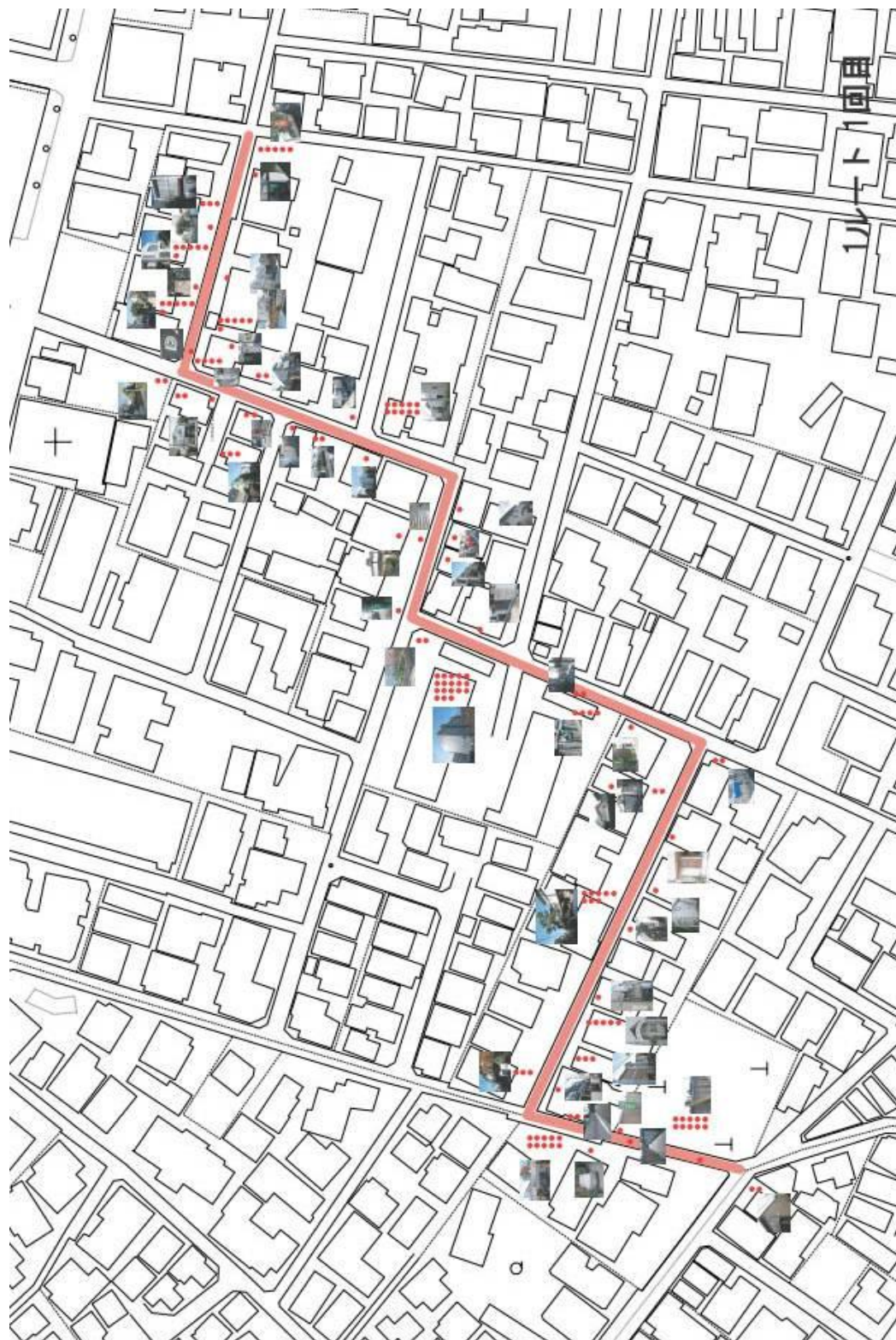
### 写真と目印頻度

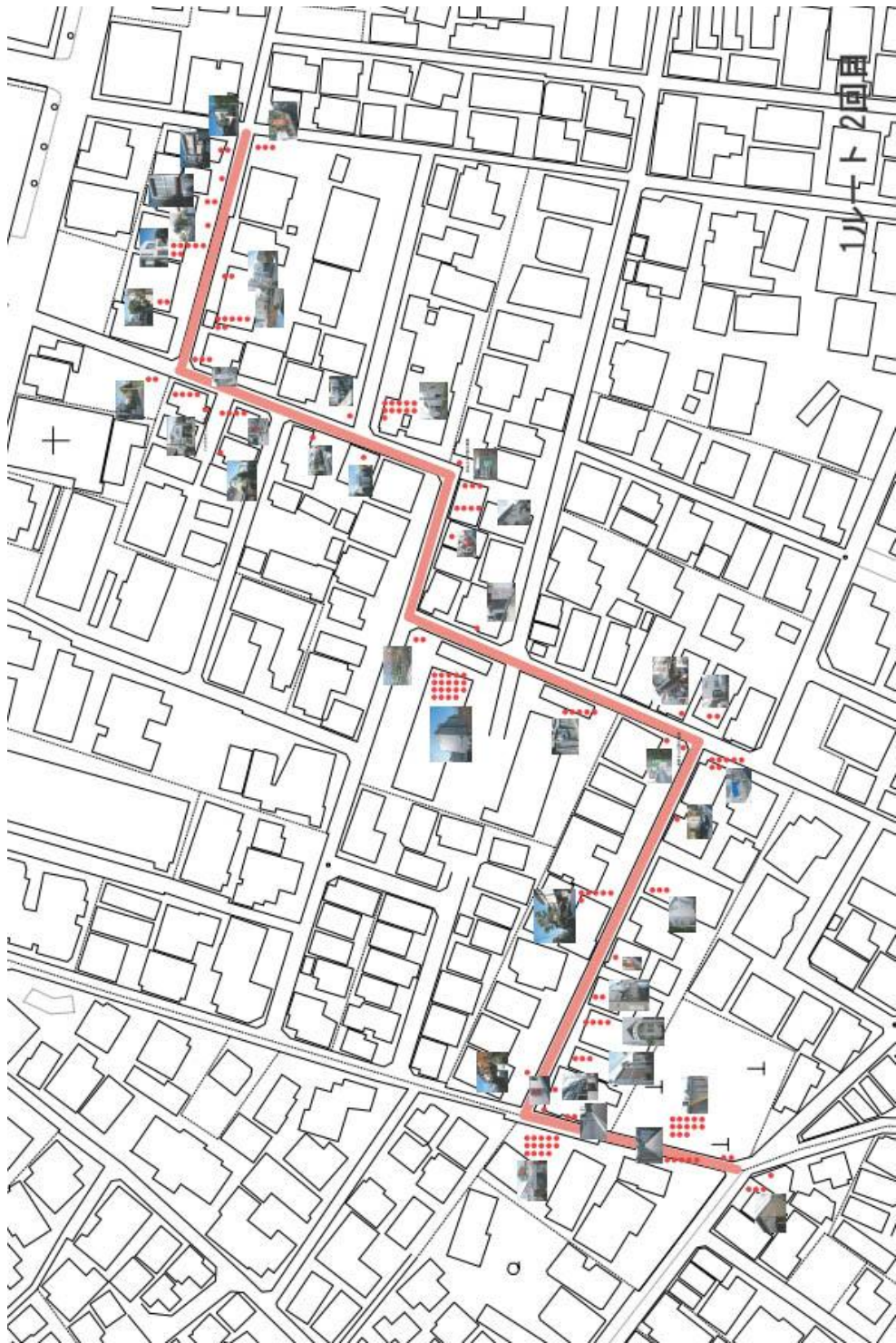
#### 目次

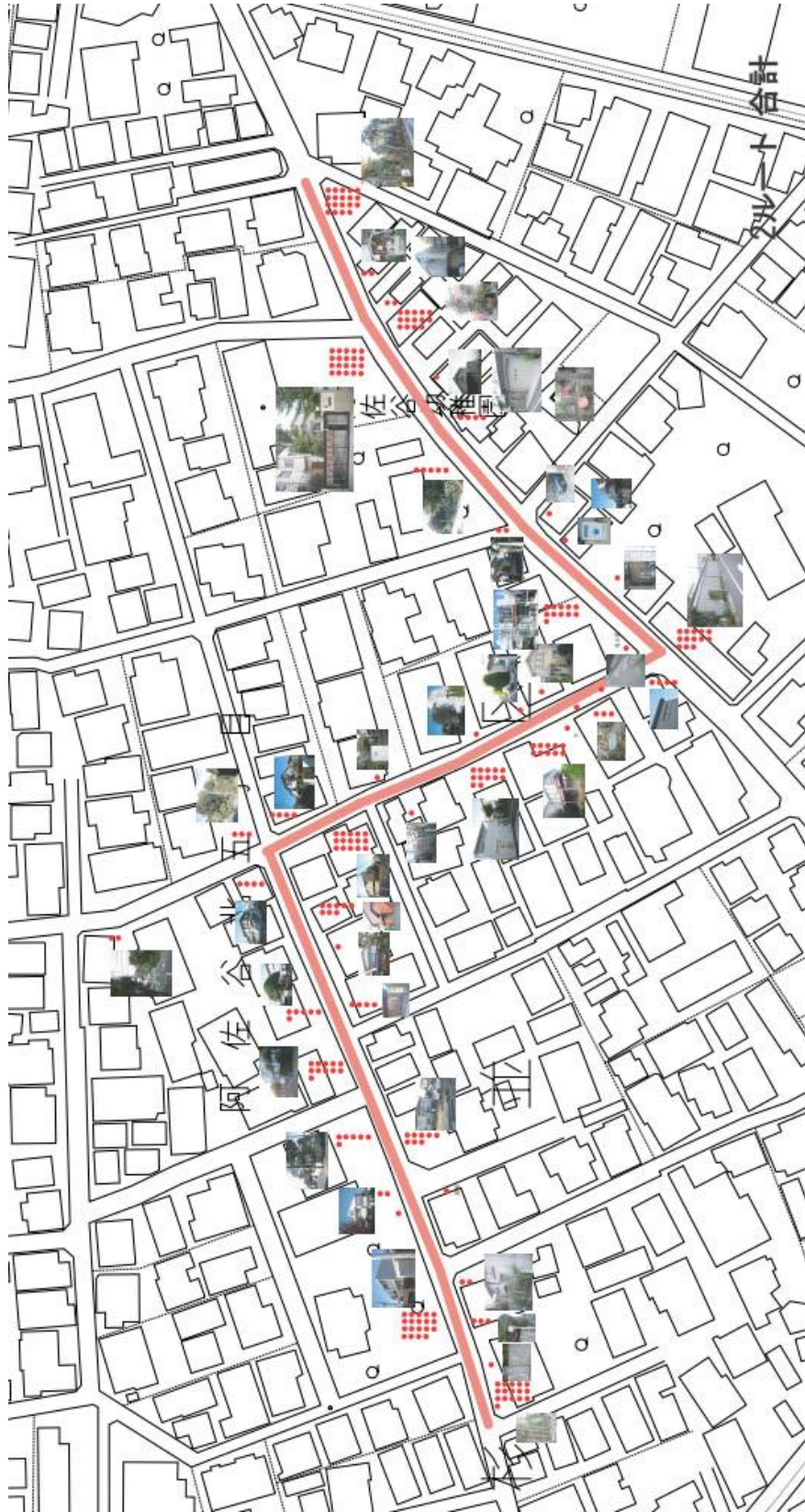
ルート1	被験者が挙げた回数	合計	・・・	195
ルート1	被験者が挙げた回数	1度目	・・・	196
ルート1	被験者が挙げた回数	2度目	・・・	197
ルート2	被験者が挙げた回数	合計	・・・	198
ルート2	被験者が挙げた回数	1度目	・・・	199
ルート2	被験者が挙げた回数	2度目	・・・	200
ルート3	被験者が挙げた回数	合計	・・・	201
ルート3	被験者が挙げた回数	1度目	・・・	202
ルート3	被験者が挙げた回数	2度目	・・・	203
ルート4	被験者が挙げた回数	合計	・・・	204
ルート4	被験者が挙げた回数	1度目	・・・	205
ルート4	被験者が挙げた回数	2度目	・・・	206

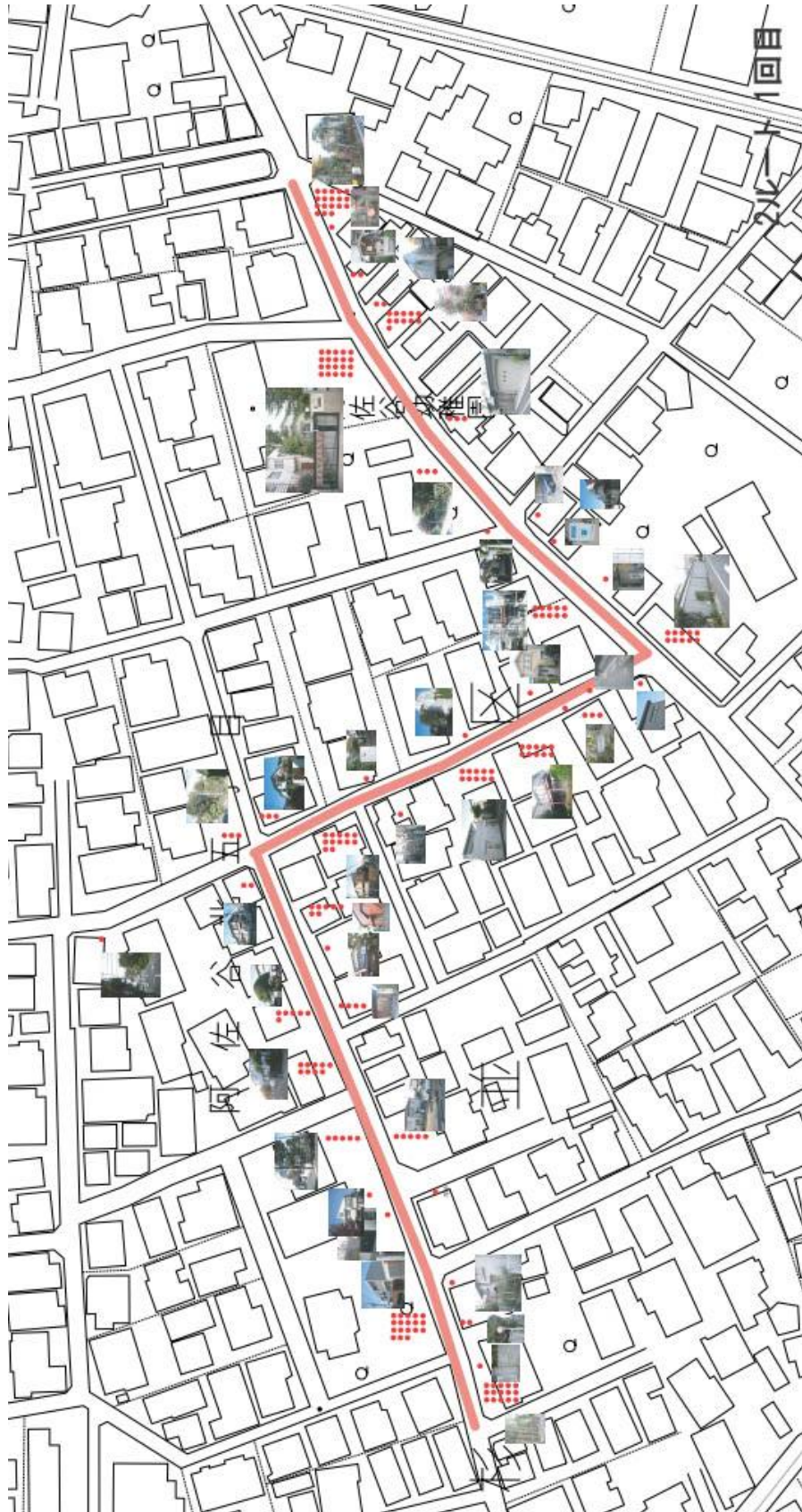


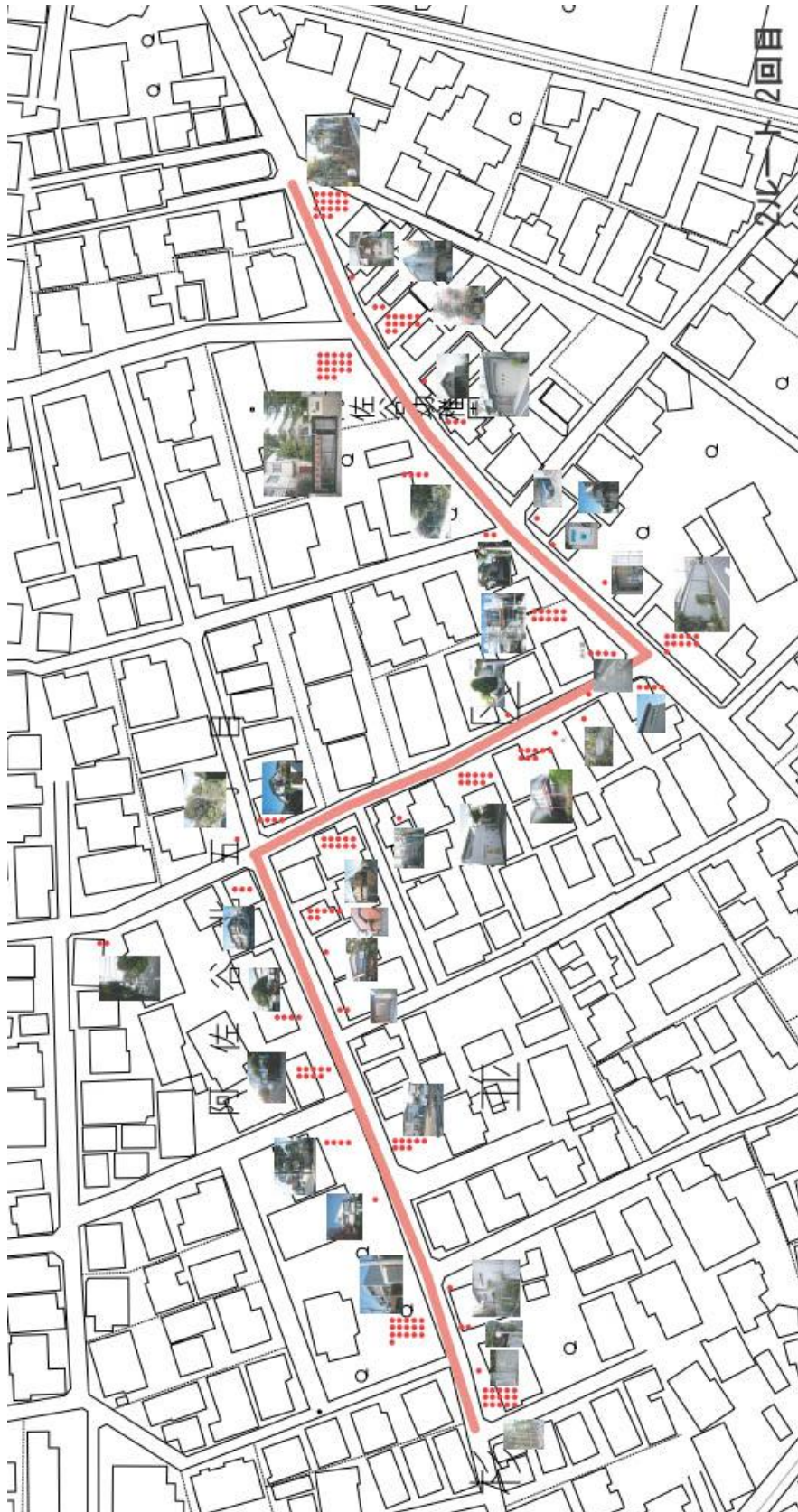


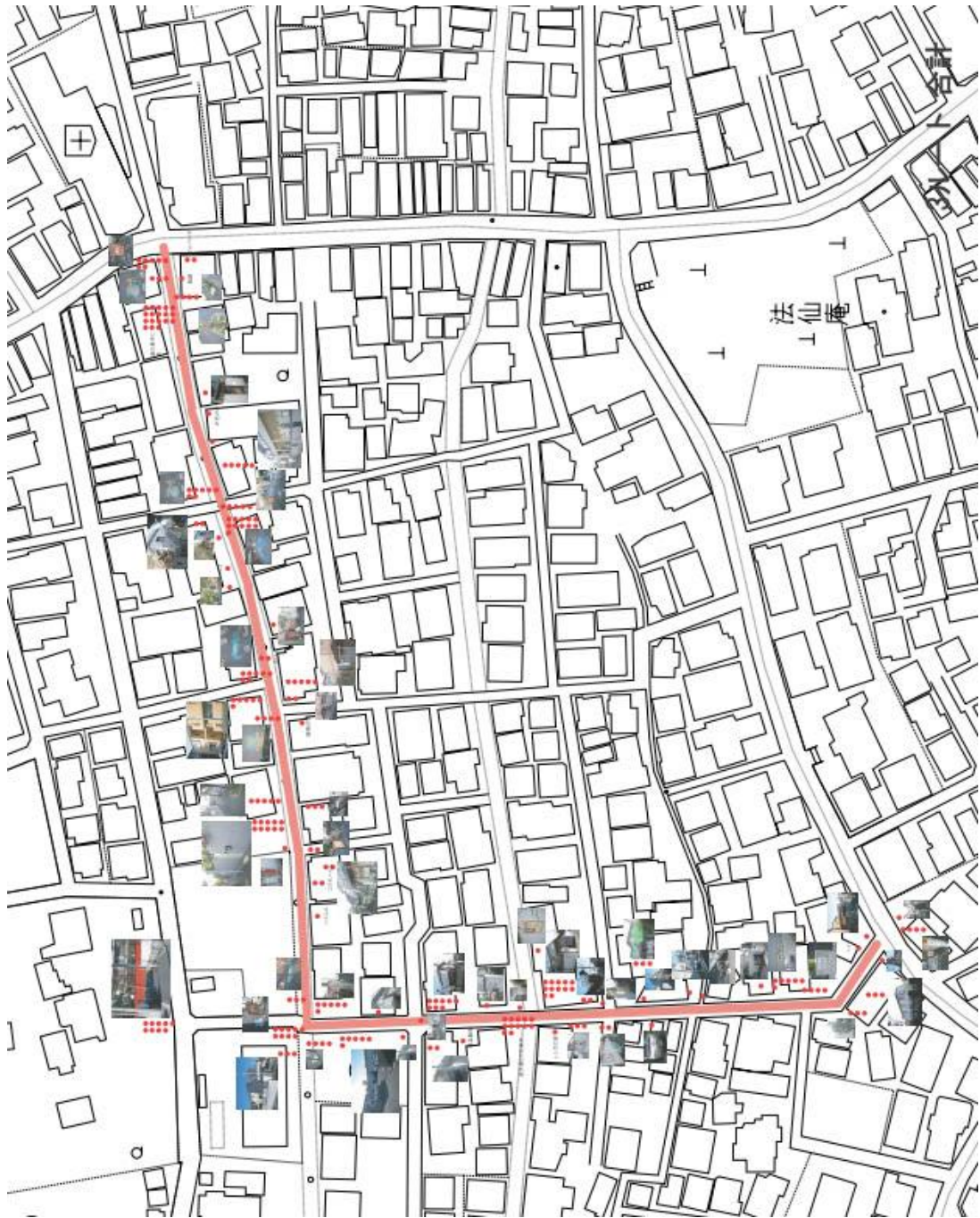


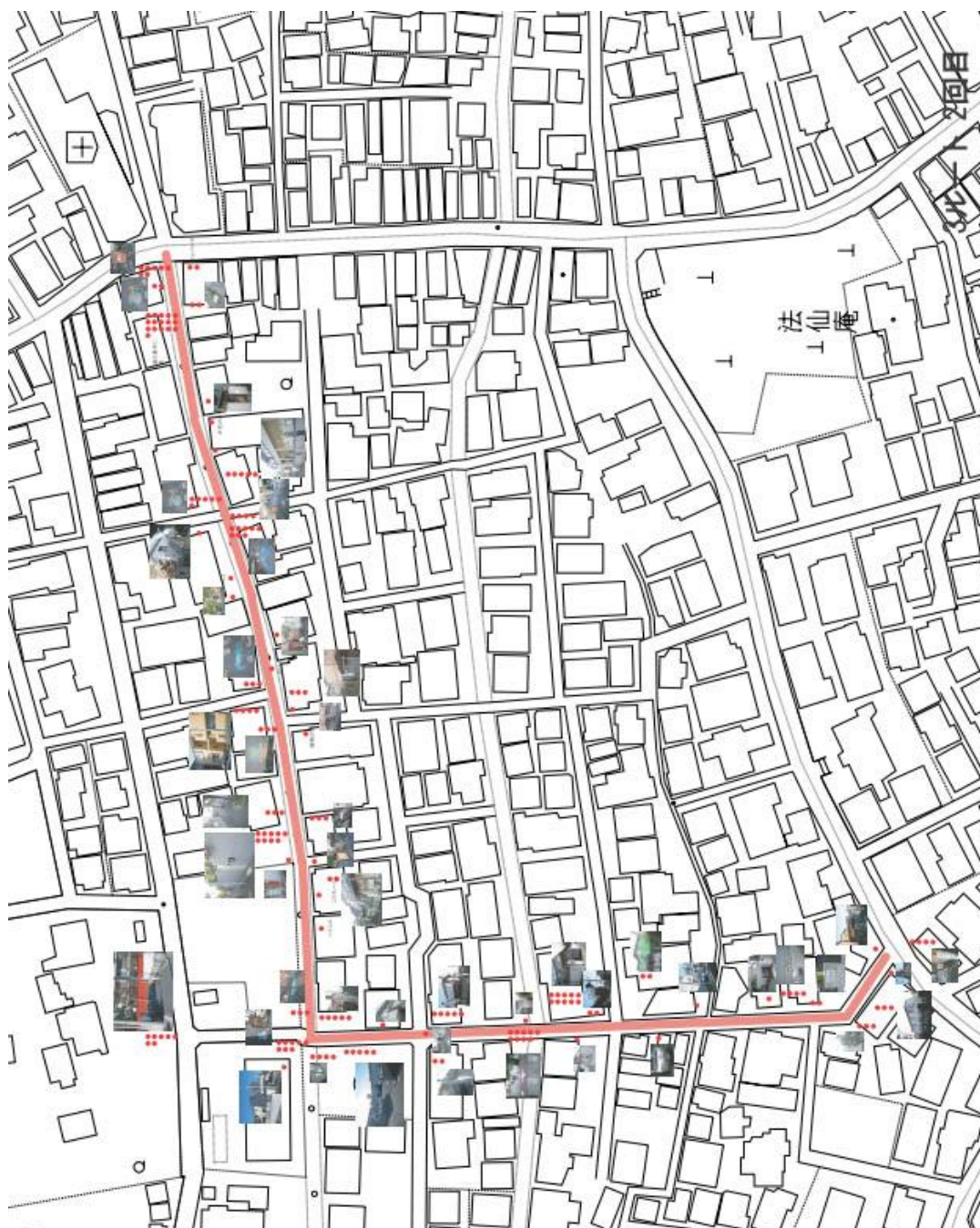


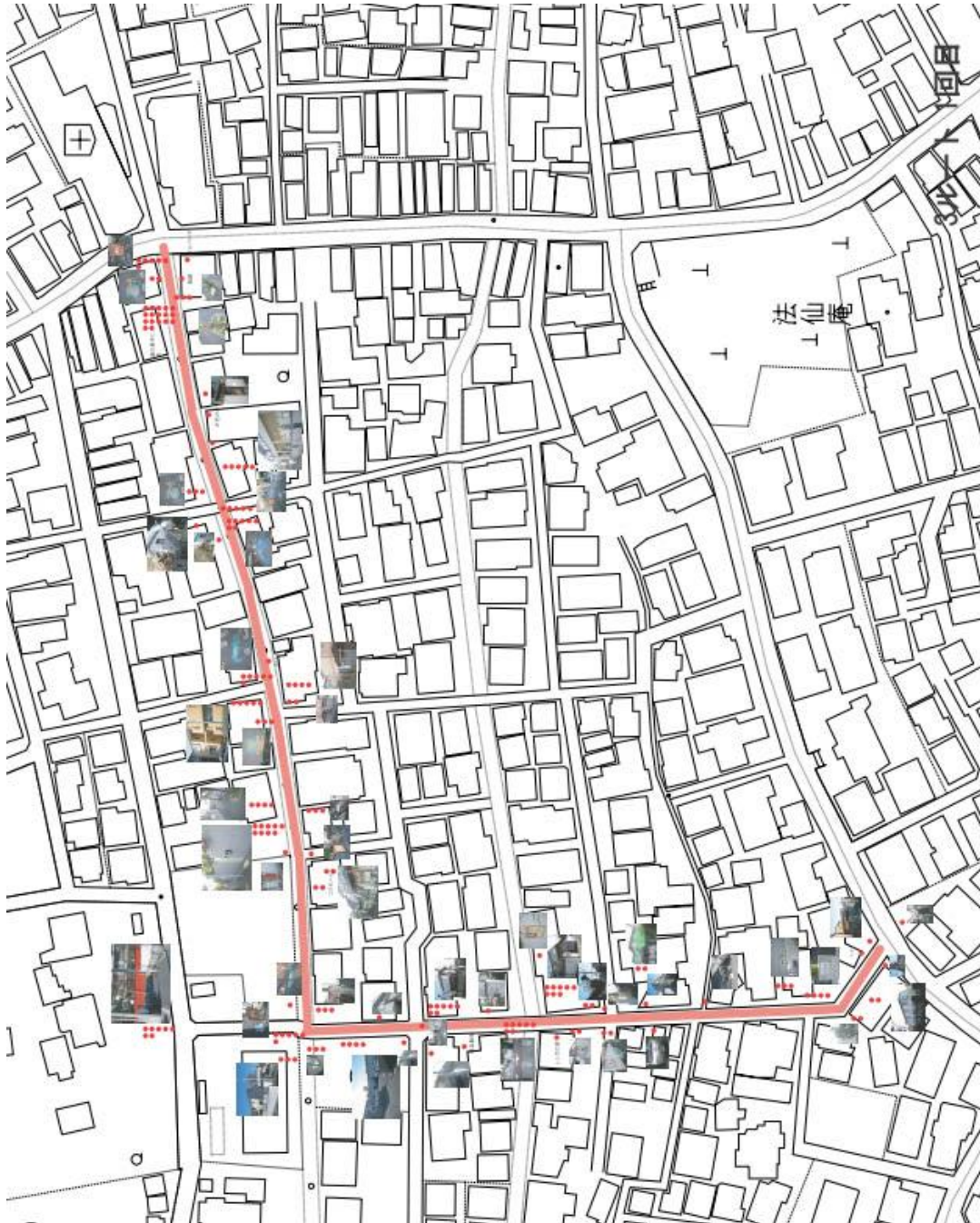




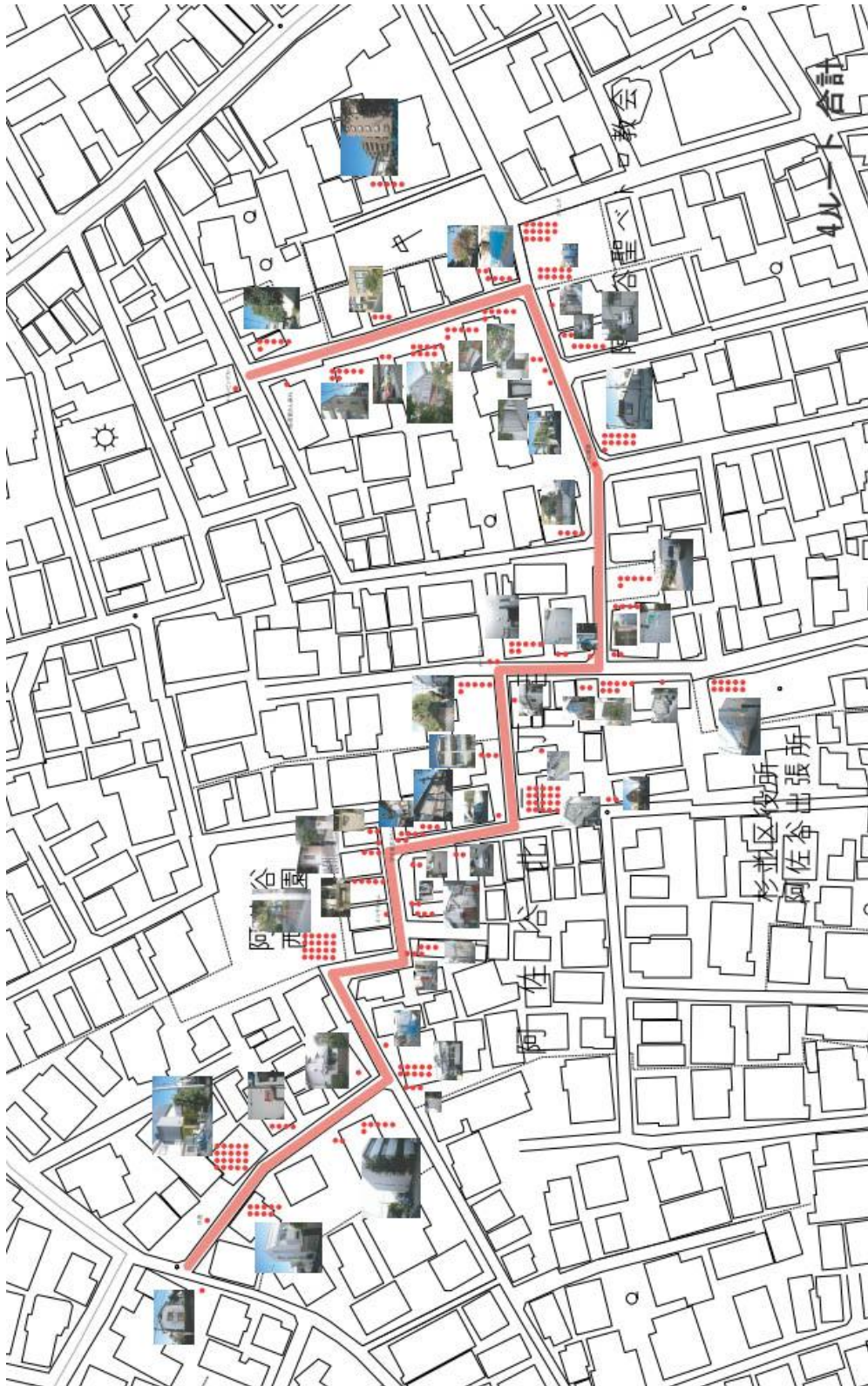


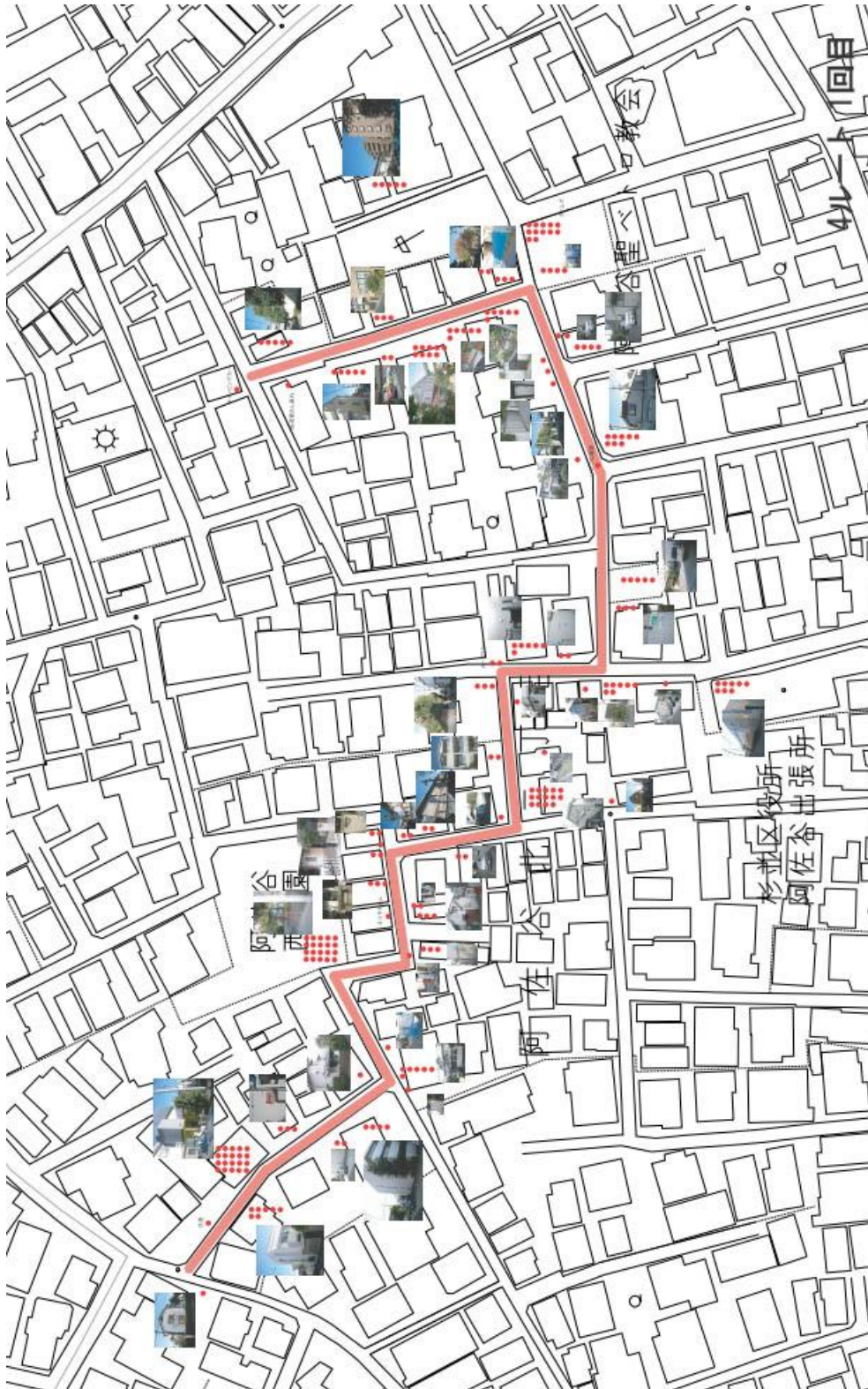


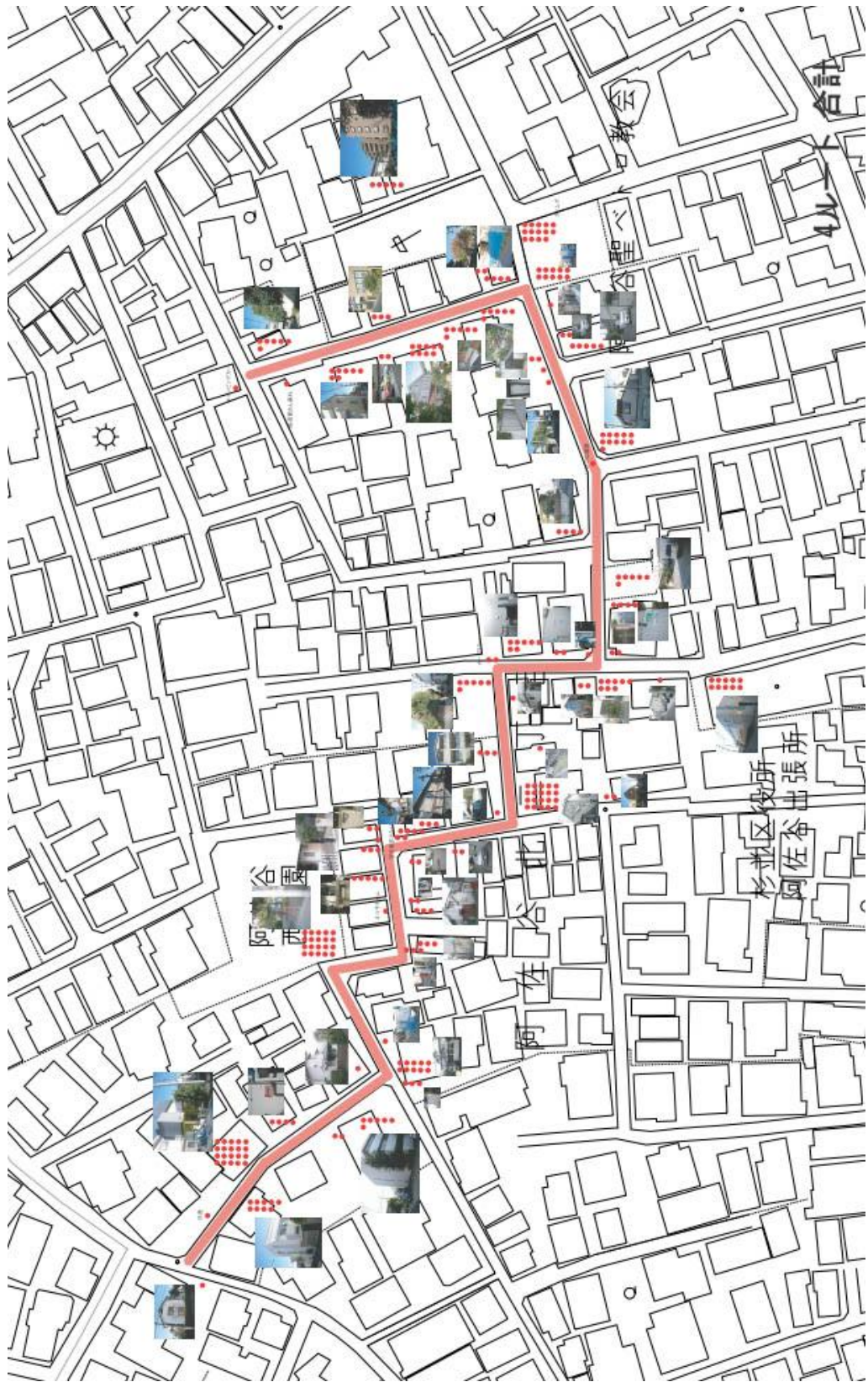












### 付録B-3: 目印頻度降順に並べたランドマークの特徴

#### 目次

実験全ルートでの目印頻度順位表と各目印の特徴	・・・208-212
ルート1とルート2 目印頻度でみるランドマーク	・・・213
ルート3とルート4 目印頻度でみるランドマーク	・・・214

付録B

LM名	LM分類番号	ルート番号	交差点方向転換あり：1 なし：2 交差点でない：3 スタート：4 ゴール：3	時間の継続 (年単位 1・月単位 2・日単位 3)	ABC(A1 ,B2,C3)	挙げた被験者数の合計
阿佐ヶ谷幼稚園	2	2	5	1	1	20
田中ミノル・讃岐さんの一階部分が黄色で、二階はメタルな家	1	4	5	1	1	20
阿佐ヶ谷西公園	2	4	5	1	1	20
高円寺アパート	1	1	5	1	1	19
赤い鳥居・祠	4	2	5	1	1	19
パークビレッジ阿佐ヶ谷	1	2	5	1	1	19
青山さんのうす緑色とレンガラインの家	1	4	5	1	1	19
道の真中に木	6	3	5	1	1	18
加賀山さんちの竹の箱庭	6	2	5	1	1	16
石田さんとまつなが・おのさんの茶色いレンガと白い壁の家	1	1	5	1	1	15
大谷さんの黄土色・壁とヘイの色が同じ家	1	2	5	1	1	15
墓地	2	1	5	1	1	14
岩田クレーン屋さん	2	2	5	1	1	14
タイムズの黄色い看板	3	4	5	1	1	14
シャッター 9枚 15mくらい	2	2	5	1	1	13
福島県高円寺職員住宅	1	1	5	1	1	12
杉山商事 CUBE HM	1	2	5	1	1	12
遊歩道との交差点、赤口	8	3	5	1	1	12
吉田さん 壁とヘイがつたに覆われている・球場	1	3	5	1	1	12
	6	3	5	1	1	12
工事中 旭化成	2	2	5	2	1	11
岡本さんちの水色で窓枠が白の家	1	2	5	1	1	11
パークビレッジ阿佐ヶ谷の看板	3	2	5	1	1	11
イルカ止まれ	8	3	5	1	1	11
阿佐ヶ谷聖ペテロ教会	2	4	5	1	1	11
宮澤さんちの立派な松の木	6	1	5	1	1	10
木下さんちの赤い鉄筋の雨よけ	7	2	5	1	1	10
薄紫のトタンのヘイ	7	3	5	1	1	10
田部・永山さんちの松の木	6	4	5	1	1	10
杉並区役所・コンクリートオレンジ枠	1	4	5	1	1	10
自動販売機	4	4	5	1	1	10
金太郎の車両止4 (パンダのところ)	4	3	5	1	2	9
ビビっとな赤いヘイ	7	3	5	1	2	9
白い四角い教会みたいな窓の家	1	4	5	1	2	9
ベンチのある元田さんの家	1	4	5	1	2	9
KOUSHIN企画・ コンクリート打ち放しの家	1	1	5	1	2	8
黄色い安全第一の金網	4	1	5	2	2	8
オレンジ茶色の古い家 MASUDA	1	2	5	1	2	8
空き地っぽい 富士見月極め駐車場 (左)	5	2	5	1	2	8
ひまわり荘	1	3	5	1	2	8
栗原さん・つたが絡まった家	1	4	5	1	2	8
「緊急！ひったくり多発」の看板	3	1	5	1	2	7
ゴミ収集所	4	1	5	2	2	7
HMの看板	3	2	5	1	2	7
金太郎の車両止1 (スタート付近)	4	3	5	1	2	7
ライオン座り 止まれ 2	8	3	5	1	2	7
ワニ 止まれ 1	8	3	5	1	2	7
ヒルズ阿佐ヶ谷・インターホン	1	4	5	1	2	7
プレジール阿佐ヶ谷	1	4	5	1	2	7
手塚さんの家の前にある柑橘系の実がなる木	6	1	5	2	2	6
カーサビアンカの看板	3	1	5	1	2	6
木の子の木	6	2	5	2	2	6
整備された月極め駐車場 (右)	5	2	5	1	2	6
クリーム色のエフパティオ	1	3	5	1	2	6

付録B

LM名	LM分類番号	ルート番号	交差点方向転換あり：1 なし：2 交差点でない：3 スタート：4 ゴール：3	時間の継続 (年単位 1・月単位 2・日単位 3)	ABC(A1,B2,C3)	挙げた被験者数の合計
ローヤル第三駐車場	5	3	5	1	2	6
「左折車通行困難」	3	3	5	1	2	6
	3	3	5	1	2	6
サンパレスの看板	3	3	5	1	2	6
ハウス阿佐ヶ谷北B 前が駐車場のグレーのアパート	1	4	5	1	2	6
青山さんの木の多い古い屋敷	1	4	5	1	2	6
空き地のような砂利駐車場	5	4	5		2	6
元田さんちのためきの置物	7	4	5	2	2	6
元田さんの家の前にあるベンチ	4	4	5	2	2	6
横川さんの家の肌色のヘイト木	7	4	5	1	2	6
赤い消火器	4	1	5	1	2	5
赤い消火器 2	4	1	5	1	2	5
松山さんのステンドグラスのある窓の家	1	1	5	1	2	5
高円寺北4丁目新生会の の掲示板	3	1	5	1	2	5
下り坂	9	1	5	1	2	5
山田さんの家の前庭の木と、 草が垂れているヘイト	6	2	5	1	2	5
緑色・壁がななめドムス阿佐ヶ谷	1	3	5	1	2	5
金太郎 2 を含む車両止 4つ	4	3	5	1	2	5
グランビル阿佐ヶ谷・ピンクの レンガっぽいアパート	1	3	5	1	2	5
2本だけ右によった木	6	3	5	1	2	5
四つこちゃんの一つに小人が乗る	7	4	5	1	2	5
	3	4	5	1	2	5
ホークス阿佐ヶ谷、色が黄緑 とお目にある高層マンション (コスモ阿佐ヶ谷ロイヤルフォルム)	1	4	5	1	2	5
レモンイエローの家	1	1	5	1	2	4
	3	1	5	1	2	4
エステートピア高円寺	1	1	5	1	2	4
杉原・山野さんのギリシャ風 白いレンガの柱高い家	1	1	5	1	2	4
カザデルアーチェロ ハイツフォーレスト??	1	1	5	1	2	4
車庫と書いてあるシャッター	7	2	5	1	2	4
消火器	4	2	5	1	2	4
シティハイムエムの看板	3	2	5	1	2	4
中村さん上半分ラベンダー色の家	1	2	5	1	2	4
めっちゃ古いアパート (豊荘)	1	2	5	1	2	4
窪寺さんの料亭玄關な家	1	2	5	1	2	4
木の前のイス	4	3	5	3	2	4
ライオン立ち 止まれ	8	3	5	1	2	4
パンダ止まれ	8	3	5	1	2	4
A V I O N アパートの看板	3	3	5	1	2	4
金箔荘	3	3	5	1	2	4
コスモ弥生・ピンクの看板のバジリカ	3	4	5	1	2	4
けやきハイム 二生えている杉並区保護樹林	1	4	5	1	2	4
C o r p Z E Nの看板	3	4	5	1	2	4
横川さんの家の コンクリート下半分、茶色い鉄の板のヘイト	7	4	5		2	4
青いトタンのヘイト	7	4	5	1	2	4
アトリエ浅田・グレーの船の丸いドアのついた家	1	1	5	1	2	3
新築エリア白いうち2軒(左)	1	1	5	1	2	3
馬橋キリスト教会裏の つたが這うヘイト庭の木	6	1	5	1	2	3
小池さんのうち	1	1	5	1	2	3
小池さんの表札	3	1	5	1	2	3
松山さんの家にある ピーボクんの看板	3	1	5	1	2	3
トダさんの家の深緑の 木枠のベランダ	7	1	5	1	2	3
鳥屋のところ木	6	2	5	1	2	3
お地藏さん	4	2	5	1	2	3

付録B

LM名	LM分類番号	ルート番号	交差点方向転換あり：1 なし：2 交差点でない：3 スタート：4 ゴール：3	時間の継続 (年単位 1・月単位 2・日単位 3)	ABC(A1,B2,C3)	挙げた被験者数の合計
星野さんの緑がいっぱいあるおうち	6	2	5	1	2	3
20km制限の標識	3	2	5	1	2	3
ライオン座り 生まれ	8	3	5	1	2	3
グリーンコーポ	3	3	5	1	2	3
ワニ 生まれ2	8	3	5	1	2	3
LAPIS CAPUT 白いアパート群	1	3	5	1	2	3
阿佐ヶ谷北3丁目町内会の掲示板	3	3	5	1	2	3
奥の緑色シート・工事中	2	3	5	2	2	3
北原荘にあるピンクの花が満開な木	6	3	5	2	2	3
北原荘	1	3	5	1	2	3
消火器	4	4	5	1	2	3
ハイムK (細長い)	1	4	5	1	2	3
蔵の内さんの家	1	4	5	1	2	3
sasakiさんの家	1	4	5	1	2	3
けやきハイム 白い壁の真ん中に赤いラインアパート	1	4	5	1	2	3
三階建の白い家・ツジモトさん	1	4	5	1	2	3
布村さんのピンクの外壁に緑の窓枠の家	1	4	5	1	2	3
晴山さんの白いおうち	1	1	5	1	3	2
山口さんの青グレーの色の家 ガレージ階	1	1	5	1	3	2
つたが壁に這う家	6	1	5	1	3	2
	1	1	5	1	3	2
西川さんの白いモダンな家	1	1	5	1	3	2
高円寺アパート前の野菜畑	6	1	5	2	3	2
渡辺さんちの門・模様	7	1	5	1	3	2
線路	9	1	5	1	3	2
升山さんの家	1	1	5	1	3	2
角田さんの家の門灯とヘイ	7	1	5	1	3	2
フローラ高円寺の看板	3	1	5	1	3	2
三田村さんちの ペンキ塗りたての白いヘイ	7	1	5	1	3	2
生まれの標識	3	1	5	1	3	2
	3	1	5	1	3	2
ニイゼキさんの階段のオレンジが すりガラスで透けている家	1	2	5	1	3	2
十字路にある青いボールの カーブミラー4本	4	2	5	1	3	2
大きなけやきの木	6	2	5	1	3	2
自然採光の家、田上さんち	1	2	5	1	3	2
加賀山 順さんの白い洋風の家	1	2	5	1	3	2
八幡せんべい	2	3	5	1	3	2
Haus Alpenrose 白とグレーの外壁の四角の建物	1	3	5	1	3	2
グランビル阿佐ヶ谷にある 木でできた自転車置き場	7	3	5	1	3	2
ワニのところに金ピカの車両止	4	3	5	1	3	2
金太郎 3	8	3	5	1	3	2
グリーンコーポ/コスモハイム/ハイムA アパート3棟階段似ている	1	3	5	1	3	2
	1	3	5	1	3	2
コスモハイムの看板	3	3	5	1	3	2
金太郎の車両止4を含む 車両止	4	3	5	1	3	2
改装中のアパート (ホーユーはうす)	1	3	5	1	3	2
吉田さんの家のつたが絡まった松	6	3	5	1	3	2
ゴミ収集所の緑のカゴ	4	3	5	2	3	2
AVION建物	1	3	5	1	3	2
大越さんの家	1	3	5	1	3	2
ハウス阿佐ヶ谷北Bにある 白のBM大阪ナンバーと岐阜ナンバーの車	9	4	5	1	3	2
田部・永山さんの家の表札	3	4	5	1	3	2

付録B

LM名	LM分類番号	ルート番号	交差点方向転換あり：1 なし：2 交差点でない：3 スタート：4 ゴール：3	時間の継続 (年単位 1・月単位 2・日単位 3)	ABC(A1,B2,C3)	挙げた被験者数の合計
sasakiさんの家のヘイにある黄色い枠組みに斜線が入っているもの	7	4	5	2	3	2
けやきハイムに貼ってある「空き巣許さない」の目のポスター	3	4	5	1	3	2
クリーム色の草刈さんち	1	4	5	1	3	2
草刈さんの家のBM		4	5	3	3	2
茶色のレンガの家(モクレンハウス)	1	4	5	1	3	2
カーブミラー2つ	4	4	5	1	3	2
サンハイツ阿佐ヶ谷	1	4	5	1	3	2
新築の濃い茶色のトタンっぽい素材の家	1	4	5	1	3	2
阿佐ヶ谷北2丁目17看板	3	4	5	1	3	2
トヨタ、ハイエース(車)	9	4	5	3	3	2
元田さんの家のコンクリートのつたが這うヘイ・小さい・シャッター	7	4	5	1	3	2
青いトタンのヘイのところにある木	9	4	5	1	3	2
	3	4	5	1	3	2
寺田さんの家にあるピーボくん101番	3	1	5	1	3	1
吉田・石川さんのピンクのおうち	1	1	5	1	3	1
アトリエ浅田にある南国っぽい木	6	1	5	1	3	1
空き地の正面にある手塚さんの表札	3	1	5	1	3	1
足あとと白い止まれペイント	8	1	5	1	3	1
小池さんちについているいかのおすしの看板	3	1	5	1	3	1
島田さんの家	1	1	5	1	3	1
高円寺北4丁目25の標識	3	1	5	1	3	1
T字路に右手にメルセデスベンツ	9	1	5	3	3	1
松山さんの家の車庫	7	1	5	1	3	1
中村さんの家にあった赤い車	9	1	5	3	3	1
中村さんの家	1	1	5	1	3	1
寛弘毅(カケイ)さんの家	1	1	5	1	3	1
寛弘毅(カケイ)さんの家にある松の木	6	1	5	1	3	1
電柱にある文の緑色の看板	3	1	5	1	3	1
電柱に通学路文、近隣の方に速報というチラシが貼ってある電柱	3	1	5	1	3	1
小沢さんの家	1	1	5	1	3	1
春原さんの家にある竹のヘイ	7	1	5	1	3	1
春原さんの家の垣根	7	1	5	1	3	1
角田さんの家	1	1	5	1	3	1
オベルとブジョー	9	1	5	3	3	1
秋山さんの家の木のドア	7	1	5	1	3	1
	3	1	5	1	3	1



付録B

LM名	LM分類番号	ルート番号	交差点方向転換あり：1 なし：2 交差点でない：3 スタート：4 ゴール：3	時間の継続 (年単位 1・月単位 2・日単位 3)	ABC(A1,B2,C3)	挙げた被験者数の合計
消火器	4	1	5	1	3	1
シュロの木	6	1	5	1	3	1
消火器	4	1	5	1	3	1
文の緑の看板	3	1	5	1	3	1
三田村さんちの緑色の階段	7	1	5	1	3	1
アサガヤハイムにある車のカバー	9	1	5	3	3	1
両側のヘイ (お墓のヘイと向かい)	7	1	5	1	3	1
すごく古い林さんの家	1	1	5	1	3	1
鳥居の柵についた赤い消火栓の看板	3	2	5	1	3	1
柴野さんの家?にあるシーサー	7	2	5	1	3	1
十字路のBM(メゾンローズに停車)	9	2	5	3	3	1
十字路	9	2	5	1	3	1
メゾンローズ	1	2	5	1	3	1
メゾンローズにある 「石原のぶてる」の看板	3	2	5	2	3	1
渡辺さんの家の中にある黄色い時計と、その下の黄色に赤の矢印。	7	2	5	2	3	1
地面の学校車両通行止めの黄色いペイント	8	2	5	1	3	1
電柱に文の標識が続く	3	2	5	1	3	1
木の下さんの家に停車している車三台のうち2台ベンツ	9	2	5	3	3	1
たぶん君森さんの家	1	2	5	1	3	1
メゾンKにある植栽	6	2	5	1	3	1
HMの前あたりにある木	6	2	5	1	3	1
福本さんの家の鉄の格子の網と緑	7	2	5	1	3	1
すみれハイツ(小田切)	3	2	5	1	3	1
北野さんの茶色い家	1	2	5	1	3	1
田上さんちにある紅葉した木	6	2	5	2	3	1
尾崎と書いてある看板	3	2	5	1	3	1
加賀山さんちの 「見てるぞ空き巣」のポスターとピーボくん	3	2	5	1	3	1
マテバシイの札	3	3	5	2	3	1
朝顔	6	3	5	3	3	1
温寿庵	3	3	5	1	3	1
水色のポールの街灯の連続	4	3	5	1	3	1
アパート群(ドムス阿佐ヶ谷を含む)	1	3	5	1	3	1
Haus Alpenrose 黄色の木	6	3	5	2	3	1
Haus Alpenrose白樺	6	3	5	1	3	1
Haus Alpenroseの 2m弱くらいのヘイ	7	3	5	1	3	1
グランビル阿佐ヶ谷にある 2つピンクのバラ	6	3	5	2	3	1
松本さんの屋根が少し急な家	1	3	5	1	3	1
消火器	4	3	5	1	3	1
ハイムA	1	3	5	1	3	1

付録B

LM名	LM分類番号	ルート番号	交差点方向転換あり：1 なし：2 交差点でない：3 スタート：4 ゴール：3	時間の継続 (年単位 1・月単位 2・日単位 3)	ABC(A1,B2,C3)	挙げた被験者数の合計
ローヤル第三駐車場に停車していた? 軽自動車	9	3	5	1	3	1
村田さんの家のかべにある朝顔	6	3	5	3	3	1
阿佐ヶ谷北3丁目と書いてある 看板が角三つにぼんぼんぼん	3	3	5	1	3	1
ミラーのボール	7	3	5	1	3	1
配島 元さんの表札	3	3	5	1	3	1
「ミニダックス譲ります」ポスター	3	3	5	2	3	1
阿佐ヶ谷JAZZストリートのポスター	3	3	5	2	3	1
レンガの家	1	3	5	1	3	1
右折行きどまりの看板	3	3	5	1	3	1
幅が狭いのに立っている家	1	3	5	1	3	1
青いイスト・車	9	3	5	3	3	1
「hand to hurt」の文字が書いてある ワゴン	9	3	5	3	3	1
細い道との十字路にある金の車除け	4	3	5	1	3	1
うす緑色のヘイ	7	3	5	1	3	1
大越さんちの茶色い板張りのヘイ	7	3	5	1	3	1
一時停止の標識	3	3	5	1	3	1
カーブミラー	4	3	5	1	3	1
高山さんの白塗りで柱が茶色い家	1	4	5	1	3	1
日産のローレル (車)	9	4	5	3	3	1
田中さんの家のドア	7	4	5	1	3	1
田部・永山さんの家	1	4	5	1	3	1
ゴミ置き場	4	4	5	2	3	1
四つごちゃん	1	4	5	1	3	1
四ツ子ちゃんの一つsasakiさんの おしゃれな表札	7	4	5	1	3	1
コンクリートのブロック塀	7	4	5	1	3	1
つたが絡まった原付	9	4	5	3	3	1
山下さん・井合さんの境目が不明な家	1	4	5	1	3	1
	3	4	5	1	3	1
区域全域、 歩きたばこ禁止の広告が貼ってある電柱	3	4	5	1	3	1
有坂さんの家の前の 駐車場に停車している車のカバー	9	4	5	3	3	1
カザマさんの家の横にある庭	6	4	5	1	3	1
いびつな道路、整備しきれなかった	8	4	5	1	3	1
元田さんの家にある「猛犬注意」の表札	3	4	5	1	3	1
元田さんの家に生える 三本の似たような木	6	4	5	1	3	1
川崎勝康さんの家	1	4	5	1	3	1
元田さんの家にある赤いVOLVO	9	4	5	3	3	1
元田さんの家にある黄色い松田デニー口	9	4	5	3	3	1
高須賀 茂文さんの表札	3	4	5	1	3	1
キャンブカー	9	4	5	3	3	1

ルート1 (下表)

LM名	LM分類番号	挙げた被験者数の合計
高円寺アパート	1	19
石田さんとまつなが・おのさんの茶色いレンガと白い壁の家	1	15
墓地	2	14
福島県高円寺職員住宅	1	12
宮澤さんちの立派な松の木	6	10
KOHSHIN企画・コンクリート打ち放しの家	1	8
黄色い安全第一の金網	4	8
「緊急！ひったくり多発」の看板	3	7
ゴミ収集所	4	7
手塚さんの家の前にある柑橘系の実がなる木	6	6
カーサビアンカの看板	3	6
赤い消火器	4	5
赤い消化器 2	4	5
松山さんのスタンドグラスのある窓の家	1	5
高円寺北4丁目新生会の掲示板	3	5
下り坂	9	5
レモンイエローの家	1	4
	3	4
エステートピア高円寺	1	4
杉原・山野さんのギリシャ風白いレンガの柱高い家	1	4
カサデルアーチェロ	1	4
アトリ工浅田・グレーの船の丸いドア	1	3
新築エリア白いうち2軒(左)	1	3
馬橋キリスト教会裏のつたが這うヘイと庭の木	6	3
小池さんのうち	1	3
小池さんの表札	3	3
松山さんの家にあるビーボクんの看板	3	3
トダさんの家の深緑の木枠のベランダ	7	3

ルート2 (下表)

LM名	LM分類番号	挙げた被験者数の合計
阿佐ヶ谷幼稚園	2	20
赤い鳥居・祠	4	19
パークビレッジ阿佐ヶ谷	1	19
加賀山さんちの竹の箱庭	6	16
大谷さんの黄土色・壁とヘイの色が同じ家	1	15
岩田クリーニング屋さん	2	14
シャッター 9枚 15mくらい	2	13
杉山商事 CUBE HM	1	12
工事中 旭化成	2	11
岡本さんちの水色で窓枠が白の家	1	11
パークビレッジ阿佐ヶ谷の看板	3	11
木下さんちの赤い鉄筋の雨よけ	7	10
オレンジ茶色の古い家 MASUDA	1	8
空き地つばい	5	8
富士見月極め駐車場(左)		8
HMの看板	3	7
木の子の木	6	6
整備された月極め駐車場(右)	5	6
山田さんの家の前庭の木と、草が垂れているヘイ	6	5
ハイツフォーレスト	7	4
車庫と書いてあるシャッター		4
消火器	4	4
シティハイムエムの看板	3	4
中村さん上半分ラベンダー色の家	1	4
めっちゃ古いアパート(豊荘)	1	4
窪寺さんの料亭玄関な家	1	4
鳥居のところ木	6	3
お地蔵さん	4	3
シティハイムあきよしの看板	3	3
星野さんの緑がいっぱいあるおうち	6	3
20km制限の標識	3	3
ニイゼキさんの階段のオレンジがすりガラスで透けている家	1	2
十字路にある青いボールのカーブミラー 4本	4	2
大きなけやきの木	6	2
自然採光の家、田上さんち	1	2
加賀山 順さんの白い洋風の家	1	2

ルート3 (下表)

LM名	LM分類 番号	挙げた被 験者数の 合計
道の真中に木	6	18
遊歩道との交差点、赤口	8	12
吉田さん 壁とヘイがつたに覆われている・球場	1	12
	6	12
イルカ止まれ	8	11
薄葉のトタンのヘイ	7	10
金太郎の車両止4 (パンダのところ)	4	9
ビビっとな赤いヘイ	7	9
ひまわり荘	1	8
金太郎の車両止1 (スタート付近)	4	7
ライオン座り 止まれ 2	8	7
ワニ 止まれ 1	8	7
クリーム色のエフパティオ	1	6
ローヤル第三駐車場	5	6
「左折車通行困難」	3	6
	3	6
サンパレスの看板	3	6
緑色・壁がななめドムス阿佐ヶ谷	1	5
金太郎 2 を含む車両止 4つ	4	5
グランビル阿佐ヶ谷・ピンクの レンガっぽいアパート	1	5
2本だけ右によった木	6	5
木の前のイス	4	4
ライオン立ち 止まれ	8	4
パンダ止まれ	8	4
AVION アパートの看板	3	4
金箔荘	3	4
ライオン座り 止まれ	8	3
グリーンコーポ	3	3
ワニ 止まれ2	8	3
LAPIS CAPUT 白いアパート群	1	3
阿佐ヶ谷北3丁目町内会の掲示板	3	3
奥の緑色シート・工事中	2	3
北原荘にあるピンクの花が満開な木	6	3
北原荘	1	3
八幡せんべい	2	2

ルート4 (左表)

LM名	LM分類 番号	挙げた被験 者数の合計
田中ミノル・舘岐さんの 一階部分が黄色で、二階はメタルな家	1	20
阿佐ヶ谷西公園	2	20
青山さんのうす緑色とレンガラインの家	1	19
タイムズの黄色い看板	3	14
阿佐ヶ谷聖ペテロ教会	2	11
田部・永山さんちの松の木	6	10
杉並区役所・コンクリートオレンジ枠	1	10
自動販売機	4	10
白い四角い教会みたいな窓の家	1	9
ベンチのある元田さんの家	1	9
栗原さん・つたが絡まった家	1	8
ヒルズ阿佐ヶ谷・インターホン	1	7
プレジール阿佐ヶ谷	1	7
ハウス阿佐ヶ谷北B	1	6
前が駐車場のグレーのアパート	1	6
青山さんの木の多い古い屋敷	1	6
空き地のような砂利駐車場	5	6
元田さんちのためきの置物	7	6
元田さんの家の前にあるベンチ	4	6
横川さんの家の肌色のヘイと木	7	6
四つごちゃんの一つに小人が乗る	7	5
	3	5
ホークス阿佐ヶ谷、色が黄緑 とお目にある高層マンション (コスモ阿佐ヶ谷ロイヤルフォルム)	1	5
コスモ弥生・ピンクの看板のバジリカ	3	4
けやきハイム 二生えている杉並区保護樹林	1	4
C o r p Z E Nの看板	3	4
横川さんの家の コンクリート下半分、茶色い鉄の板のへ	7	4
青いトタンのヘイ	7	4
消火器	4	3
ハイムK (細長い)	1	3
蔵の内さんの家	1	3
sasakiさんの家	1	3
けやきハイム 白い壁の真ん中に赤いラインアパート	1	3
三階建の白い家・ツジモトさん	1	3
布村さんのピンクの外壁に緑の窓枠の家	1	3
ハウス阿佐ヶ谷北Bにある 白のBM大阪ナンバーと岐阜ナンバーの 田部・永山さんの家の表札	9	2
	3	2
蔵の内さんの家の赤レンガの家の洗濯物 を干すところがステス	7	2
sasakiさんの家のヘイにある黄色い枠組 みに斜線が入っているもの	7	2
けやきハイムに貼ってある 「空き巣許さない」の目のポスター	3	2
クリーム色の草刈さんち	1	2
草刈さんの家のBM		2
茶色のレンガの家 (モクレンハウス)	1	2
カーブミラー2つ	4	2
サンハイツ阿佐ヶ谷	1	2
新築の濃い茶色のトタンっぽい素材の家	1	2
阿佐ヶ谷北2丁目17看板	3	2
トヨタ、ハイエース (車)	9	2
元田さんの家の コンクリートのつたが這うヘイ・小さ	7	2
青いトタンのヘイのところにある木	9	2
	3	2

## 付録C：建物項目 詳細

### 目次

ルート1	建物項目 詳細	・・・	217
ルート2	建物項目 詳細	・・・	218
ルート3	建物項目 詳細	・・・	219
ルート4	建物項目 詳細	・・・	220

付録C

住宅番号	被験者数	1度目に攀 げた被験者 数	2度目に 攀げた被験 者数	道に面す る横幅 (m)	高さ (m)	フア サード 面積	年代	屋根 形状	色1	R	G	B	割合	色2	R	G	B	割合
1	2	0	2	3.3	5	16.5	2	1	白	231	230	208						
2	1	0	1	4.35	5	21.75	4	3	ピンク	231	197	165						
3	3	3	2	4.95	5	24.75	4	3	白	217	207	193	0.2	グレー	162	162	158	0.5
4	8	6	7	9.45	7	66.15	4	6	グレー	140	144	129						
5	0	0	0	10.65	5	53.25	3	3	白	242	235	206						
6	0	0	0	6	5	30	2	1	白	242	235	206						
7	6	2	4	9	5	45	2	1	白	255	255	246						
8	0	0	0	5.7	5	28.5	2	1	クリーム	171	165	154						
9a	0	0	0	7.5	5	37.5	2	1	クリーム	243	237	203						
9b	0	0	0	10.35	5	51.75	2	1		155	142	107						
10a	2	1	1	7.8	7	54.6	4	6	白	255	255	255						
10b	0	0	0	9	7	63	4	6		115	135	149						
11a	0	0	0	8.7	5	43.5	2	1	クリーム	183	182	170						
11b	0	0	0	6.75	5	33.75	2	1		255	255	255						
12	0	0	0	7.65	5	38.25	2	1	クリーム	249	237	207						
13	1	1	0	8.25	5	41.25	3	4	クリーム	255	233	189						
14	0	0	0	6.45	5	32.25	1	1	白	255	255	255						
15a	19	18	19	9	10	90	2	3	グレー	205	198	180	0.9	白	255	250	228	0.1
15b	19	18	19	27.45	10	274.5	2	3		39	44	48						
16a	19	18	19	7.5	10	75	2	3	グレー	179	173	155	0.9	白	255	250	228	0.1
16b	19	18	19	24.45	10	244.5	2	3		44	46	46						
17a	0	0	0	11.7	5	58.5	3	4	チャコールグレー	250	237	219						
17b	0	0	0	9.45	5	47.25	3	4		179	164	147						
18	1	1	0	4.8	7	33.6	3	4	クリーム	249	240	209						
19	0	0	0	4.95	7	34.65	4	2	グレー	197	196	185	0.8	茶色	83	73	63	0.2
20	0	0	0	7.35	5	36.75	4	1	チャコールグレー	199	186	164						
21	0	0	0	6	5	30	4	1	ピンク	211	172	155						
22a	0	0	0	11.1	5	55.5	3	1	白	239	233	199	0.5	茶色	51	45	41	
22b	0	0	0	5.1	5	25.5	3	1		255	255	232						
23	0	0	0	9	5	45	3	3	白	236	228	204						
24	0	0	0	6.3	5	31.5	3	5	クリーム	203	187	154						
25	3	3	1	6.3	5	31.5	3	1	深緑	56	61	53	0.3	茶色	187	136	97	0.2
26	0	0	0	8.25	5	41.25	3	1	茶色	189	167	147						
27	15	10	14	7.5	5	37.5	5	1	白	255	255	228	0.9	グレー	113	113	114	0.1
28	15	10	14	5.85	5	29.25	5	2	白	214	199	175	0.6	赤茶色	139	74	61	0.4
29	0	0	0	7.95	5	39.75	5	1	赤茶色	183	158	144						
30	0	0	0	10.65	5	53.25	2	1	ブルーグレー	179	184	180						
31	4	2	3	11.4	5	57	3	3	チャコールグレー	134	130	125						
32	1	0	1	6.75	5	33.75	1	1	クリーム	208	204	201						
33	0	0	0	11.25	5	56.25	3	6	グレー	212	210	202						
34	0	0	0	7.5	5	37.5	2	1	クリーム	131	132	132						
35	3	1	2	5	5	25	5	5	クリーム	137	140	140	0.5	白	86	101	106	0.5
36	3	1	2	2	5	10	5	5	茶色	54	39	40	0.9	白	94	96	94	0.1
37	3	1	2	5	5	25	5	5	白	244	246	241	0.5	グレー	67	70	78	0.5
38a	1	0	1	7.5	5	37.5	3	1	茶色	114	106	93						
38b	0	0	0	6.75	5	33.75	3	1	茶色	111	105	94						
39	2	2	0	8.7	7	60.9	4	3	グレー	107	130	157	0.7	グレー	80	92	111	0.3
40	0	0	0	6.3	7	44.1	4	1	茶色	131	105	96	0.5	赤茶色	125	88	90	0.2
41	0	0	0	7.95	5	39.75	4	3	肌色	139	122	108						
42a	12	10	11	14.25	5	71.25	3	3	グレー	120	134	146						
42b	12	10	11	28.5	5	142.5	3	3	グレー	133	128	126						
43	0	0	0	6	5	30	2	1	クリーム	209	206	205	0.9	茶色	79	64	74	0.1
44	5	1	4	8.7	5	43.5	3	1	白	202	211	207						
45	1	1	0	6	5	30	3	1	クリーム	152	152	148						
46	0	0	0	5.25	5	26.25	3	1	クリーム	223	223	219	0.9	茶色	122	80	58	0.1
47a	0	0	0	6	5	30	3	4	クリーム	204	200	193						
47b	0	0	0	7.5	5	37.5	3	4	クリーム	177	179	176						
48	0	0	0	9	5	45	3	3	白	252	255	255	0.9	赤茶色	118	75	74	0.1
49a	0	0	0	6.3	5	31.5	3	3	チャコールグレー	154	145	137						
49b	0	0	0	7.2	5	36	3	3		187	173	172						
50	0	0	0	5.7	5	28.5	3	1	クリーム	238	240	228						
51	0	0	0	4.8	5	24	3	1	クリーム	132	131	121						
52	2	0	2	5.7	5	28.5	3	1	クリーム	176	153	125						
53	0	0	0	7.5	5	37.5	3	1	クリーム	169	147	117	0.5	赤茶色	195	128	118	0.3
54	0	0	0	6	5	30	3	1	肌色	102	98	105						
55	0	0	0	7.2	5	36	2	3	白	229	225	204						
56	1	0	1	9	5	45	2	1	白	157	159	161						
57	0	0	0	5.25	7	36.75	4	1	クリーム	197	175	142	0.7	茶色	72	64	65	0.3
58	0	0	0	6	7	42	4	1	薄茶色	217	197	179	0.9	茶色	134	109	86	0.1
59	4	1	3	8.7	5	43.5	2	1	クリーム	157	145	130						
60	4	3	3	8.7	5	43.5	5	1	茶色	154	129	120	0.8	白	162	162	169	0.2
61	0	0	0	6	5	30	2	1	クリーム	215	206	187						
62	0	0	0	7.5	5	37.5	3	1	薄茶色	169	157	139						
63	0	0	0	5.25	5	26.25	2	1	白	131	133	130						
64	0	0	0	5.55	5	27.75	2	4	クリーム	137	131	120						
65	1	1	1	9.9	5	49.5	2	3	白	170	177	182	0.9	こげ茶色	80	71	63	0.1

付録C

住宅番号	被験者数	1度目に挙げた被験者数	2度目に挙げた被験者数	道に面する横幅(m)	高さ(m)	ファサード面積	年代	屋根形状	色1	R	G	B	割合	色2	R	G	B	割合
1	0	0	0	10.5	5	52.5	3	1	白	252	255	247						
2	0	0	0	10.5	5	52.5	2	1	グレー	56	59	68	0.5	白	226	232	228	0.5
3a	0	0	0	6.75	5	33.75	1	4	白	248	244	232						
3b	0	0	0	5.25	5	26.25				210	234	247						
4	0	0	0	11.25	5	56.25	2	1	白	250	246	243						
5a	0	0	0	6	2	12	1		白	195	203	194						
5b	0	0	0	6	2	12				237	233	208						
6	0	0	0	5.25	5	26.25	5	3	グレー	104	119	133						
7a	0	0	0	9	5	45	3	1	チャコールグレー	125	127	126						
7b	0	0	0	5.7	5	28.5				160	157	143						
8	1	1	0	6	5	30	3	1	白	156	160	161						
9	0	0	0	7.2	5	36	3	1	白	247	241	230						
10	0	0	0	5.85	5	29.25	5	1	おうどいろ	119	109	88	0.8	グレー	59	62	66	0.2
11	0	0	0	7.5	7	52.5	4	4	白	202	201	186						
12	0	0	0	8.7	5	43.5	2	1	クリーム	188	185	171						
13	4	3	4	13.5	5	67.5	4	1	白	255	255	255	0.7	グレー	103	106	112	0.3
14	0	0	0	10.5	5	52.5	2	1										
15a	4	2	3	7.5	5	37.5	1	1	グレー	99	98	97						
15b	4	2	3	5.7	5	28.5				166	170	169						
16	0	0	0	6.3	5	31.5	1	1	茶色	123	99	94						
17	0	0	0	9	5	45	3	1	白	243	239	223						
18	0	0	0	10.5	5	52.5	3	1	白	242	238	228						
19	11	9	9	6.75	5	33.75	4	1	青	188	204	204						
20	2	1	1	8.7	5	43.5	5	5	肌色	227	216	197						
21	19	18	16	10.8	5	54	5	3	白	241	236	221	0.6	グレー	136	142	143	0.4
22a	19	18	16	7.5	5	37.5	5	3	グレー	80	86	87	0.99	黄色	113	100	37	0.01
22b	19	18	16	10.2	5	51			白	255	255	242	0.6	グレー	168	174	175	0.4
23	0	0	0	10.5	5	52.5	4	1	白	208	211	202						
24	0	0	0	12	5	60	3	1	白	196	196	190						
25a	0	0	0	10.5	7	73.5	5	6	グレー	113	121	119						
25b	0	0	0	10.5		0			グレー	192	213	223						
26	2	2	2	4.5	7	31.5	4	5	グレー	118	134	142	0.2	ガラス	141	186	213	0.8
27	14	11	12	4.5	7	31.5	2	6	赤茶色	133	71	72						
28	0	0	0	5.25	7	36.75	4	6	チャコールグレー	115	119	120						
29	0	0	0	5.4	5	27	4	1	赤茶色	110	89	74						
30	0	0	0	7.8	7	54.6	4	3	白	213	216	219						
31	0	0	0	7.5	7	52.5	4	4	グレー	141	149	154	0.5	薄茶色	118	111	98	0.5
32	0	0	0	9	5	45	2	1	クリーム	255	250	193						
33a	0	0	0	9.75	7	68.25	4	5	薄グレー	192	196	197						
33b	0	0	0	6.45	7	45.15				192	196	197						
34	0	0	0	5.25	5	26.25	2	1	クリーム	215	210	199						
35	0	0	0	9	7	63	3	3	白	232	233	226						
36	0	0	0	7.5	7	52.5	3	6	グレー	123	148	163						
37	4	1	4	6	5	30	2	2	グレー	127	138	139						
38	3	3	1	8.25	5	41.25	2	3	クリーム	255	241	200						
39	0	0	0	9.75	5	48.75	4	1	肌色	108	95	88	0.9	赤	178	16	28	0.1
40	12	10	9	6	5	30	3	1	グレー	163	176	179						
41	0	0	0	8.85	5	44.25	2	1	クリーム	223	204	164						
42	0	0	0	4.8	5	24	3	1	チャコールグレー	75	71	66						
43a	15	13	10	9.75	5	48.75	5	4	薄茶色	159	137	113						
43b	15	13	10	11.25	5	56.25				152	125	100						
44a	0	0	0	7.5	7	52.5	3	4	白	204	222	235						
44b	0	0	0	6.75	7	47.25			白	198	193	191	0.6	グレー	61	74	95	0.4
45	8	7	7	6.45	5	32.25	1	1	赤茶色	187	100	86	0.9	白	251	239	239	0.1
46	1	1	1	9	5	45	1	4	茶色	144	92	69						
47	4	4	2	7.5	5	37.5	4	4	クリーム	193	192	193						
48	0	0	0	4.8	5	24	3	1	白	223	247	253						
49	0	0	0	4.8	7	33.6	3	1	グレー	119	130	130	0.3	白	104	110	111	0.6
50	0	0	0	5.1	7	35.7	3	1	白	154	163	172	0.8	赤茶色	101	76	69	0.2
51	0	0	0	10.5	5	52.5	2	4	白	154	173	188						
52	2	0	1	8.25	5	41.25	2	1	白	172	191	197						
53	0	0	0	14.7	5	73.5	2	4	グレー	126	127	130						

付録C

住宅番号	被験者数	1度目に挙げた被験者数	2度目に挙げた被験者数	道に面する横幅(m)	高さ(m)	ファサード面積	年代	屋根形状	色1	R	G	B	%	色2	R	G	B	%
1	0	0	0	5	5	25	1	1	白	214	206	186						
2	0	0	0	6	5	30	2	1	ピンクベージュ	250	231	202						
3	1	1	1	7	5	35	3	1	白	255	255	252						
4	1	1	1	8.5	5	42.5	2	1	白	239	232	203						
5a	2	1	1	4	5	20	4	3	白	239	232	203						
5b	0	0	0	8.5	5	42.5												
6	0	0	0	3.5	5	17.5	2	1	ベージュ	211	198	173						
7	0	0	0	8	5	40	2	4	ベージュ	205	194	182						
8a	6	5	4	5	5	25	5	1	ピンクベージュ	245	220	186						
8b	6	5	4	6	5	30												
9	0	0	0	4	7	28	3	1	グレイ	227	238	234						
10	0	0	0	12.5	3	37.5	3	1	赤茶	126	85	77						
11	3	3	1	7	5	35	4	1	ベージュ	197	190	172						
12	3	3	1	7	5	35	4	1	ベージュ	135	128	113						
13a	2	1	2	11	5	55	2	1	グレイ	227	238	234						
13b	2	1	2	5	5	25												
14	0	0	0	5.5	5	27.5	2	1	白	179	187	188	0.7	茶色	56	45	51	0.3
15a	0	0	0	5	5	25	2	1	白	175	184	189						
15b	0	0	0	5	5	25												
16a	0	0	0	3	5	15	2	3	白	165	171	168	0.8	茶色	49	44	49	0.2
16b	0	0	0	5	5	25												
17	0	0	0	5	5	25	3	1	茶色	49	44	49	0.8	白	225	238	234	0.2
18a	0	0	0	12	5	60	2	1	白	136	135	134	0.8	こげ茶色	26	26	32	0.2
18b	0	0	0	4	5	20												
19	0	0	0	7	5	35	2	1	白	201	200	196						
20a	0	0	0	3	5	15	2	1	白	167	175	179						
20b	0	0	0	5	5	25												
21a	3	2	3	4	5	20	2	1	ベージュ	113	120	130						
21b	3	2	3	9	5	45												
22	0	0	0	12	5	60	2	1	ピンクベージュ	244	232	217						
23	0	0	0	3.8	5	19	2	1	薄茶	198	174	150						
24	0	0	0	6.5	5	32.5	2	1	ピンクベージュ	173	164	160						
25	1	1	1	4.5	5	22.5	2	1	白	195	199	201	0.7	グレイ	73	76	81	0.3
26	6	6	6	8	5	40	3	1	薄緑	119	124	106	0.5	ベージュ	113	102	85	0.5
27a	0	0	0	4	5	20	2	1	ベージュ	170	163	156						
27b	0	0	0	6	5	30												
28	0	0	0	2.5	5	12.5	3	1	ベージュ	66	65	64						
29	0	0	0	3.6	5	18	3	1	ピンクベージュ	137	132	141	0.5	ベージュ	127	120	112	0.5
30	0	0	0	4	5	20	4	1	ピンクベージュ	117	107	101						
31	5	4	3	11.5	5	57.5	5	1	レンガ色	95	77	73						
32a	1	0	1	5	5	25	5	1	ピンクベージュ	102	86	79						
32b	1	0	1	7	5	35												
33	0	0	0	5	5	25	2	1	ベージュ	193	190	180						
34	2	2	2	4	5	20	2	1	白	193	190	180						
35a	2	2	2	5	5	25	3	1	白	239	231	209						
35b	2	2	2	7	5	35												
36	2	2	2	5	5	25	3	1	ピンクベージュ	225	210	192						
37a	0	0	0	9	5	45	3	1	白	255	255	255						
37b	0	0	0	4.8	5	24												
38	0	0	0	7	5	35	3	1	白	177	192	192						
39a	8	7	5	11.5	5	57.5	2	1	ピンクベージュ	184	177	187						
39b	8	7	5	5.5	5	27.5												
40	0	0	0	4	5	20	2	1	白	147	158	175						
41a	12	8	10	10.5	5	52.5	2	4	白	150	169	175						
41b	12	8	10	11	5	55												
42	1	1	1	5	5	25	4	5	白	172	192	202						
43a	0	0	0	9	5	45	2	1	白	107	132	141						
43b	0	0	0	5	5	25												
44	0	0	0	4	5	20	4	1	白	167	185	202						
45	0	0	0	7	5	35	4	1	赤茶	60	55	62						
46	2	1	1	4	5	20	2	5	茶色	60	55	62	0.8	白	195	211	224	0.2



付録C

住宅番号	被験者数	1度目に挙げた被験者数	2度目に挙げた被験者数	道に面する横幅(m)	高さ(m)	ファサード面積	年代	屋根形状	色1	R	G	B	%	色2	R	G	B	%
1	0	0	0	4.3	5	21.5	3	4	ベージュ	123	128	132						
2	0	0	0	7	5	35	3	1	薄紫	178	168	167	0.6	白	178	168	167	0.4
3	6	4	6	10	7	70	4	3	グレイ	171	176	177						
4	3	1	2	7	5	35	2	1	白	186	196	197						
5	0	0	0	4.8	5	24	2	1	白	195	197	209						
6	0	0	0	4	5	20	4	1	茶色	195	197	209	0.8	白	195	197	209	0.2
7	3	3	2	2	5	10	2	1	ベージュ	176	171	162						
8	5	5	4	2	5	10	2	1	茶色	122	65	56	0.4	白	255	240	233	0.6
9a	2	0	2	6	5	30	4	1	白	203	197	175						
9b	2	0	2	4.5	5	22.5												
10	0	0	0	3	5	15	2	1	白	203	197	175	0.8	濃紺	203	197	175	0.2
11	0	0	0	3	5	15	2	1	白	114	125	123						
12	0	0	0	3	5	15	2	1	白	191	209	220						
13	19	18	14	7.5	5	37.5	4	1	緑	191	209	220						
14	0	0	0	3.5	5	17.5	3	1	白	230	235	235						
15	0	0	0	3	5	15	2	1	白	170	181	177						
16	1	1	0	4	5	20	2	1	白	170	181	177						
17	0	0	0	4	7	28	5?	1	赤茶	153	143	135	0.5	グレイ	120	128	129	0.5
18	2	1	2	4	7	28	5	3	グレイ	45	50	63						
19	8	7	5	3	7	21	2	1	ベージュ	95	92	89						
20a	0	0	0	5	5	25	1	4	赤茶	96	60	65						
20b	0	0	0	8	5	40												
21a	0	0	0	7	5	35	3	3	ベージュ	177	179	191						
21b	0	0	0	5	5	25												
22	0	0	0	7	7	49	4	1	茶色	50	51	56	0.5	白	161	175	184	0.5
23a	11	8	10	12	5	60	2	4	薄茶	187	158	136		ピンクベ	255	237	222	
23b	11	8	10	13	5	65												
24a	5	4	3	8	5	40	3	3	白	233	233	202						
24b	5	4	3	4.5	5	22.5												
25	1	0	1	6	7	42	4	1	茶色	233	233	202	0.7	白	143	159	168	0.3
26	0	0	0	34	21	714	4	3	茶色	143	159	168						
27a	0	0	0	6	5	30	2	1	白	244	237	224						
27b	0	0	0	5	5	25												
28	3	3	1	3	7	21	5	4	薄茶色	244	237	224	0.8	緑の窓	244	237	224	0.2
29	0	0	0	4	5	20	2	1	白	244	237	224	0.8	濃緑	244	237	224	0.2
30	0	0	0	9	5	45	1	4	樹木で家が見えな	244	237	224						
31	0	0	0	5.8	7	40.6	5	3	白	220	218	213						
32	0	0	0	4	7	28	5	3	白	255	255	246						
33	20	20	20	12	7	84	5	3	イエロー	181	164	69	0.4	グレー	181	164	69	0.6
34	0	0	0	3	5	15	3	1	白	206	202	192	0.8	グレー	206	202	192	0.2
35	0	0	0	4	5	20	2	1	白	195	196	197	0.5	茶色	81	42	34	0.5
36a	0	0	0	4	5	20	3	1	白	197	188	173						
36b	0	0	0	8	5	40												
37	0	0	0	8	5	40	4	1	ピンクベ	245	227	207						
38a	1	1	1	6	7	42	4	1	薄紫	108	107	111						
38b	1	1	1	3	7	21												
39	1	1	1	3	7	21	4	1	薄茶	108	107	111						
40	1	1	1	3	7	21	4	1	グレイ	195	199	195						
41	4	3	4	4	7	28	4	1	薄茶	224	216	198						
42a	0	0	0	3.5	7	24.5	4	1	グレイ	106	105	104						
42b	3	2	3	4.5	5	22.5	3	1	グレイ	106	105	104	0.8	赤茶	130	94	94	0.2
43	3	2	3	6	5	30												
44a	0	0	0	6	5	30	3	3	ベージュ	131	131	127						
44b	0	0	0	6	5	30												
45	3	2	3	4	7	28	5	1	ベージュ	232	219	198						
46	6	3	6	8	5	40	1	4	白	136	115	103	樹木					
47a	7	6	6	8	5	40	5	1	薄紫	105	99	100						
47b	7	6	6	4.5	5	22.5												
48a	2	2	2	3	5	15	3	1	白	166	184	195						
48b	2	2	2	7.5	5	37.5												
49	0	0	0	6	5	30	3	3	白	161	167	164	0.9	グレイ	141	137	144	0.1
50	0	0	0	8	5	40	4	4	白	255	255	242	樹木					
51	0	0	0	3.8	5	19	2	1	赤茶	85	77	82						
52	0	0	0	6	5	30	2	1	白	225	237	223						
53	0	0	0	6	2	12	1	1	水色	90	114	135						
54	9	9	7	9	5	45	5	4	ピンクベージュ	85	77	82	0.6	赤茶	129	78	70	0.4
55	7	5	5	7	7	49	5	3	ベージュ	203	189	166						
56	0	0	0	7	5	35	5	1	白	234	225	210						
57	9	7	5	6	5	30	5	3	白	123	128	132	0.6	ガラスが水色	123	177	193	0.4